

令和3年度 保育園サービス第三者評価事業

報告書

令和4年3月

杉並区

目次

第1部 利用者調査

1. 利用者調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の対象者.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査期間.....	1
(5) 利用者調査票の配布・回収状況.....	1
2. 全体の調査結果.....	2
(1) 回答者属性.....	2
(2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果.....	4
(3) 自由記入分類・整理.....	7
3. 満足度構造分析.....	8
(1) 分析方法.....	8
(2) 分析結果.....	8
(3) 考察.....	9
4. 各保育園の利用者調査結果.....	10

第2部 事業評価

1. 評価の概要.....	43
(1) 評価の目的.....	43
(2) 評点の付け方.....	43
(3) 訪問調査とフィードバック.....	44
2. 各保育園の評価結果報告書.....	45

巻末 付属資料



第 1 部 利用者調査



はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者からみた保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者に明らかにし、保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を行う事を目的とするものである。

■評価対象：杉並区立の次の8保育園を対象としている。

(令和3年9月30日時点)

保育園名	配布数	備考
1. 荻窪南保育園	68	1・延
2. 高井戸東保育園	71	8・延
3. 松ノ木保育園	70	1・延
4. 阿佐谷北保育園	87	8・延
5. 久我山保育園	80	8・延
6. 浜田山保育園	82	9・延
7. 今川保育園	80	8・延
8. 四宮保育園	69	1・延
合計	607	

※備考欄：9...9週目以上の園、8...8か月以上の園、1...1歳以上の園、
延...延長保育実施園

■評価機関：特定非営利活動法人NPOサービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構02-030)

■評価者：担当した評価者の終了番号は以下の通りである。

H0201035、H1401004、H1501022

■評価の流れ

内容	時期・期間
1. 関係者説明会	令和3年7月～8月
2. 利用者調査票配布(利用者調査)	令和3年7月
3. 経営層自己評価票作成(事業評価)	令和3年9月
4. 職員自己評価票作成(事業評価)	令和3年8月
5. 訪問調査	令和3年10～11月
6. 評価結果のフィードバック	令和4年1月

1. 利用者調査の概要

(1) 調査の目的

杉並区立保育園を利用されている保護者の方々が、日常の保育サービスに対して感じていること、また、意見や要望について把握することを目的とした。

(2) 調査の対象者

5 保育園の利用者（保護者）を対象とした。複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答していただいた。

(3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡して配布し、回収については、園内に設置した回収ボックスに投函するか、もしくは、返信用封筒を使って直接評価機関へ郵送する方法のどちらかを保護者に選択していただいた。

(4) 調査期間

令和 3 年 8 月 2 日～令和 3 年 8 月 20 日

(5) 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、8 園の回収率は 73.2%から 87.5%、平均有効回収率は 82.2%である。

保育園名	利用者		
	配布数	回収数	回収率
1. 荻窪南保育園	68	59	86.8%
2. 高井戸東保育園	71	59	83.1%
3. 松ノ木保育園	70	61	87.1%
4. 阿佐谷北保育園	87	66	75.9%
5. 久我山保育園	80	64	80.0%
6. 浜田山保育園	82	60	73.2%
7. 今川保育園	80	70	87.5%
8. 四宮保育園	69	60	87.0%
合 計	607	499	82.2%

2. 全体の調査結果

(1) 回答者属性

調査票の回答者 499 人の 75.8%が母親である。回答者の年齢構成をみると、35～40 歳未満が 33.9%、30～35 歳未満が 25.7%で、30 歳代が合計 59.5%と過半数を占めている。また、40 歳代が 29.3%を占め、20 歳代（20～25 才未満 0.4%、25～30 未満 3.0%）は合計 3.4%と少ない。

勤務形態では、父親の 80.8%、母親の 76.8%がフルタイム（常勤）である。なお、父親の 7.2%は自営業、母親の 8.2%はパート・アルバイトである。

調査の回答者属性

全回答者			
1	父	40	8.0
2	母	378	75.8
3	父母	46	9.2
4	その他	0	0.0
5	無回答	35	7.0
合計		499 (人)	100 (%)

回答者の年齢

全回答者			
1	20 歳未満	0	0.0
2	20～25 歳未満	2	0.4
3	25～30 歳未満	15	3.0
4	30～35 歳未満	128	25.7
5	35～40 歳未満	169	33.9
6	40～50 歳未満	146	29.3
7	50 歳以上	4	0.8
8	無回答	35	7.0
合計		499 (人)	100 (%)

保護者の勤務形態

保護者の形態（父）			
1	常勤	403	80.8
2	パート・アルバイト	6	1.2
3	自営業	36	7.2
4	無職	1	0.2
5	その他	1	0.2
6	無回答	52	10.4
全体		499（人）	100（％）

保護者の形態（母）			
1	常勤	383	76.8
2	パート・アルバイト	41	8.2
3	自営業	15	3.0
4	無職	3	0.6
5	その他	20	4.0
6	無回答	37	7.4
全体		499（人）	100（％）

保護者の形態（その他）			
1	常勤	13	2.6
2	パート・アルバイト	11	2.2
3	自営業	3	0.6
4	無職	12	2.4
5	その他	2	0.4
6	無回答	458	91.8
全体		499（人）	100（％）

(2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果

総合的な満足度は、保護者別では、「大変満足」「満足」と回答した方々が父親の95.0%、母親の87.8%で、保育サービス全般に関して高い満足を得ている。一方、「どちらともいえない」「不満」と回答した方が父親・母親ともに少数みられるが、「大変不満」は0であった。

年齢別では、概ね「大変満足」「満足」の高い評価を得ているが、「大変満足」だけでみると、50才以上(100%)、20才代(82.4%)、30才代(60.6%)、40才代(56.8%)の順となっている。

さらに、勤務形態別でみていくと、父親ではパート・アルバイト、自営業、常勤に順に満足度が高く、母親では自営業、常勤、パート・アルバイトの順に満足度が高かった。

① 調査回答者と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数(人)	40	26	12	1	1	0	0
	回答率	100%	65.0%	30.0%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%
母	回答者数(人)	378	231	135	9	1	0	2
	回答率	100%	61.1%	35.7%	2.4%	0.3%	0.0%	0.5%
父母	回答者数(人)	46	23	19	4	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	41.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	35	21	11	0	0	0	3
	回答率	100%	60.0%	31.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%
全体	回答者数(人)	499	301	177	14	2	0	5
	回答率	100%	60.3%	35.5%	2.8%	0.4%	0.0%	1.0%

② 調査回答者の年齢と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	-	-	-	-	-	-	-
20～25歳未満	回答者数(人)	2	2	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～30歳未満	回答者数(人)	15	12	3	0	0	0	0
	回答率	100%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～35歳未満	回答者数(人)	128	77	47	4	0	0	0
	回答率	100%	60.2%	36.7%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
35～40歳未満	回答者数(人)	169	103	59	7	0	0	0
	回答率	100%	60.9%	34.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
40～50歳未満	回答者数(人)	146	83	57	2	2	0	2
	回答率	100%	56.8%	39.0%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%
50歳以上	回答者数(人)	4	4	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	35	20	11	1	0	0	3
	回答率	100%	57.1%	31.4%	2.9%	0.0%	0.0%	8.6%
全体	回答者数(人)	499	301	177	14	2	0	5
	回答率	100%	60.3%	35.5%	2.8%	0.4%	0.0%	1.0%

③-1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	403	241	145	13	2	0	2
	回答率	100%	59.8%	36.0%	3.2%	0.5%	0.0%	0.5%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	6	4	2	0	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数(人)	36	23	13	0	0	0	0
	回答率	100%	63.9%	36.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	52	31	17	1	0	0	3
	回答率	100%	59.6%	32.7%	1.9%	0.0%	0.0%	5.8%
全体	回答者数(人)	499	301	177	14	2	0	5
	回答率	100%	60.3%	35.5%	2.8%	0.4%	0.0%	1.0%

③-2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	388	230	137	12	2	0	2
	回答率	100%	60.1%	35.8%	3.1%	0.5%	0.0%	0.5%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	41	23	16	2	0	0	0
	回答率	100%	56.1%	39.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数(人)	15	11	4	0	0	0	0
	回答率	100%	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	3	2	1	0	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	20	11	9	0	0	0	0
	回答率	100%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	37	24	10	0	0	0	3
	回答率	100%	64.9%	27.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%
全体	回答者数(人)	499	301	177	14	2	0	5
	回答率	100%	60.3%	35.5%	2.8%	0.4%	0.0%	1.0%

③-3 その他のお迎えに行く方の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	13	8	4	0	1	0	0
	回答率	100%	61.5%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	11	4	7	0	0	0	0
	回答率	100%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数(人)	3	1	2	0	0	0	0
	回答率	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	12	5	7	0	0	0	0
	回答率	100%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	2	2	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	458	281	157	14	1	0	5
	回答率	100%	61.4%	34.3%	3.1%	0.2%	0.0%	1.1%
全体	回答者数(人)	499	301	177	14	2	0	5
	回答率	100%	60.3%	35.5%	2.8%	0.4%	0.0%	1.0%

(3) 自由記入分類・整理

調査票の質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると、次の通りとなる。

今年度の特徴として「4.身近な自然や社会との関わり」に関するご意見が多かったことが読み取れる。ソーシャルディスタンスなどの新型コロナウイルス感染症対策が記述に反映している。

大分類	中分類		件数	内容
サービスの提供	1	心身の発達に役立つ活動	94	社会ルールの習得、友だちとの関わり、社会性、遊びの幅の広がり
	2	興味や関心を持って行える活動	69	活動プログラムの内容、食育活動、行事やイベントの多様性
	3	提供する食事・おやつへの配慮	89	メニューのバリエーションや量、アレルギー対応、食材への配慮
	4	身近な自然や社会との関わり	135	頻度や場所、自然との関わり
	5	保育時間の変更への柔軟な対応	43	登園・降園時間の融通、延長保育・保育者の都合による保育への対応
	6	安全対策	72	安全対策・園や周辺環境、園出入り口の施錠環境
	7	保護者に配慮した行事日程の設定	93	行事や保護者会の内容や参加しやすさ、日程の連絡、父母会について
	8	家庭と保育所の信頼関係	99	子どもの気持ちや様子についての連絡（主に送迎時）、子育ての悩みや要望に対する相談
安心・快適性	9	施設内の清掃、整理整頓	65	相談のしやすさ、相談事への対応、日々連絡
	10	職員の接遇・態度	31	園内の清掃、整理整頓等、清潔感、トイレ・食事スペース等
	11	保健・衛生（病気、ケガ、健康）	58	言葉遣いや態度、雰囲気、挨拶、保育士・園の対応
	12	子ども同士のトラブルへの対応	54	発熱時への対応・与薬・ケガへの対応・健康管理や病気予防
利用者個人の尊重	13	子どもの気持ちの尊重	46	トラブルへの対応の的確さ、ケンカやいさかい等への対応
	14	子どもと保護者のプライバシー保護	17	気持ちに配慮した対応、子どもの考えや思いの受け止め
	15	保育内容に関する説明の分かり易さ	44	プライバシーの保護
不満・要望への対応	16	利用者の要望・不満への対応	30	利用前の保育内容の説明、活動目標や支援内容の説明
	17	外部の苦情窓口の周知	17	言いやすい雰囲気・聞く姿勢、要望や不満への対応の的確さ

3. 満足度構造分析

(1) 分析方法

利用者調査の項目は全部で17項目ある。その中でも、特に総合的な満足度に影響を与えている項目は何かを明らかにするために、回帰分析の手法を使って分析を行なった。

分析にあたっては下記のような手続きを行なった。

- 被説明変数

被説明変数は「総合的な満足度」である。

総合的な満足度では下記のような変数処理を行なった。

「大変満足」=5、「満足」=4、「どちらともいえない」=3、「不満」=2、「大変不満」=1

無記入は欠損値とする。

- 説明変数

説明変数は問1～問17の各設問である。

問1～問17の各設問では、下記のような変数処理を行なった。

「はい」=1、それ以外の「どちらともいえない」「いいえ」「非該当」=0

無記入は欠損値とする。

(2) 分析結果

「総合的な満足度」に関する回帰分析

No	設問	標準化 係数	有意確率
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	0.236	0.000
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	0.198	0.001
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	0.132	0.011
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	0.116	0.044

(3) 考察

統計的に有意であった項目、つまり、総合的な満足度に影響を与えている項目は、次の順番通りであった。問 16「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか」、問 11「お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか」、問 9「園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか」、問 2「園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか」であった。

平成 30 年度（コロナ禍前）の分析結果と比較すると異なる結果となった。平成 30 年度では、総合的な満足度に有意であった項目は、「職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていますか」（問 13）、「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか」（問 8）、「お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか」（問 15）などであった。子どもの気持ちの尊重や、家庭と園・職員とのつながり、保育内容の説明などが総合的な満足度に影響を与えていた。

しかし、今年度は、「子供の興味や関心がある園活動」（問 2）が 4 番目に総合的な満足度に有意であるとの結果も出たが、自由記述でも新型コロナウイルス感染症対策に関する自由意見が多かったように、総合的な満足度に有意を与えている項目として「不満や要望への対応」「体調不良時の対応」「園内の清潔、整理整頓」などが挙がってきた。

今年度の分析結果では、新型コロナウイルス感染症対策が保護者の総合的な満足度に影響を与えていたと推察される。

4. 各保育園の利用者調査結果

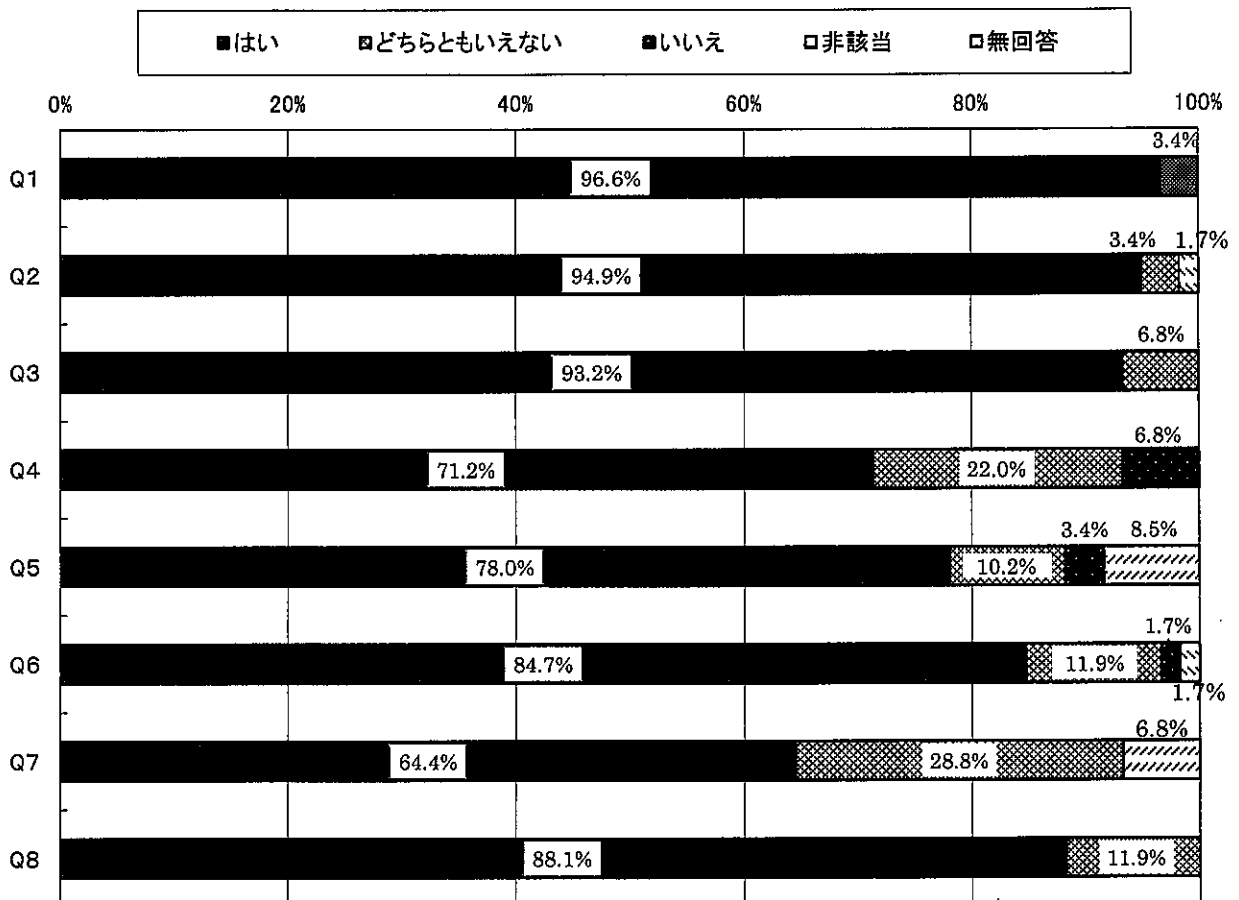
園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1. 荻窪南保育園	13
2. 高井戸東保育園	17
3. 松ノ木保育園	21
4. 阿佐谷北保育園	25
5. 久我山保育園	29
6. 浜田山保育園	33
7. 今川保育園	37
8. 四宮保育園	41

1. 荻窪南保育園

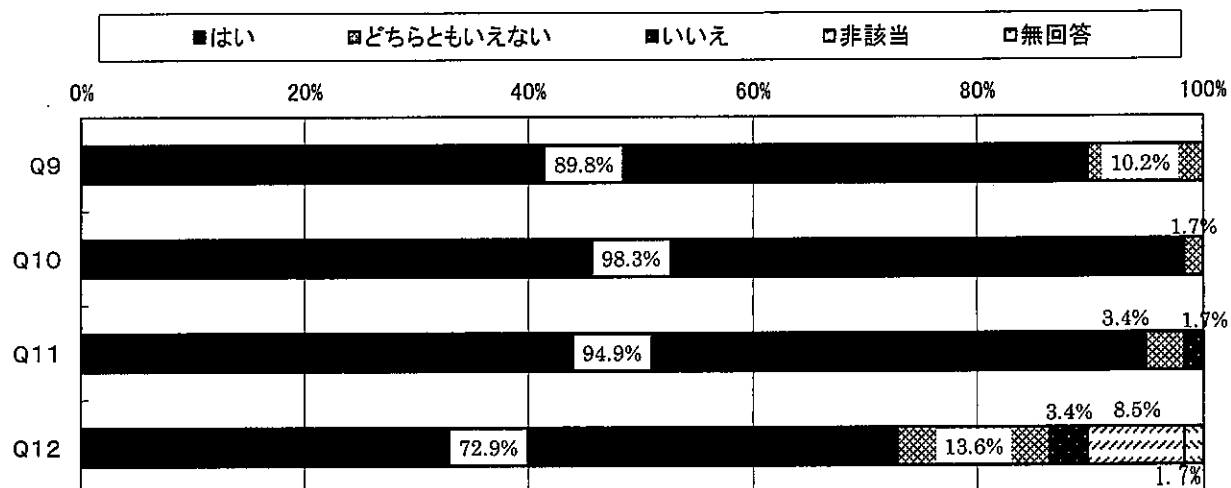
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	94.9%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	71.2%	22.0%	6.8%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	78.0%	10.2%	3.4%	8.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	84.7%	11.9%	1.7%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	64.4%	28.8%	0.0%	6.8%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	88.1%	11.9%	0.0%	0.0%	0.0%



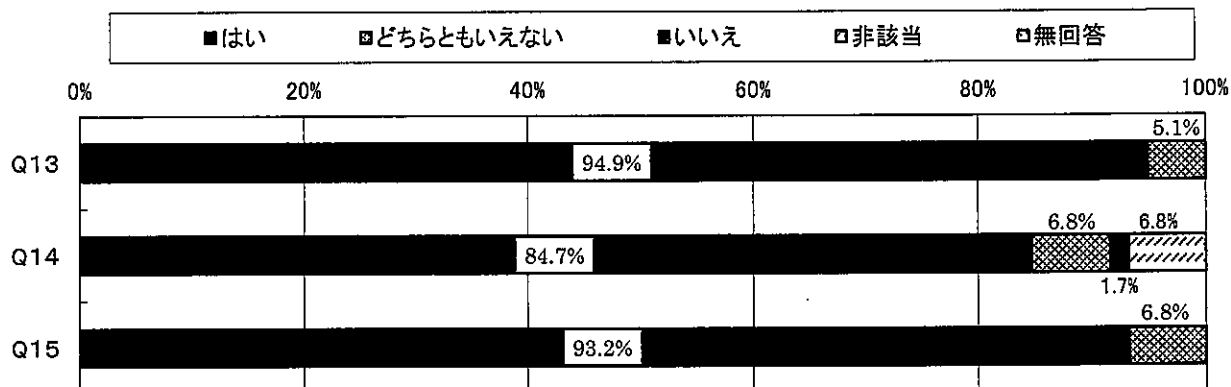
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	89.8%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	94.9%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	72.9%	13.6%	3.4%	8.5%	1.7%



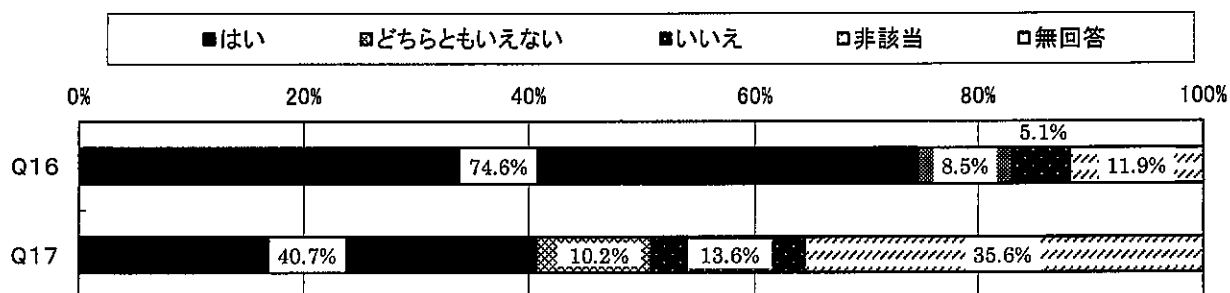
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	84.7%	6.8%	1.7%	6.8%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%



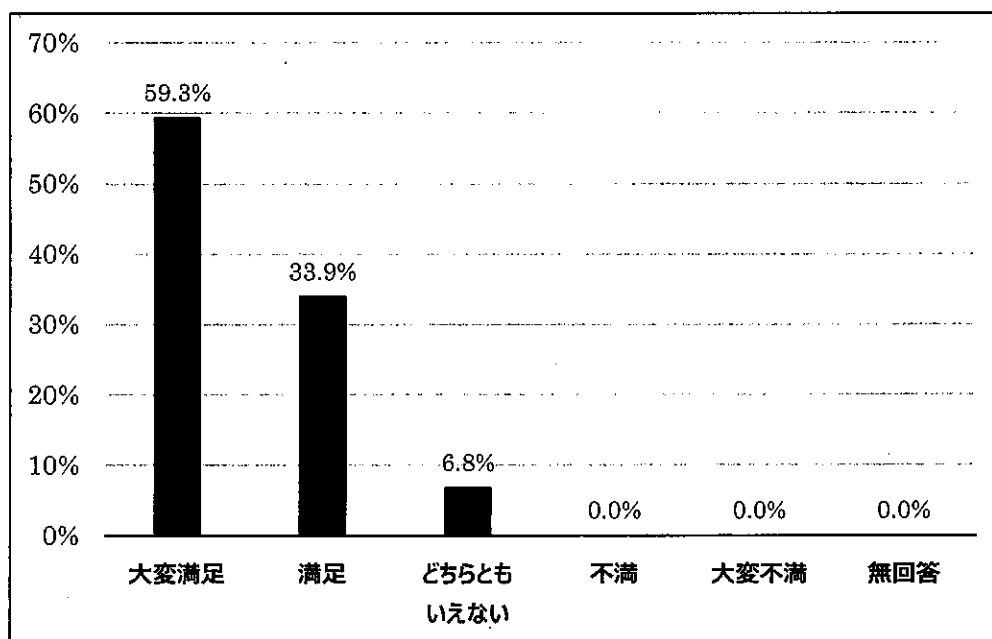
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	74.6%	8.5%	5.1%	11.9%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	40.7%	10.2%	13.6%	35.6%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

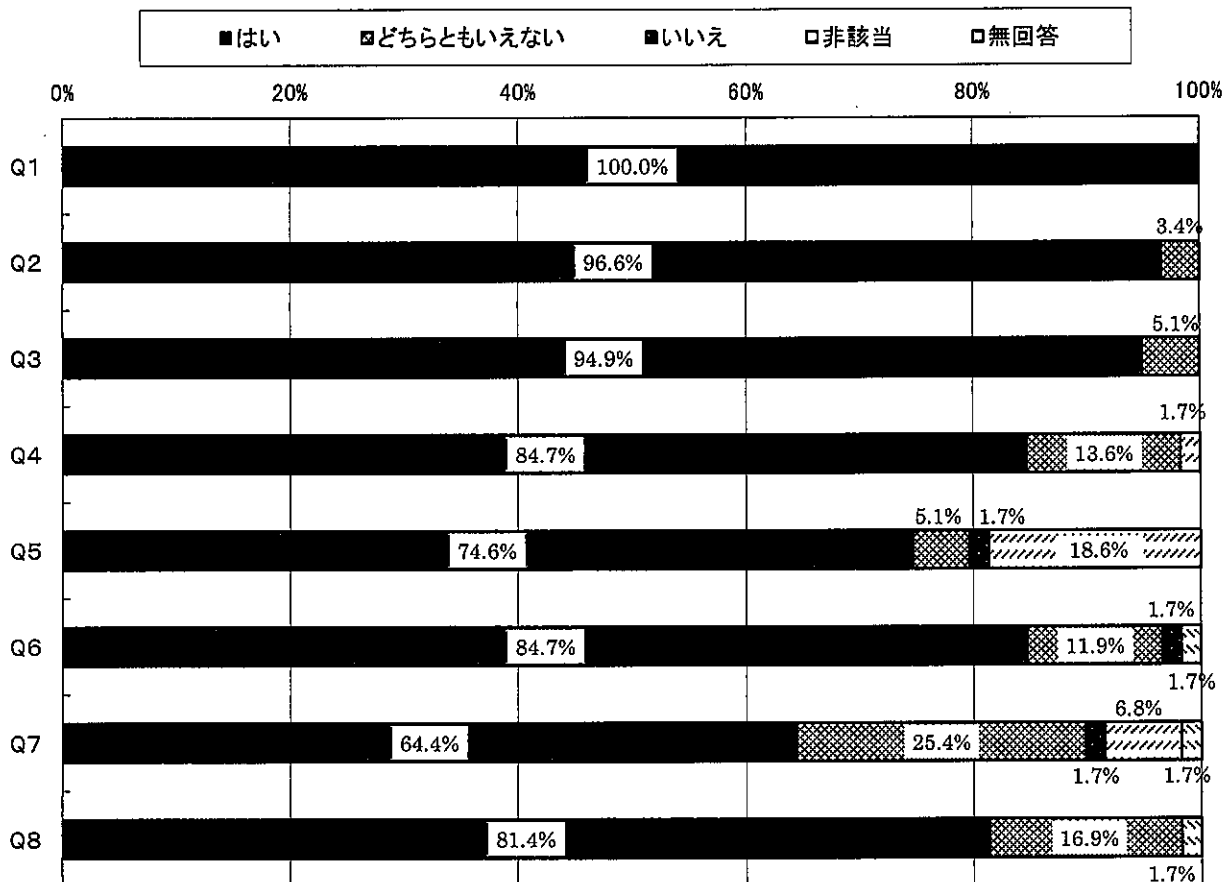
総合満足度	回答数	回答率
大変満足	35	59.3%
満足	20	33.9%
どちらともいえない	4	6.8%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%



2. 高井戸東保育園

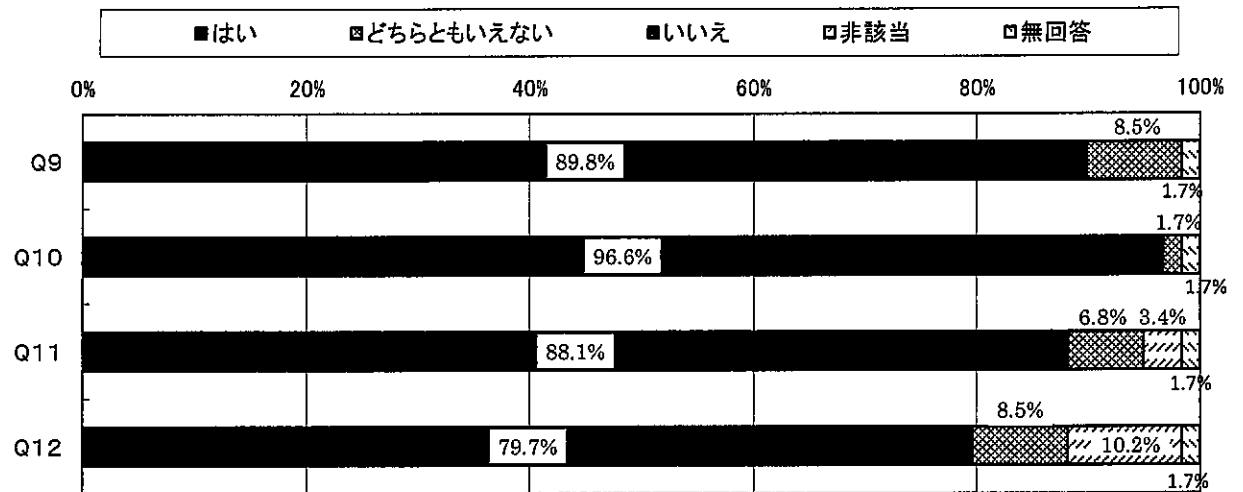
＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いいない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	84.7%	13.6%	0.0%	1.7%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	74.6%	5.1%	1.7%	18.6%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	84.7%	11.9%	1.7%	0.0%	1.7%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	64.4%	25.4%	1.7%	6.8%	1.7%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話し合い相談することができるような信頼関係があると思いますか	81.4%	16.9%	0.0%	0.0%	1.7%



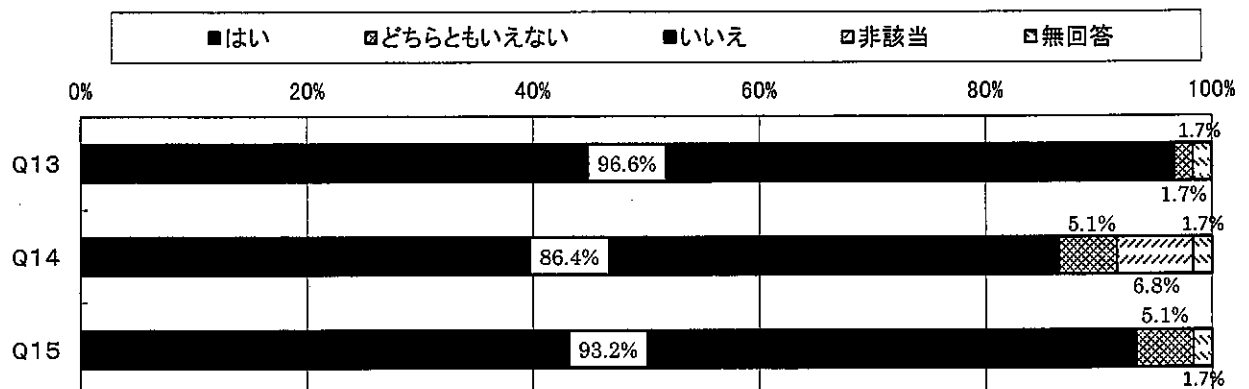
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	89.8%	8.5%	0.0%	0.0%	1.7%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	96.6%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	88.1%	6.8%	0.0%	3.4%	1.7%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	79.7%	8.5%	0.0%	10.2%	1.7%



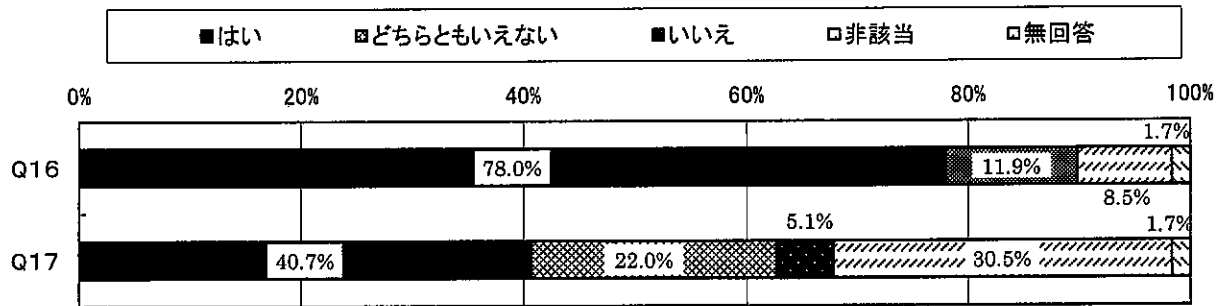
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	96.6%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	86.4%	5.1%	0.0%	6.8%	1.7%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	93.2%	5.1%	0.0%	0.0%	1.7%



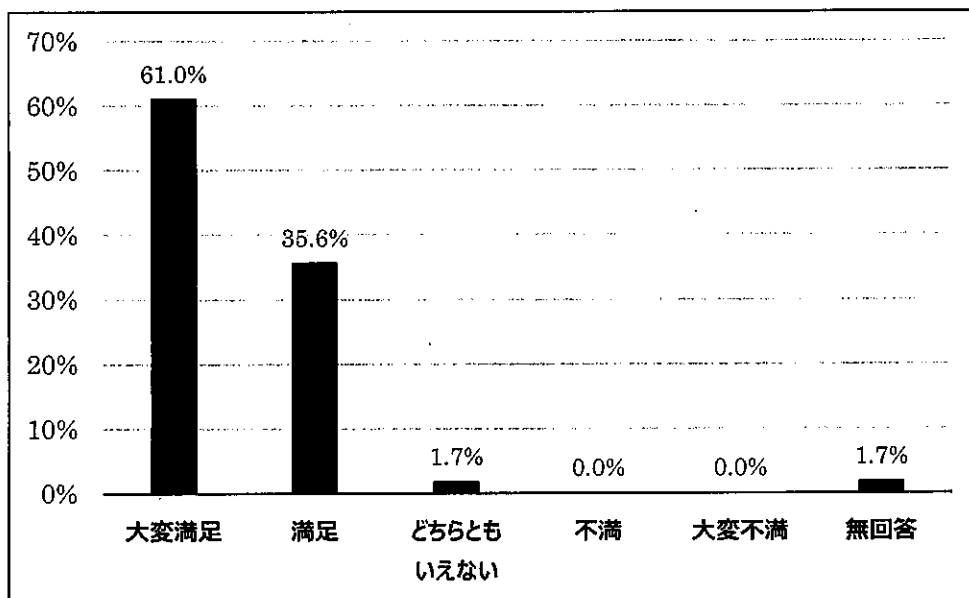
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	78.0%	11.9%	0.0%	8.5%	1.7%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	40.7%	22.0%	5.1%	30.5%	1.7%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	36	61.0%
満足	21	35.6%
どちらともいえない	1	1.7%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

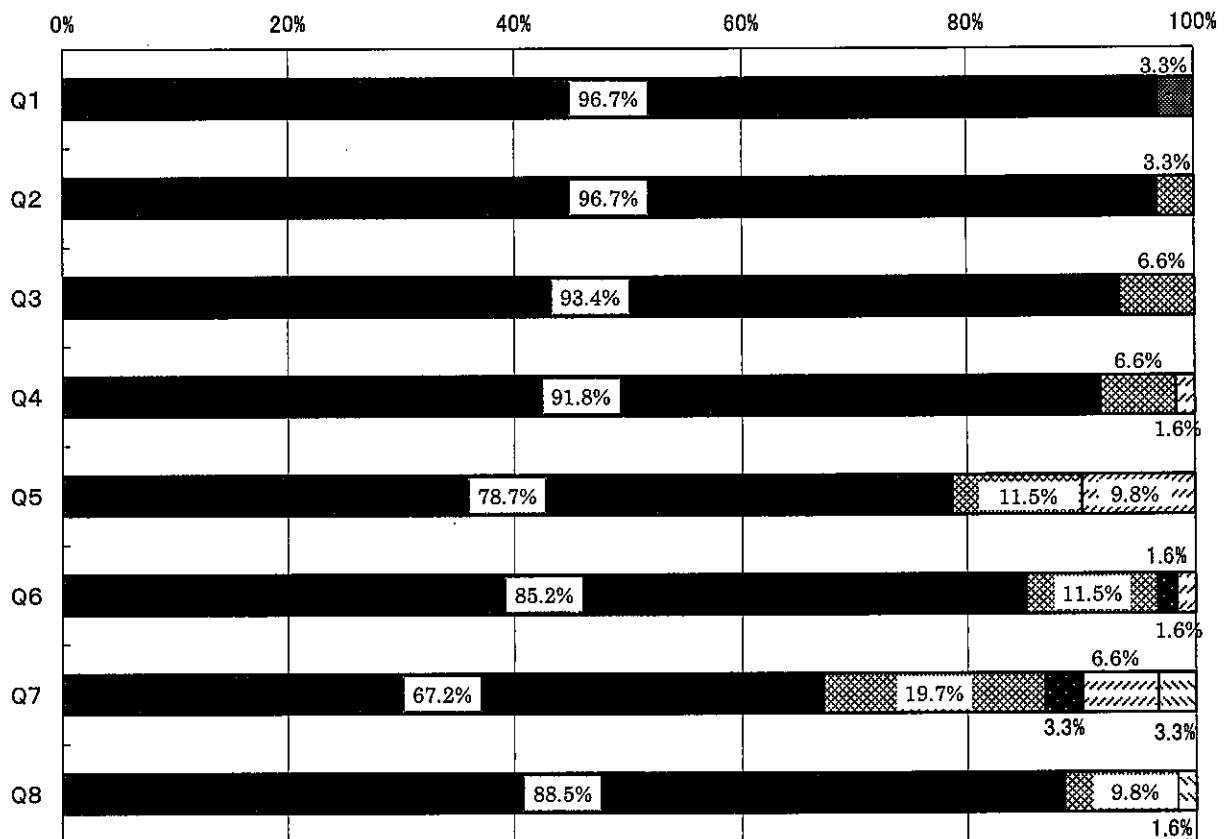


3. 松ノ木保育園



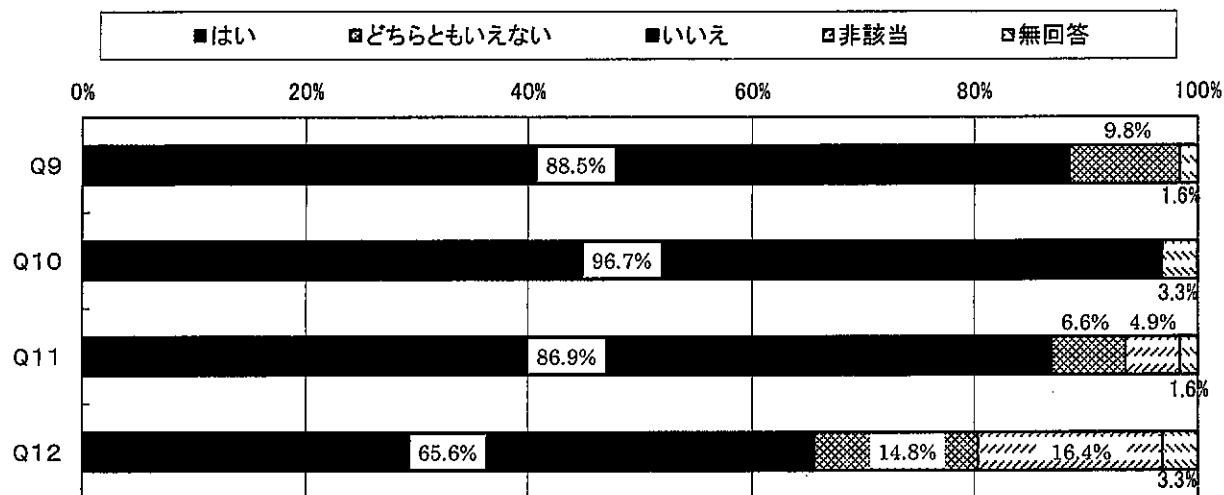
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	93.4%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	91.8%	6.6%	0.0%	1.6%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	78.7%	11.5%	0.0%	9.8%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	85.2%	11.5%	1.6%	1.6%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	67.2%	19.7%	3.3%	6.6%	3.3%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	88.5%	9.8%	0.0%	0.0%	1.6%



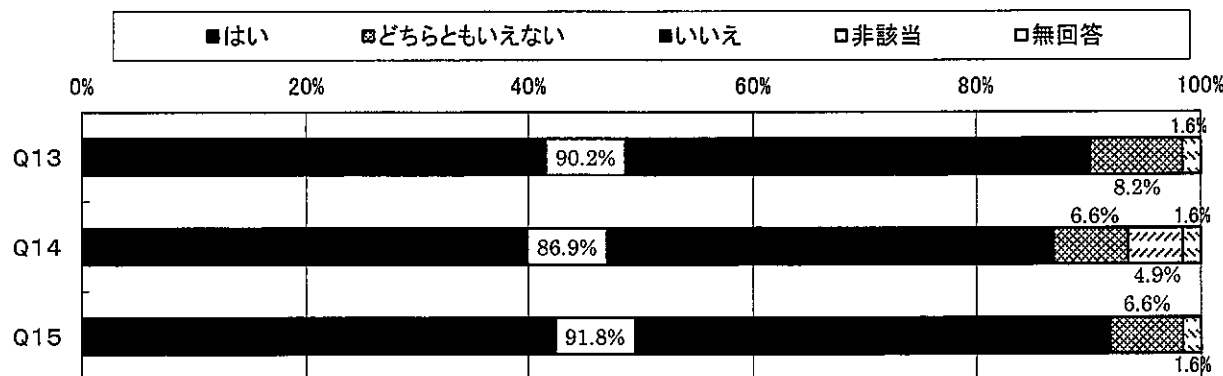
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	88.5%	9.8%	0.0%	0.0%	1.6%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	96.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	86.9%	6.6%	0.0%	4.9%	1.6%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	65.6%	14.8%	0.0%	16.4%	3.3%



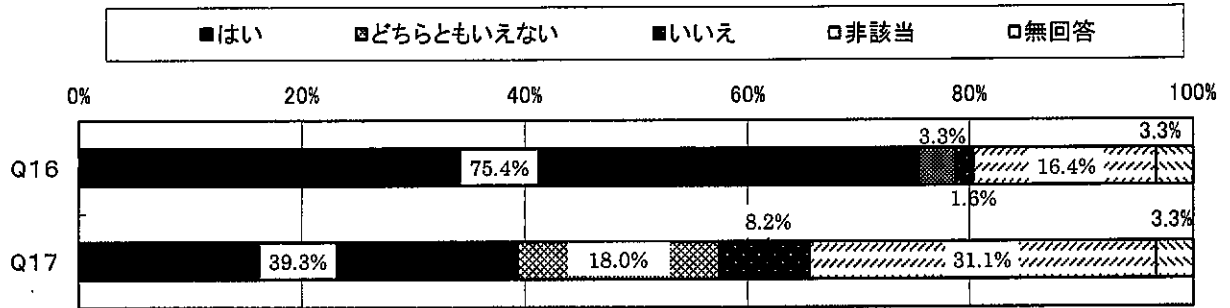
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	90.2%	8.2%	0.0%	0.0%	1.6%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	86.9%	6.6%	0.0%	4.9%	1.6%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	91.8%	6.6%	0.0%	0.0%	1.6%



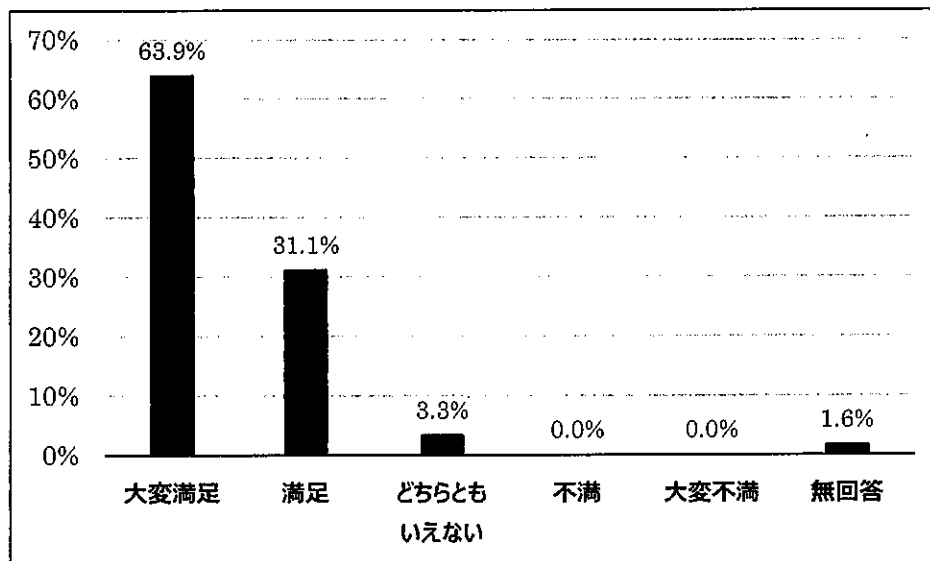
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	75.4%	3.3%	1.6%	16.4%	3.3%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	39.3%	18.0%	8.2%	31.1%	3.3%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	39	63.9%
満足	19	31.1%
どちらともいえない	2	3.3%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.6%
合計	61	100.0%

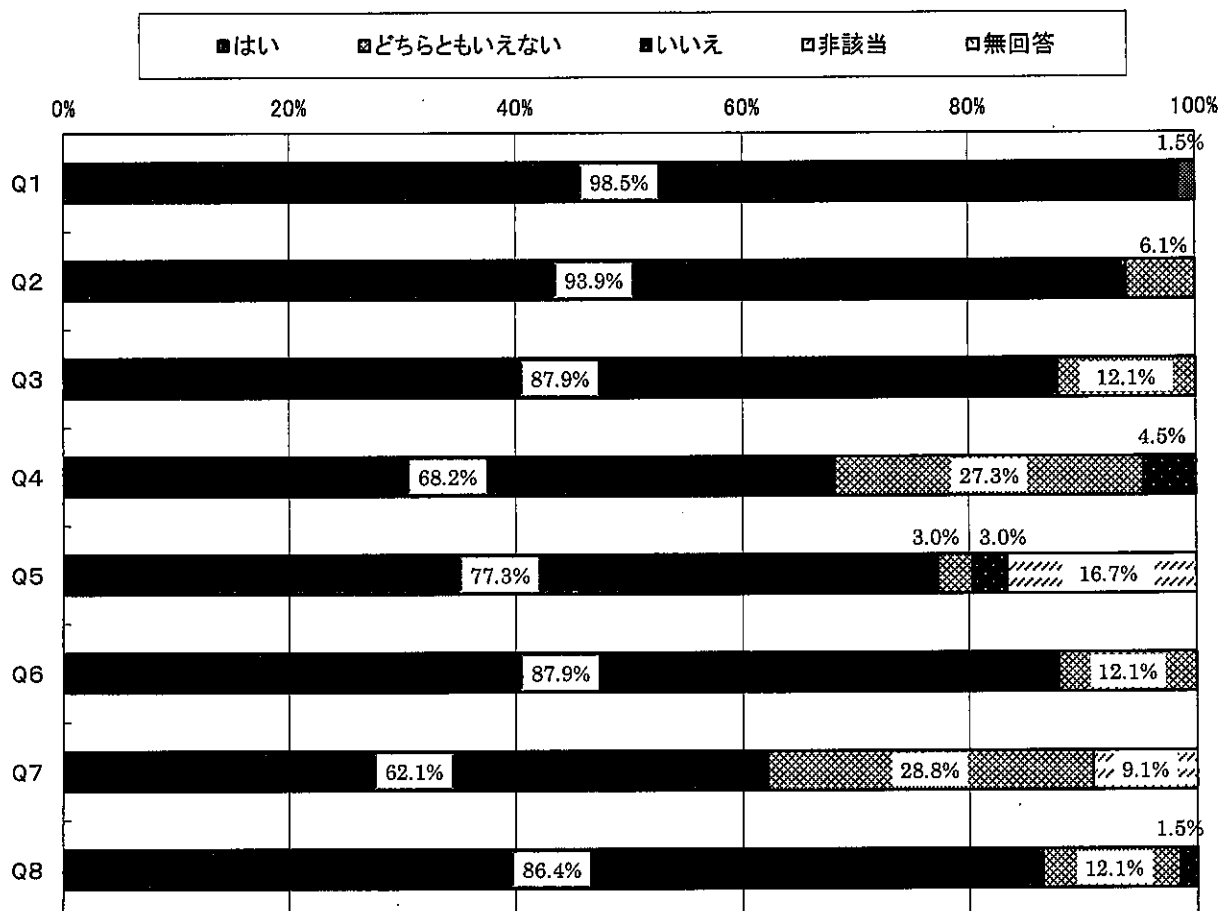


4. 阿佐谷北保育園



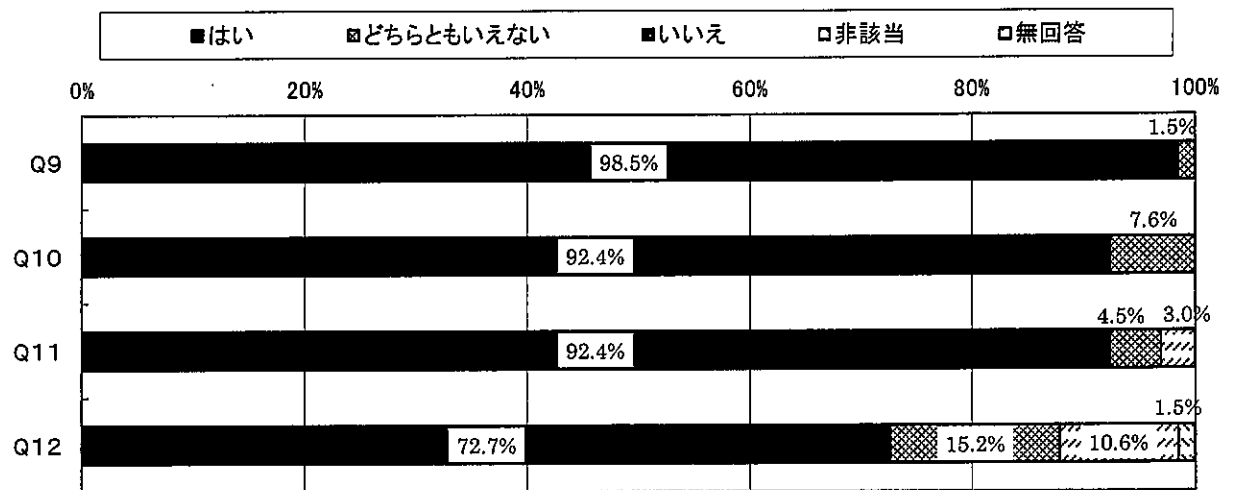
＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	68.2%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	77.3%	3.0%	3.0%	16.7%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	62.1%	28.8%	0.0%	9.1%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	86.4%	12.1%	1.5%	0.0%	0.0%



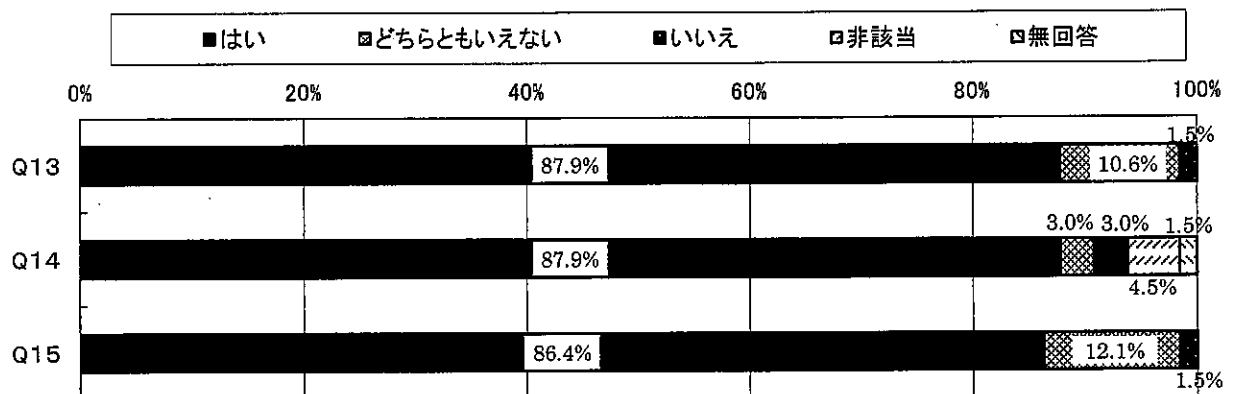
＜安心・快適性＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	98.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	92.4%	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	92.4%	4.5%	0.0%	3.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	72.7%	15.2%	0.0%	10.6%	1.5%



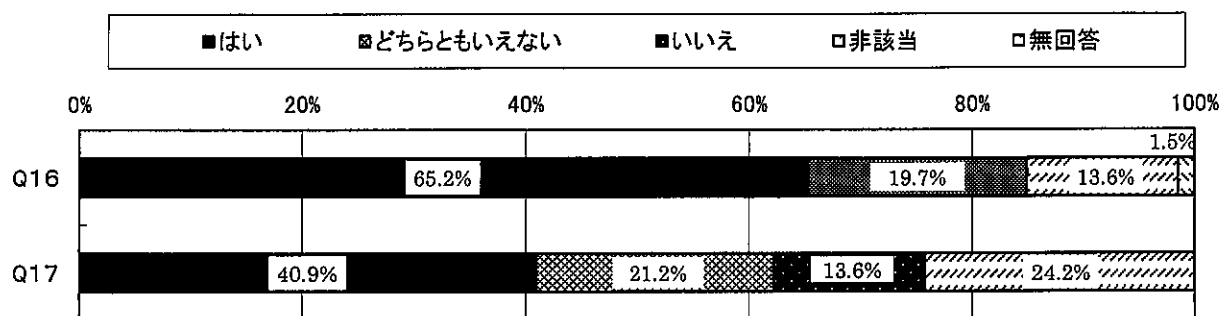
＜利用者個人の尊重＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	87.9%	10.6%	1.5%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	87.9%	3.0%	3.0%	4.5%	1.5%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	86.4%	12.1%	1.5%	0.0%	0.0%



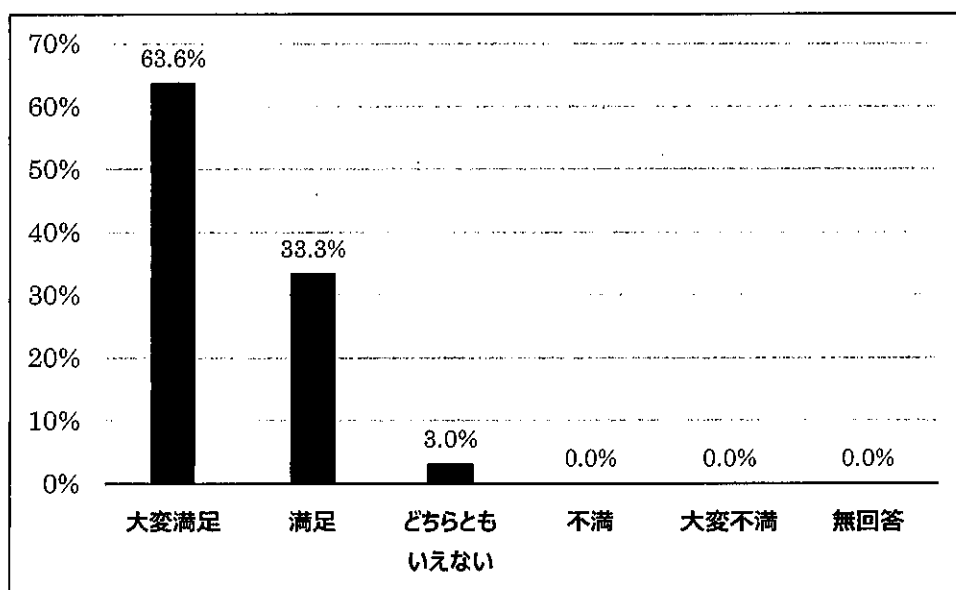
＜不満・要望への対応＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか。	65.2%	19.7%	0.0%	13.6%	1.5%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか。	40.9%	21.2%	13.6%	24.2%	0.0%



＜総合的な満足度についてお聞きします＞

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	42	63.6%
満足	22	33.3%
どちらともいえない	2	3.0%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	66	100.0%

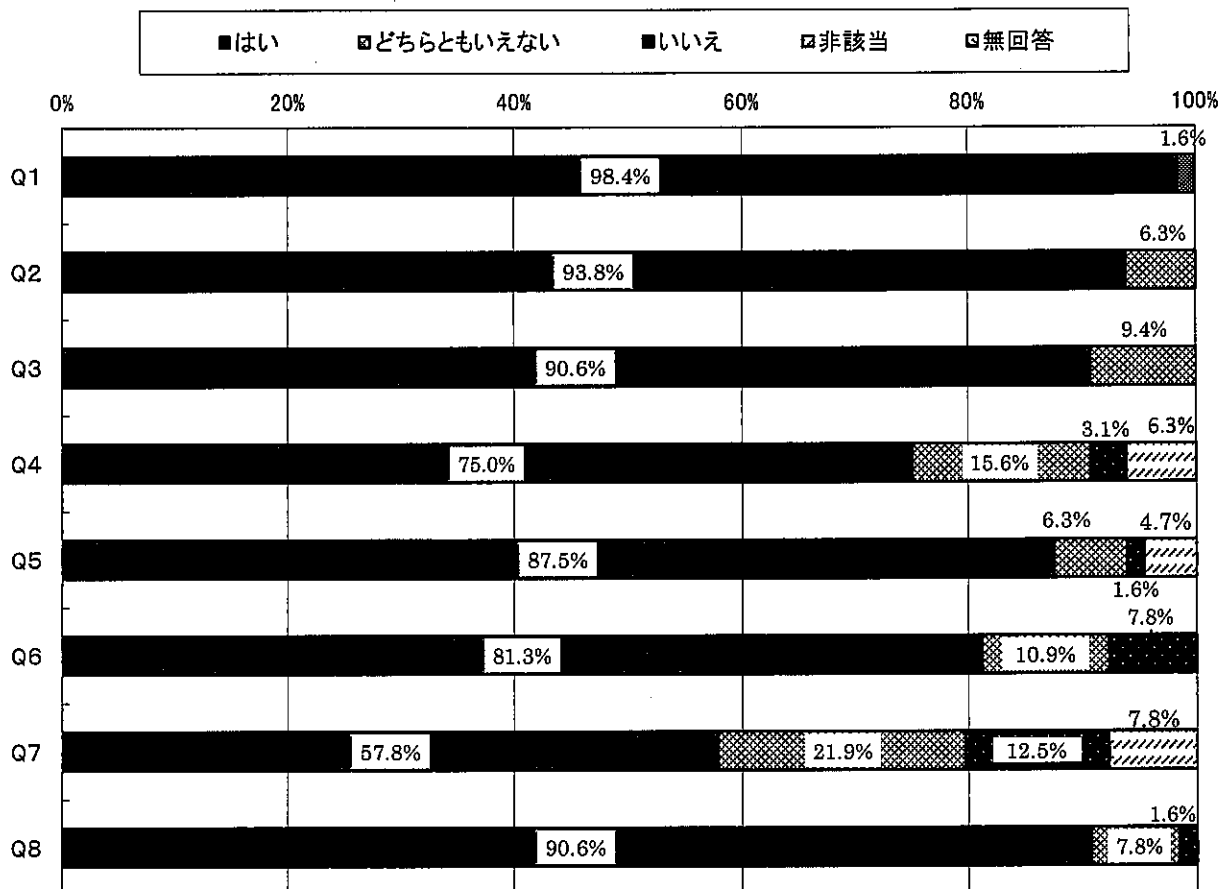


5. 久我山保育園



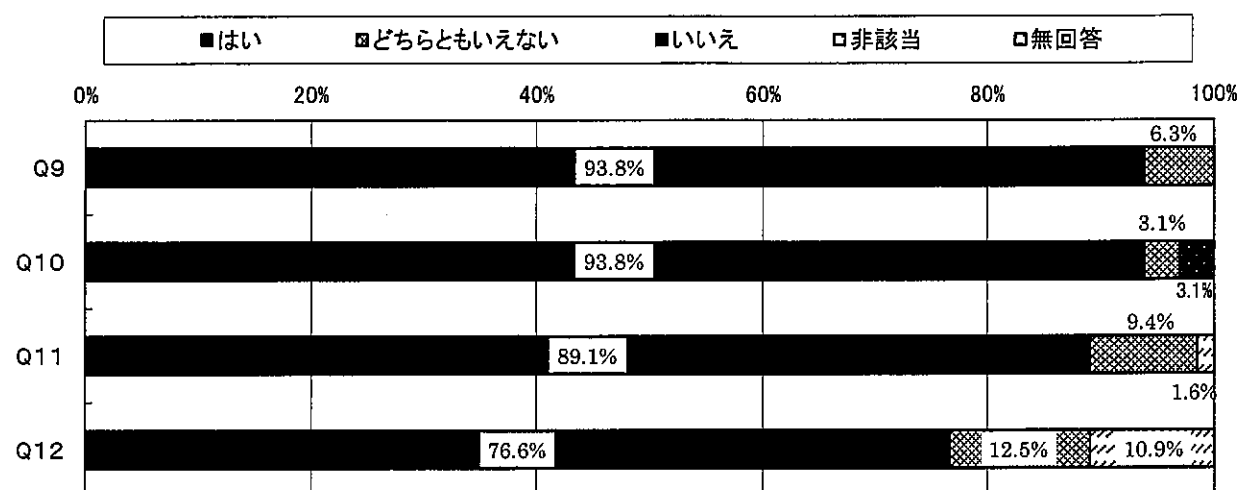
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	90.6%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	75.0%	15.6%	3.1%	6.3%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	87.5%	6.3%	1.6%	4.7%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	81.3%	10.9%	7.8%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	57.8%	21.9%	12.5%	7.8%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	90.6%	7.8%	1.6%	0.0%	0.0%



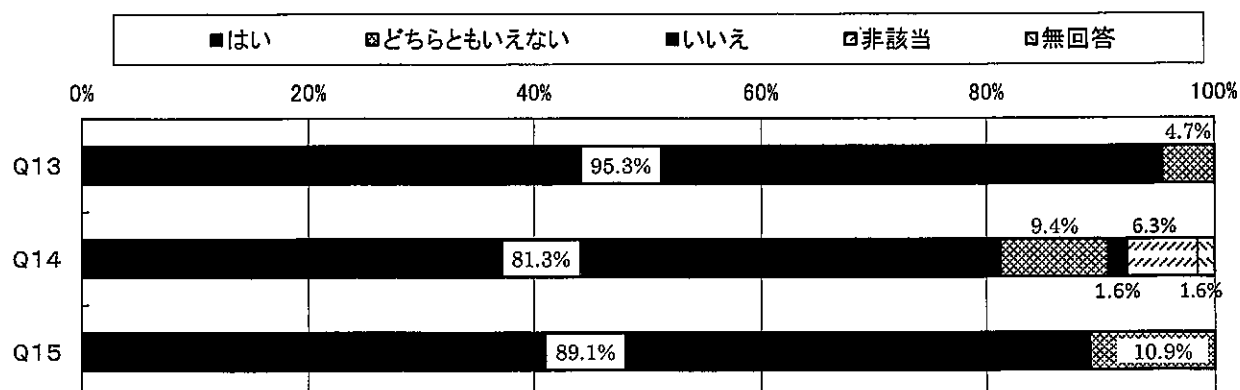
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	93.8%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	89.1%	9.4%	0.0%	1.6%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	76.6%	12.5%	0.0%	10.9%	0.0%



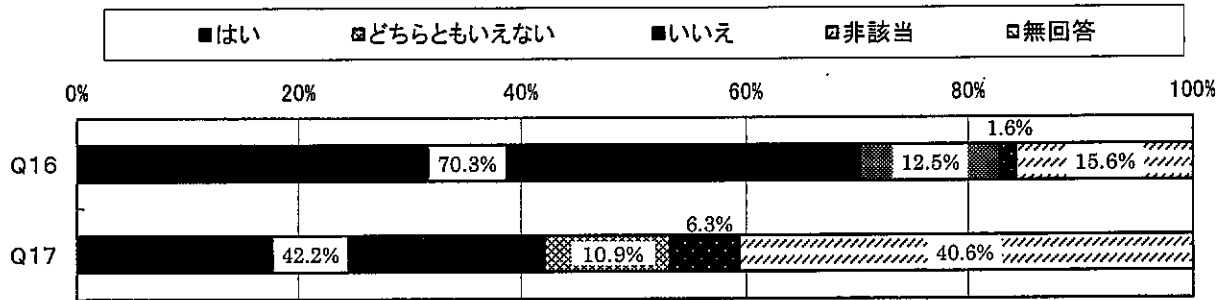
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思えますか	95.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思えますか	81.3%	9.4%	1.6%	6.3%	1.6%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思えますか	89.1%	10.9%	0.0%	0.0%	0.0%



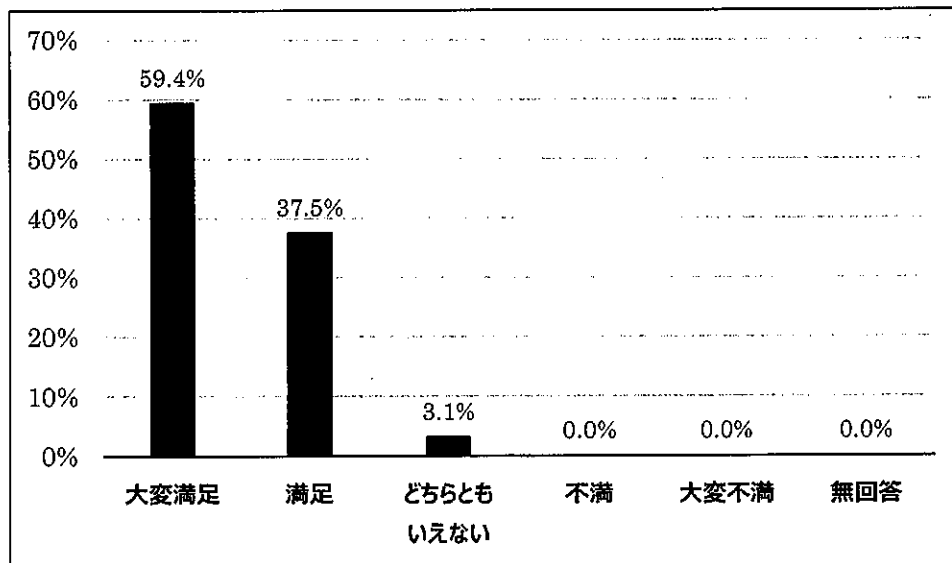
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	70.3%	12.5%	1.6%	15.6%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	42.2%	10.9%	6.3%	40.6%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	38	59.4%
満足	24	37.5%
どちらともいえない	2	3.1%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	64	100.0%

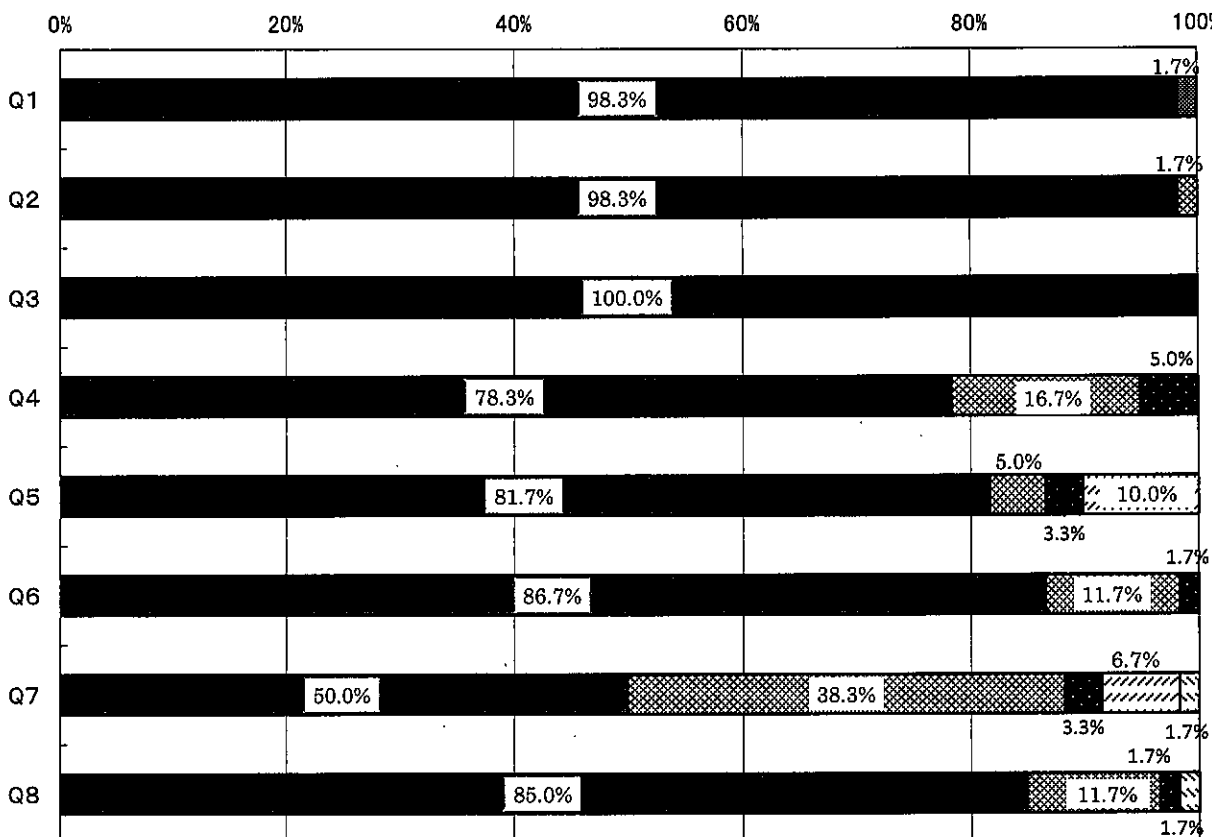
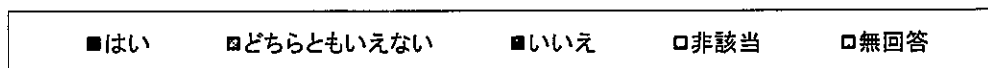


6. 浜田山保育園



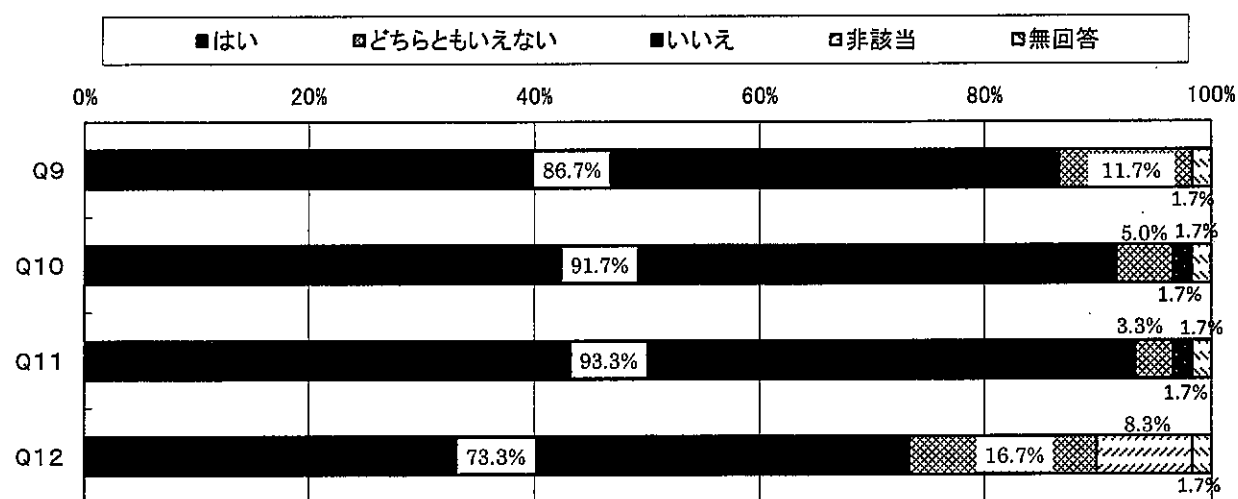
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	78.3%	16.7%	5.0%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	81.7%	5.0%	3.3%	10.0%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	86.7%	11.7%	1.7%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	50.0%	38.3%	3.3%	6.7%	1.7%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	85.0%	11.7%	1.7%	0.0%	1.7%



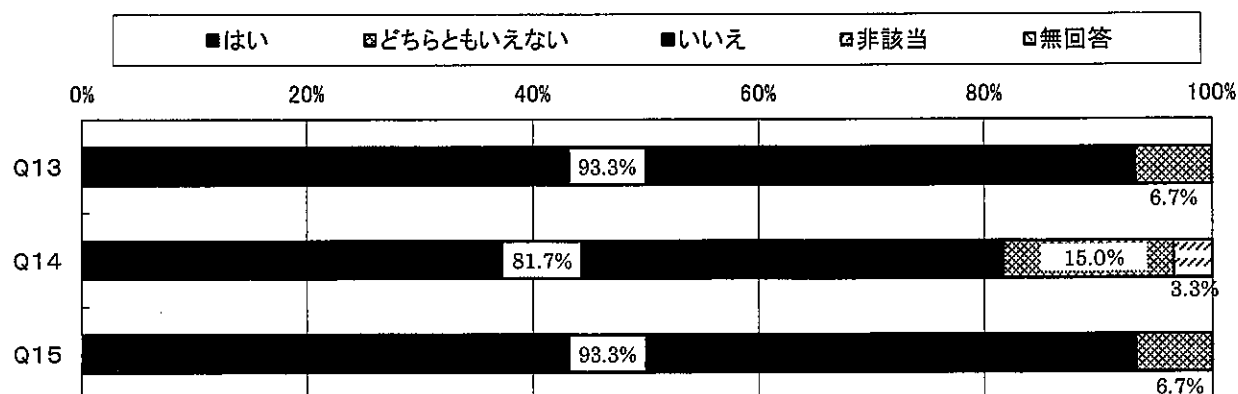
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	86.7%	11.7%	0.0%	0.0%	1.7%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	91.7%	5.0%	1.7%	0.0%	1.7%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	93.3%	3.3%	1.7%	0.0%	1.7%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	73.3%	16.7%	0.0%	8.3%	1.7%



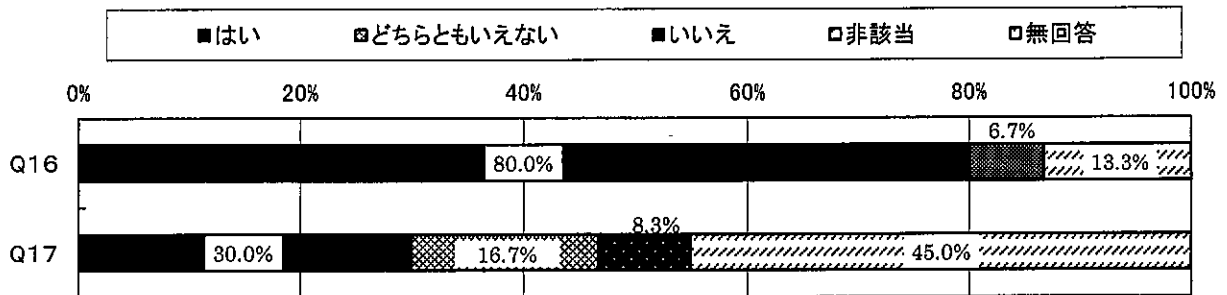
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思えますか	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思えますか	81.7%	15.0%	0.0%	3.3%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思えますか	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%



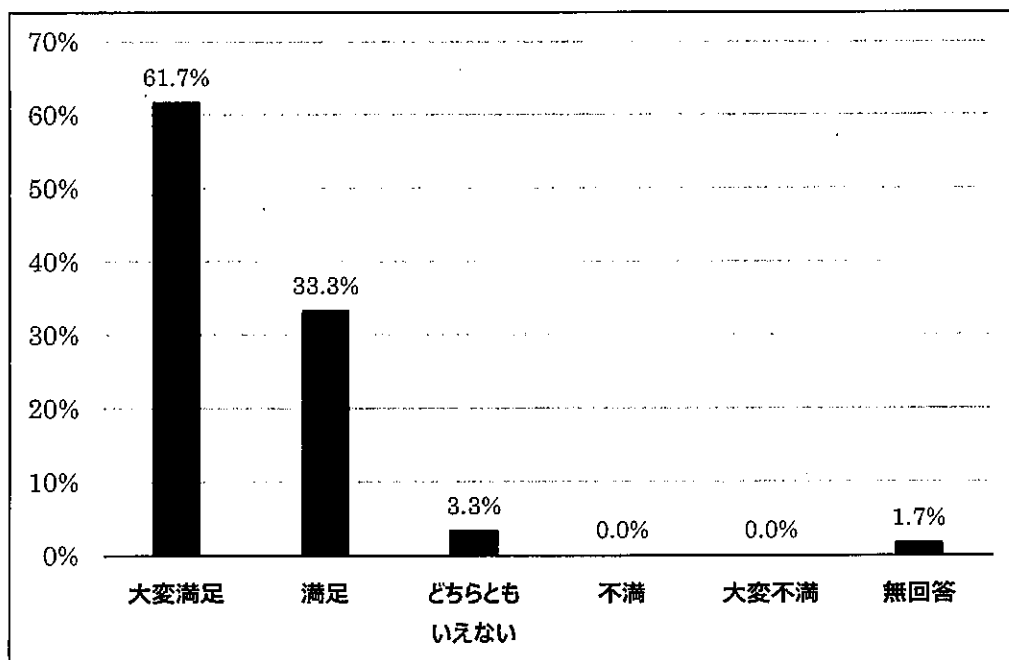
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	80.0%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	30.0%	16.7%	8.3%	45.0%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	37	61.7%
満足	20	33.3%
どちらともいえない	2	3.3%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

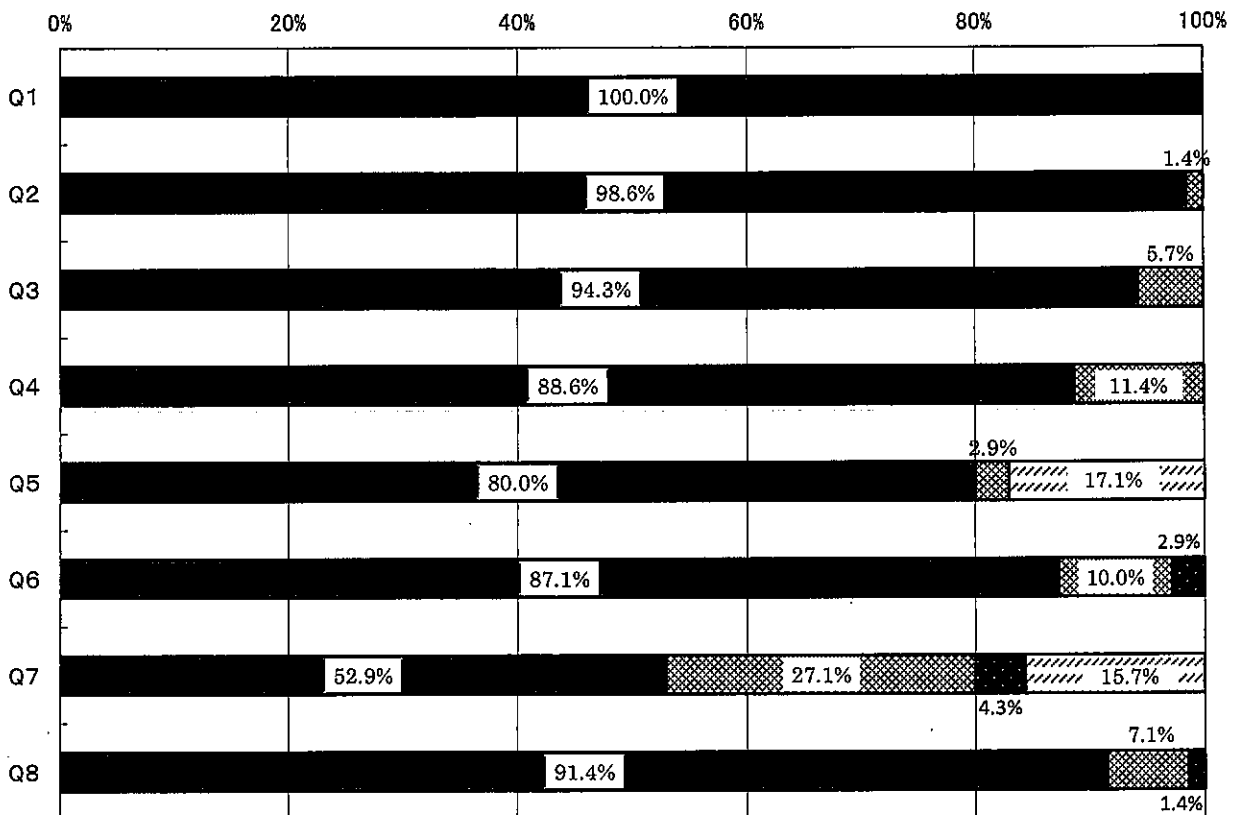


7. 今川保育園



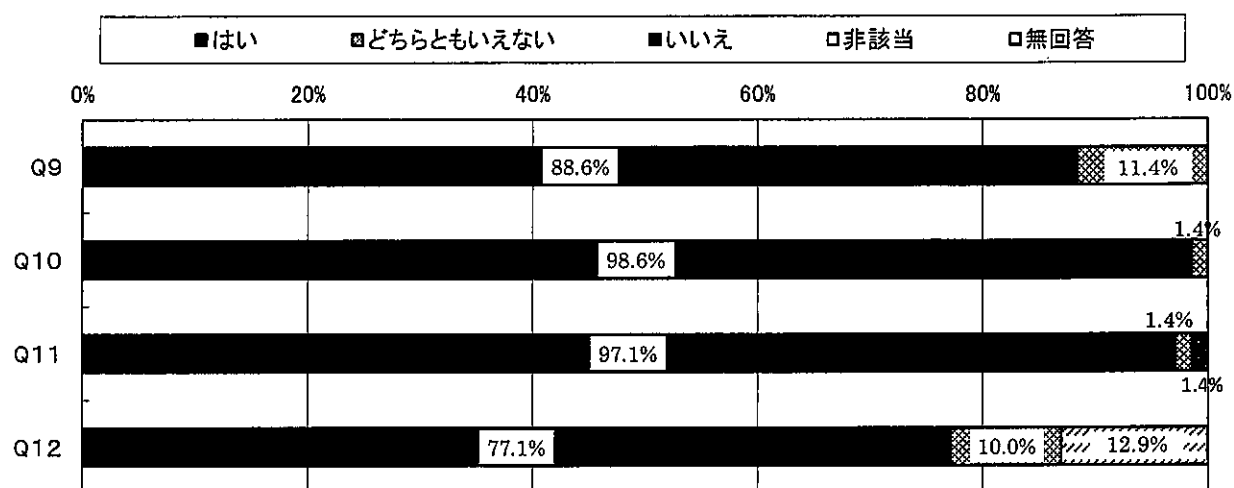
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	98.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	88.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	80.0%	2.9%	0.0%	17.1%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	87.1%	10.0%	2.9%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	52.9%	27.1%	4.3%	15.7%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	91.4%	7.1%	1.4%	0.0%	0.0%



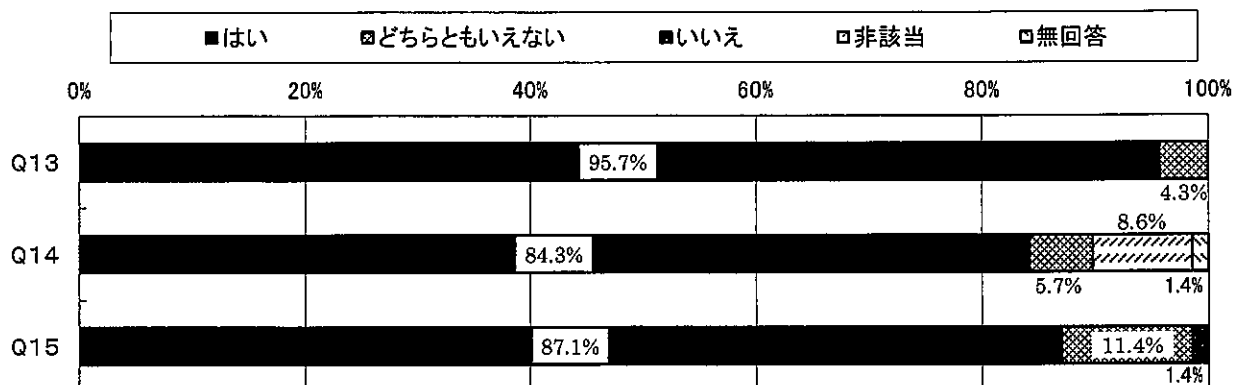
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	88.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	98.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	97.1%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	77.1%	10.0%	0.0%	12.9%	0.0%



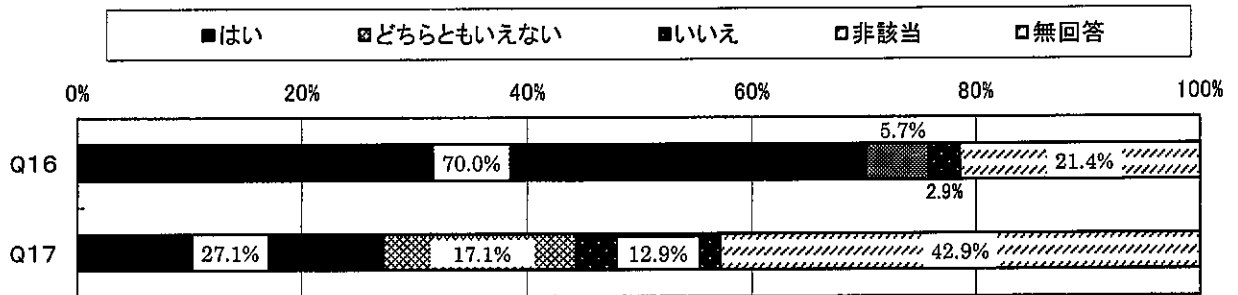
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思えますか	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思えますか	84.3%	5.7%	0.0%	8.6%	1.4%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思えますか	87.1%	11.4%	1.4%	0.0%	0.0%



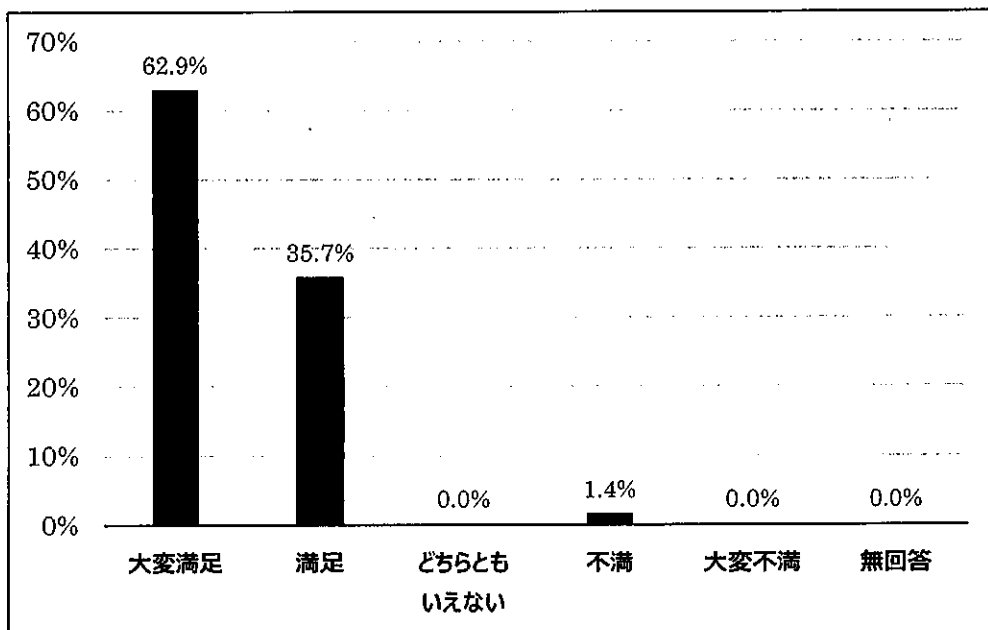
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	70.0%	5.7%	2.9%	21.4%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	27.1%	17.1%	12.9%	42.9%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	44	62.9%
満足	25	35.7%
どちらとも いえない	0	0.0%
不満	1	1.4%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	70	100.0%

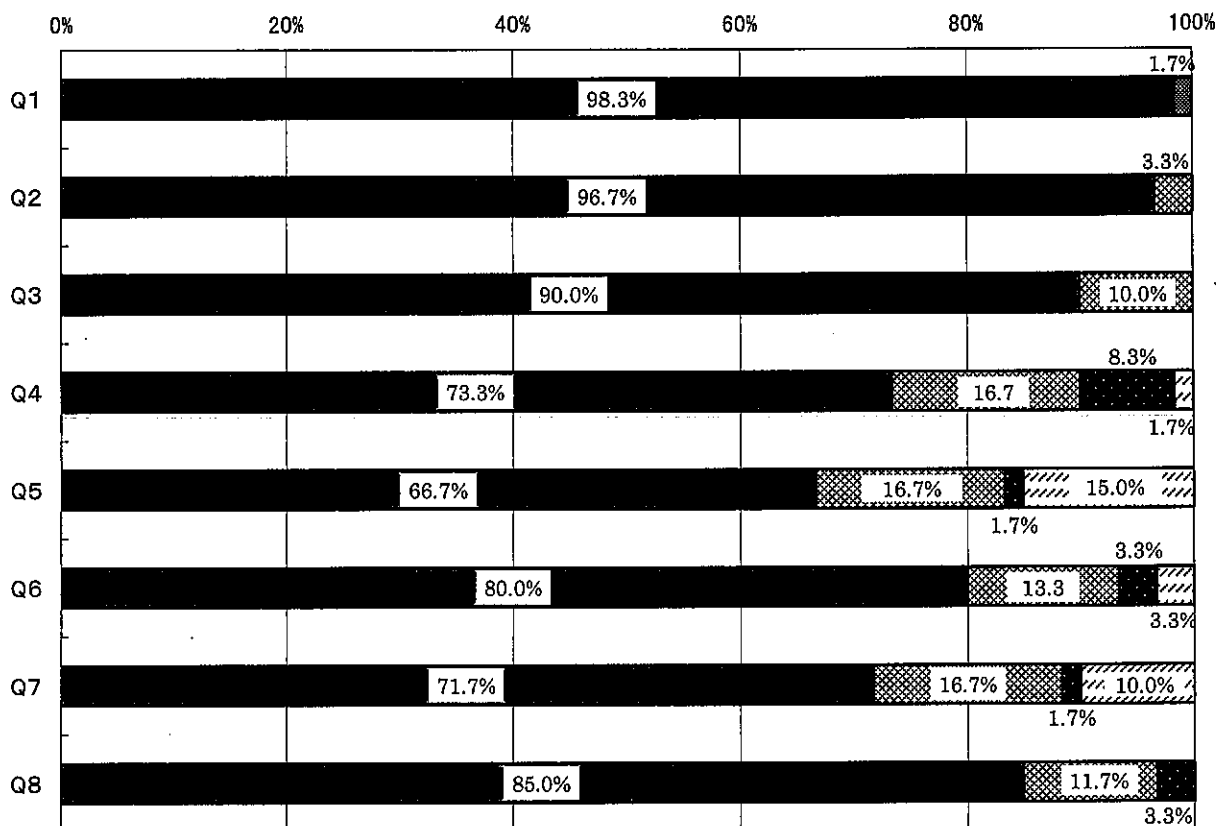
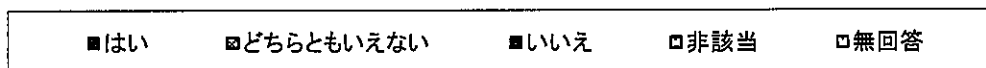


8. 四宮保育園



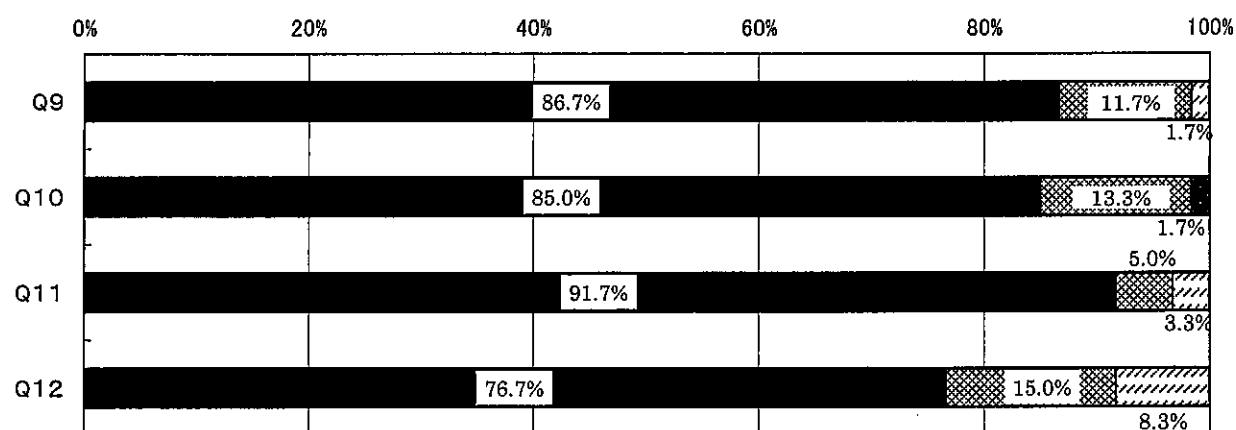
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いいない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	73.3%	16.7%	8.3%	1.7%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	66.7%	16.7%	1.7%	15.0%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	80.0%	13.3%	3.3%	3.3%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	71.7%	16.7%	1.7%	10.0%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	85.0%	11.7%	3.3%	0.0%	0.0%



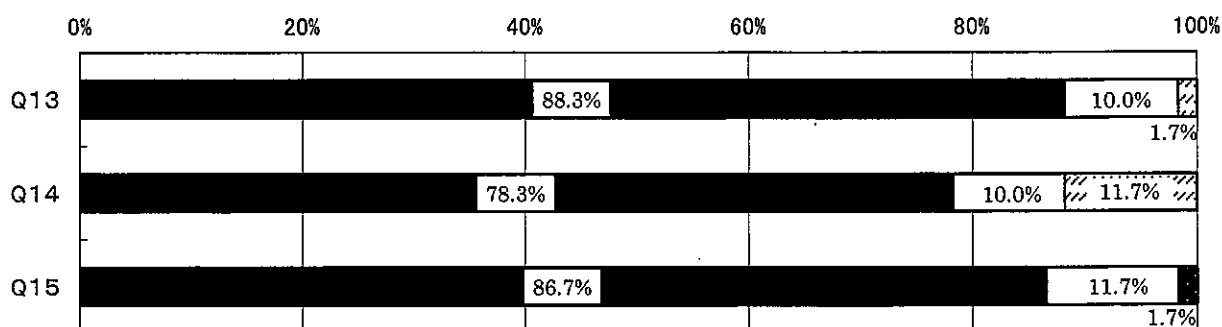
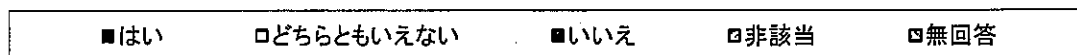
＜安心・快適性＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	86.7%	11.7%	0.0%	1.7%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	85.0%	13.3%	1.7%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	91.7%	5.0%	0.0%	3.3%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	76.7%	15.0%	0.0%	8.3%	0.0%



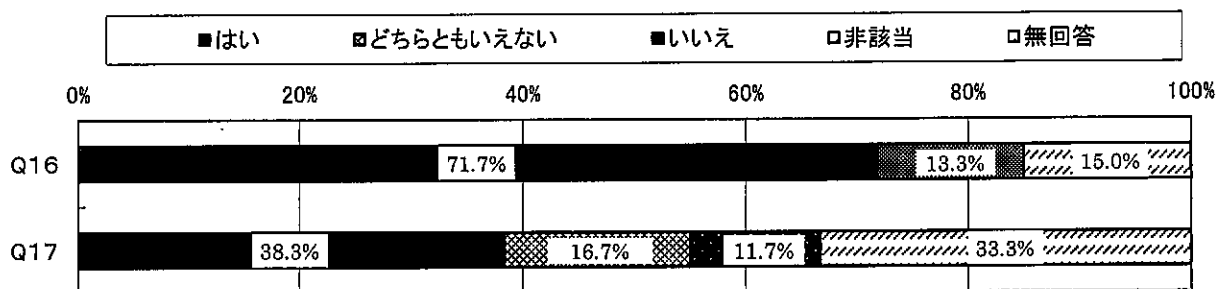
＜利用者個人の尊重＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思えますか	88.3%	10.0%	0.0%	1.7%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思えますか	78.3%	10.0%	0.0%	11.7%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思えますか	86.7%	11.7%	1.7%	0.0%	0.0%



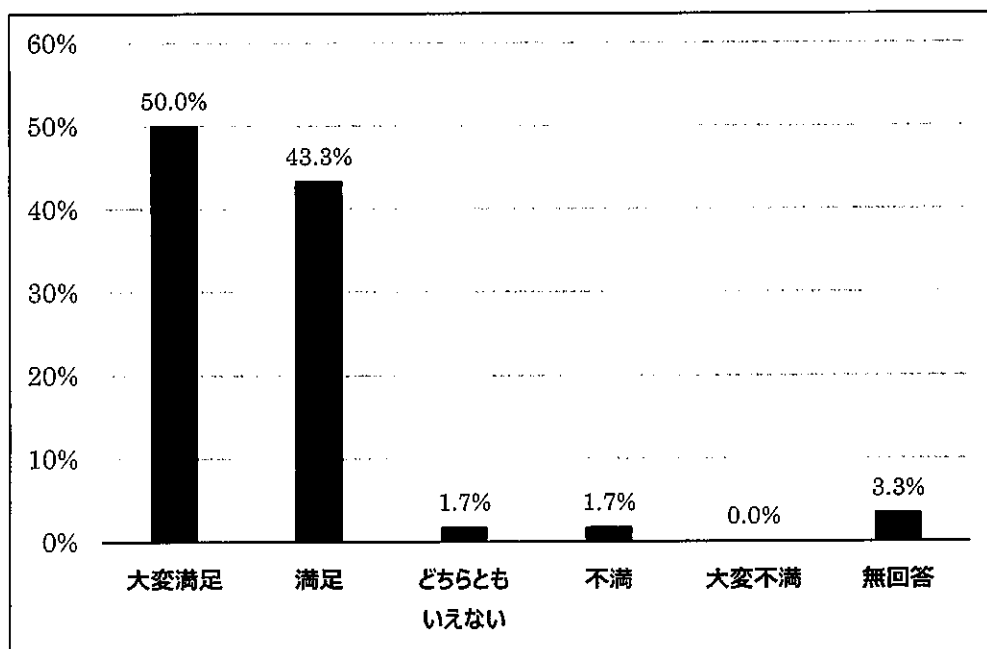
＜不満・要望への対応＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	71.7%	13.3%	0.0%	15.0%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	38.3%	16.7%	11.7%	33.3%	0.0%



＜総合的な満足度についてお聞きします＞

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	30	50.0%
満足	26	43.3%
どちらとも いえない	1	1.7%
不満	1	1.7%
大変不満	0	0.0%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%



第2部 事業評価

1. 評価の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

カテゴリー1：リーダーシップと意思決定

カテゴリー2：事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

カテゴリー3：経営における社会的責任

カテゴリー4：リスクマネジメント

カテゴリー5：職員と組織の能力向上

カテゴリー6：サービス提供のプロセス

カテゴリー7：事業所の重要課題に対する組織的な活動

(2) 評点の付け方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

評点基準 <カテゴリー1～6>	
<p>評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。</p> <p>1 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。</p> <p>2 ○及び●が混在する場合は、標準項目の順番にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。</p> <p>3 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素から除く。</p>	
標語<カテゴリー7>	
目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みと検証	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合を含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
（偶然できているのではなく、再現性がある）
- ③ その根拠が示せること
（資料等で具体的に示すことができる）

（3） 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1. 荻窪南保育園	令和3年10月	令和4年1月
2. 高井戸東保育園	令和3年10月	令和4年1月
3. 松ノ木保育園	令和3年10月	令和4年1月
4. 阿佐谷北保育園	令和3年11月	令和4年1月
5. 久我山保育園	令和3年10月	令和4年1月
6. 浜田山保育園	令和3年11月	令和4年1月
7. 今川保育園	令和3年10月	令和4年1月
8. 四宮保育園	令和3年11月	令和4年1月

2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、次の通りである。

1. 荻窪南保育園	47
2. 高井戸東保育園	72
3. 松ノ木保育園	97
4. 阿佐谷北保育園	122
5. 久我山保育園	147
3. 浜田山保育園	172
4. 今川保育園	197
5. 四宮保育園	222



1. 荻窪南保育園

調査対象	調査時点の子ども80名・68世帯を対象とした。	
調査方法	職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。	
利用者総数	80	
利用者家族総数(世帯)	68	
共通評価項目による調査対象者数	68	
共通評価項目による調査の有効回答者数	59	
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	86.8	

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父6名(10%)、母44名(75%)、父母一緒に6名(10%)、無記入3名(5%)。年齢:「20歳代」3名(5%)、「30歳代」34名(58%)、「40歳代」17名(29%)、「50歳以上」2名(3%)、無記入3名(5%)であった。

・総合的な感想は「大変満足」35名(59%)、「満足」20名(34%)、「どちらともいえない」4名(7%)であった。回答者の93%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。

・自由コメントでは、「子どもだけでなく、保護者に対しても寄り添ってくれている」「子どもは伸び伸びと過ごせている」「毎日、子どもの小さな変化にも気を配りながら保育を行ってくれている。安心して子どもを預けることができている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「園庭にあるタイヤやマット、フープなどの遊び道具はシンプルだが、子どもの想像力やバランス感覚を育てている」「家や家族にはない刺激が沢山あり、子どもがとても成長していると感じる」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	56	2	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「子どもが興味・関心を持っているものに対して活動していることが、連絡ノートを通じて見えやすくなっている」「子どもたちの意見を聞きながら、活動の内容を決めていくなど工夫されている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	55	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「普段は勿論のこと、イベントのときの食事内容は大人も楽しみになる」「旬の食材を食べやすく調理されている」「好き嫌いのある子だったが、ずいぶん食べられるようになった」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	13	4	0
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、戸外遊びや行事などに関して概ね満足を得ている。「泥や虫に触れるなど、日常ではなかなかできないことをしてくれているのでうれしい」「園庭が広く、また、野菜や植物などを育てるなど色々な体験をさせてくれている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	46	6	2	5
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「スポット保育を18時までに申し込めば対応してくれる」「(私自身は)利用時間の変更はまだしたことがないが、お休みや早退をする際には急であっても配慮してくれると思う」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	50	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「保育士の人数が多く、子ども一人ひとりに関わられていると感じる」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	17	0	4
「はい」と返答した方々は回答者の64%、「どちらともいえない」29%、「非該当」7%であった。「コロナ禍でも工夫してくれているのでありがたい」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	52	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「連絡帳に書いたことに答えてくれるので助かっている」「日々の連絡ノートに(子どもの様子を)わかりやすく書いてくれている」「先生との関係が築きやすい。日々のことについては、お迎えのときに伝えてくれる」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	53	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「建物の古さはあるが、掃除が行き届いている」「園庭の落ち葉などは朝のうちにきれいに掃除してある」「施設は古いが清潔にしているので安心できる」「お迎えの時間に遊具などを消毒している姿を見かけており、掃除などもしっかりとおこなわれていると思う」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	58	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「親しみやすい先生ばかりで安心している」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	56	2	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「小さな傷ができたときにも報告してくれた」「看護師からの説明もあるので安心して」「保育士と看護師が連携していると思う」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	43	8	2	6
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「まだ、(子ども同士の)トラブルの話は聞いたことがないが、先生を信頼している」「(自分の気持ちを)友だちに伝えるためにはどうしたらいいか、と、将来のいじめ防止につながるような話もしてくれている」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	56	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子どもへの声かけなどがとても勉強になる」「子どもの主張を受け止める声かけをしてくれている」「子どもがどんなことを言っていたか、その場の雰囲気なども伝えてくれる」「子どもの気持ちに寄り添い、時にはしっかりと背中を押してくれる」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	4	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。「プライバシーに関わることについては話さないでくれるので問題ない」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	55	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「連絡ノートに詳しく記入してくれている。また、こちらから聞くと、詳しく教えてくれる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	44	5	3	7
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「要望したことに関して、丁寧に対応してくれている。また、報告もしてくれるので安心して」「忙しい中でも、こちらのお話を丁寧に聞いてくれたことがある」「以前に伝えたことがあるが、その日のうちに対応してくれた」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	24	6	8	21
「はい」と返答した方々は回答者の40%、「どちらともいえない」10%、「いいえ」14%、「非該当」36%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	○非該当	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
	○非該当	
	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
	○非該当	
	○非該当	
	○非該当	
カテゴリー1の講評		
指導計画検討にあたっては、理念・目標に立ち戻り、共通理解を深めている 指導計画検討にあたっては、保育目標・保育理念などに立ち戻り・確認し、保育にあたって大切にすべきことなどについて共通理解を深めている。また、「係の目標シート」に記入した該当年度の組織目標について、中間・年度末に振り返り(評価)をし、職員一丸となって組織目標の達成に取り組んでいる。保護者に対しては、入園説明会や保護者会等で園が大切にしていることを説明している。そのほか、園の重要事項は、お知らせを配布したり、掲示したりして、保護者に周知している。		
園長、主査、保育向上リーダー2名を中心に保育の質向上に積極的に取り組んでいる 園長、主査、保育向上リーダー2名が当園の4本柱となり、保育の質向上に積極的に取り組んでいる。保育向上リーダーは区主催の「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、自園の取り組みの中で抑えておくべき重要ポイントを確認している。園長や主査は積極的に保育に加わり、子どもや職員の様子を見守るとともに、保育の質を組織的に高めるためリーダーシップを発揮している。		
園の問題課題については職員会議などで丁寧な合意形成を図っている 園の問題課題については、定例会議や職員会議で丁寧な合意形成を図っている。職員会議(月1回)は、年間指導計画の反省、行事・係の反省、保育の年間反省、園内研修など、定例会議(週1回)は園長会の報告、ヒヤリハットや事故報告の共有、プロジェクトからの提案・検討事項、子どもに関わる情報の確認などを議事内容としている。そのほか、毎日、昼ミーティングを実施し、子どもの状況や保護者からの連絡事項、職員体制・アレルギー献立などについて情報共有している。		

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>園だよりや運動会などにおいて、保護者の意見や感想を反映している</p> <p>行事実施後のアンケートで保護者の意見・要望を把握し、園だよりなどでフィードバックしている。園だよりで特集記事を組むときは、保護者の意見を募り、保護者のニーズに合った内容となるようにしている。運動会の実施後に保護者の感想や意見を募り、保護者も満足できるように次年度に活かしている。前年度の運動会でのアンケートは、「新型コロナ禍の中で開催してもらってよかった」など、運動会開催への肯定的な意見が占めていた。今年度も、感染対策に配慮しながら、前年度の保護者の意見を踏まえ、園庭で3クラス別々に運動会を実施した。</p> <p>地域懇談会や地域子育てネットワークに参画し、地域ニーズを収集している</p> <p>地域子育てネットワークに参加し、地域の子育てニーズについて情報交換している。また、杉並区を7つの地域に分け、地域内の各保育所が集まる地域懇談会に参画し、人材育成や保育の実践、環境面における職員間の交流などについて話し合っている。他公立保育園と合同で、栄養士が離乳食、看護師が衛生管理について話をする機会を設けた。また、区立園長会では区保育課より、園運営に関するさまざまな情報が伝達され、園長は自園に必要な情報を職員に伝達し、園運営に活かしている。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、中間に進捗状況を確認している</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-3の講評

職員相互に気づいたことを伝え合うことを目指し、より良い保育につなげている
 年間指導計画の作成・反省時に「危機管理マニュアル」「杉並区立保育園保育実践方針」「保育実践の手引き」を読み直し、振り返りのポイントして活用している。「杉並区立保育園保育実践方針」は嘱託職員も含めて全職員に、「保育実践の手引き」は正規職員に配布している。会計年度任用職員の採用面接時に保育にあたって留意してほしいことなどを説明している。気になることや、気づいたことは互いに伝えられるよう、日々の職員間のコミュニケーションを重視している。

意見箱と意見を記入する用紙に玄関に置き、保護者が意見を投函できるようにしている
 「重要なお知らせ」に苦情・要望等の相談窓口について明記し、入園説明会の際、保護者に周知している。玄関に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示している。意見箱と意見を記入する用紙に玄関に置き、いつでも自由に保護者が意見を投函できるようにしている。毎日、投函状況を確認している。前年度、1件の投函があり、夏のアルバイトに対して「挨拶がない」ことへの不満だった。口頭または連絡帳で寄せられた意見に関しては個別に対応している。

保育資格取得の実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している
 実習生、ボランティア受け入れマニュアルを用意し、円滑な受け入れ体制を整えている。新型コロナ禍により、前年度・今年度、ボランティアの受け入れはない。中学生の職場体験も受け入れていない。前年度、保育資格取得の実習生や東京都子育て支援員研修を受け入れている。年2回以上、子育てプラザの核になる施設と小学校が連携し、ハービーフェスティバルなどの行事・イベントに当園も参加し、乳幼児と一緒に遊ぶなどしてきた。今年度はオリエンテーリングにして、内容を替えて開催し、当園も協力した。

カテゴリ-4

4	リスクマネジメント	
		サブカテゴリ-1(4-1)
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況 5/5

評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリ-4の講評		
<p>環境プロジェクトの担当者が園庭を確認し、安心して遊べる環境がどうか確認している</p> <p>危機管理マニュアル、保健マニュアル、園の業務マニュアルなどにより、リスクに対して迅速に対応できるようにしている。区の災害時子ども安全連絡網などにて、保護者にすぐに情報提供できるようにしている。軽微なリスクはヒヤリハットの様式に記載し、昼ミーティングで共有している。事故発生時は、当日の定例会議で報告書を共有し、原因と対策を確認している。各保育室の破損や棚の上の物の置き方は危険でないかどうか目視で確認している。環境プロジェクトの担当者が園庭を確認し、毎週土曜日に砂おこしをし、安心して遊べる環境を確認している。</p> <p>毎月1回の避難訓練、年3回の防犯訓練を実施し、安全確保に取り組んでいる</p> <p>感染対策として、マスク着用、手洗いうがい、手指消毒の徹底に取り組んでいる。区保育課や医療会(看護師の連絡会)などからの新型コロナウイルス感染症に関する情報を職員に周知し、当園でできる感染対策を検討・実施している。また、「年間避難訓練実施計画」を作成し、訓練目標を明確にし、計画に沿って月1回の避難訓練を実施している。実施後は、反省記録を作成し、定例会議で報告・反省をしている。また、防犯訓練も年3回実施している。非常通報装置やさすまたの使用方法、日常用品での護身方法などを学んでいる。</p> <p>個人情報は、日常的に施錠して管理し、持ち出し・返却時も記録している</p> <p>杉並区の個人情報保護条例、情報公開条例、情報セキュリティ基本方針、区保育課作成の「情報セキュリティ実施手順」などに基づいて情報の運用・管理している。個人情報は、日常的に施錠して管理している。個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、持ち出しの際は、記録簿を使って、園長または主査に声をかけたうえで持ち出し・返却しており、情報の漏れがないようにしている。個人情報の取り扱いについて「重要なお知らせ」に明記し、入園説明会の際に保護者に周知している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p> 園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って面談し、能力向上につなげている 正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で人事異動基準を定めており、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施し、能力開発の機会としている。また、園内でのクラス担任を決める際は、職員個々の希望を把握し、希望を尊重しながら、全体のバランスに配慮し、決定している。 </p> <p> 月2回、保育の振り返りを記載し、クラスで話し合い、職員の資質向上につなげている 区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などにより、職員の資質向上に取り組んでいる。研修案内が届いた際は、随時、職員へ周知し、希望を反映したり、指名により研修派遣している。受講後はレポートの提出に加え、定例会議などで報告し、職員間で共有している。園内において前年度は子どもとの関わりなどの振り返りを記録し、職員間で意見を出し合うことで、振り返りの重要性を共通認識とした。今年度は月2回、職員個々が振り返りを作成し、各クラスで話し合うことで、職員の資質向上につなげている。 </p> <p> 職員が福利厚生制度を活用できるよう、仕事の効率化を課題としている 必要な職員は配置されているが、研修や休暇などの出張により、職員が減ったときの体制確保の厳しさから、福利厚生制度を活用している職員は多くなく、職員が福利厚生制度を活用できる仕組み作りが必要と幹部層は考えている。そのため、仕事の優先準備を見極め、効率的に進められるよう、職員個々が意識を持って職場全体での連携に取り組んでいる。また、事務の効率化を課題と捉え、事務作業の効率化を図るために、仕事の見える化に取り組み、実践している。 </p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「保育の向上と継承のために、職員間で保育の話をする機会を多く持つ」ことを前年度の重要課題とし、次の取り組みを実施した。①年7回、事例討議を実施した。事例を掲示し、他の人がコメントを入れ、さまざまな意見を出し合い、問題の整理をして、自分だけでは解決できなかった問題の解決法を明らかにしたり、同じ気持ちの人がいることを知り、不安が軽減された。全く異なる考え方に会い、視野を広げることができた。②継承したいこと、確認したいことなどについて、テーマに挙げて話し合った。コロナの自粛で休園で気づいたこと、リズム遊びでの動きのねらい、動かし方のポイント、発達年齢からみる適切な当園としての方向性を決めた。③食育について話し合い、食具や環境、子どもの興味や関心を育てながら食の幅を広げることに取り組んだ。これらの取り組みは、次年度も継続することになっている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

継続的な振り返り事例検討をおこなうことで、保育を考えるきっかけや学びを深めている。また、職員同士の相互理解が高まり、一人で考えるよりも大きな効果が生み出されている。職員アンケートでも、「保育の向上と継承のためには、職員間で保育の話をする機会を多くもつことが必要であるということを確認できた」「前年度は保育や子どもとの関わりの振り返りを記録し、職員間で意見を出し合う取り組みをおこなったことで、振り返りの重要性を職員間で共通認識することができた」などのコメントが寄せられた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「障害児指定園としての学びをさらに深める」ことを重点目標とし、次の取り組みを実施した。園内研修で学んだことを実践し、経過や変化について報告し合い、保育の話を深めるきっかけにした。研修には職員個々が積極的に参加し、学んだことが園内で共有できるよう、研修直後に報告会を実施した。障害児保育に関する園内研修は、外部講師(発達臨床心理士)による「インクルーシブ保育」をテーマに実施した。特性ある子どもへの理解を深め、クラスの中でどのように育ち合いを支援していくのかを学んだ。前年度の園内研修は、新型コロナ禍により、自園の職員だけでおこなった。巡回相談でのアドバイスを日々の保育に活かし、カリキュラム検討で実践報告をおこなった。研修報告をおこない、共有し、学びとなった。次年度も、園内研修、巡回相談、実務研修、カリキュラム検討、職員会議を運動させ、学びを深めていくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度の「インクルーシブ保育」に参加した職員の研修報告では、「発達が理解できた。援助に活かすことができる」「その子どもが拒否などをして、強い感情を出したとき、その子どもが誤学習しないよう、適切な関わりをしていくこと」などを学んでいる。今年度も障害児指定園として、園内研修を実施し、障害の特性を学び、事例検討により個別のケースへの理解を深め、スキル向上につなげている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区のホームページや発行している冊子、MAPなどで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供し、住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、保育園の特長、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見ることができる。その他、門外の自転車置き場付近のフェンスに、地域の人向けの子育て支援の案内を掲示したり、散歩先で出会った親子に園庭開放などのチラシを配布して声掛けしたりしていたが、現在は取り外し中止している。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関などと情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課には延長保育利用児数や朝夕保育園児数などさまざまな報告をして連携している。月2回の園長会では行政からの情報ももらい、課題検討などを行っている。主査会や医療会などにも参加している。中核園事業の集まりで地域の保育施設同士、園長の地域懇談会や保育士の交流などがあり、保育の質向上に向けて取り組んでいる。児童館を中心とした地域ネットワークの取り組みでは、小・中学校や保健所、民生委員などとの情報交換をしている。子ども発達センターなどの関係機関との情報交換もしている。</p> <p>見学者には施設内を案内し、子どもの遊んでいる様子を見てもらっている</p> <p>見学日は年間計画を立て実施し、1日に9時30分と11時の2回、1回につき5組までとして受け入れている。見学希望者の日程が合わない場合には、調整して受け入れている。コロナ禍であり、大人は1家族1名で、検温をお願いしている。園の概要プリントを配付して、子どもたちが遊んでいる様子を見もらえるように、園長や主査が施設の案内をしている。園の特長として、園庭が広いことや乳児園庭も別々にあり、のびのび遊べること、近隣には農業公園や都立善福寺川緑地公園があり、戸外遊びに適した日には散歩に出掛けて遊んでいることを伝えている。</p>		

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 6/6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

入園説明会を実施して、重要事項や基本的な園生活のルールなどを説明している
4月入園内定者には、2月中旬頃に園医による健康診断と園長や保育士等による入園面接を実施している。入園説明会は3月中旬頃に開催して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「荻窪南保育園のしおり」を基に、園長・主査が園概要、開所時間と保育時間、緊急時の対応、個人情報取り扱い、苦情や要望の窓口、保育目標、児童定員、障害児保育について、お願い事項、保護者との情報共有などを説明し、看護師が健康管理について話し、説明内容についての同意書ももらっている。

子どもや保護者の状況に応じて入園当初の慣れ保育を実施している
入園当初の慣れ保育はおおよそ1週間程度を予定しているが、入園面接時に保護者の就労や子どもの状況などを聴き取り、個別対応をしている。集団保育が初めての場合は、子どもの様子をみながら進めたり、育児休業中でゆっくり進めたい希望の場合には時間をかけて進めるなど、個々の状況に応じて対応している。保護者にわかりやすいように、初日の登園時間や持ち物、流れなどを書いた文書を送り、安心してもらえるようにしている。登園初日の昼食時には、保護者の都合がつけば、食事の様子を見てもらいながら食べさせてもらっている。

卒園や転園、退園などには子どもや保護者の不安軽減に配慮している
引っ越し等で退園する場合には、これまで残っているその子どもの作品を綴って渡したり、クラスでお別れ会をしたりしている。卒園児の就学先へ「保育所児童保育要録」の写しを送付し、学校からの問い合わせなどにも応じている。保護者には保護者会で学校への情報提供について伝えている。卒園した小学1年生は園行事の夏祭りや運動会に招待しているが、コロナ禍のために招待を中止しているので、招待できない旨の葉書を送付している。

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリー3の講評			
子どもの心身や生活の状況を保育日誌や児童票など、所定の用紙に記録している 入園時の面接で、提出してもらった児童健康調査表、入園までの生活状況などを基に、家族構成や発育状況、健康面などを聴き取り、追記して把握している。入園後は毎日1・2歳児は複写式連絡帳で、食事や排せつ、睡眠、検温などの健康状態、子どもの様子などを把握し、3～5歳児は登園時に保護者に口頭で聴き取り、参考にして保育をしている。毎日検温票を記入して持参してもらっている。保育中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌などに記載し、児童票には1歳児は毎月、2歳児は2か月ごと、3歳児から3か月ごと発達状況を記載している。			
指導計画は子どもの様子やクラスの状況を振り返り、次の計画を作成している 園の全体的な計画やクラス毎の年間指導計画を基にして、月間指導計画(月案)や全クラスで週案を作成している。月案や週案はクラスの担任同士でクラスの様子や子どもたちの状況を振り返り、話し合っ、ねらいや具体的な活動内容を書き込み作成している。1・2歳児は毎月子どもの個別計画を、3～5歳児は必要な子どもの個別配慮点を書き入れて作成している。年間指導計画は前期保護者会で配付して説明している。幼児の週案は当日の活動の様子を書いている貼りだし日誌の掲示場所と同じ場所に掲示して見てもらっている。			
子どもに関する情報の共有のためにカリキュラム会議や各種会議を開催している 毎月、カリキュラム会議を2回実施して、各クラスの月案を発表・討議し職員間で共有している。その他、子どもに関する情報共有のために、定例打合せを週1回昼間に、夜会議を月1回夕方から開催して、行事の検討や研修報告、乳・幼児打ち合わせの報告、事務連絡などを行っている。毎日、13時45分から、各クラス代表者が参加して昼ミーティングを実施し、午前中の保育、明日の職員体制、行事、アレルギー食、ヒヤリハットや怪我・事故などの報告、子どもに関する情報提供をし、参加できない職員はクラスで報告を受けたり、記録を見たりしている。			

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリ-5の講評

個人情報適切に取り扱い、子どもの羞恥心にも配慮している

「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」で個人情報の取り扱いについて説明している。写真やビデオの取り扱いと園での薬の塗布について、保護者の同意を得ている。療育機関への同行を依頼する際は保護者に了解を得てからしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えやおもらしの着替えは仕切りを使用し、通常の着替えの際もカーテンを閉めて外から見えないようにしている。プールやシャワー時には遮光ネットやすだれなどで目隠しをして、外部からは見えないようにし、バスタオルで身体を覆うように伝えている。

子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりを尊重している

運動遊びなどの集団遊びをする際に、気持ちが乗らない、やりたくないような時には、「どうする?」「みる?」など、本人の気持ちを聴き意思を確認して寄り添うようにしている。食事の際にも、いらぬ時には「いらぬ」と言うように伝えている。大人が強制するのではなく、子どもの気持ちを聴きだすような対応をしている。めげたり、気持ちの立て直しに時間がかかり、みんなと一緒に行動がとれないような時、例えば、散歩、園庭遊びなどに行きたくないような時には、職員間で連携して、園に残る子どもを見てもらうなどの対応をしている。

子どもの様子や言動などに注意を払い、虐待の予防や早期発見に努めている

虐待関係の集合研修に園長が出席し園内で報告している。都や区からの虐待防止関係のポスターやパンフレットなどは掲示したり、職員に回覧したりしている。虐待防止マニュアルも回覧して、早期発見までのフローチャートも説明している。子ども家庭支援センターや保健所と連携する案件がある場合には、連携して対応し、職員会議で事例について周知している。職員は日頃から子どもの身体の傷や傷跡、言動などに注意を払っており、少しでも気になることがあれば園長に報告することにして、虐待の予防や早期発見・対応に努めている。

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映している	○非該当	
サブカテゴリー6の講評			
区立保育園共通や園独自のマニュアル類を整備して、活用している 「杉並区立保育園保育実践方針」に基づいて、保育をしている。区立保育園共通マニュアルとして、「危機管理」、「保健」などのマニュアルを整備している。園独自の「園運営マニュアル」を作成し、業務分担や仕事内容、役割分担などを明示し、園庭及び室内遊びの確認事項、散歩に関する確認事項、散歩時の緊急マニュアル、パート職員の仕事分担などを綴じ、各自持ちにしていつでも確認することができるようにしている。戸締りについては最終退番のチェック表を使用して、漏れがないようにしている。			
園運営マニュアルは年度末に確認し、必要に応じた見直しをしている 区立園共通のマニュアルは、各検討会や医療会などで検討して見直している。園独自の「園運営マニュアル」は年度末に項目ごと確認して、必要に応じた見直しをしている。例えば、職員の役割分担や園庭遊び及び室内遊びの確認事項、パート職員の仕事分担など、人が変わった子ども遊びの様子が変化したり、仕事の手順を変更した時などには、見直し、職員間で認識にばらつきがないようにしている。			
業務の効率化を図ったり、子どもの遊びが豊かになるための工夫や見直しをしている 職員の仕事の効率化を図るために、「して欲しいこと」を見える化することで、フリーの職員に何をしたいかがわかりやすくなり、仕事の状況も見えやすくなった。子どもたちの園庭遊びを、創造的な遊びができるようにしようとのねらいを基に、板を導入することにした。初めて導入する際には、保育士が使ってみてから、子どもたちに提供することにした。置いておき、どのように使うか様子を見ながら、こんな風にも使えるよなどと、さりげなく言ってみるなどして、子どもたちが気づくようにする導入方法にしたところ、遊びが広がってきている。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で選んだものでじっくり遊べる環境作りをしている</p> <p>1・2歳児保育室は、生活と遊びの場所を棚や柵などで仕切り、遊ぶ場所は動的遊び、ままごと・世話遊び、手先遊び・構成遊びなどのコーナーに分けている。子どもの年齢発達や興味関心に合わせた玩具類を自分で選べる環境設定にして、少人数のグループに分かれて保育をしている。幼児クラスでも木製積み木やままごと、絵本、机上遊びなどのコーナーを設置して、子どもが自分で選びじっくり遊べる保育室にしている。園庭では固定遊具の他、マルチパーツ、風呂マット、タイヤ、スノコ、牛乳ケースなどの可動遊具を用意し、子どもが組み立てて遊んでいる。</p> <p>自然な異年齢交流などで、一人ひとりが尊重される存在であることを知らせている</p> <p>コロナ禍のため、密を避けたクラス保育をしている関係上、意図的な異年齢交流は少なくなっているが、日常の園庭遊びでは年上の子どもの遊びを真似て遊んだり、声を掛けてもらったり、手をつないだりする自然な交流の姿がある。また、幼児クラスのおまつりごっこや運動会に向けた取り組みの様子を観ることで、1・2歳児も楽しくなり憧れるなど、刺激になっている。一人ひとり違いがあること、尊重される存在であることを大人が率先して行動で示しながら、年齢に合った言葉で伝えている。</p> <p>子どもの特性に合わせて援助し、友だちと過ごす楽しさが感じられるようにしている</p> <p>障害児指定園であり、園内研修で障害の特性や事例ケース検討をするなどして職員間で学び合い、区の巡回指導や関係療育機関などと連携して情報を得たり保育のヒントをもらっている。認定児の特性に合わせて、わかる言葉やサイン、絵カード、写真などで次の行動などを伝え、クラスの子どもと一緒に過ごして行動できるように、必要な個別援助をしている。子ども同士のかかわりが見られる時には見守り、必要に応じて仲立ちをするなどして、友だちと一緒に過ごしたり遊んだりする楽しさを感じられるようにしている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には家庭での子どもの健康や様子などを保護者に確認して受けている</p> <p>登園時には挨拶を交わして、子どもの顔色や機嫌、表情などの健康観察をしている。保護者には、家庭での子どもの様子や健康状態を聴いて、受け入れている。1・2歳児は毎日連絡帳を使用して家庭から食事や睡眠、排便、健康状態や様子を記入してもらい、手渡しで受け取っている。3歳児からは口頭でのやり取りにして、特別に必要なことは連絡メモに書いてもらっている。コロナ禍の現在は全園児、家庭での検温結果を体温表に書いて提出してもらっている。</p> <p>昼寝(休息を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している</p> <p>園の生活では昼食後には布団に横になり昼寝をするリズムにしている。低年齢児の場合は朝早く起きて眠いような様子が見られる場合は早めに寝せるなどの配慮をしている。年齢や体力に合わせて布団に入る時間を遅くし、昼寝時間も短くしている。5歳児は就学を控えているので、3月中旬頃には昼寝時間を短くしていき、寝ないで遊んで過ごすようにしている。障害児指定園であり、昼寝をしない認定児は別室で遊んで過ごしている。昼寝で眠れない子どもは休息した後に起きて遊べるように対応している。</p> <p>迎えの保護者一人ひとりにその日の子どもの様子を伝えることにしている</p> <p>その日の子どもの様子を乳児クラスでは連絡帳に書き、幼児クラスは貼りだし日誌を掲示して読んでもらっている。迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしているが、迎えが重なる場合や子どもの保育を優先せざるを得ない場合には、十分伝えられないこともある。17時以降は夕保育の当番保育士が担任から子どもの状況や連絡事項を書き入れた視診表とともに、口頭でも引き継ぎをして、子どもの様子を伝えることにしている。必要に応じて、保育の状況を説明できる担任や保育士、看護師、園長などが保護者の迎えを待って伝えたりしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの主体的な生活や遊びを大事にしている 年齢発達や興味関心のある玩具類を用意して子どもが手に取りやすいように置き、遊びたいものを自分で選んで遊ぶことを大事にしている。大人が設定している玩具だけでなく、子どもが自分で作りだす玩具も大事にし、作って遊べるような素材や用具類を用意している。活動が細切れではなく継続して遊べるように、片付けずにとっておくこともある。子どもが主体的に生活できるように、4・5歳児では、朝の会を実施して、日付や天気、今日の予定などを確認し、午後の時間には明日の予定を伝え、子どもが見通しをもって行動できるようにしている。</p> <p>リズム遊びや自由画、製作遊びなど、さまざまな表現遊びに取り組んでいる リズム遊びは全クラスで年間を通して取り組んでいる。ピアノに合わせて、のびのびと身体を動かしたり動物の表現をしたりしている。1・2歳児ではのびのび身体を動かすことを大事にしているが、3～5歳児では身体の中の部分を動かすのかを知らせている。自由画や折り紙なども子どもが書きたい時、表現したい時に使えるようにコーナーを設けている。季節の素材などを使ったり、身体を使って表現することもあるので、どんぐりや落ち葉を使った製作が飾っており、夏場にはフィンガーペインティングを楽しんだりしている。</p> <p>園庭や地域の公園、遊歩道、緑地などで自然に触れ、身体を動かして遊んでいる 園庭はあるが地域の公園などに、戸外遊びに適切な季節には週に1～2回程度散歩に出掛けている。都立公園や川沿いの遊歩道、緑地などを歩き、風を感じ、空の青さ、雲の形や動き、桜などの木々、草花、木の実などの四季折々の自然の変化に気づいている。豊かな自然の中で、蟻やダンゴムシ、カナブン、てんとう虫などの昆虫に触れたり、カブトムシの幼虫やメダカ、ドジョウなどの飼育をしている。園庭では走り回って遊んだり、虫探し、固定遊具、可動遊具、砂場遊び、泥んこ遊び、泥団子作りなどを行っている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>運動会は3・4・5歳児対象で、いつも遊んでいる運動遊びなどを観てもらっている 乳児クラスは基本的な生活を心地よく過ごすことを大事にしているため、七夕などの季節の行事はクラスで取り組み、集会形式の行事の参加は少ない。幼児クラスはさまざまな行事に関わっている。運動会は3・4・5歳児の取り組みとして園庭で実施している。コロナ禍のために、年齢クラスごとの発表で入れ替わり制にして保護者に観てもらった。運動会は、日頃取り組んでいる活動を観てもらおうことにしているため、恐竜の好きな子どもが多い4歳児クラスは、日常的に取り組んでいるリズム遊びの動きの中に、恐竜の動きを取り入れて披露した。</p> <p>グループの仲間で話し合い、お祭りごっこの神輿を協力して作り上げている 5歳児クラスでは、鯉のぼり作りやお神輿作りなど、子どものイメージしているものを出し合い、共同製作に取り組んでいる。お祭りごっこに担ぐお神輿はグループ活動として取り組み、どんなお神輿にするか、どんなふうにするか、材料はどうするか、みんなで意見を出し合いながら製作している。段ボール製の土台に、男の子と女の子の神様がいて、太陽と惑星などを表現した神輿の2基を作ったが、張り子の太陽がしぼんでしまい、しぼまないように作り変えるなど、皆で協力し団結して作り上げた。当日は意気揚々とはい姿でお神輿担ぎをしている。</p> <p>行事予定表を配付し、子どもたちの取り組みの様子も伝えて協力してもらっている 保護者に参加してもらった保育行事は夏まつり、運動会と5歳児の卒園を祝う会である。年間行事予定表を年度初めに配付し、前期保護者会でも伝え、期日が近づくと園だより、クラスだよりなどで取り組み状況を伝えている。運動会だよりは子どもたちの取り組みの様子や見どころなど番号を発行し、クラスだよりや貼りだし日誌などでも運動会に向け頑張っている子どもたちの様子を具体的に伝えて、保護者にも楽しみにして協力してもらえるようにしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は子どもの人数に応じて、保育形態を変えている 朝保育では7時30分から8時までは1・2歳児と3・4・5歳児で過ごしているが、その後人数が増えてくるのでクラス毎の保育にしている。夕保育でも子どもの人数が多い間はクラス保育で、少なくなってくると合同保育にしている。18時30分から延長保育になり、利用児と一緒に過ごしている。</p> <p>午後のおやつ後は、身体を動かして遊んだりしてから、室内で夕保育をしている 午後のおやつ後には、静と動の遊びの切り替えをして、1・2歳児はそれぞれ2グループに分かれて、2階の特別保育室で遊んだり、2階テラスで遊んだりしている。幼児クラスは園庭に出て身体を動かして遊んだ後、室内遊びをしている。夕保育ではままごとコーナーなどのマットを敷いてある場所などを利用して、座り込んで遊んだり、ゴロゴロと横になったりもできるようにしている。</p> <p>延長保育用の玩具を用意し、大人と一緒にゆったりと遊んで過ごしている 延長保育の定期利用児は現在少なく、日によりスポット保育の園児がいても3～4名の利用状況である。延長保育の当番保育士は日替わりであるが、いつも同じパートの職員がいることが、安心感につながっている。延長保育では日中の保育で使っていない延長保育用の玩具を用意して、大人と一緒にカードゲームをしたり、おしゃべり、絵本を読むなどゆったりと遊んでいる。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせた椅子とテーブルを使用して安定して座り、落ち着いて食事をしている 子どもの体格にあわせた椅子とテーブルを使い、いつも同じ友だちや保育士と一緒に、落ち着いて食事をしている。バスマットを利用した手作りの足台や背当て・脇当てなども使用している。大人は不必要に立ち歩かないように、食器置き場などを考慮している。七夕やひな祭り、お楽しみ会などには、季節感のあるメニューにして会食を実施しているが、現在はクラスでの会食にして、テーブルに花を飾ったりいつもと違う雰囲気ですべて食事をしている。誕生日のお祝いは、誕生日当日にクラスで行ない、本人の給食は特別な誕生日プレートを提供している。</p> <p>食物アレルギー児には除去食や代替え食を提供し、誤食防止に努めている 食物アレルギーの子どもには除去食または代替え食で対応している。献立表ができた段階で該当児の保護者に除去品目のチェックをお願いして提出してもらい、栄養士が代替え食を記入してアレルギー会議で確認し、保護者に献立表を返却している。アレルギー食を提供する際には、除去食品を明示したプレートを使用して、受け取りは正規職員が行ない、調理職と除去食品を声出し確認している。保育室でも、間違いがないように声出し確認して該当児に提供している。</p> <p>野菜栽培をして生育観察や収穫体験をし、焼き芋会では火や煙、匂いなどを体験している 事務室前の園庭のスペースで5歳児がキュウリを、4歳児はプランターでオクラを、3歳児はカブを植えている。地域の農業公園でさつま芋の植え付け、農家の畑で西瓜の生育観察、収穫体験をさせてもらっている。キュウリは大量に収穫できたので、子どもたちの目の前で栄養士が蛇腹キュウリに切って見せ、西瓜は丸い西瓜を切って見せてくれたりしている。食材に触れる体験や調理体験では筍の皮に触れる、4・5歳児は自分のラップおにぎり作りをする予定にしている。園行事として焼き芋会を予定して、火や煙、焼き上がる匂いを体験する機会にしている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の健康や身の安全に気を付けるように健康教育を実施している</p> <p>年間保健計画を作成して、「子ども達が自分の身体に関心を持ち、正しく理解する。生活の中で良い習慣が身に付くようにする」を目標に、看護師による健康教育を実施している。歯磨き、我慢の脳みそ、咳と鼻水、くしゃみなどは、子どもたちにわかりやすいように具体的な教材や絵本、紙芝居、エプロンシアターなどを使用して、例えば、咳やくしゃみでは飛沫がどこまで飛ぶのかを紐で見せたりしている。保育士も健康な生活のための生活習慣が身に付くように援助し、危険な場所や遊び方など、身の安全に気を付けて行動するように指導している。</p> <p>園医などの医療機関や療育機関と連携している</p> <p>薬の預かりは原則としてしていないが、慢性疾患等で薬の使用なしでは健康的な生活ができない場合に限り、与薬をしている。現在は、アナフィラキシーや痙攣に関する薬を預かっている。眼鏡使用児の眼鏡は、昼寝中は預かり、ケースに入れて保管している。子どもの健康状態を把握するために、囑託園医による定期健康診断を年2回。歯科検診を年1回、3～5歳児は眼科・耳鼻科健診をそれぞれ年1回実施している。園医には子どもに関する相談もしている。障害認定児の通所している療育機関と保護者を通じて連携している。</p> <p>感染症などの子どもの健康に関する情報は保健だよりや掲示などで知らせている</p> <p>保護者に子どもの健康維持に向けた情報を提供するために、毎月保健だよりを発行して、保健行事、紫外線対策、虫よけ対策、虫歯予防、熱中症予防など、季節ごとの健康に関する注意事項などを掲載している。都や区発行の健康や保健に関するポスターを園内に掲示したり、園で感染症が発生した時には、わかりやすいように玄関前に掲示して注意喚起している。乳幼児突然死症候群対策として、昼寝時には午睡チェックを実施して、1・2歳児室には午睡チェックの仕方について掲示している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>連絡帳や会話などから保護者の状況をくみ取り、職員がチームとして対応している</p> <p>子育てや家庭の事情などは保護者からの相談を受けて、可能な限り配慮して支援している。連絡帳の記述や登降園時の会話などで、子育ての不安を感じているような様子がある場合には、担任が対応したり園長が声を掛けたりして、園の職員チームとして話を聞いている。保護者には、子育ての悩みや気になることがある場合には気軽に声を掛けてくださいと、機会あるごとに伝え、園での子どもの様子を伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>保護者会や個人面談、クラスだよりなどで、園での子どもの様子を伝えている</p> <p>保護者会は年2回実施しており、今年の前期保護者会はコロナ禍のため、懇談の時間を設けず、園から保育の説明のみにして短時間で実施した。個人面談は期間を決めて実施しているが、希望に応じて随時も受けている。個人面談と保育参観を同日に希望される場合も受けている。例年保護者参加で実施していた夏祭りは中止し、運動会は親子競技も実施して保護者同士の交流の機会になった。園での子どもの様子を伝えるためにクラスだよりを月1回以上発行し、活動の様子や担任の思いなどを具体的にわかりやすく伝えている。</p> <p>個人面談や保育参観・参加を実施して、子どもの成長の喜びを保護者と共有している</p> <p>子どもの成長や園の保育を知ってもらうために、保育参加・参観や個人面談を実施している。保育参観・参加の実施日や隠れて見てもらう参観か保育に参加して子どもと一緒に過ごしてもらおう参加にするかは、保護者の要望に沿っている。1・2歳児の場合は普段の園での子どもの様子が見てみたいとのことで、参観の希望が多いことから、窓に目隠しを設置して見てもらっている。個人面談は保育参観・参加の日でも別日でもいつでも受け、面談の記録は児童票に記載している。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の公園などを利用し、農家の方に西瓜の植え付けや収穫体験をさせてもらっている</p> <p>地域の都立や区立の公園などに散歩に出掛けているので、いつも出会う地域の方々に、声を掛けてもらったりしている。地域の農家の方の畑で西瓜の生育を観察し、収穫体験をさせてもらっている。図書館の絵本や紙芝居の貸し出しを利用しているので、コロナ禍前は5歳児も一緒に行き、公共施設利用のマナーを学ぶ機会になっていたが、現在は保育士が借りる本を選びに行っている。</p> <p>焼き芋会に地域の保育施設が参加の予定である</p> <p>コロナ禍前は園の焼き芋会に近隣保育施設3園に参加してもらっていた。昨年は保護者に茶道の先生がおられたので、4・5歳児がお茶を体験した。コロナ禍前は、地域の小学校の展覧会や学芸会などに招待してもらい、5歳児が参加していた。地域で子育てをしている親子向けの身体測定や園庭開放も現在は中止している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	子どもが主体的に遊ぶ環境作りに力を入れ、一人ひとりを受け止める保育をしている	
内容①	子どもたちが主体的に活動することを目指して、室内では子どもの年齢発達、興味関心などに合わせた玩具類を用意し、子どもが自分で遊びを選んで遊べる環境にしている。園庭では子どもがイメージを広げて遊べる可動遊具などを用意して、自由に使えるように設定している。一人ひとりの子どもと向かい合い、気持ちを十分受け止め、優しく温かい保育を心掛け、特に乳児クラスでは少人数グループで保育している。利用者調査の結果、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、97%の肯定回答が寄せられ、大変高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル②	就学前の子どもが生活リズム(朝の身支度)を身に付けられるよう、取り組んでいる	
内容②	半年後に就学を控えている5歳児を対象に、朝起きてから家を出るまでにすること、着替えや歯磨き、うがい、洗顔など1項目ずつ、1か月を目安に練習する「おはようかあさん」に取り組んでいる。子どもたちには身支度の基本となる朝の行動について話をして意識付けし、保護者にも協力してもらっている。10月は「朝歯磨きができたかな」、できた日にはカレンダー式の用紙にシールを貼っている。11月は「決めた時間に起きてみよう」、12月は「朝起きたらうがいをしよう」などと進めている。毎日続けることで習慣になり、家庭の意識も高まっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	障害児指定園としての職員の資質向上に取り組んでいる	
内容③	園内研修や区保育課主催研修、巡回指導などでの学びを通して、障害児指定園としてスキル向上に取り組んでいる。前年度の園内研修では、外部講師を招き、「配慮の必要な子どもとともに育ち合うクラス」をテーマに事例を通して研鑽を深めている。職員からは「問題行動に目を向けることが多かったが、非問題行動に普段から着目していくことが大事だとわかり、意識しながら自分の見方や保育のくせを修正していきたいと思った」などの気づきが寄せられた。障害児保育をテーマとした研修に積極的に参加し、学んだことを定例会議にて報告し、共有している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	住宅地にある園で日当たり良く、自然環境に恵まれ、じっくり遊べる環境の中でのびのびと遊んでいる
	内容	地域には農業公園や一部であるが農地もあり、落ち着いた戸建て住宅地の中にある保育園で、南向きの2階建て園舎と園庭は日当たりがよく明るい雰囲気である。桜の木がある園庭には鉄棒と幼児用・乳児用2つの砂場が設置しており、全園児が出て遊べる広さで、樹木や雑草の場所、築山もあり、虫探しや泥団子作り、夏場には泥んこ遊びをしている。マルチパーツやタイヤ、スノコ、牛乳ケースなどの可動遊具を用意しているので、子どもたちは自分で好きな物を使って、イメージを広げて組み立ててじっくりとごっこ遊びをするなど、のびのびと遊んでいる。
2	タイトル	子ども一人ひとりと向き合い、それぞれの特性を尊重しながら、共に成長できるような保育を進めている
	内容	40年以上障害児保育の実践を積み重ね、全園児が安心できる大人に気持ちを受け止めてもらい、人とかがわりながら、一人ひとりが大切な存在であることに気づき、共に成長していける保育に取り組んでいる。子どもの特性や能力に応じて、活動への参加や援助の内容を期毎の指導計画に記載し、職員間で共有している。ある子どもの事例。大人と個別の関わりが必要であったが、運動会でペアの子どもと走り、ボール運びをしたことで、その子に声を掛けてもらうと嬉しそうにしていた。その経験を通して、その子どもと手をつないで散歩に行けるようになった。
3	タイトル	コロナウイルス感染症対策のために、食育活動が難しい中、できる活動に工夫して取り組んでいる
	内容	これまでは食育活動として、野菜栽培や食材の下処理手伝い、調理活動などに取り組んでいたが、コロナウイルス感染症対策のために、食材に触れる活動は中止している。子どもたちは園庭の畑でキュウリやオクラなどを栽培し、収穫物は厨房で調理してもらい味見をしている。栄養士は子どもたちが食材に触れずできるように工夫して食育に取り組んでいる。例えば、筍は生筍を観察させ、皮をむいて半分に切り断面を見せ、むいた皮に触れさせる。そら豆は4人グループにひとさやの皮むき体験をして中の様子を見て、触ったり匂いを嗅いだりしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の保育の目標を達成するための総合的な計画へ、全体的な計画を見直すことを期待する
	内容	全体的な計画は、園目標や保育理念、保育方針と、1～5歳児までの養護と教育の5領域、食育、統合保育の項目で子どもの発達過程を記載して作成している。今後は、園の保育の目標を達成するために、地域環境や保護者支援、地域交流なども盛り込んだ総合的な計画への見直しを期待する。
2	タイトル	コロナ禍終息後には、子どもたちの生活経験の幅を広げるために、地域の多世代間交流の構築を期待する
	内容	地域の農業公園や生産農地で野菜の植え付け見学や収穫体験をさせてもらっている。図書館に貸出絵本の選書に出向き、子どもたちも絵本を読み、公共施設利用のマナーを学ぶ機会になっていたが、現在は職員のみで選書に行っている。地域で子育て中の親子対象の園庭開放や行事参加の呼びかけも中止している。コロナ終息後には、地域の保育園としての役割や子どもたちの生活の幅を広げるために、これまで以上に地域の様々な方々との交流の機会を構築することを期待する。
3	タイトル	業務の省力化を図り、ワークライフバランスへのさらなる取り組みを期待したい
	内容	職員アンケートにも、園の課題として「事務作業の効率化を図りたい」を挙げたコメントもあった。。福利厚生制度を活用している職員は多くなく、職員が福利厚生制度を活用できる仕組み作りが必要と幹部層は考えている。そのため、仕事の優先準備を見極め、効率的に仕事を進められるよう、職員個々が意識を持って、職場全体での連携に取り組んでいる。今後も引き続き、業務の省力化を図り、ワークライフバランスへのさらなる取り組みを期待したい。

2. 高井戸東保育園

調査対象

調査時点の子ども90名・71世帯を対象とした。

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数	90
利用者家族総数(世帯)	71
共通評価項目による調査対象者数	71
共通評価項目による調査の有効回答者数	59
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	83.1

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父2名(3%)、母47名(81%)、父母一緒に5名(8%)、無記入5名(8%)。年齢：「30歳代」34名(58%)、「40歳代」19名(32%)、無記入6名(10%)であった。

・総合的な感想は「大変満足」36名(61%)、「満足」21名(35%)、「どちらともいえない」1名(2%)、無記入1名(2%)であった。回答者の96%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。

・自由コメントでは「コロナ禍でもさまざまな工夫があり、子どもたちの楽しいことをいつも見いだししてくれていることに感謝している」「子どもは沢山遊び、遊びを通して人間関係を学ぶ。この時期にしかできないことをたっぷりと、伸び伸びと経験させてくれている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	59	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「お友だちとの共同生活や大人との関わりがとても刺激になっている」「友だちや先生、上下の子どもとの関わりを通じて、多くのことを学んでいる」「園庭や室内遊びでも様々な工夫が施され、家ではできない体験もしている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	57	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「季節ごとのイベントがあり、それに向けて子どもたちが作品をつくっている。子どもも大喜びしている」「本人の興味のあること、したい、という意見や行動を尊重してくれている」「普段の遊びから夏祭りなどのイベントまで、子どもたちが主体となって考え、おこなう姿が多くみられる。とても関心を持って取り組めるよう促してくれている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	56	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「手づくりでおいしい食事を毎日提供してくれているのでありがたい」「食べやすさやバランスなどによく配慮されている」「試食の機会もあり、家での献立の参考にしている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	50	8	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、戸外遊びや行事などに関して高い満足を得ている。「公園や園庭では、虫や花を探したりしている。また、野菜を栽培・収穫し、食材に使用しており、食育に十分に力を入れている」「七夕には地域に笹をもらいに行ったり、商店街の八百屋に見学に行ったりして、さまざまな体験をさせてくれている」「虫捕りやお散歩、植物を育てることなどは子どもにとって自然への興味につながっている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	3	1	11
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「電車遅延でお迎えに遅れる旨の連絡を入れた際、気をつけてくださいね、と優しく声かけしてくれた」「嫌な顔をせずに対応してくれるので感謝している」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	50	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「担任だけでなく園の先生全員が、子どもの体調などを把握してくれているので安心している」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	15	1	5
「はい」と返答した方々は回答者の64%、「どちらともいえない」25%、「いいえ」2%、「非該当」・無記入9%であった。「休日に運動会を開催してくれることや、兄弟姉妹の個人面談を同日におこなってくれて、とても助かっている」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	48	10	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「特に担任の先生はいつも子どもの話をよく聞き、子どもの様子をよく見ている。アドバイスもしてくれるのでとても信頼している」「連絡帳に子育ての悩みや疑問を記入すると返信してくれたり、直接答えてくれたりと相談しやすい」「いつも相談に乗ってくれるので助かっている」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	53	5	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「コロナ対策で毎日、消毒や清掃を頻繁にしてくれている」「建物は古いですが、清潔に保たれている」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	57	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「職員の皆さんが丁寧に対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	52	4	0	3
「はい」と回答した方々は回答者の88%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「けがをしたときなどは必ず報告があり、処置内容もきちんと教えてくれる」「子どもの体調に関して、担任だけでなくほかの先生も共有しているので安心している」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	47	5	0	7
「はい」と回答した方々は回答者の80%で、子ども同士のトラブル対応に関して高い満足を得ている。「両方の子どもの話をよく聞き、子どもの心をうまくほぐしてくれているなど感謝している」「そのときの状況と対応を報告してくれるので信頼できる」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	57	1	0	1
「はい」と回答した方々は回答者の96%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「マイペースな子どもに寄り添い、話を聞いてくれたり、集団行動へうまく導いてくれたりしている。子どもも安心して園で過ごしている」「他クラスの先生や担任外の先生も同様に子どものことをよく見てくれており、家族的な雰囲気感謝している」「子どもの気持ちをいつも尊重し、温かく見守ってくれていることに感謝している」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	51	3	0	5
「はい」と回答した方々は回答者の86%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。「シャワーの際に周りに体が見えないよう、服の脱ぎ方やタオルの使い方を細かく指導してくれていたのが安心した」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	55	3	0	1
「はい」と回答した方々は回答者の93%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「送り迎えのときや、会ったときに子どもの様子を教えてくれる。また、ちょっとしたことも伝えてくれる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	7	0	6
「はい」と回答した方々は回答者の78%で、利用者の不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	24	13	3	19
「はい」と回答した方々は回答者の40%、「どちらともいえない」22%、「いいえ」5%、「非該当」・無記入33%であった。				

I 組織マネジメント項目 (カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	児童憲章・保育理念・保育目標などを職員皆で確認し、共通認識を形成している 年度初めに児童憲章・保育理念・保育目標・保育基本理念を職員皆で確認し、日常保育で大切にすべきことについて共通認識を形成している。理念や目標などを常時掲示し、基本に立ち返るようにしている。また、職員皆で話し合い、保(当園)の目標申告を作成するプロセスを通して、目標達成への意識づけを図っている。保護者に対しては、入園説明会や保護者会などを通して、園が大切にしていることについて説明している。園だよりやクラスだよりを作成し、保護者に配布し、当園の取り組みや保育への思いなどを伝えている。	
	園長、主査、保育向上リーダー2名が中心となり、保育の質向上に取り組んでいる 園長、主査、保育向上リーダー2名が当園の4本柱となり、職員の意見を吸い上げ、大切にしたい保育実現のために方向性を示し、保育の質向上に取り組んでいる。園長・主査の今年度の目標を年間指導計画にまとめ、職員へ周知している。前年度より、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策をおこないながらの保育運営をおこなっており、子どもの命を守るためにできる最善を尽くすべく、子ども一人ひとりの今しかできない経験の実現に保護者の理解・協力を得ながら、新たな方法を生み出そうと職員皆で努力している。	
	職員個々が自分の意見を反映できるよう、クラス単位での話し合いを重視している 園内の情報共有や、重要案件の検討・決定の場を明らかにしている。昼ミーティング(毎日)や定例会議(週1回)で検討事項を提示し、クラスの意見を持ち寄り、全体で話し合い、決定している。前年度から、全職員が集まる夜の職員会議を中止とし、職員一人ひとりが熟考し、自分の意見を反映できるよう、クラス単位での話し合いを重視している。それを全体で共有し、決定する過程を大事にしている。また、園として決定した事項に対しては責任を持って実践に移している。	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>日頃より保護者や職員から、希望や意向、提案を出してもらい、改善に生かしている</p> <p>日々保護者とのコミュニケーションを深め、保護者が自由に意見・要望を表明してもらえるような関係づくりに努めている。また、保護者から寄せられた意見は、できることはすぐに対応することを心がけている。設備面で修繕が必要なときは、区保育課に報告・相談し、修繕につなげている。また、各会議や指導計画検討会などを通して、職員個々の意見や意向、提案を出し合い、保育活動に反映している。日々のやり取りや園長との面談などで、職員の希望を把握し、希望する研修に派遣するなど応えている。</p> <p>地域懇談会や地域子育てネットワークなどに参加し、自園でできることにつなげている</p> <p>地域の保育所が参集する地域懇談会や児童館主催の地域子育てネットワーク、行政連絡会などに園長・主査が参加し、情報交換・情報収集し、得た地域の情報を職員に伝え、自園でできることにつなげている。また、園長会・主査会や各研修への参加を通して園運営に必要な情報を収集し、自園の課題やニーズの把握に努めている。区からの通達文書や専門雑誌、新聞記事などからも保育園をめぐる課題について情報収集し、把握した情報から必要な事項を抜粋し、自園の運営に活かすようにしている。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、中間に進捗状況を確認している</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。区保育課では、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、予算編成をおこなっている。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当	
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当	
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当	
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当	

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>日頃の保育にあたって規範・基本となる児童憲章・保育理念について確認している</p> <p>日頃の保育にあたって規範・基本となる児童憲章・保育理念について確認している。また、正規職員のみならず、会計年度任用職員に対しても資料を配布し、公務員倫理や人権擁護への遵守について周知している。区からの個人情報や公務員倫理についての通達文書の周知を徹底するとともに、事象ごとに個人情報を踏まえた対応について会議などで確認している。毎月初に保育の振り返りや指導計画の検討の中で職員の言動や保育への姿勢の大切さを確認したり、共有したりしている。</p> <p>保護者の苦情には、まずは耳を傾け、謝罪し、職員全員で共有している</p> <p>苦情・要望等の相談窓口について「重要なお知らせ」に記載し、入園説明会で保護者に説明している。また、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示している。保護者の苦情には、まずは耳を傾け、謝罪している。その後、事実確認をおこない、現状を伝えている。その後の経過についても保護者に伝え、面談し、フォローしている。定例会議などでもその事項を伝え、職員間で話し合い、より良い対応につなげている。</p> <p>中核園と共に地域の保育園の保育の質向上に向け、さまざまな取り組みに参画している</p> <p>高井戸地域の公立保育園の一つとして、中核園と共に地域の保育園の保育の質向上に向け、さまざまな取り組みに参画している。地域子育てネットワークに積極的に参加し、保育園の持つ専門性を還元できるよう、地域活動に積極的に参加している。これまで、読み聞かせのボランティアを受け入れていたが、今年度は新型コロナ禍により中止となっている。中高生の職場体験も、今年度、中止となっている。保育士の資格取得のための実習生は受け入れているが、東京都子育て支援員研修の実習生受け入れは中止となっている。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>何より命を守ることを最優先し、園独自の感染対策を講じている</p> <p>危機管理マニュアルをもとに、事故や感染症、災害などについてリスク対策をおこなっている。園運営については、何より命を守ることを最優先し、安全管理に注力している。区保育課からの新型コロナウイルス感染症に関する情報をもとに、全利用者に対して、健康観察表に検温記録を記載してもらったり、玄関の入り口を分けるなど園独自の感染対策を講じている。公立保育園として新たに加わった感染防止対策や園独自の対策で変更になったことなどは速やかに保護者に周知し、理解と協力をお願いしている。</p> <p>避難訓練実施計画に則り、月1回の訓練を実施し、予告なしの訓練も実施している。</p> <p>避難訓練実施計画を作成し、計画的に毎月1回の避難訓練を実施している。シャワー中・プール遊び・延長保育・朝夕保育などのさまざまな時間を設定し、地震・火災を想定した訓練を実施している。予告なしの訓練も実施している。事故報告を受けて、現場検証をしている。そのときの環境を写真にとり、該当クラス外の職員も含めて、その原因と対策について話し合っている。「ヒヤリハット・アクシデント記録」には怪我や事故などの事象や問題点、対策について記入し、昼ミーティングで共有し、再発防止に向けて注意喚起している。</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針などに基づいて、情報の運用・管理をおこなっている</p> <p>杉並区個人情報保護条例や情報セキュリティ基本方針に基づいて、情報の運用・管理をおこなっている。個人情報に関する書類は主に園長・主査・担任で管理し、施錠保管している。これらの個人情報を持ち出す際は、園長、または主査に申し出ることを、記録簿・施錠管理簿等を使って厳正に管理している。会計年度任用職員や実習生などには採用面接時に守秘義務の遵守を説明している。「重要なお知らせ」に個人情報の取り扱いについて明記し、入園説明時に説明している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
----------------	------------------	-----

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

園内の職員配置については園児の状況など、園全体のバランスを考慮し、決定している

正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施している。園内の職員配置については、園児や保護者の状況、職員の希望や経験年数などを踏まえ、園全体のバランスを考慮し、決定している。

各研修やサークル活動などにより、職員の資質向上を図っている

区人事課・保育課主催の各研修、外部研修、OJT、自己啓発などを通して、職員個々の資質向上を図っている。新任育成には育成担当者を配置し、入職2年目・3年目の職員には主査が担当者になり、本人と相談し、目標を立て、定期的に振り返り、次の目標へとつなげている。育成担当者は、区主催の育成担当者会議で育成の難しさや悩みを共有しながら、得た情報を自園で活かしたり、園内では担当者だけでなく、全体で育成していくようにしている。園内ではサークル活動、毎月のカリキュラム等で問題や課題に取り組み、保育力の向上を目指している。

互いに有給休暇が取れるよう働きかけ、ライフワークバランスへの意識を高めている

職員個々がやりたいことを実現する「サークル活動」の取り組みをおこなっている。新型コロナ禍により、全職員が一堂に会しての話し合いを中止しているが、小グループで、同じ目的に向かって取り組むこの活動は、新型コロナ禍の職員間の交流を深め、最後は子どもたちに還元できる取り組みでもある。サークル活動を始め2年目を迎えた今年度も職員一人ひとりが生き生きと取り組んでいる。そのほか、時間内で仕事が終われるよう体制を組み立てたり、互いに有給休暇が取れるよう働きかけ、ライフワークバランスへの意識を高めている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「みんなで力を合わせ、子どもたちを豊かに育む保育・環境作り」を園の組織目標とし、「室内外の環境を見直す」ことを目指し、次の取り組みを計画した。①環境について話し合うグループを少人数にし、テーマを絞り、話し合いや実現化を速やかに取り組めるようにした。②年間を通して園内の緑化を進めた。③つくしルームの遊具・環境を整えたり、ままごとコーナーの具材・環境の充実に取り組んだ。子どもに還元することが目標であったが、自然物への関心が子どもから子どもへ引き継がれていく姿が日常的になった。また、一つの遊具を通し、大人の発想とは違う遊び方、感じ方を子どもたちがしている姿に大人が学ぶことができた。また、子どもが心地よく過ごせる環境に作り、改めて考え、実践できた。次年度も継続して取り組むこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前述の取り組みは、少人数でのサークルというかたちで活動した。サークル活動を中心に、園内の環境について話し合い、かたちにしてきた。それが子どもたちにどのようにつながっていったのかも話し合い、共有することができた。職員アンケートでも、「園内でサークル活動をしたことで、クラスや年齢関係なく、保育環境(絵本、ままごと、積み木など)や室内環境について考える良い機会になった」「クラスごとに管理されていたおもちゃや物の把握ができていない、園庭やホールなどの共有スペースの責任の所在が不明瞭などの課題があったが、サークルをつくり、改善・推進・探求・管理方法の工夫をおこなった。その活動を保護者とも共有した」「職員の自主的な活動によるサークル活動にしたことで、職員一人ひとりがより自主的によく考えるようになり、保育のなかで子どもたちに還元されていった。」などのコメントが寄せられた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「みんなで力を合わせ、子どもたちを豊かに育む保育・環境作り」を園の組織目標とし、「保育の話しよう」をテーマとし、「職員同士で保育を語り、学びを広げる」ことを目標とし、次の取り組みを計画した。①日々の保育の中で感じていること、悩んでいる事、子どもの姿を通して話し合う。②新型コロナ対策の中で、子どもの育ちや活動を大切に考え、どのようにしたら、経験できるかを前向きに検討する。③積み木の遊び方、どんな絵本がよいか等を学び合うことを計画する。これらの取り組みでは、園長・主査・保育向上リーダーの園の4本柱や園内研修サークルを中心に「保育の話」が活発にできるよう、その内容・人数などに関して工夫をして進めてきた。また、事例を通して話し合うことで、個々の職員の気づきや保育の振り返りにつながった。次年度も継続して、当園の大切にしている保育を継承していくことをより意識していくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前述の取り組みに加え、前期反省・年間反省の際は、自分たちの保育を『杉並区立保育園保育実践方針』と照らし合わせ、保育の振り返りをおこない、次へつながるように意識した。自分たちの保育を具体的に見つめ直すことで、次への課題が明確になった。指導計画の先月の振り返り欄をエピソード型にした。子どもと保育士の関わりや、子どもの姿がより伝わりやすくなり、クラスの課題や悩みを職員間で更に共有できるようになったことで、子どもたちの理解も深まった。保育の柱となる計画、反省の書式を大きく変えることで、担任だけでなく職員一人ひとりが子どもたちの理解を深めるきっかけとなった。またクラスの悩みや課題を共有できるようになった。職員アンケートでも、「年間指導計画の形式の見直しと改定をしたことで、各クラス担任の保育への思い・願いがより伝わるようになった」「月間指導計画の形式を改定したことで、子どもの姿が思い描けるようになった」「職員同士で話し合う、意見交換する機会が多かった。職員一人ひとりの考えや意見を知る良い機会となった」などのコメントが寄せられた。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ-1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリ-1の講評			
<p>区の公式ホームページや発行している冊子、MAPなどで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供している。住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、地図、保育園の特色、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見ることができる。その他、地域で子育て中の人向けの園庭開放、身体測定、育児相談の案内を門外に貼り出していたが、現在はコロナ禍のため園庭開放を中止しているので、掲示していない。</p> <p>区立直営保育園であり行政や関係機関などと情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課には延長保育利用児数報告などさまざまな報告をしている。月2回開催の区立保育園長会では、行政からの情報提供を受け、課題検討、情報交換などを行っている。地域内保育施設の園長同士の情報交換や保育士交流の機会があり、保育の質向上に取り組んでいる。コロナ禍前は併設の高齢者活動施設の利用者との交流を年1~2回程度実施して、総合避難訓練は一緒にしている。地域の児童館主催の地域子育てネットワークにも参加して情報交換している。子ども発達センターや民間療育機関なども情報交換している。</p> <p>見学は土曜日に設定し、1回3組、30分程度で施設内を案内している</p> <p>見学希望は電話で受け、見学日は土曜日に設定している。案内は出勤している職員が対応している。1回3組まで、1家庭1人をお願いして、見学は30分から1時間程度にしている。施設概要の文書を配付して見てもらいながら、施設案内をしている。園の特長として、アレルギー対応をしていることや活動で大切にしていることなどを説明している。参加者は10月下旬までに20組余り。参加者からは園庭遊び、昼寝用の布団カバー、入園までに用意する持ち物についてなどの質問が寄せられている。</p>			

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>面接時に、重要事項や園生活のルールなどを個別に説明している</p> <p>コロナ禍であり、一堂に会する説明会を実施せず、入園前の健康診断と面接とともに個別に重要事項や園の基本的ルールなどの説明を数日かけて実施している。在園児の兄弟が入園内定した場合には、お迎えの時間を活用して、面接と説明をおこなった。説明では、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「高井戸東保育園のしおり」を基に、園長からは保育目標や登降園などの園生活のルール、緊急時の対応、個人情報の取り扱い、苦情や要望の窓口などを、看護師から健康管理について説明している。個人情報の取り扱いについて同意書を得ている。</p> <p>入園当初は保護者の状況や意向に応じて、慣れ保育を実施している</p> <p>入園面接時に、入園当初の保育について説明し、保護者の就労状況や慣れ保育の意向を聴き取りしている。就労中であり早めに決めた保育時間になるよう進めるケース、育児休業期間でゆっくり進めるケースなど、保護者個々に応じている。入園初日は親子で登園し1時間程度一緒に過ごしてもらい、クラスの支度の仕方などさまざまなルールについて説明し、園の様子を見てもらう機会にして、昼食は保護者に食べさせてもらっている。0歳児の場合は保護者が可能であれば、9時の登園や10時の登園をお願いして、ゆっくりと話ができるようにしている。</p> <p>卒園や転園、退園の際には子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>5歳児は夏頃に個人面談を実施しているが、12月頃にも面談を実施して、「保育所児童保育要録」作成の参考にしている。卒園児の就学先に「保育所児童保育要録」を届けている。区内の公立保育園に転園する場合は園長間で引き継ぎをおこなっている。退園や転園の場合には、保護者に公表することの了解を得てから、クラスでお別れ会を開いている。保護者には「いつでも顔を見せて下さい」などと伝えていく。卒園した1年生には夏祭りの招待状を出しているが、今年はコロナ禍のために招待せず、「お元気ですか」の葉書を郵送している。</p>			

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活状況を児童票や児童健康調査表、保育日誌などに記録し把握している

入園時には健康診断を実施して健康状態を把握し、面接時には提出してもらった児童票や児童健康調査表、入園までの生活状況などで、家族構成や出生・成育歴、予防接種歴、発育状況、食事、排せつ、睡眠、好きな遊びなど、保育に必要な子どもの心身や生活状況を把握し記録している。入園後は、毎日、0～2歳児は連絡帳と口頭で、食事や睡眠、排せつ、体調や様子などを、3～5歳児は口頭で子どもの健康などの情報を把握し、参考にして保育をしている。保育中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌に記載し、児童票には保育経過記録をつけている。

指導計画はクラス担任同士でクラスや子どもの様子を振り返り、次の計画を作成している

「杉並区立保育園保育実践方針」に基づいて、全体的な計画と各クラスの年間指導計画を作成し、それらを踏まえて月間指導計画(月案)と週案を作成している。作成はクラスの担任同士でクラス状況や子どもの様子を振り返り、次の月案などのねらいや具体的な活動内容を決めて作成している。0～5歳児が毎月個別の姿、ねらい・配慮点を作成している。保護者会で年間指導計画を配付し、幼児クラスは保育室前に週案を掲示している。

カリキュラム検討会や昼ミーティング、職員会議などで子どもの情報を共有している

毎月カリキュラム検討会議を2回開催している。事前に月案を配付し目を通してから参加し、各クラスの保育や子どもの様子について意見交換をして職員間で共有している。また、各種会議を開催して子どもに関する情報を共有している。昼ミーティングは毎日13時50分からクラスの代表者が参加して、午前中の保育の報告、怪我やアクシデントの報告、保護者の状況の変化、翌日の職員体制、行事、アレルギー食確認、事務連絡などを行っている。週1回水曜日を基本に職員会議を昼間に開催して、行事の検討、事務連絡、研修報告などを行っている。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもの個人情報は厳重に管理し保護を徹底している 入園説明会において、「保育園のご利用に当たって【重要なお知らせ】」「保育園におけるビデオ撮影および、画像データ提供についての考え方、取り扱いルール」を基に、園で収集した個人情報は厳重に管理する旨を説明している。保育園が園運営上ビデオや写真撮影をする場合には保護者の同意を得て実施している。また、子どもの羞恥心への配慮として、夏のシャワー時や身体測定、おむつ替えなどは目隠しや衝立を使用し、着替える時には窓のカーテンを閉め、シャワー時にはラップタオルの使い方やプライベートゾーンは人に見せないことを知らせている。</p> <p>一人ひとりの子どもを尊重して対応している 指導計画で、毎月一人ひとりの子どもの姿を確認して保育をしている。職員は「保育実践の手引き」を基に小グループに分かれて、食事の時やおしっこを漏らした時などの実践を基に話をし、子どもへの対応が適切であったか、保育士の何気なく使っている言葉で、相手を傷つけてしまっていることはないかなど、振り返りをしている。子どもの名前は呼び捨てや省略して呼ばず、～ちゃん、～くと正式名称で呼んでいる。子どもの誕生日はクラスで誕生日当日にお祝いしている。</p> <p>子どもの様子や言動などに気を配り、子どもの虐待の予防や早期発見に努めている 子どもの虐待や育児困難家庭の対応関係の研修に参加したり、園長は職員会議で、職員自らの言動が虐待にあたらないか振り返る注意喚起をしている。育児困難家庭の事例で子ども家庭支援センターとの連携を経験していることから、職員の意識は高い。子どもの身体のあざや傷などに気を配り、表情や会話などでも気になることがあると、子どもに聴いたり保護者に確認したりして、少しでも不審に思う場合は園長に報告している。園長は「杉並区児童虐待対応マニュアル」に沿って対応している。</p>			

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

区立保育園共通マニュアルと園独自マニュアルを整備している

区立園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「保育実践の手引き」、「危機管理」、「アレルギー」、「離乳食」、「給食衛生」などのさまざまなマニュアルを整備している。園独自に「園マニュアル」を作成しており、内容には、散歩マニュアル、不審者対応マニュアル、噛みつき・ひっかきの対応、怪我の保護者対応、受診する時の連絡手順などを盛り込んでいる。公立園共通のマニュアルは事務室に置き、いつでも見て確認することができるようにして、園独自のマニュアルは各クラスに1部置き、必要な時に確認し活用している。

年度末や半期に反省し、必要に応じて随時に基本事項や手順の見直しをしている

全体的な計画や園目標、年間指導計画などは前期反省や年間反省で見直しをしている。「高井戸東保育園のしおり」や「園マニュアル」は年度末までに検討して変更項目に加筆修正している。業務の手順ではパート職員の入れ替わりなどのために、仕事の流れを見直す必要が生じた際には、その都度、職員会議で検討し、実際に仕事をしてもらったうえで、再度作り替えている。

職員や保護者などから寄せられた意見や提案は検討し、必要な見直しをしている

コロナ禍であり、玄関に全園児の靴置き場があり、夕方のお迎え時には玄関に人が集中する時間帯があることから、密状態を回避するために変更し、2～5歳児は保育室前のベランダで引き渡ししているため、子どもたちは玄関の靴を自分でベランダに移動させている。ホール床とベランダの段差があり、危ないと判断して手作りの台を置くことにした。朝夕のお迎え時に園の前に駐輪すると、車の出入りがしづらいとの苦情が寄せられたことから、近隣の方の迷惑にならない場所に止めるよう駐輪位置を指定して保護者に伝え、協力してもらっている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		
評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当
評価項目1の講評		
<p>子どもが安心して過ごし、自分を発揮して遊べる環境作りをしている</p> <p>毎月全クラスで子どもの姿と配慮点を記載した個別計画を作成し、一人ひとりを把握したうえで保育をしている。また、保育環境は、子どもが自ら選んで遊べるように設定しているが、0~2歳児保育室では、少人数でゆったり過ごせるよう生活と遊びの場所を低い玩具棚などで仕切っている。また、子どもの発達に合わせた玩具類を設置したり、見立て遊びができる紙パック製の手作り積み木や椅子、L字型のマルチパーツなどを豊富に用意したりしている。可能な限り、少人数グループに分かれて保育し、子どもが安心して自分を発揮して遊べるようにしている。</p> <p>コロナ禍のため、園庭や散歩先などで密を避けながら、自然な異年齢交流をしている</p> <p>密にならないように気を配りながら、廊下や園庭で、兄弟や顔見知りで遊んだり、散歩先の公園で一緒に遊んだり、広い遊戯室でリズム遊びをしたりして自然な異年齢交流をしている。5歳児が中心になって取り組んだ夏祭りでは、お店屋さんを園庭やペランダで実施して、買い物体験に来てもらうなど異年齢と一緒に楽しむことができた。外国籍の子どもが入園し日本語が通じない状態の時には、保育士が仲立ちになり子ども同士が関われるようにしたことで、次第に言葉による意思疎通もできるようになり、友だちもできて一緒に遊んでいる。</p> <p>地域の小学校と5歳児の交流が再開される予定になっている</p> <p>コロナ禍前は、地域の小学校の校庭や体育館を借用して運動会を開催したり、5歳児が小学校の運動会や学芸会、展覧会などを見学させてもらったりしていたが、前年は小学校との交流はおこなわれなかった。この11月以降、5歳児対象で、地域の小学校の2年生との交流、1年生との交流が再開予定になっている。その他にも、小学校の1・2年生の担任教諭と近隣保育施設の保育士との話し合いを行ない、学校からは毎月学校だよりを送付してもらっている。</p>		

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時は子どもの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている 朝は挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子や体調などを聴き受け入れている。前日に休んでいたり、園で怪我をした時には特に詳しく聴いている。職員間では朝夕連絡簿に記入して、朝保育当番保育士もわかるようにしている。0～2歳児は連絡帳を手渡して受け取り、3～5歳児は口頭による連絡にしているので、聴き取ったことは朝夕連絡簿に記入して引き継いでいる。コロナ禍であり、全クラスが体調確認の連絡表を使用して体温、体調を記入してもらっている。</p> <p>一人ひとりの発達状況に合わせて基本的な生活習慣が身につくように援助している 1歳児の前期保護者会で、スプーンや箸などの食具はいつごろから使えるようになるか、スプーンの握り方についてなどを説明している。5歳児クラスで、箸の持ち方を知らせ、箸を使っていろいろな大きさの物をつまむ練習に遊び感覚で取り組み、正しく持ってつまめるようになってから、箸を取り入れている。排せつは、子ども一人ひとりの身体の機能の発達に合わせ、昼寝明けにおむつが濡れていない時にトイレに座って排尿でき、排尿間隔が長くなるなどの様子が見られるようになると、保護者と相談してトイレトレーニングを始めている。</p> <p>迎いの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしている 0～2歳児は連絡帳で日中の子どもの様子を伝え、3歳児からは、貼りだし日誌を掲示して活動の様子を読んでもらっている。当番保育士との引き継ぎには朝夕連絡簿に記入して、口頭でも申し送りをしている。迎いの保護者には連絡事項だけでなく、できるだけ子どもの様子を伝えることにしている。怪我等で受診する場合には保護者に事前に連絡してから受診しているが、迎いの保護者を待って、怪我の状況を説明できる保育士が責任をもって説明し、受診時に同行した看護師や園長・主査も受診時の様子を報告したり謝罪するなどしている。</p>		

3 評価項目3
 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもたちが主体的に生活や遊びができるように、じっくり遊べる環境作りをしている
 子どもたちが主体的な生活や遊びができるように、保育室は遊び毎のコーナーを設定して、自分で遊びたい物で遊べるようにしている。園庭も可動遊具を多く用意して子どもが自分で遊びを作り出して遊べる環境にしている。4・5歳児クラスでは朝の集まりで今日の予定を伝えて、朝の自由な遊びが盛り上がりつつある時には、長い針がここまで来たら、などと早めに伝えたり、集まりの時間を遅らせるなどしている。5歳児クラスではホワイトボードに今日の予定をひらがなでわかりやすく書いてあるので、子どもたちが見通しをもって過ごしている。

活動は子どもが興味を持ちやりたくてからできるように、数日かけて取り組んでいる
 作ったり描いたりする活動は、子どもの興味を持つタイミングを大事にして、少人数で活動しながら、やりたい子どもから数日かけて取り組んでいる。全く興味を示さない子どもには声掛けしたり誘ったりするが無理強いはいしていない。夏祭りの盆踊りや運動会のエイサーの踊りも、興味を持った子どもたちから始めて、次第にみんなで取り組んでいる。リズム遊びなども、日により気分が乗らないなどみんなと一緒にやりたくない時もあるので、「友だちの動きと一緒に見ていよう」と声掛けし、本人がやる気になった時にいつでも参加できるように受け入れている。

園庭や散歩先の公園で自然に触れて遊び、季節の移り変わりを感じている
 園庭には泰山木があり、春に芽吹き、緑の葉をつけ、秋には色づき、黄色の葉を拾って子どもたちが遊んでいる。夏には、色水遊びや泥んこ遊び、泡遊びなどが盛んである。5歳児が遊んでいると4歳児が興味を示し、3歳児にも広がるなど、遊びが伝染している。戸外遊びに適した季節には、区内でも広くさまざまな樹木や草花などの緑が多い区立公園が近隣にあるので、週1~2回散歩に出掛け、春は桜を見て花びらで遊び、秋にはどんぐりなどの木の実拾い、カブトムシやてんとう虫などの昆虫に出会い、蟬の抜け殻探しをして、自然に触れて遊んでいる。

4 評価項目4
 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

日頃から取り組んでいる遊び、憧れていたリレーなどを取り入れて運動会で披露している
 3・4・5歳児の取り組みとして運動会を実施している。忍者になって遊ぶのが好きな3歳児は散歩先の公園でも、石の術や紙の術、コオロギの術などで楽しみ、隠れ蓑の術はゴザをもって隠れたりして遊んでいたのが、忍者修行の運動遊びを運動会で見てもらった。5歳児はリレーやエイサーに取り組み、前年の5歳児のリレーに憧れていたのが取り入れたが、裸り返すうちに、「負けそうだからやらない」、「一生懸命やればできるよ」など、くじけそうになり、励まし合い、勝負にこだわり作戦を考えたりして、皆で一緒に頑張る楽しさを味わっている。

夏まつりごっこでは5歳児が品物作りやお店屋さんなどに皆で協力して取り組んでいる
 例年保護者にも参加してもらっていた夏まつりを5歳児の取り組みとして2日間で実施し、買い物ごっこや盆踊りなどで楽しんでいる。どんなお店屋さんするか意見を出し合って、アイスかき氷、ワニ叩き、射的、魚釣り、新幹線、ゼリー、手裏剣などのお店屋の品物を製作した。当日は他のクラスの子もたちがお客になり買いに来てくれ、お店屋さんになってチケットを切ったり売ったり、自分たちも買い物などを楽しんだ。子どもたちは「楽しかった、大変だったけど」と、みんなで協力して取り組んだ達成感を味わった取り組みになっている。

行事に向けて取り組む子どもたちの様子を伝えて、協力し楽しみにしてもらっている
 年間行事予定を年度初めに配付して、行事の日程や内容の変更、中止の場合には、早めに園だよりでお知らせしている。コロナ禍のために、保護者参加予定の夏祭りは、子どもたちの取り組みとして実施し、運動会は保護者の参加をお願いしている。その他、夏祭りの提灯作り、運動会の手製のメダル作りを保護者をお願いして、手作りメダルを運動会当日に労いの言葉とともに子どもにかけてもらっている。保護者には行事に向けて取り組んでいる子どもたちの様子を貼りだし日誌やクラスだより、送迎時の会話などで伝え共有し楽しみにしてもらっている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕保育も密にならないようにクラス保育をしている</p> <p>夕保育は0～3歳児は各クラス保育をしている。4・5歳児は遊戯室で過ごしているが、コロナ禍であり密にならないようにするために、長方形の遊戯室を柵などで区切り、分かれてそれぞれで遊んでいる。体育用のマットなどを敷いて、疲れたら腰を下ろしたり、横になったりして遊べるようにホッとできるスペースを用意している。</p> <p>延長保育は合同保育にして、子どもが遊びたい物で遊び、ゆったりと過ごしている</p> <p>18時30分からの延長保育は2歳児室で合同保育にしている。現在のところ定期利用児は幼児クラスの4人で少なく、スポット保育を利用する人も多くない。時には乳児クラスの子どもがスポット利用のこともある。延長保育では日中の玩具とは違う物を用意しているが、子どもの興味に合わせた玩具類に入れ替えたり、折り紙や製作物の続きを作りたいと持ち込んで遊んだりしている。当番保育士は日によって変わるが、いつも同じ延長保育担当のパート職員を配置している。子どもは安心して一緒に過ごしている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>椅子やテーブルを使って安定して座り、友だちと一緒に落ち着いて食事をしている</p> <p>子どもの体格に合わせたテーブルと椅子を使って安定して座り、落ち着いて食事をしている。必要に応じて手作りの足合や背当て、脇当てを使用している。コロナウイルス感染症対策のため、4・5歳児は食事の時にはテーブルに透明の仕切りをして食べている。幼児クラスでは、誕生日の子どもは王様椅子に座り、献立は同じであるが、星形人参が入っていたり、型押しご飯の上に旗が立っていたりするなど盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供している。時には、散歩先で摘んできた季節の草花などをテーブルに飾り、雰囲気を変えて食べている。</p> <p>旬の食材を取り入れた区立園共通の献立を園で調理し、温かい給食を提供している</p> <p>区の栄養士が各園からの意見を取り入れながら作成した、栄養バランスの摂れた2週間サイクルの区立園共通献立を使用して、園の厨房で調理し、出来立ての温かな物を提供している。旬の食材を取り入れた、行事食を盛り込んだりして季節感のある料理にし、昆布やかつお節、煮干で出汁をとり、自然のおいしさを味わえるように、薄味の給食を提供している。午後のおやつも手作りしている。季節を感じられる献立や行事食として、4月には菜の花蒸し、筍ご飯、七夕には天の川そうめん、ひな祭りにはちらし寿司、ひな祭りゼリーなどを提供している。</p> <p>園庭のプランターで野菜を育てて生育を観察し、収穫して調理してもらい食べている</p> <p>園庭のプランターでピーマンやインゲン、茄子などの野菜栽培をし、子どもたちが水やりをしながら生育を観察している。収穫物を厨房で調理してもらい、昼食時に食べている。クラスで栽培した野菜はそのクラスで食べているが、ピーマンなどは栄養士が「味付けは何にしますか」と聞いてくれるので、子どもたちが醤油や味噌などと要望を出している。また、園庭の梅の実を5歳児が収穫して洗い、干し、栄養士がヘタを取り梅ジュースを作って、夏祭り子どもたちも試飲している。給食食材の下処理や調理体験はコロナ禍のために中止している。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の健康や安全に関心を持てるように健康教育を実施している</p> <p>年間保健計画を作成し、子どもたちが自分の健康や安全に関心を持てるように、看護師による健康教育を実施している。手洗いの指導では、歌を歌いながら洗い方を指導している。保育室の手洗い場には、手の洗い方の絵を貼っている。鼻のかみ方や咳エチケットなどは、エプロンシアターや紙芝居などを使用して子どもたちの年齢に合わせてわかりやすく説明している。保育士は保育活動の中で、危ない場所や危険な遊びについて知らせ、散歩に出掛ける時には道路の歩き方、公園では知らない人について行かないことなどを知らせている。</p> <p>嘱託の園医などの医療機関や療育機関と連携している</p> <p>医療的ケア児は在籍していないが、在園認定児の障害について、主治医からの指示に変化がある度に職員間で共有して対応している。薬の預かりは原則としてしていないが、慢性疾患などで、薬の使用なしでは健康的な生活ができない場合に限り与薬している。現在、アナフィラキシーや痙攣などに関する薬を預かっている。子どもの健康状態を把握するために、嘱託の園医による健康診断を年2回、0歳児健診は週1回、歯科健診を年1回、3～5歳児は耳鼻科健診・眼科健診を年1回実施して、園医には子どもの健康に関する相談にも応じてもらっている。</p> <p>保健だよりや掲示で感染症など、子どもの健康に関する情報を提供している</p> <p>毎月保健だよりを発行して、月の保健行事予定や子どもの感染症発生状況、健康診断時の子どもの様子、季節ごとに注意が必要な虫刺されや熱中症予防、水分補給の大切さなどの情報を掲載して情報提供している。健康に関する情報は玄関にある保健ボードに、ポスターやお知らせ、感染症発生情報などを掲示している。その他にも、廊下の貼りだし日誌の掲示場所や2階の0・1歳児クラスの廊下付近など4か所に掲示している。評価者訪問時には、RSウイルス感染症注意が掲示してあった。園の屋敷時には午睡チェックを実施している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや家庭の事情は、話を聞き、可能な限り配慮して支援している</p> <p>勤務先や勤務時間の変更になったなどで保育時間の変更を希望される場合は、変更届を提出してもらい受けている。子育てや家庭の事情などで、困っているなどの情報を、担任や職員が伝えてくれたり、事務所前で出会った際にそれと察した時には、声を掛けて話を聴くようにしている。保護者の相談内容に応じて、園で対応できることは可能な限り配慮して支援するが、必要に応じて専門機関の相談なども紹介している。土曜日保育は就労による場合は申し出があれば全部受けている。</p> <p>保護者会や運動会などの行事は保護者同士の交流の機会になっている</p> <p>年2回の保護者会で、保護者同士が顔見知りになるようにしている。本年は前期保護者会の時間を短縮し、園から保育の説明をするのみとしたため、懇談で話したかったことについてアンケートを実施し、クラスだよりに質問や回答を掲載する誌上懇談会を実施している。0歳児は入園が4月一斉ではなく、紹介の機会がなかったことから、0歳児受け渡し室に親子の写真を掲示している。3・4・5歳児対象の運動会には親子競技を実施して、保護者同士の交流の機会にしている。</p> <p>コロナ終息後にはどのクラスも保育参観・参加を再開したいと考えている</p> <p>コロナ禍前はどのクラスも保育参観・参加をしてもらっていたが、本年は0歳児クラスのみ実施し、通常の園での子どもの様子を観たいとの希望もあり、保育室の窓に目隠しを設置して隠れて、子どもの様子や保育士の関わりなどを観てもらった。コロナ終息後には他のクラスも、参観・参加のどちらかを選んでもらって、いつでも観てもらえるように再開したいと考えている。個人面談は5歳児は年2回、他のクラスは年1回実施している。期間を決めて都合のつく日に、屋敷の時間に来てもらい、兄弟の園児の面談は同日にしている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>これまでは、読み聞かせのボランティアや併設高齢者活動施設との交流をしていた 散歩時には地域の公園を利用している。これまでは、読み聞かせサークルのボランティアが来園して4・5歳児を対象に絵本を読んでもくれたり、茶道の先生がお茶体験をさせてくれたりしていた。子ども発達センター併設の通所施設と交流をして、5人程来園して一緒に遊んでいた。併設の高齢者活動施設の利用者との交流もしていた。いずれもコロナ禍のために中止している。地域の児童館を利用している地域の入所保護者向けに、園の栄養士が離乳食、保育士がトイレトレーニングなど子育てのアドバイスをしている。</p> <p>運動会や夏祭りには地域の子育て家庭も参加してもらっていたが、中止している これまでは運動会は地域の小学校を借りて実施し、地域の子育て家庭にも呼び掛けて、園の門外や地域の児童館、商店にもポスターを掲示してもらい、未就園児の競技も実施していた。夏祭りもお知らせを配付して参加を呼び掛けていた。しかし、現在は運動会、夏祭り共に、参加の呼びかけはしていない。芋掘りには4・5歳児が区内の農家の農園に行き、芋ほり体験をしたさつまいもで11月には焼き芋をすることになっている。近隣の園庭の無い民間保育施設への園庭開放を実施して遊びに来てもらうことになっている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが主体的に遊べる保育環境を作り、子どもの挑戦を支える保育をしている	
内容①	園で大切にしている「子ども一人ひとりが楽しい、面白い遊びができる環境を作る、～五感を使った遊び～」を目指して、保育室環境は子どもが自分で選んで遊べるように発達に応じた玩具類を遊び毎のコーナーに設定している。園庭も、タイヤやビールケース、板などの可動遊具を自由に使えるように用意して、ロープのぼりもできる。子どもたちの挑戦は危険が無いように見守り、可能な限り支えていく保育をしている。利用者調査の結果、園での活動は子どもの心身の発達に役立っているかの問いに、100%の肯定回答が寄せられ、大変高い評価を受けている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル②	指導計画(月案)の振り返り欄の書き方を見直し、保育の状況が伝わりやすくしている	
内容②	各クラスの月間指導計画(月案)は毎月、月案検討会議を2回開催して、クラスの保育のねらいや子どもの姿、保育者の関わりなどについて意見交換し、子どもたち一人ひとりを理解したり、クラスの課題や悩みも明らかにして共有している。さらに、自分たちの保育を振り返り具体的に見つめなおすために、月案の様式を見直し、先月の保育の振り返り欄の書き方をエピソード型に変更した。そうしたことで、子どもの姿が具体的に伝わりやすくなった。また、課題や悩みも共有しやすくなり、園の保育の理解が進み、保育の向上に役立っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	サークル活動により、楽しく、柔軟に考え・工夫し、より良い保育につなげている	
内容③	職員個々の思いを子どもたちに還元することをねらいにしたサークル活動(ままごと、室内環境設定、園庭環境、積み木、絵本、園庭遊具、保育を語ろう)に取り組んでいる。職員アンケートでは「職員の自主的な活動によるサークル活動にしたことで、職員一人ひとりがより自主的によく考えるようになり、保育のなかで子どもたちに還元されていた」「サークル活動という名目だったので気軽さがあり、柔軟に活動することができた。考えたり工夫したりすることの楽しさが増した」などのコメントが寄せられた。	

No. 特に良いと思う点		
1	タイトル	虫探しで捕まえた生き物を飼育して、生き物の命や生きることについて感じている
	内容	子ども達は虫探しが好きで、園庭や散歩先で捕まえたダンゴムシやカナヘビ、蝶を飼育している。他にも、イモリ、ザリガニ、カブトムシ、金魚、ドジョウ、メダカを飼育している。生き物を捕まえると「飼いたい」というので、その度に、飼うことはお世話をすることと伝えている。子どもたちは飼育ケースに何を入れて家にするか、食べる物は何かなどを図鑑で調べている。飼い始めても動かなくなったり、生きている物を食べるカナヘビには餌になるクモやシジミ蝶などの生き物を捕まえて与えたりして、生き物の命や生きることについて学んでいる。
2	タイトル	自然物に直接触れて、感じて、匂いを嗅ぎ、不思議さを感じて、意欲や好奇心などを育てている
	内容	自分で触れて、匂いを嗅いで、などの五感を働かせる活動を大事にしているので、園庭では砂場遊びや泥団子作り、石鹸の泡遊びなども盛んである。また、園庭や散歩先で見つけてきたオシロイバナや朝顔、ヨモギ、ドクダミ、梅の実、金木犀の花、どんぐりや木の葉など、季節の移り変わりに合わせて出会える自然物で、色水遊びやままごとの具材などにして遊んでいる。園周辺には広い自然豊かな公園があるので、散歩に出掛けて芝生を駆け回って遊び、雑木林で虫探しや草花摘みなど自然に触れて遊び、神田川沿いの道では水鳥などを発見している。
3	タイトル	保護者の保育への参加ができない状況であるため、わかりやすく保護者に保育を伝える工夫をしている
	内容	園での子ども様子は0～2歳児は連絡帳で、3～5歳児はクラス活動の様子を貼りだし日誌で伝えている。コロナ禍で保護者の保育参加が少ない中、保育をわかりやすく伝える必要があることから、子どもの活動の様子を写真付きの壁新聞や、玄関先に散歩先マップを掲示したり、園庭遊具の紹介、全クラスで取り組んでいるリズム遊び、室内遊びの遊具(巧技台、肋木、マルチパーツなど)の紹介などを行っている。肋木、マルチパーツなど保護者がイメージできるよう、それらの遊具での遊び方を掲示や園だより号外などで伝えている。
No. さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	園の目標を達成するため、全体的な計画を総合的な計画になるよう見直しを期待する
	内容	全体的な計画は保育理念、保育基本方針、保育目標を基に、各年齢クラス毎の大切にすること、養護と教育の5領域、食育の項目について、保育の内容を書き入れて作成している。今後は、園で掲げている保育の目標を達成するために必要と思われる、保護者支援や地域環境、地域交流なども盛り込んだ総合的な計画への見直しを期待する。
2	タイトル	より一層、保護者との相互理解を図るための仕組みの構築を期待する
	内容	年2回の保護者会や個人面談などで、保育の意図を説明したり子どもの様子を共有して、保護者から意見や要望などをもらっている。園への意見や相談はいつでも受けることを伝えている。保護者からもらった意見などは検討し、必要に応じて見直しの対応をしている。今後は、これまで以上に保護者との相互理解を図るため、意見箱や利用者アンケートなどで意見や感想などを寄せてもらいやすい仕組みの構築を期待する。
3	タイトル	職員がリフレッシュでき、メリハリをつけて保育できるためには、業務の省力化へのさらなる取り組みを期待する
	内容	超過勤務の削減や、互いに有給休暇が取れるよう働きかけ、ライフワークバランスへの意識を高めている。しかし、職員アンケートでも、園の改善点として「有給休暇をしっかりと取りたい」「有給休暇を取りやすくしてほしい」などのコメントが散見された。職員がリフレッシュでき、メリハリをつけて保育できるためには、事務作業や会議の持ち方などについて、業務の省力化に向けたより一層の取り組みが望まれる。

3. 松ノ木保育園



調査対象

令和3年8月の調査時点の子ども80名・70世帯を対象とした。

調査方法

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数	80
利用者家族総数(世帯)	70
共通評価項目による調査対象者数	70
共通評価項目による調査の有効回答者数	61
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	87.1

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父2名(3%)、母52名(85%)、父母一緒に4名(7%)、無記入3名(5%)。年齢：「20歳代」4名(7%)、「30歳代」38名(62%)、「40歳代」16名(26%)、無記入3名(5%)であった。
 ・総合的な感想は「大変満足」39名(64%)、「満足」19名(31%)、「どちらともいえない」2名(3%)、無記入1名(2%)であった。回答者の95%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・自由コメントでは、「他クラスを担当している先生も我が子の名前を覚え、名前で呼んで挨拶してくれる。先生の明るさや温かさやうれしく感じる」「子どもが毎日楽しそうに一日の出来事を話してくれるので、園のことを信頼している」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	59	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「日々の遊びや工作など、家ではやったことのないことも園で楽しんで学んでいる」「本人にできることが増えており、成長を感じる。先生やお友だちの遊びや会話などから、さまざまな刺激を受けているようだ」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	59	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「季節や天候に合わせて、色々な活動に取り組んでいる」「手先や体を使う遊びを積極的にやってくれている」「集中してビーズや体を使って遊んだり、声を出し、楽しく踊って歌ったりと、毎日楽しく安心して過ごしている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	57	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、食事に関して高い満足を得ている。「給食では毎日完食していると、(子どもが)うれしそうに話をしていた」「展示されている給食を毎日見るが、いつも丁寧でおいしそうに作られているのがわかる」「家でほとんど食べない野菜を園では食べている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	4	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、戸外遊びや行事などに関して非常に高い満足を得ている。「先生たちが子どもと一緒に虫を捕まえたり育てたりしてくれている。とてもありがたい」「虫や自然が一杯の中、先生の声かけがとても素晴らしい。想像力豊かに過ごせている」「公園や自然に近いという環境があり、戸外遊びは充実している」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	48	7	0	6
「はい」と返答した方々は回答者の79%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	52	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「出入口のロックなど対策がされている」「園から離れている公園に行ったときは、道路を渡る時、横断歩道ではなく歩道橋を使ったとことで感心した」「事故などのリスクを回避する行動をとっていることに大変感謝している」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	41	12	2	6
「はい」と返答した方々は回答者の67%、「どちらともいえない」20%、「いいえ」3%、「非該当」・無記入10%であった。「個人面談は事前に日程の調整をしてくれた」「働いている保護者のため、出席しやすい日程になっている」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	54	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「一つひとつ納得できるまで時間をかけて対応してくれている」「いつも親切に相談に乗ってくれるのでありがたい」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	54	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「お迎えのとき、パートの先生が掃除や除菌をしている様子をいつも見かける」「古い園ではあるが、先生が園内をきれいにしてくれている」「整理整頓されており、けがもなく安心して過ごせている」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	59	0	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「担任以外の職員も丁寧な対応をしてくれている」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	53	4	0	4
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「けがをしたときも十分に対応してくれている」「大きなけがや病気をしたことはないが、擦り傷ができたときには看護師や先生が丁寧に説明してくれた」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	9	0	12
「はい」と返答した方々は回答者の66%、「どちらともいえない」15%、「非該当」・無記入19%であった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	5	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「先生が子どもの個性を理解し、それに合わせて接してくれているのでありがたい」「沢山の子どもがいる中で、子ども一人ひとりの気持ちを考えてくれている」「子どもにいつも寄り添って対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	53	4	0	4
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	56	4	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「いつも連絡帳に丁寧に書いてくれている」「毎日の日誌は丁寧に書かれている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	2	1	12
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、利用者の不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「時間をつくってきちんと対応してくれた」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	24	11	5	21
「はい」と返答した方々は回答者の40%、「どちらともいえない」18%、「いいえ」8%、「非該当」・無記入34%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	◎あり ○なし	○非該当
	◎あり ○なし	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	◎あり ○なし	○非該当
	◎あり ○なし	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	◎あり ○なし	○非該当
	◎あり ○なし	○非該当
	◎あり ○なし	○非該当
	カテゴリー1の講評	
	<p>年間指導計画などに園の目標を明記し、計画に沿った保育の実践を日々展開している</p> <p>全体の計画および年間指導計画に園の目標を明記し、毎月の指導計画の検討会議で保育の振り返りを行いながら、園の目標達成に取り組むと共に園目標への理解浸透を図っている。保護者に対して、入園説明会にて園のしおりなどを使って、園の目標などを説明している。初めの保護者会でも具体的に保育で大切にしていることを伝えている。今年度、1歳児・5歳児クラスは密を避けてホールでおこない、他クラスは書面開催とした。そのほか、園だよりやクラスだよりでも園の保育で大切にしていることを伝えている。</p> <p>園長、主査、保育向上リーダー4名を中心に保育の質向上を図っている</p> <p>園長、主査、保育向上リーダー4名を中心に現場の問題課題を抽出、改善への提案をおこない、保育の質向上につなげている。保育向上リーダーは、「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、各園の課題や取り組みについて報告するとともに、グループ討論を通して、自園の取り組みの中で抑えておくべき重要ポイントを確認している。また、園長・主査は、園運営・管理、保育、人材育成などの項目ごとに目標を立て、その目標を記載した年間計画を職員へ配布し、自らの役割と責任を伝えている。</p> <p>園の重要課題について情報共有したり、検討・決定する場を明確にしている</p> <p>園の重要課題について情報共有したり、検討・決定する場を明確にしている。職員会議(月1回)では、カリキュラムの振り返り・反省、園内研修などを実施している。定例会議(週1回:14時～14時55分)では園長会の報告、そのときの重要課題について協議している。昼ミーティング(毎日:13時45分～14時)では当日の職員体制、リスク、各クラスの子どもの状況、保護者からの伝達事項などについて情報共有している。これらのミーティングや会議を通して情報共有を密に図ると共に、誰もが自分の考えを発言しやすい職場環境をつくっている。</p>	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者にアンケートを取り、保護者の意向を反映して行事や保護者会を実施している</p> <p>行事の実施後や保護者会開催前に保護者にアンケートを取り、保護者の意向を把握している。前年度の運動会は、新型コロナ禍により、園でクラス入れ替え制により実施した。実施後のアンケートでは、「広い場所でやりたい」との保護者の声を受け、また、職員の意見も取り入れ、今年度は、近隣小学校の校庭を借りてクラスごとの入れ替え制で実施した。保護者会の実施前にアンケートを実施した。「就学への不安」との年長児クラスの保護者の意見を受け、今年度、小学校の教員を招いて保護者会を実施した。</p> <p>地域子育てネットワークや地域懇談会に参画し、地域ニーズを収集している</p> <p>区立園長会では、区保育課より園運営に関するさまざまな情報が伝達され、園長は資料を配布しながら園長会の報告をし、自園でおこなうべきことを職員皆で話し合っている。地域子育てネットワークにも参画し、近隣の児童館・小学校・保健センターなどと情報交換し、園運営に活かしている。地域の保育所が参画する「地域懇談会」に参加し、より良い保育に向けて情報交換している。七夕のときに笹を地域の保育園に配ったり、園内環境を案内したり、遊び方を参考にしてもらおうなど地域の各保育所と交流し、そのニーズ把握もおこなっている。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、組織目標の達成に取り組んでいる</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省をしている。また、区保育課では、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、財政課の査定を受け予算編成をおこなっている。</p>		

カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>「杉並区立保育園保育実践方針」「保育実践の手引き」を職員個々に配布している</p> <p>全職員が区主催の公務員倫理・人権などに研修に参加し、区職員として遵守すべき事項について学び、理解を深めている。「CS・接客マナー評価」により、各職場が自らの職場の状況を把握した上で、組織の目標申告と連動して自ら目標を立て計画的に改善に取り組めるようにしている。「杉並区立保育園保育実践方針」「保育実践の手引き」を職員個々に配布している。会計年度任用職員も「会計年度任用職員研修」に参加し、公務員倫理および人権、障害理解、個人情報保護・情報セキュリティなどについて学んでいる。</p> <p>入園説明会にて苦情・要望等の相談窓口について説明し、ポスターも掲示している</p> <p>「重要なお知らせ」に苦情・要望等の相談窓口について明記し、入園説明会で保護者に周知している。「保健福祉サービス苦情調整委員制度」のポスターを事務所前に掲示し、不満や苦情、要望を区の苦情調整委員に伝えることができることを周知している。「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については区のホームページでも周知している。日々の保護者対応や連絡帳などから保護者の意見や苦情を収集し、対応した職員はミーティング等ですぐに全職員に周知し、早急な対応を心がけている。</p> <p>保育実習生は受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している。</p> <p>これまで、園庭開放、育児相談、ふれあい保育の実施、看護師・保育士が児童館での講師を担うなど地域貢献活動に取り組んできた。しかし、新型コロナ禍により、園庭開放、ふれあい保育、児童館での講師などは中止となっている。看護師は、他園の応援に行っている。新型コロナ禍により、ボランティアの申し込みもきていない。また、中学生の職場体験もこれまで受け入れていたが、今は中止となっている。保育実習生は受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリ-4の講評		
<p>「自衛消防訓練実施計画」を作成し、毎月、計画的に防災訓練を実施している</p> <p>近隣の消防署に園の消防計画を提出し、「自衛消防訓練実施計画」を作成し、毎月、計画的に防災訓練を実施している。予告なし、午睡中・散歩中・夕保育・朝保育、プールや水遊び時などさまざまな場面を想定した訓練を実施している。ロールプレイング方式による散歩中の不審者対応訓練なども実施している。前年度は消防署立ち合いの訓練も実施している。大規模災害では、杉並区業務継続計画(BCP)や「震災復興マニュアル」に準じた対応をおこなうこととしている。</p> <p>ヒヤリハットしたことを記入することで、危機意識を高めている</p> <p>区保育課からの新型コロナウイルス感染症に関する新しい情報や通知内容を把握し、当園でできる具体的な対策について、職員間で繰り返し話し合いをし、対策を講じている。その結果、衛生面や安全面、感染予防に関しての職員の意識や理解が高まり、改善している。軽微なリスクも、ヒヤリハット用紙に記入し、園日誌も挟み、職員間で共有している。ヒヤリハット用紙には、発生場所・状況・原因・反省、改善策などを記載している。ヒヤリハットしたことを記入することで、職員の危機意識を高めている。</p> <p>区の情報セキュリティ基本方針などに基づいて情報の運用・管理している</p> <p>杉並区の個人情報保護条例、情報公開条例、情報セキュリティ基本方針、区保育課が作成した「情報セキュリティ実施手順」などに基づいて情報の運用・管理している。児童票などの紙媒体の個人情報は施錠して管理している。個人情報を取り出す・返却するときは、管理簿に日時、誰が持ち出し・返却したか、冊数などを記入し、情報の漏れがないようにしている。「重要なお知らせ」にも、個人情報の取り扱いについて明記し、入園説明会の際に保護者に周知している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
----------------	------------------	------------

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

区全体で人事異動基準を定め、定期的な人事異動を実施し、能力開発の機会としている

正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。採用後は1年目、2年目まで育成担当者を配置し、保育士としての知識の習得・習熟を支援し、気軽に相談できる体制を整えている。また、園長は、職員個々に「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で「異動希望調査」を使って、職員個々の希望を確認し、定期的な人事異動を実施している。園内では職員の希望や子ども・保護者の状況などを考慮し、園長等がクラス担任を決めている。

保育の取り組みなどの話し合いを深め、職員の資質向上につなげている。

区の人材育成事業実施計画に基づき、在職年数に応じた階層研修に職員を派遣している。また、本人の希望やその必要性を考慮してテーマ別の研修にも派遣している。研修受講後、1週間以内にレポート提出を義務づけている。加えて、定例会議で報告し、研修で学んできたことを皆で共有している。また、園内研修を実施し、グループ討議により保育を語り合い、保育のスキル向上につなげている。また、障害児を含めた保育の取り組みや行事の持ち方・考え方などの話し合いを深め、職員の資質向上につなげている。

ワークライフバランスを意識した職場づくりを目指し、効率的に仕事をすすめている

障害児指定園になったことで、互いを認める「インクルーシブ保育」やハンディキャップのある子どもに対する保育について、より意識的に学び、より良い保育を実践しようとする士気が上がっている。職員一人ひとりが組織の一員として各行事プロジェクトや係などの役割を持つことで、力を発揮できるようサポートしている。何でも話し合える風通しの良い職場にしている。ワークライフバランスを意識した職場づくりを目指し、効率よく仕事を進めていけるよう取り組んでいる。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「各年齢の発達をとらえた体づくりを目指し、各クラスどのような活動や働きかけが必要か考え、実践していく」ことを重要課題とし、次の取り組みを実施した。毎月の各クラスの指導計画の中で働きかけや活動について話し合い、振り返りを重ねていった。その中で、子どものありのままの姿を受け止め、寄り添う保育を大切にすることも確認した。そして、客観的に見た姿や方法を助言しあい、今後の活動に活かせるようにしていった。園内研修をおこない、各クラスの活動を通して育まれる動きや姿をグループに分かれて確認しあった。体のどの部分を動かすことにつながる遊びか、色々な遊びについて職員皆で話し合った。話し合いを受け保育の中で実践したり思い切り体を動かして遊べる環境を整えていった。毎月の指導計画の検討では、体づくりも考えてたてるように確認した。体づくりに有効と思われる園庭遊具の環境を整えるため、役割分担し設定に努めた。体づくりの重要性について職員全員で確認できた。各クラスの子どもたちについて皆で考え、思い切り体を動かせるスペースの確保について工夫しあえる土壌ができた。令和3年度も目標の一つとして掲げ、継続して取り組んでいくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

各年齢の発達をとらえた「身体作り」を目指し、各クラスどのような活動や働きかけが必要か考え、実践していくことに取り組んだ。保育の振り返りをしながら、子どものありのままの姿を受け止め、寄り添う保育を大切にしてきた。身体づくりを意識した保育について話し合い、日々の活動の中で実践してきた。職員アンケートでも、前年度の取り組みにより、良くなった点として、「乳幼児期にしっかりと体をつくるにはどのような保育が大事か、職員全員で話し合ってきた。今年度はそれを踏まえ、園庭やホールを使って各クラスの発達に合わせた体づくりを意識した保育をおこなっている」などのコメントが寄せられた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「主体的で創造的な遊びができる環境を目指す」を重要課題とし、「子どもの成長や実態に合わせ、魅力的な環境づくりを目指す」ことに取り組み、室内・園庭の環境づくりについて、職員皆で話し合った。どんな遊具があると魅力的かグループごとに話し合った。そして計画を立てて遊具を購入したり、役割分担し情報を集め安全を確認しながらできるものは作った。計画的に遊具の充実を図っていった。遊具を置く環境設定についても話し合った。園全体の室内遊具の見直しと整理整頓をおこなった。ままごとの食材についてはいろいろな種類を作り貯め、各クラス必要に応じて入れ替えられるようにした。効果がすぐ現れるものではないため、今後も意識して取り組んでいくことを確認した。設定した園庭の遊具は活用できているものと、そうでないものがある。今後、その一つひとつについて検証し、反省や改善を重ね、有効に使えるようにしていくことに取り組む予定である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

子どもの成長や実態に合わせ、魅力的な環境づくりを目指してきた。環境係を中心にさまざまな整備をしてきた。職員アンケートでも「環境設定や遊具について全体で話し合い、作成や購入したことで充実してきた」「子ども一人ひとりが少人数でじっくりと遊びこんだり、思いきりやりたいことに取り組んだりできるよう、園舎内の各スペースを遊び場として活用するようになった。それぞれの場所にはリーダーを配置し、中心となって取り組んだ。また、園庭の遊具についても考え、縄を使った遊具や可動遊具の作製、設定の工夫、使いやすい配置の確認をおこなった」などのコメントが寄せられた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区のホームページや発行している冊子などで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供している。住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、地図、保育園の特色、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見ることができるようになっている。その他、地域で子育て家庭向けの身体測定や園庭開放の案内を掲示をしていたが、現在中止しているので出していない。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関などと情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり区保育課には、延長保育利用児数報告、施設修理依頼などさまざまな案件について報告し、情報共有している。園長は月2回の園長会に参加して行政から情報提供を受け、課題検討をおこない、他の職員も主査会、医療会、栄養士会、保育向上リーダー会など区立園同士の情報交換の場に参加している。地域の公私立保育園長の地域懇談会や保育士同士の研修などにも参加している。児童館主催の地域ネットワークや行政連絡会など、関係機関との連携や情報提供もしている。併設の児童館との協力もしている。</p> <p>見学は10時頃から30分程度、園舎内を案内し、園の特長などを伝えている</p> <p>園見学日を月2回設定して受けている。見学希望者の予定と合わない場合には調整して受けている。10時頃から30分程度とし、園の概要文書を配付して園内を案内し、特長や力を入れていることとして、地域の自然環境にめぐまれているので、それらを活かした保育をして、散歩に出掛けて遊んでいる。園庭も保育室も子どもが遊び込めるように環境作りをしていることなどを伝えている。保護者の参加行事や持ち物などの質問にも応じている。7月以降の見学者は10月後半までに26組受けている。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>入園説明会を実施して、重要事項や基本的なルールなどを説明している</p> <p>3月の土曜日に、入園説明会を遊戯室で実施している。入園内定者には2月頃に園医による健康診断と園長や保育士などとの入園面接を実施している。入園説明会は、4月入園の場合には、3月上旬に実施して、「松ノ木保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「松ノ木保育園のしおり」を基に、園概要、開所時間と保育時間、緊急時の対応、個人情報取り扱い、苦情や要望の窓口、保育目標、児童定員、登降園や園との連絡などのお願事項、健康管理、行事、持ち物などを説明している。説明を受けたことの手紙を受け取っている。</p> <p>保護者や子どもの個々の状況に合わせて、慣れ保育を実施している</p> <p>入園説明会時に慣れ保育について1週間程度予定していることを説明し、家庭の意向に沿った慣れ保育予定表で保護者と子どもの様子を職員間で共有しながら進めている。育児休業中でゆっくりと進めたいと希望される場合には、月はじめからの登園ではなくずらして個別対応をしている。不安や緊張などから水分や食事が摂れない子どもの場合は、様子を見ながらゆっくり進めるなど、個別の状況に合わせて進めている。集団経験がある場合には、早めに決めた保育時間で預かっている。園での食事の初日は可能な限り、保護者に食べさせてもらっている。</p> <p>退園や転園、卒園などには子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>引っ越しなどで途中退園する場合は、クラスでお別れ会をして、カードを渡している。保護者には新しい環境への不安はないか聴き、遊びに来てくださいと伝えている。区内の公立保育園への転園の場合には、引き継ぎをおこなっている。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを届けたり送付したりしている。卒園した一年生には、園の夏祭りに招待していたが、コロナ禍のために祭りが中止であり、「お元気ですか」の葉書を郵送している。地域の学童クラブには元担任が出向いて、子どもの顔を見たり様子を聴いたりしている。</p>		

サブカテゴリー3	
3	個別状況の記録と計画策定
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12	
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	
評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している	
評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している
○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている
○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている
○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している
○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている
○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある
○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している
○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
○非該当	
サブカテゴリー3の講評	
子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌など、所定の様式に記録し把握している 入園時には、健康状態は入園健康診断、児童健康調査表で把握し、家族構成、入園までの生活状況等は保育士が、離乳食やアレルギー食事については栄養士、健康面は看護師、家庭の事情や保育時間は園長が面接して把握している。入園後は1・2歳児は複写式連絡帳を使用して食事や排せつ、睡眠、体温、健康状態などを記入してもらい、3歳児からは登園時に口頭で聴き取り、コロナ禍であることから、毎日、健康チェック表に体温と体調を記入してもらっている。日中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌などに記載し保育経過を児童票に記録している。 指導計画はクラスの担任同士保育を振り返り、翌月の計画を作成している 指導計画(月案)は担任同士で子どもの様子やクラスの状況を振り返り、翌月の指導計画を作成している。1・2歳児は毎月個別計画も作成し、3歳児からは必要に応じて個別配慮を、配慮が必要な認定児は毎期の個別計画を作成している。年間指導計画は前期保護者会で配付して説明しているが、本年は1・5歳児クラスは開催し、コロナウイルス感染拡大防止のために、2・3・4歳児は中止して保護者会資料と一緒に配付している。月案は事務所前の廊下に置き、いつでも見てもらえるようにしている。幼児クラスは週案を廊下に掲示している。 カリキュラム会議などの各種会議を実施して、子どもに関する情報を共有している 月初めにカリキュラム会議を2回持ち、事前に配付して見ってもらったうえで、職員間で意見交換をして、情報共有している。その他、子どもに関する情報共有のために平日の昼間には代表者が参加してミーティングを実施し、子どもに関する情報の共有やクラス状況、怪我などの報告、係からの連絡、職員体制、給食の感想、アレルギー食の確認などを行っている。週1回定例職員会議を14時から開催して、事務連絡や行事検討・反省などを行っている。その他、月1回の夕方からの職員会議では園内研修を兼ねて保育に関する話し合いをしている。	

サブカテゴリ5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリ5の講評

子どもの個人情報の保護を徹底している

入園説明会で、「保育園利用に当たって重要なお知らせ」「松ノ木保育園のしおり」などで、園で収集した個人情報は厳重に管理する旨を伝え、保育園での写真、ビデオ撮影についてなど保護者の意向を調査し対応している。また、子どもの羞恥心への配慮として、戸外でのシャワー時には外部から見えないように遮光ネットを張り、幼児は全員ラップタオルで身を包み、シャワーの個室に入っている。着脱の際には窓のカーテンを閉めておこない、全裸にならない脱ぎ着の仕方を知らせ、看護師によるプライベートゾーンの話をしている。

保育の中で一人ひとりを尊重している

園の保育方針「一人ひとりの思いを汲み、共感し、姿を受けとめていく」に沿って保育をしている。子どもへの声のかけ方、話し方、丁寧な言葉かけなど保育者としての心構えを書いている「子どもへの接し方」を職員の更衣室に掲示して、自らを振り返るようにしている。子どもの名前は呼び捨てにせず正式名称で～ちゃんや～くんと呼んでいる。子どもの誕生日の祝いは、幼児クラスでは誕生日バッチをつけて、その子の誕生日にクラスで行ない、給食にはプレート皿で特別盛り付けで提供している。皆にお誕生日おめでとうと声掛けしてもらっている。

日頃から子どもの身体や言動などに気を配り、虐待の予防や早期発見に努めている

子どもの虐待や育児困難家庭に関する集合研修が中止になり、参加できなかった。これまでに子ども家庭支援センターとのつながりがあるケースを経験していることから、職員は「虐待防止マニュアル」を見るなどして意識している。日頃から、子どもたちの着替え時には身体のおざや傷などに注意を払い、子どもの言動に耳を傾け、原因不明の傷跡などは子どもや保護者に確認するなどして、少しでも不審に思う点がある場合には、園長に報告することになっている。

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立保育園共通や園独自のマニュアル類を整備し、いつでも確認できるようにしている</p> <p>区立保育園共通の「杉並区保育実践方針」や「保育実践の手引き」、「危機管理」「アレルギー」「給食衛生」さまざまなマニュアルを整備している。園独自に「松ノ木保育園マニュアル」を作成している。内容として、園概要やクラス体制、自衛消防訓練、安全管理、大震災後の対応、受信後のフローチャート、急病事故対応マニュアル、散歩について、午睡チェック表の記入の仕方及び午睡時の注意についてなどを盛り込んでいる。マニュアル類は事務室の棚に置き、園マニュアルは各自持ちにして、いつでも必要な時に確認できるようにしている。</p> <p>園マニュアルは基本的に年度末に見直しているが、必要に応じて、随時見直しもしている</p> <p>園マニュアルは年度末に見直しを実施している。しかし、朝保育、夕保育の仕事内容などは、会計年度任用職員が退職するなど、変更せざるを得ないことがあるとその都度検討して見直している。園庭遊びについても、遊具を子どもの興味関心に合わせたり、季節などにより、遊具を入れ替えたりしているため、その都度確認している。</p> <p>子ども達にとって良い環境になるように、検討して見直している</p> <p>子ども達に遊べる環境を提供しようと職員皆で検討して、物入として使っていた部屋を片付けて、乳児クラスの子どもたちが少人数グループで遊べる部屋に作り替えた。コロナ禍のためにプール遊びが中止になったため、子どもたちが密にならずに園庭で水遊びができる日を決めて泥んこ遊びなど、水を使った遊びができるようにした。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	34/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で好きな物を選んで落ち着いて遊べる環境作りをしている</p> <p>1・2歳児室は食事と遊びの場所とを仕切り、ままごとや絵本、手先遊び、動きのある遊びなど遊び毎のコーナーに分けて子どもが落ち着いて好きなもので遊べるようにしている。動ける場所には手作りのジャングルジムなども用意している。幼児クラスもそれぞれ、ままごとや木製積み木、製作・机上遊びなどのコーナーにしている。園庭には鉄棒や砂場などの他、マルチパーズや板、ロープブランコ、コンテナ、バスマットなどの可動遊具を用意して、子どもが自分で選んで考えて組み立てて遊べるようにしている。</p> <p>園庭などで自然な異年齢交流をして、お世話をしたり一緒に遊んだりしている</p> <p>異年齢交流は自然な関わりをしている。当園は構造上、1歳児が園庭に出る際には幼児の保育室を通る必要があるため、子ども同士顔見知りであり、声掛けしたりする姿もよく見られている。園庭も1つのクラスと1・2歳児クラスの少人数グループで使うことが多いので、自然な関わりが見られ、転んだ年下の子を助けたり、手をつなぐ、遊びに入れてあげる、鼻水が出ていると拭いてやるなどの姿が見られている。また、外国籍の子どもについても、～ちゃんの国はどこかなと世界地図を見たり世界の国旗の中から探すなどし関心をもっている。</p> <p>子ども同士のトラブルは双方の子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>噛みつきやひっかきなどの対応は1歳児の前期保護者会で説明している。子ども同士のトラブルの際には、双方の気持ちを尊重して、「～したかっただね」と受け止め、「噛んだら痛いからやめようね。貸してって言うんだよ」など知らせている。保護者には双方の子どもの名前を出してトラブルの状況を正しく伝える。園で起きたトラブルは園の責任であることも伝えて防げなかったことを謝罪し再発を防ぐ方策を知らせている。幼児のトラブルの場合は、双方の子どもの主張をよく聴いて、一緒に考え、解決がつかない場合には大人が介入して収めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>朝の登園時には健康観察をして保護者に家庭での子どもの様子を聴いている</p> <p>登園時には、挨拶を交わして子どもの顔色や機嫌表情などの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。1・2歳児の連絡帳と健康チェック表は手渡しで受け取っている。保護者から伝えられたことは朝タノートに記入している。電話で受けた伝言は園日誌に記入して、受けた職員がクラスに伝えている。朝の受け入れ時に気付かなかった傷跡などには夕方のお迎え時に保護者に確認している。首・顔・頭の怪我と大きな傷がある場合は、平日昼間に実施している屋打ち合わせて報告して職員間で共有している。</p> <p>昼寝の時間や長さは子どもの状況に応じてしている</p> <p>3～5歳児は遊戯室で昼寝をしている。1～4歳児は昼食後にはトイレを済ませて昼寝をするリズムにしている。5歳児は食後に静かな遊びをして、13時頃から昼寝に入っている。1歳児では早めに眠くなる子どももいるので、食事時間を早めにしてもらうなどの配慮をしている。年齢が上がるにつれて、食事時間・昼寝に入る時間に時差をつけて遅くし、午睡時間は短くしている。5歳児は就学を控えており、3月頃には昼寝の時間を短くして寝ないで過ごすようにしているが、よく寝る子どもたちであり生活リズムを考慮し、休息のみにする時期は検討中である。</p> <p>迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えている</p> <p>迎えの保護者には連絡帳と健康チェック表は手渡しして、一人ひとりに子どもの様子を伝えている。18時まではほとんど各クラス保育をして担当が夕保育をしているので、子どもの様子を伝えることができている。3～5歳児は貼りだし日誌を読んでもらっている。トラブルや怪我があった場合、受診は看護師に付き添ってもらいが、迎えの保護者に状況を説明できる保育士が説明し、看護師が受診の状況を報告し、園長や主査も謝罪するなどしている。説明の際には、子どもも交えて、現場検証をしたりしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

午前中の自由に遊ぶ時間を長めにとったり、継続して遊べる環境作りをしている
 登園時間を9時15分にして、自由に遊ぶ時間を長めにし、遊び込める時間を確保している。1・2歳児は午前中のおやつを9時過ぎに取ったあと、少人数グループに分かれて、園庭、散歩、ホールなどでじっくり遊んでいる。幼児では積み木など継続して遊びたいものは名札を置いて続きができるようにしている。特に5歳児は、今日の予定を考えて遊ぶものを決めていく。製作や製作途中の物を置いておく場所を用意しているので、自分の製作物や泥団子などで継続的に遊んでいる。夏場の氷作りでは、その子の氷を紙パックに入れて冷蔵庫で保存している。

集団活動に参加したくない時には、子どもの気持ちを受け止めて寄り添っている
 5歳児では朝の会を開いて、今日の予定を伝え、子どもが主体的に生活できるようにしている。みんなで一緒に取り組み集団活動に参加したくない場合には、なぜ参加したくないのか、気持ちが乗らないのか、などを子どもに聴いたり探ったりして、その子どもの気持ちを受け止めて、「また今度やろうね」と声掛けしたり、「事務所まで過ごすかな」と事務所の応援を得て、子どもの気持ちに添うようにしている。リズム遊びや鬼ごっこなどでは友だちがしているのを見ていたり応援したりすることも参加していることと考えているので、無理強いはいしていない。

自然豊かな公園に散歩に出掛けて、身体を動かしたり自然に触れたりして遊んでいる
 散歩は、戸外遊びが心地よい季節には週2～3回程取り入れて、善福寺川沿いに広がる都立公園や緑地、グラウンドなどで遊んでいる。サッカーや鬼ごっこなどで駆け回って遊んだり、虫網や虫かごを持って行き虫探しをして捕まえていたりしている。桜などの樹木や草花、木の実などを見たり触れたりして、桜の花が散り小さいさくらんぼが落ちていたり、違う花が咲いているなど、季節の変化に興味や関心を広げている。池でザリガニ釣りをして園で飼育している。金魚やメダカ、カナヘビ、カブトムシなどに生き物の飼育も盛んであり、エサ取りもしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
○あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

わくわく祭りでは絞り染めに挑戦し、楽しかった祭りの遊びを再現して遊んでいる
 6月のわくわく祭りは3～5歳児対象の楽しむ行事として、ワニ叩き、輪投げ、風船叩き、ボーリング、金魚すくい、子どもたちのお神輿担ぎなどを行っている。5歳児は祭りの前に、Tシャツの絞り染めや提灯作り、お神輿作りに挑戦し、初めての絞り染めはビー玉などを輪ゴムで縛るのが難しく、何度もやり直して作り、染め上がると歓声を挙げ、祭りでは自分の作ったシャツを着て嬉しそうであった。祭りの楽しさを味わった子どもたちは日常の遊びの中で再現遊びをして、金魚すくい、釣ったザリガニでザリガニすくい、水風船で遊ぶなどの姿が見られている。

運動会では皆で協力して諦めずに頑張ることの喜びを味わっている
 運動会は近隣の小学校の校庭を借りて、今年はクラス毎で実施している。5歳児クラスでは、運動会に向けて何をやりたいか子どもたちと相談して、かけっこ、リレー、リズム遊び、組体操をすることに決め、プログラムの台紙作りや看板作りにも取り組んでいる。リレーでは走る度に勝つチームと負けるチームになって、楽勝と喜んだり、もう負けるから嫌となったりしていた。それでも、勝つために走る順を相談したりして繰り返しているうちに、両方も勝ち負けを経験し、諦めないことやチーム皆で頑張ることの大切さなどに気づいたりしている。

行事予定表を配付し、行事に向けて取り組んでいる子どもたちの様子を伝えている
 年間の行事予定は年度初めに配付して、保護者に知らせている。例年は6月のわくわく祭りと3・4・5歳児の運動会に保護者参加をお願いしているが、コロナ禍のために運動会のみになっている。参加してもらう行事について、園だよりでは2か月前頃から案内をしている。運動会だよりも発行し、日程や会場のお知らせ、出席のご案内、見どころなどを伝えている。その他、クラスだよりや貼りだし日誌などで、張り切って取り組んでいる子どもたちの様子を伝えて、保護者も楽しみにしてもらっているようにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は人数が少ない時間は合同保育、多い時間にはクラス保育にしている 朝保育は8時30分まで1歳児室で1・2歳児が、4歳児室では3・4歳児が合同保育にしている。5歳児はクラス保育をしている。夕保育は子どもの人数が多い時間帯は各クラス保育にしている。18時過ぎに1・2歳児と3・4歳児が合同になり、5歳児は単独で過ごしているが、少人数の場合に他のクラスと合同保育にしている。</p> <p>おやつ後は園庭などで体を動かしたりして遊んだ後、室内で落ち着いて遊んでいる 午後のおやつを食べた後には、3～5歳児は外遊びができる時間(例えば、10月では16時45分頃まで)園庭で体を動かして遊んだり、気分転換したりした後、室内遊びにしている。2階の1・2歳児も、クラスや特別室、テラスなどで、少人数グループに分かれてゆったりと遊んでから、夕保育にしている。</p> <p>延長保育が楽しい時間になるよう、子どもたちが遊びたい遊びをして過ごしている 延長保育の定期利用児は現在のところ5名以下である。延長保育当番の職員は日により入れ替わるが、パート職員はいつも同じ職員にしているため、安心して過ごしている。少人数のため、子どもたちの遊びたい遊びを提供したり、当番保育士が新しい遊びを提案したり、他の部屋や遊戯室で遊ぶなど、子どもたちが飽きずに楽しく過ごせるように配慮している。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせたテーブルや椅子を使い、安定して座り、落ち着いて食事をしている 子どもの体格に合わせたテーブルと椅子を使って安定して座り、落ち着いて食事をしている。必要な場合には、手作りの足台や背当て脇当てなども用意している。コロナ禍の間は対面にならずに座っていたが、今は人数を減らして座っている。食事の配膳が終わったところで子どもたちが着席し、いただきますの挨拶をしている。5歳児はテーブル拭きや挨拶の当番をし、食べ終えた食器は自分で片付け、4歳児ではおやつのお皿片付けをしている。給食への関心を高めるために、子どもたちにもわかりやすいようにひらがなの表示の献立表を用意している。</p> <p>区立園共通の献立を使って、園の厨房で調理した出来立ての温かな給食を食べている 区立保育園共通の栄養バランスの摂れた2週間サイクル献立を使用し、園の厨房で調理して出来立ての温かい物を提供している。旬の食材を取り入れて季節感のある料理にして、昆布やかつお節、煮干で出しをと、薄味の給食にしている。誕生日の子どもにはには、献立は同じだが、プレート皿に、人参の型抜きなどでかわいらしく特別盛り付けた物を提供している。また、わくわくランチと称して、10月11月12月にはクラス毎に、ランチプレートで提供したり、ご飯を型抜きしてもらうなど、通常と見た目を変えて特別盛り付けで提供している。</p> <p>プランターで野菜を栽培して、生育を観察し、収穫して調理してもらい食べている 園庭のプランターで野菜を栽培し、子どもたちが水やりをしながら世話をし、花が咲いた実がなったなどと生育を観察し、収穫した野菜は厨房で調理してもらい給食時に味見をしている。春夏野菜として育てた物は3歳児がキュウリ、枝豆、4歳児はトマト、トウモロコシ、5歳児は西瓜、トウモロコシ、人参などである。秋には区内の農家の方の農園で5歳児がさつまいも掘りを体験し、その芋を使って焼き芋会を予定している。給食食材に触れる経験として、そら豆や冬瓜を観たり触れたりし、5歳児は自分の食べるラップおにぎり作りをしている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づき対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子ども達が健康や安全に興味を持てるように、わかりやすい健康教育をしている</p> <p>年間保健計画、健康教育計画を作成して、看護師がトイレの使い方やうんちについて、くしゃみや咳の対応、手洗いなど、クラス担任から子どもたちに伝えて欲しいと要望が出たものを子どもの年齢に合わせてわかりやすい言葉で伝えている。子どもにわかりやすいようにトイレットペーパーのとり方などをやって見せ、絵本や絵などの教材を使用したりバイ菌の跳ぶ距離を紐などで知らせたりして伝えている。保育士は、保育活動の中で危ない場所や遊びを知らせ、生活習慣が身に付くよう見守り、散歩時には道路の歩き方などの交通安全を知らせている。</p> <p>囑託の園医など、医療機関と連携している</p> <p>園では薬の預かりは原則としてしていないが、健康的な生活を送る上でその子に必要な、アナフィラキシー反応時のエピペンなどの預かりはしている。職員に周知したうえで、土曜日の保育日誌やクラスの朝タノートには対象児の対応についてのマニュアルを貼付して、その場に立ち会った職員が対応できるようにしている。子どもの健康管理として園医による健康診断を年2回、歯科健診を年1回、その他、3歳児からは耳鼻科・眼科健診を年1回実施している。囑託の園医には子どもの健康に関する相談に応じてもらっている。</p> <p>保健だよりや掲示板などで、感染症など子どもの健康に関する情報を伝えている</p> <p>玄関ホールの掲示板に子どもの健康管理に関する情報を掲示している。園で感染症が発生した場合も保健掲示コーナーに掲示して注意喚起をしている。看護師が毎月保健だよりを発行して、子どもの健康に関する情報や園の保健行事などを知らせている。園での昼寝の際には午睡チェックを実施して、乳幼児突然死症候群等の予防をし、上を向いて寝るように促し、カーテンは閉めてしまわず顔色が分かるようにして、職員は子どもの顔色をよく見たり触ってみたりしている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育方向向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>家庭の子育てや就労などの事情は申し出てもらい、可能な限り、配慮して支援している</p> <p>就労先や勤務時間などの家庭状況に変更があった場合は変更届を提出してもらい、必要に応じて保育時間の見直しをしている。土曜日は原則就労の場合を受けており、臨時的に仕事が入った場合は保育をおこなっている。その他、家族の病院受診などで園児の保育が必要な場合も受けている。保護者の体調が悪い時のお迎えや不慣れな祖父母のお送り迎えの場合には、玄関で受け渡しをしたり、一緒に手助けするなどしている。</p> <p>年2回保護者会を実施し、クラスの保育や子どもの様子を伝えている</p> <p>本年の前期保護者会は1歳児と5歳児クラスのみ実施し、コロナ感染症拡大防止のために他のクラスは中止して、資料を配付している。保護者会ではクラスの保育目標や大切にしたいこと、年齢発達の子どもの姿を資料や映像で見てもらっている。1歳児では排せつの自立に向けて伝えている。5歳児では前期保護者会では小学校の校長先生の講話などを実施して、後期では学童保育の職員さんに来てもらうことにしている。</p> <p>個人面談を年1回以上、日常の保育の参観・参加は随時受けている</p> <p>例年個人面談は年1回以上実施して、子どもの成長発達について共有する場になっているが、コロナ禍のために前年は必要な人のおこない、相談や意見がある時にはいつでも受けることを伝えている。保育参観・参加は申し出てもらい随時受けている。隠れて見せよう参観か保育に参加してもらうかは保護者の希望に沿うことにしている。1歳児クラスでは普段の子どもの姿を見たいとの希望が多く、窓に目隠しを設置して隠れて参観してもらっている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の方々と挨拶を交わし、交通整理やチラシの掲示などでお世話になっている</p> <p>地域内の都立公園や区立公園などを散歩で利用している。公園に行く途中の八百屋さんは子どもたちが散歩で通りかかると、子どもたちに声を掛けて、道路を渡る時には交通整理をしてくださる。園行事の夏祭りや運動会のポスターを八百屋さんやおにぎりやさんに掲示してもらっていた。七夕の笹竹は毎年ご近所の方から頂いている。農家の方の畑にさつまいも掘りをさせてもらっている。小学校とは連携の再開に向けた話し合いが始まっている。</p> <p>読み聞かせやサッカーコーチのボランティアを受け入れていたが、中止している</p> <p>清掃事務所の職員が来園し、ゴミの分別やリサイクルについて、子ども達に具体的にわかりやすく話してもらっている。ご近所の方は園の道路側の花壇の花を植えたり手入れをしてくださっている。月1回5歳児を対象に絵本の読み聞かせボランティア、4・5歳児対象にサッカーのコーチのボランティアに来てもらっていたが、いずれもコロナ禍のために中止している。中高生の職場体験は受け入れ態勢はとっているが、中止になった。保育学生の実習は受け入れている。</p> <p>区の中核園事業の取り組みとして、地域保育施設保育士向け講習会を予定している</p> <p>区の区内の保育の質向上のための中核園事業の取り組みとして、地域内の保育施設の保育士対象にノロウイルスの対応講習会を予定し当園の看護師が指導することになっている。これまでは、地域で子育て中の方への園庭開放や子育て相談など、併設の児童館の子育て支援事業への保育士や看護師、栄養士の協力も、現在は中止している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	園内の共有スペースを工夫し、子どもが少人数で落ち着いて遊べる環境に活用している	
内容①	保育の方針に「子ども自ら遊びを選択し遊びこめるような安全で安心できる環境作りに努める」を挙げており、子ども一人ひとりがじっくり遊べる環境作りに力を入れている。2階の医務室を片付けて、0・1歳児が少人数で遊べる部屋に整備し、1階の元管理人室は障害児認定園の特別室として改装してもらい、認定児が使用しない時には2歳児が少人数グループで使用することにした。その他、廊下や中2階のテラスなども少人数で使える場所にするなど、園内のいろいろなスペースを保育室として活用できるように環境整備をしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	子どもにとって魅力ある園庭にしようと、新しい遊具を導入している	
内容②	全クラスでリズム遊びに取り組み、ピアノの音に合わせてうさぎやトンボ、メダカなどを表現したり、スキップをしたりしてバランス感覚を育み、身体作りをしている。園庭には子どもが自分で考えて組み立て使う可動遊具を導入しているが、これまで以上に、子どもにとって魅力ある環境にしようと職員間で話し合い、子どもたちの体幹を鍛えたり、足腰を強くする、持久力や瞬発力などを育む遊具をと考え、情報を集めて新しい遊具の導入をしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	障がい児指定園として、園内研修などを通して職員のスキルアップを図っている	
内容③	障がい児指定園として、園内研修などで職員のスキルアップを図っている。前年度の園内研修では、外部講師により「インクルーシブ保育の実践～気になる子どもの理解と保育者の援助について～」をテーマに発達障害の特徴、環境整備などについて学んだ。また、今年度の園内研修では、「障害に合わせた身体作り～賢い身体とたくましい心を育てる保育～」をテーマに研鑽を深めている。さらに職員同士で活発に意見交換をおこない、スキル向上につなげている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園周辺の豊かな自然環境を活かし、自然と触れ合う保育を大事にしている
	内容	園の周辺には自然豊かな、善福寺川沿いに広がる都立公園や緑地、グラウンドなどがあり、散歩や外遊びを中心に環境を活かした保育をしている。、石が転がって凸凹の場所や昆虫などがいて虫探しに適した場所、かけっこやかくれんぼができる公園、どんぐりや松ぼっくり拾い、カモやカメを観ることができる池のある公園などで遊んでいる。捕まえてきた生き物の飼育が盛んで、池で釣ってきたザリガニ、散歩先で見つけたカナヘビ、ダンゴムシなどを飼育して、生きたエサが必要なカナヘビには子どもたちがシジミチョウなどを捕まえてきて与えている。
2	タイトル	子どもたちが楽しかったと思えるような夏の遊びを提供しようと、職員間で話し合い子どもとともに楽しんでいる
	内容	コロナウイルス感染症拡大防止のために区立保育園全体で、プール遊びを中止することになったために、子どもたちと楽しめる夏の遊び、子どもが楽しかったと感じる夏の遊びを経験させたいと、職員間でいろいろなアイデアを出し合って工夫して取り組んでいる。幼児クラスでは固形石鹸をおろし器で細かくして水を入れて泡立てる遊び、園庭をドロドロにして泥んこ遊び、水鉄砲の水かけ遊び、片栗粉のお団子作り、食紅などで色を付けた水のジュースやさんや氷遊びなど、子どもたちは自分の選んだ水を使った夏の遊びをじっくりと楽しんでいる。
3	タイトル	子どもの年齢に合わせて、具体的でわかりやすく健康教育に取り組んでいる
	内容	子どもたちが自分の身体に関心をもち、病気や怪我などを予防できるように看護師が中心となって具体的でわかりやすい健康教育に取り組んでいる。各クラス担任が子どもたちに必要と希望してきたことを、子どもの年齢に合わせてわかりやすく伝えている。例えば、2歳児には、トイレの使い方やうんちについてを指導しており、トイレトイレットペーパーの取り方は、ペーパーを取り付けた装置を使って、手で巻き取る方法を見本でやって見せ、「さあやってみよう」と実際に子どもたちに経験させ、そして、うんちは大事なものであることを絵本などで知らせている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の掲げる保育の目標達成のために、全体的な計画を総合的な計画に見直しことを期待する
	内容	全体的な計画は、園目標や保育理念、保育方針と、0歳～おおむね6歳までの養護と教育の5領域、食育の項目で子どもの発達過程を記載して作成している。今後は、園の保育の目標を達成するために、地域環境や保護者支援、地域交流なども盛り込んだ総合的な計画への見直しを期待する。
2	タイトル	これまで以上に、地域の多世代の方々との交流の機会を増やす取り組みを期待する
	内容	地域の八百屋さんや散歩時に出会う方々と挨拶を交わしたり、園行事のポスター掲示に協力してもらったりしている。絵本の読み聞かせやサッカーのコーチのボランティアは月1回程度定期的に来てもらっていたが、現在は中止している。今後は、これまで以上に子どもの生活の幅を広げるため、地域の多世代の方々などとの交流の機会を増やす取り組みを期待する。
3	タイトル	チェックリストを作成・活用するなどして、安全な生活環境へのさらなる取り組みを期待したい
	内容	定期的に園庭環境係が園庭を危険箇所を確認している。気づいた職員が園長に報告し、園長も折れている木がないかどうか、枝が伸びていないかなど、日常的に目視で園庭の安全確認をおこなっている。固定遊具や園舎内の破損箇所が見つければ、その都度、クラス担任・用務が確認し、業者での対応が修理の場合は、保育課に依頼している。今後は、園の実情にあった安全チェックリストを作成・活用し、子どもにとって安全な生活環境へのさらなる取り組みを期待したい。

4. 阿佐谷北保育園

阿佐谷北
保育園

調査対象

調査時点の子ども100名87世帯を対象とした。

調査方法

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数	100
利用者家族総数(世帯)	87
共通評価項目による調査対象者数	87
共通評価項目による調査の有効回答者数	66
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	75.9

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父5名(8%)、母45名(67%)、父母一緒に9名(14%)、無記入7名(11%)。年齢:「20歳代」3名(4%)、「30歳代」42名(64%)、「40歳代」15名(23%)、無記入6名(9%)であった。
 ・総合的な感想は「大変満足」42名(64%)、「満足」22名(33%)、「どちらともいえない」2名(3%)であった。回答者の97%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・自由コメントでは、「園の雰囲気はとても明るく、子どもも小さいながらそれを感じ取り、毎日楽しそうに登園している」「連絡ノートには細かく子どもの様子が記入されており、園の様子がよくわかる」「担任以外の先生も、子どもの名前と顔を一致させて声かけをしてくれるので安心している」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	65	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「外遊びや水遊び、どろ遊びなど色々なことを経験させてくれていて、子どもの心と身体の成長につながっている」「先生や友だちの関わりが成長につながっていると思う」「年齢に合わせた計画を立案して保育をしてくれている」「子どもの月齢に合わせて、今、できるようになることを教えてくれている。親だけではなかなか教えきれないことを教えてくれた」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	62	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「子ども発信の遊びを大切にイベントにするなど、とても楽しそうにしている」「いつも夢中になって遊んでいる子どもの姿を見ている」「家ではできないことを沢山してほしいと思っているので、砂遊びや水遊び、いすに座って工作をしていることがありがたい」「体を動かすことも部屋でゆっくりすることも本人は好きで、ゲームやトランポリンをしたり、部屋の中では絵を沢山描いたりしている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	58	8	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、食事に関して高い満足を得ている。「バランスのとれた昼食やおやつを手づくりしてくれている」「家での食事よりもバリエーションがあり、栄養や種類などに気を使っている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	18	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」27%、「いいえ」5%であった。「毎日外遊びをしており、沢山の自然と関わっている」「虫や草花などを先生からいろいろと教わっているようで、子どもが、先生から聞いた、と言っていた」「園庭は小さいが豊富なマルチパーツなどの環境設定により、子どもたちが創造的に遊べるようになっている」「小さい園庭ながらも生き物があふれている。先生の工夫がありがたい」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	51	2	2	11
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「以前、急な残業が発生したこともあった。そのときには快く変更を受け入れてくれた」「嫌な顔をすることもなく、優しい対応をしてくれている。こちらの状況を理解してくれている」「延長の依頼や土曜保育にも対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	58	8	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「廊下や階段入口に衝立が設置されているなど、出会い頭の衝突や子どもが駆け回らないよう工夫されている」「職員の数や遊び方、おもちゃなどを見ると、配慮されていると思う」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	41	19	0	6
「はい」と返答した方々は回答者の62%、「どちらともいえない」29%、「非該当」9%であった。「大きなイベントは運動会くらいだが、土曜日に開催してくれているので配慮を感じる」「前もって日程を提示してくれている」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	57	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「毎日のお迎え時や連絡帳を通じて、子育てに関して色々と相談し共有している」「先生はとても親切で、質問にも丁寧に答えてくれる。また、看護師もとても親切にしてくれるので聞きやすい」「先生のことを子育てのプロとしてとても頼りにしている」「子どもの小さな成長を教えてくれる」「悩みを相談するといろいろと教えてくれたり、一緒に考えてくれたりする」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	65	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「いつもきれいなので、気持ちが良い」「いつも掃除をしている人がいるので、園内はびかびかしている」「比較的新しくきれいな園だが、そのままきれいに維持されているという印象を持つ」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	61	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「先生方皆が丁寧に優しく対応してくれる」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	61	3	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「小さな傷でも必ず報告してくれる。園内に看護師もいるので安心できる」「小さい傷を負ったときがあるが、医者に行き、経過観察もしっかりとしてくれた」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	48	10	0	8
「はい」と返答した方々は回答者の72%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「子ども一人ひとりをきちんと見てくれている」「当事者だけでなく、周りの子へもフォローしてくれていると感じる」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	58	7	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「子どもの気持ちに寄り添い、保育をしてくれている」「子どもの気持ちや成長に合わせた対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	58	2	2	4
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。「コロナなどの情報もプライバシーを守って必要最低限にするなど、きちんと守ってくれている」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	57	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「毎日のノートに詳しく書いてくれる。読むのを楽しみにしている」「保育計画を保育室に提示しているのでわかりやすい」「クラスや園だよりなどを通じて発信してくれている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	43	13	0	10
「はい」と返答した方々は回答者の65%、「どちらともいえない」19%、「非該当」・無記入16%であった。「こうしてほしい、という要望を伝えると、可能な限り対応してくれる。また、できないことはきちんと説明してくれる」「特に不満を伝えたことがないのでわからない」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	27	14	9	16
「はい」と返答した方々は回答者の41%、「どちらともいえない」21%、「いいえ」14%、「非該当」24%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ1の講評			
<p>保育の理念・保育目標・保育方針を事務室内に掲示し、職員へ周知している</p> <p>保育の理念・保育目標・保育方針を事務室内に掲示し、職員へ周知している。各クラスにも保育の理念・保育目標・保育方針を掲示し、クラスごとの年度初めの年間指導計画や毎月のカリキュラム、職員会議で(毎月1回)などでの話し合いの際も、理念や目標に立ち戻り、確認している。また、保育課の組織目標に沿って、職員皆で係(園)の目標を話し合い、「係の目標シート」を作成し、職員一丸となって目標達成に取り組んでいる。保護者に対しては、入園説明会や園だより、保護者会などを通して、園の保育で大切にしていることを伝えている。</p> <p>園長、主査2名、保育向上リーダー2名が中心となり、保育の質の向上に取り組んでいる</p> <p>園長、主査2名、保育向上リーダー2名が当園の5本柱となり、全職員の意見や要望をとりまとめ、保育の質向上、職員個々のスキルアップとなるような会議内容を計画・実施している。職員アンケートでは、「子どもを肯定的に捉え、子どもの気持ちに寄り添う声かけや関わりをおこなっている。保護者とも、子どもの成長と一緒に喜び合いながら「共育」を実施している」などのコメントが寄せられていた。園長・主査は、日頃より子どもの姿を把握し、保護者や職員個々の意向を聞き取り、園運営の改善に取り組んでいる。</p> <p>園の重要案件を共有、検討・決定する場を明らかにしている</p> <p>昼ミーティングでは、各クラスから代表1名以上が参加し、当日・翌日の当番、体制、行事などの確認、アレルギーの確認、子どもの連絡などについて情報共有している。定例会議(週1回)、職員会議(月1回)などで重要案件を検討・決定している。そのほか、月初めの2日間で、指導計画について検討している。クラスごとに振り返り、報告、質問・問題提起し、その場で回答できないことはクラスに持ち帰り、2日目に回答している。さらに幼児打ち合わせ、乳児打ち合わせ、行事・プロジェクトの打ち合わせなどの協議の場を設けている。</p>			

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者の意見を保護者会開催や園だより作成、行事实施に反映している</p> <p>運動会などの大きな行事の実施後、保護者の感想や意見、要望などを募り、情報収集し、保護者にフィードバックしている。また、次年度の開催時に活かしている。前年度の運動会では、保護者から「子どもたちの成長を感じた」などの満足の声寄せられた。保護者会や個人面談でも園への意見や要望を聴取し、保護者会の持ち方などに反映している。園だよりの作成にあたっては、アンケートを配布し、保護者の声を収集しており、保護者からは「子どもの姿がわかる」などの声ももらっている。</p> <p>地域懇談会に参加し、地域の各保育所と情報交換し、地域ニーズを収集している</p> <p>区立園長会では、区保育課より園運営に関する情報が伝達され、園長は自園の運営に必要な情報を職員に伝達し、園運営に活かしている。地域子育てネットワークにも参画し、近隣の児童館や小学校などと情報交換している。地域の保育所が参集する「地域懇談会」に参加し、より良い保育に向けて情報交換している。2歳児・5歳児クラスの担任同士や看護師の交流をおこなう予定である。看護師が講師となつて、ノロウイルスの研修をおこない、他園の職員が参加している。近隣の民間保育所の眼科・耳鼻科の健診にも協力している。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、中間に進捗状況を確認している</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。区保育課では、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、財政課の査定を受け予算編成をおこなっている。</p>		

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>児童憲章を各クラスに掲示し、日頃の保育にあたっての規範としている</p> <p>児童憲章を各クラスに掲示し、日頃の保育にあたっての規範としている。定例会議で子どもの権利条約を配布し、読み合わせをしている。さらに「保育の実践の手引き」の中の人権に関わるページを読み、食事や排泄などの場面での具体的な事例を通して、権利擁護への意識向上を図っている。日々のミーティング、日々のクラスの話し合い、毎月のカリキュラム検討などを通して、より良い保育について話し合っている。</p> <p>ポスター掲示や「重要なお知らせ」を使って、保護者に苦情窓口について説明している</p> <p>苦情・要望等の相談窓口について「重要なお知らせ」に記載し、入園説明会で保護者に説明している。また、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを事務所前に掲示している。保護者から直接苦情・意見を言ってもらえるような関係づくりに努めている。入園説明会や保護者会では保護者に「いつでも気軽に意見などを言ってきてください」と伝えている。個人面談も必要に応じておこなう。保護者の話に耳を傾け、意見を聴取している。</p> <p>中学生の職場体験や、近隣小学校の総合学習でインタビューを受けている</p> <p>「園庭開放(遊ぼう会)」のポスターの掲示や、散歩時にチラシを配布し、地域貢献の一助としてきたが、前年度・今年度は新型コロナ禍により中止としている。「地域子育てネットワークだより」(年2回)にも、当園の取り組み内容を載せ、地域に配布している。実習生の受け入れは今年度中止としている。中学生の職場体験や、近隣小学校の総合学習でインタビューを受けている。緊急一時保育は、今年度受け入れていない。ふれあい保育は、訪問調査時点で利用希望があり、区へ確認しているところであった。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>危機管理マニュアルなどの読み合わせをし、迅速に対応できるようにしている</p> <p>リスクマネジメントに関しては、年度初めに「危機管理マニュアル」や「保育園の独自マニュアル」などの読み合わせをおこない、一人ひとりがリスクに対して迅速に対応できるようにしている。軽微なリスクは園日誌に記録している。日々の気づきや用務担当職員の指摘などについても昼ミーティングで共有し、できることはすぐに修繕・改善している。事故が起きた際は、昼ミーティングで対策を検討し、職員間で共有し、再発防止につなげ、その後も、その対策で良いかどうか検証している。</p> <p>危機管理として、避難訓練(月1回)や不審者侵入訓練(年2回)などを実施している</p> <p>新型コロナ対策については、年間保健計画に記入し、マスク着用、手洗い・うがい、手指消毒、黙食などの徹底を図り、区保育課からの新型コロナウイルス感染症に関する情報を随時、保護者・職員に提供し、注意喚起している。また、「避難訓練年間計画」を作成し、毎月1回、水遊び・午睡時・散歩時・朝夕保育などさまざまな場面を想定した避難訓練を実施している。AEDを使った救急救命訓練、誤食からのアナフィラキシーショックを想定した訓練、けいれん発作の救急搬送を想定した訓練、不審者侵入訓練(年2回)なども実施している。</p> <p>個人情報の取り扱いについては、鍵付きの書庫で紛失、漏洩のないように管理している</p> <p>杉並区個人情報保護条例や杉並区情報セキュリティ基本方針に基づいて、情報の運用・管理をおこなっている。個人情報は鍵付きの書庫で保管している。児童票やSDカードなどを保管場所から持ち出す際は、園長、または主査に申し出ることや、事務所から持ち出すとき・返却するときは持ち出し管理簿に記録し、個人情報の紛失、漏洩のないようにしている。会計年度任用職員には採用面接時に守秘義務の遵守を伝えている。保護者には、個人情報の取り扱いについて「重要なお知らせ」に明記し、入園説明時に説明している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
----------------	------------------	-----

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

職員個々に希望や意欲を把握し、クラス担任を職員会議で決定している
 正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。「異動希望調査」で個々の希望も確認し、区が定期的な人事異動を実施している。園内では、年度末の職員会議で各クラスの職員配置数を確認し、職員個々に希望や意欲を書面で提出してもらい、それを園長・主査が確認し、職員会議でクラス担任配置案を提示し、意見をもらい、最終決定している。

職員会議で保育の振り返りを実施し、日々の保育の活かせる内容となっている
 研修に意欲的に参加し、学んだことを研修報告会で共有し、学び合い、日々の保育に活かせるようにしている。研修履歴カードで職員の学びを把握している。若手職員の育成や、クラスリーダー・ミドルリーダーの育成にも注力しており、職員からの意見を取り入れ、自分たちの学びたいことを会議のテーマとしている。新卒職員や、入職後、2年目・3年目・4年目・5年目の職員計画・報告書を作成し、新卒職員には育成担当者、2年目・3年・4年・5年まで主査が面談し、必要な知識やスキルの習得・習熟を支援している。

組織内のコミュニケーションが良好で、風通しの良い職場環境といえる
 福利厚生制度に関するお知らせを貼り出し、職員にその活用を推進している。有給休暇を取得しやすいよう職員体制を整え、職員間のコミュニケーションや交流が円りやすいような環境づくりに配慮している。また、会計年度任用職員との個別面談では、保育での悩みや疑問点などを共有し一緒に考えることで安心して働けるようサポートしている。職員アンケートでは、「仕事の悩みや相談事を上司が聞いてくれ、安心して従事できる」「全体的に明るく、話しやすい雰囲気がある」などのコメントが寄せられていた。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「子どもの発達を捉え年齢に応じた運動発達を促す」を前年度の重要課題とし、限られた環境を工夫しながら整え、子ども達が主体的に遊びこめる環境をつくることを目指した。具体的な取り組みは次の通りである。①運動発達プロジェクトを中心に当園の環境を踏まえた独自の、園庭遊び、室内遊びの遊具の提供など、話し合いを通して表にまとめられた。話し合うことで改めて環境の見直しと実践の振り返りにつながった。②乳児、幼児クラスによる散歩マップを完成させた。散歩マップの作成を通して、危険の予測なども共有し、職員の意識につながった。次年度は、運動発達表の活用と検証に取り組むこととしている。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

環境プロジェクトが中心となり、子どもが安全に遊びこめる環境づくりに取り組んだ。具体的には、園庭遊びの安全と充実、2階廊下での動的遊びの充実、ホールや特別室の設定などである。取り組みの結果、2階段ボール滑り台が新たに加わったことで、2階廊下での動的遊びが充実してきた。室内でも、動的な遊びができるように、手作りの遊具を作成し、活用することができた。園庭には角材や、コンテナを用意したことで、子どもたちは自主的に遊びを考え、遊び込む姿が見られた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「保育実践の振り返り」を前年度の重要課題とし、次の取り組みを実施した。①「遊びの楽しさを知る」をテーマにした園内研修では、ホールで巧技台を組み立て、大縄跳びを皆でおこなった。子どもの発達にどう影響するかを学んだ。この保育の遊びを通して、若手職員と中堅職員との交流が図れ、保育の楽しさを知ることができた。また、職員会議で、保護者会用に撮影した子ども同士のやり取りや保育の関わりなどの動画をみて、保育の実践の振り返りをおこない、子どもの発達を理解した。②幼児クラスの貼りだし日誌を中心に振り返りをおこない、他クラスの実践、保育への思い、子どもの姿への理解を深め、意見交換をおこない、次の日からの保育の豊かな展開につながった。これらの学びを実際の保育に取り入れ、自信につながった。また、職員同士の関係性も深まり、チーム力が向上した。保育の話を深めることで、年齢別の子どもの発達と保育の進め方の共通理解へとつながった。次年度も、子どもが主体的な遊ぶための保育を引き続き学び合っていくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保育の実践を基に、職員会議で保育の振り返りを実施した。子どもの気づきや職員の思いを共有できたことで、保育に活かせる内容になった。子ども同士のやりとりの動画では子どもの育ちを学び合い、保育の質向上、各自のスキルアップにつながった。コロナ禍であっても、職員同士の思いを共有できるような工夫をして、職員会議をおこなうことができ、保育(遊び)の継承、保育実践の振り返りは日々の保育に活かせるものになった。また、研修報告会をおこない、若手職員を中心に学んだことを伝え合い、保育に活かせる会となった。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区の公式ホームページや発行している冊子、MAPなどで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供している。住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、地図、保育園の特色、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見るができるようになっている。その他、地域の子育て家庭を対象に「あそぼう会」を月1回開催して園庭開放や身体測定をしていたが、コロナ禍により今は中止して、案内の掲示もしていない。</p> <p>公立直営保育園であり、行政や関係機関と情報交換して連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課には延長保育利用児数などさまざまな報告をしている。園長は月2回区立保育園長会に参加して行政から情報提供を受け、課題検討・情報交換などを行っている。その他、職員は主査会や医療会、栄養士会などへ参加している。消防署や警察署には避難訓練や防犯訓練で指導を受けている。これまでは地域の児童館に子どもたちが遊びに行き、児童館主催の地域ネットワーク事業に参加していた。小学校か中学校の校庭を運動会で使わせてもらっていた。今後、地域の民間保育施設5園と連携して保育士交流が始まることになっている。</p> <p>園見学は主に土曜日に実施して、施設を案内し園の特色などを伝えている</p> <p>見学の希望は電話で受けるが、コロナ禍であることから、施設見学は土曜日に実施している。平日を希望される場合には玄関までしている。一日3回、1回3組、30分程度で実施し、見学案内のしおりを配付して、園長または、主査、看護主査が対応している。園の特色として、室内は広く、子どもたちが落ち着いて遊べる保育環境作りをしている、運動遊びにも力を入れている、公立園は職員の年齢層が幅広く、子育ての相談もしやすいことなどを伝えている。見学者からの質問、入園するに際して準備する物、手作り品、散歩の行先などにも答えている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園説明会を実施して重要事項や園生活の基本的なルールなどを伝えている 入園内定者には園医による健康診断と園長、保育士などによる面接を実施している。入園説明会は4月入園の場合、3月中旬の土曜日に午前の部午後の部の二部制にして実施し、「阿佐谷北保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「阿佐谷北保育園のしおり」をもとに、園概要や開所時間と保育時間、緊急時の対応、個人情報取り扱い、苦情や要望の窓口、保育目標、健康管理について、お願い事項、持ち物などを説明している。面接は保護者には動いてもらわずに、面接する園長、保育士、看護師、栄養士が動いて、面接する方式にしている。		
入園当初の保育は保護者の意向を聴き、個別に慣れ保育を実施している 入園面接時には入園直後の慣れ保育への保護者の意向を聴いている。園の目安は1週間程度を予定しているが、保護者が育児休業中でゆっくり進めたい場合は緩やかに時間を延ばし、就労して早めに進めることを希望される場合には早めに決めた保育時間にするように、個別に進めている。4月初日には、乳児クラスでは親子で一緒に過ごして、給食を保護者に食べさせてもらい、食事の形態や食べさせ方の癖などを聴いている。2日目からは母子分離で預かり、可能な限り同じ保育士が対応し、迎え時に子どもの様子や翌日の保育時間を伝えている。		
退園や転園、卒園の際には子どもや保護者の不安軽減に配慮している 区内の公立保育園に転園の場合は引き継ぎをおこなっている。年度途中の転園や退園には、保護者に了解を得て、クラスでお別れ会を開いて手作りカードを渡したり、描画など該当児の作品が残っている場合は綴って渡している。保護者には、新しい育児環境への不安が無い聴くなどして、「いつでも顔を見せてください、困ったことがあればいつでも相談にのります」などと伝えている。卒園の子どもは就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを届けたり送付したりしている。		

サブカテゴリ3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身や生活の状況を保育日誌や児童票など所定の様式に記録し把握している

入園前健康診断を実施して健康状態を把握し、面接時には提出してもらった児童票や児童健康調査表、入園までの生活状況などで、家族構成や出生・成育歴、予防接種歴、発育状況、食事、排せつ、睡眠、好きな遊びなど、保育に必要な子どもの心身や生活状況を把握し記録している。入園後は、毎日、0～2歳児は複写式連絡帳と口頭で、食事や睡眠、排せつ、体調や子どもの様子などを、3～5歳児は口頭で、子どもの情報を把握し参考にして保育をしている。保育中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌、児童票に記載している。

指導計画はクラスの担任同士で子どもの様子を振り返り、次の計画を作成している

指導計画(月案・週案)は担任同士でクラスの状況や子どもの様子を振り返り、翌月・週のねらいや活動内容を決めて作成している。乳児クラスは毎月、個別計画も作成している。幼児クラスでは個別の配慮が必要な子どもの期毎の個別計画を作成している。各クラスの月案はクラス前の廊下のホワイトボードに1週間程度掲示し、その後は、ファイルに入れて玄関ホールの棚に置き、保護者にいつでも見られるようにしている。月のねらいと週の主な活動をカレンダーに書き込み、玄関ホールの貼りだし日誌の掲示スペースに掲示している。

子どもに関する情報共有や園運営のためにさまざまな会議を開催している

各クラスの指導計画(月案)を検討するカリキュラム会議を月2回開催し、事前配布して目を通し、1回目はクラスの振り返りや課題を発表し、2回目には共通するテーマについて議論している。子どもに関する情報共有のために、平日の昼間にミーティングを14時過ぎ頃から実施し、午前中の保育報告、翌日の職員体制、アレルギー食確認などを行っている。定例職員会議は週1回昼間に、月1回程度は夜の職員会議を実施し、年間指導計画や半期反省、園内研修などを行っている。プロジェクト会議や乳児・幼児打ち合わせ会などの会議も開催している。

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どもの個人情報の保護を徹底している 入園説明会において、「阿佐谷北保育園ご利用に当たって【重要なお知らせ】」、「保育園におけるビデオ撮影および画像データ提供についての考え方、取り扱いルール」文書で、収集した個人情報は厳重に管理することを説明している。また、子どもの羞恥心への配慮として、シャワー時には外部から見えないように目隠しを設置している。幼児はラップタオルで体を覆うことやプライベートゾーンを大事にすることを知らせている。おむつ替えやおもらしの着替えは他の人からは見えない場所で行っている。</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちを尊重して対応している 子どもの気持ちを受け止めることを大事にしている。集団活動へ入りたくない、散歩に行きたくない、製作をしたいなど、その子どもの気持ちを汲んで、職員間で連携して保育をしている。「保育実践の手引き」の中の人権・権利の項目を会議で取り上げて、保育の実践を振り返り、職員間で再意識している。食事の時に、子どもが嫌いな物を無理に食べさせる、おもらしの時に「あら、また漏らしたの」などと発言してしまうなど、保育者の行為や発言などを具体的に振り返っている。子どもの権利条約の読み合わせもしている。</p> <p>子どもの身体の傷や言動などに気を配り、虐待の予防や早期発見に努めている 子どもの人権について意識するために、「子どもの権利条約」や「児童虐待防止マニュアル」の読み合わせをしている。子ども家庭支援センター主催の研修に参加を予定している。職員は日頃から、子どもの身体の傷や傷跡、言動などに気を配り、「どうしたの」と理由を子どもに聴いたり、保護者に確認したりしている。少しでも不審なことがあれば園長に報告している。園長は虐待防止マニュアルに沿って対応している。</p>			

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

区立園共通や園独自のマニュアルを整備し、いつでも確認できるようにしている

区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「保育実践の手引き」、「危機管理」、「アレルギー」、「離乳食」、「給食衛生」などのさまざまなマニュアルを整備している。園独自に、「阿佐谷北保育園マニュアル」を作成して、園庭遊具の使い方に関する共通認識、玩具などの消毒、散歩、朝夕当番の仕事内容、パート職員の仕事内容、危機管理などを盛り込んでいる。区立園共通のマニュアルは事務室に、園独自マニュアルは各クラスに1部ずつ置き、必要な時にいつでも確認することができるようにしている。

基本的に年度末に見直しているが、必要に応じて随時、見直している

園独自の「阿佐谷北保育園マニュアル」「阿佐谷北保育園のしおり」は基本的には、年度末に見直している。事故や怪我の対応、アレルギー対応、朝夕保育については実際の業務と齟齬が生じていると気づいた時には、随時、読み合わせて見直し、差し替えをしている。

保護者や職員の気づきや意見は検討して、必要な場合は改善している

熱中症対策のために、園庭やベランダに温度湿度計を設置して、それらを確認してから水遊びをすることになっている。道路に面した門の扉が、子どもが押して開くようになって危険であるとのことから、子どもの手が届かないところに開閉の鍵を設置したことで、子どもが自分で門を開けることはしなくなった。離乳食の展示は玄関ホールでしているが、保護者にも形態の違いが分かりやすいように、後期食と完了食の2種類を並べて展示したことで、保護者からわかりやすくなったとの感想をもらっている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
			35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で使いたい玩具を選び、じっくり遊べるような環境作りをしている</p> <p>子どもが自分で玩具を選び、遊べるような環境設定にしている。玩具は年齢発達に合わせた物で、興味・関心に合わせて入れ替えている。乳児保育室は、低い玩具棚や段ボール、紙バック、バスマットなどの素材を利用して手作りした柵で、食事、遊び、身支度の場所に分けている。遊びの場所はままごと・世話遊び、ブロック・汽車とレールなどの構成遊び、絵本などを緩やかに仕切り、子どもが落ち着いて遊べるコーナーにしている。2歳児では押し入れの下段もごっこ遊びに使用している。幼児保育室も木製積み木などのコーナー作りをしている。</p> <p>現在は、戸外遊びなどで、自然な異年齢交流をしている</p> <p>これまでは、ミックスデーとして異年齢交流保育に取り組んでいたが、コロナ禍のために中止して、日常的に園庭や散歩先の公園など、戸外での自然な交流をしている。7月のお祭りごっこには、5歳児がお店屋ごっこに取り組み、他のクラスに買い物にきてもらって、異年齢交流をした。お買い物ごっこを経験した3・4歳児も自分たちもお店屋ごっこをやりたいと真似て遊んでいる。また、外国籍で日本語がわからない子どもの場合には、他の子ども達に説明して優しく教えてくれるように伝え、大人も見本を示して対応し、仲間関係ができています。</p> <p>子ども同士のトラブル時には、双方の子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>子ども同士のトラブルは双方の気持ちをよく聴き、受け止めて対応している。自分の気持ちを言葉で十分表現できないために生じることや、トラブル発生時の保育士の対応などを説明している。そして、トラブル発生時には傍について防ぐことができなかったことを謝罪している。乳児クラスでは、一人ひとりが自分の遊びたい遊びが落ち着いてできるように、できるだけ少人数グループで保育している。</p>			

2. 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

朝の受け入れ時には子どもの健康観察をして、保護者に家庭での様子を聴いている

朝の登園時には挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子を聴き、0~2歳児は複写式連絡帳を、3~5歳児は口頭で子どもの様子などを聴き取り、体温や体調が記入してある個人健康カードを受け取っている。保護者からの情報は朝夕視診表に記録して引き継ぎ、共有して保育をしている。手や足、顔などすぐに見える箇所に傷がある場合は詳しく聴いている。また、絆創膏などのテープ類など貼っていないかも確認している。

休息や昼寝の長さや時間などは子どもの状況に配慮している

乳児クラスで、午前中に眠くなってしまふ子どもは午前睡を保障し、食事の頃に眠くなる場合は早めに昼食を食わせて昼寝に入るようにしている。早めに目覚めた子どもは起きて特別室などで遊んでいる。昼食後にはおむつ替えやトイレで排泄をした後、布団に入るリズムにしているが、3歳児くらいからは昼食後少しおなか休めをした後で布団に入っている。幼児クラスで眠くない子どもは横になり休息した後は特別室などで遊んでいる。就学を控えた5歳児は、正月明け頃から少しずつ昼寝時間を短くしていき、3月下旬頃には昼寝をせずに過ごしている。

迎いの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしている

乳児クラスは連絡帳で子どもの様子や食事、排せつ、睡眠などを伝えている。幼児クラスではクラス活動の様子を書いた貼りだし日誌を玄関ホールに掲示して読んでもらっている。迎いの保護者一人ひとりに、子どもの様子を伝えているが、迎いが重なる場合や子どもの保育を優先せざるを得ない場合には、十分対応できないこともある。園で怪我をしたり、事前に保護者に連絡をして受診した時には状況を説明できる保育士や受診に付き添った看護師、園長が保護者の迎えを待って詳しく説明し、謝罪している。また、翌日も怪我・傷の経過を観察し丁寧にみている。

3 評価項目3
 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

遊びの続きができるように、場所の保障や時間の確保をしている
 子どもが見通しをもって主体的に行動できるように、毎日の生活のリズムを同じにして過ごしている。乳児クラスでは朝のおやつを食べた後、早めに活動に入れるように、2グループに分かれて、支度が整った子どもから園庭に出て遊ぶようにしている。保育室内は遊びのコーナーを設定して、他の子どもに邪魔されずにじっくり遊べるようにしたり、床に広げて遊ぶ積み木や汽車と線路、作って遊ぶ物などは、継続して遊びたい時には、その都度片付けずに取っておいて、また、続きができるように場所も保障している。

作ったり描いたりして遊ぶ表現活動が盛んにおこなわれている
 板状や柱状などの木製積み木を使って、数日かけて作った物を、玄関ホールなどに飾ったりしている。各クラスの保育室や廊下などには、子どもたちの作品が飾っており、作ったり描いたりする表現活動が盛んである。5歳児室には運動会の絵や大漁旗、4歳児室にはみのむしの作品、その他のクラスも季節の果物や木の葉、木の実など自然物を使った制作をおこない、展示している。空き箱を使って作る遊びも盛んで、5歳児ではロボットを作っている。子どもたちが作った夏まつりごっこのお神輿は隣県にある自治体間連携の高齢者入居施設に飾ってもらっている。

散歩に出掛けて草花や昆虫などの自然物に触れて遊び、季節の移り変わりを感じている
 戸外遊びに適した季節には幼児クラスは週1~2回、乳児クラスは週2~3回ほど、散歩に出掛けている。季節の草花を見たり摘んだり、ダンゴムシやコガネムシ、バッタなどの虫探しをするなどして自然物に触れて遊んでいる。近隣に自然の豊かな区立公園があり、秋にはどんぐり拾いや紅葉した落ち葉集め、木立や木々に隠れてかくれんぼ、鬼ごっこ、固定遊具のブランコや滑り台などで遊んでいる。妙正寺川沿いには、春には桜の花を見たり花びら集めをしたりしている。公園の広場ではボール蹴りや鬼ごっこなどで駆け回って遊んでいる。

4 評価項目4
 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

神輿作りやお店屋ごっこなど、みんなで話し合って自分たちの夏祭りを楽しんでいる
 夏祭りは6月に、5歳児が手作りしたお神輿担ぎや盆踊りを16時30分頃から実施して、保護者も参加してもらっていたが、この2年は子どものみの行事にしている。お神輿作りでは皆で意見を出して、設計図を書き、好きな色に塗り、金の鳥やくす玉を作って飾っている。7月には第2弾のお店屋ごっこ。アクセサリー、洋服、鉄砲、喫茶、ケーキなどのお店に自分たちで作った品物を並べて、他のクラスの子ども達に買いに来てもらい、「ぼぶらさんてすごい」と言われたり、喜んでいる年下の子ども達を見て嬉しくなるなど、皆でやり遂げた喜びを感じている。

運動会では自分のできる技に挑戦したり、皆で協力して踊りやバルーンを披露している
 運動会では、5歳児はソーラン節を踊ったり、鉄棒や縄跳びなど得意な個人技を披露している。ソーラン節は、「かっこいい漁師になるぞ」と張り切る子どもやすぐに踊りだす子ども、「私も覚えなきゃ」とみんなの気迫に押されて取り組む子どもなど、取り組み初めはさまざまであった。繰り返しているうちに、踊りが上手、掛け声が素晴らしい、構えがかっこいいなど、それぞれの得意を皆で認め合いながら、次第に息を合わせてできるようになり、かっこよく決めて踊っていた。4歳児は大好きな昆虫になって体操を披露し、皆でバルーンにも挑戦している。

年間行事予定表を配付し、子どもの取り組みの様子を伝えて、協力してもらっている
 年間行事予定表は年度初めに配付して予定してもらえるようにしている。保護者参加行事の日程の決定や変更、中止などは早めに園だよりなどで知らせている。保護者参加行事で、3・4・5歳児対象の運動会には運動会だよりを発行して、出席確認、お願い事項、プログラムなど3号を発行している。運動競技の見どころはそれぞれのクラスだよりで伝えている。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子をクラスだよりや貼りだし日誌、送迎時の会話などで伝え、保護者にも楽しみにもしてもらい、協力してもらえるようにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は子どもの人数が少ない間は合同保育、多い時にはクラス保育にしている</p> <p>朝保育は0・1・2歳児は8時まで一緒に過ごし、人数が増えてくる8時以降は2歳児はクラス保育にしている。3・4・5歳児は8時30分まで合同保育にしている。夕保育は0・1・2・3歳児はクラス保育、4・5歳児は合同保育をしている。18時以降人数が減ってきた0・1歳児は合同保育にしている。</p> <p>おやつ後には身体を動かして遊んだ後、夕保育では落ち着いて室内遊びをしている</p> <p>幼児クラスは午後のおやつ後には、園庭やホールなどで体を動かして遊ぶなど、動的遊びをした後、夕保育の時間は室内遊びをしている。乳児クラスでも、同様に廊下やベランダなども利用して、分散して少人数でゆったりと遊んだ後は、夕保育時間は室内で遊んでいる。</p> <p>延長保育は自然な異年齢交流の場になっている</p> <p>18時30分以降の延長保育は乳幼児の異年齢保育になるので、口に入れると危険な小さな玩具などは片付けている。日中保育用とは別の延長保育用の玩具を用意しているので、利用児の年齢に合った玩具を出し、夕保育の遊びの続きがしたい時には持ってきて、続きをして遊んでいる。年上の子どもの遊びに憧れて傍に付いて真似て遊ぶ年下の子どもがいたり、年上の子どもが年下の子どもを抱いて絵本と一緒に見るなど、自然な異年齢交流の場になっている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>安定して座り、落ち着いて友だちと一緒に食事をしている</p> <p>子どもの体格に合わせた椅子とテーブルを使って安定して座り、食事をしている。必要に応じて、椅子用の足台や脇当て、背当ても手作りで用意している。0歳児ではテーブル付き椅子も使用している。いつも決まった場所に座り、友だちと一緒に落ち着いて食べている。楽しく食事ができるように、時々型抜きしたラッキー人参が登場したり、カリカリ煮干、10月下旬のハロウィンの頃には型抜きしたかぼちゃを提供している。年数回の会食の日には、クラスで会食気分を味わえるように、ランチプレート皿に可愛い盛り付けをして提供している。</p> <p>食物アレルギーや文化の違いに応じた給食を提供している</p> <p>食物アレルギーの子どもが十数名在籍しているので、該当児には除去食または代替え食を提供している。献立表ができた段階で該当児の保護者に除去品目のチェックをお願いして提出してもらい、栄養士が代替え食品を記入し、アレルギー会議で確認して、保護者に献立表を返却している。アレルギー食は除去食品を明示したプレートを使用して提供し、受け取りは正規保育士がおこない、調理職と除去食品を確認し合ってから受け取り、保育室でも間違いがないように声出しをして確認し、該当児に提供している。また、文化の違いによる牛肉除去の対応もしている。</p> <p>プランターで野菜を栽培し、生育観察や収穫体験をして、調理してもらい食べている</p> <p>園庭のプランターで5歳児はとうもろこしや枝豆、4歳児はインゲンやスイカ、きゅうりなどを栽培し、枝豆は完熟させて豆まきに使う予定にしている。子どもたちの要望でシイタケの原木を用意してシイタケ栽培もしている。子どもたちも一緒に土づくりや植え付け、水やりなどに取り組み、生育を観察し、収穫物は厨房で調理してもらい昼食時に味見をしている。とうもろこしは目の前でポップコーンにしている。調理や食材に触れる体験はコロナ対策により減しているが、自分のおにぎりをラップで握る、サンドイッチの具材を挟むなどを予定している。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが健康や安全に関心を持てるよう、具体的でわかりやすい健康教育をしている</p> <p>看護師を中心に、健康教育に取り組んでいる。トイレットペーパーの切り方は、ペーパーを手でぐるぐる巻いて取り、必要な量を切ることを指導している。指導は年齢に合わせて子どもたちにわかりやすいように、絵や紙芝居など視覚的な教材を使っている。3歳児に手洗いの指導する時には、手には目に見えないばい菌がいること、手洗いをしないとお腹が痛くなると伝えている。手洗いの手順を知らせて、洗い方の見本を見せ、ペーパータオルで拭くことも知らせている。保育士は保育活動の中で危険な遊びや場所を知らせ、散歩時には交通ルールを伝えている。</p> <p>医療機関や療育機関などと連携して対応している</p> <p>療育機関に通所している認定児の場合は、保護者の依頼により、療育機関の専門職員が来園して園での子どもの様子を見て助言してくれたり、情報提供し合ったりしている。園では薬の預かりはしていないが、健康的な生活を送るために必要である薬として、アレルギーと歯の薬の預かりをしている。子どもの健康状態を把握するために、囁託医による定期健康診断を年2回、0歳児クラスは月1回の健診、歯科健診を年1回、3歳児以上は眼科健診・耳鼻科健診を年1回受けている。囁託の園医には子どもの健康に関する相談をしている。</p> <p>保健だよりや情報の掲示などで、保護者と連携して子どもの健康維持に取り組んでいる</p> <p>毎月保健だよりを発行して、4月には子どもの体調観察や清潔習慣、5月は朝ごはんの大切さや正しい手洗いについて、6月虫歯の予防、7月熱中症の予防や夏の病気、8月虫刺されなど、季節に応じた子どもの健康管理や病気予防の情報を掲載している。玄関ホールに設置した保健の掲示コーナーに、子どもの健康・保健管理のポスターや感染症発生情報などを掲示して、注意を喚起している。保育園における屋外時には、乳幼児突然死症候群の予防のために、午睡チェックを実施して、部屋のカーテンは子どもの顔色が観察できるよう調整して開閉している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや家庭の事情は申し出てもらい、園で可能な配慮や支援をしている</p> <p>子育てや家庭の事情などの悩みや困りごとはクラス担任や事務室に伝えてもらい、園でできることは可能な限り対応し、できないことは保健センターや子ども家庭支援センターなどの相談窓口を紹介している。個別の相談や面談は特別室を使用してじっくり話を聴いている。急な残業などで迎えの時間が遅くなる、土曜日に仕事が入って保育をお願いしたいなどは、申し出てもらって受け、18時30分を過ぎる迎えの場合は延長スポット保育に入ってもらっている。保護者が感染性の病気になった時などは、送り迎えを玄関で対応している。</p> <p>コロナ禍であるが、クラスだよりや写真・動画など工夫して、保護者に保育を伝えている</p> <p>年2回保護者会を予定しているが、本年の前期の保護者会は、コロナ感染症緊急事態宣言中のために中止としている。資料を配付し、クラスだよりで保護者に質問を投げかけて、回答を求める方式の紙面交流してもらっている。前年後期の保護者会は各クラス二部形式にして、人数を半数にして実施している。そして、子どもの様子をわかりやすく伝えるために、動画や写真などで生活や遊びの様子を見てもらう形式にしている。</p> <p>個人面談の時期を早めて、子どもの様子や保護者の思いの聴き取りをしている</p> <p>前期の保護者会を開催できなかったことから、時期を早めて個人面談を実施して保護者の思いを聴いたり、子どもの姿の共有を図っている。常日頃は送迎時の保護者との会話やクラスだよりに加え、乳児クラスは連絡帳で、幼児クラスはクラスの貼りだし日誌で子どもの様子を伝えている。しかし十分ではないことから、写真を掲示して子どもの活動をわかりやすく伝える工夫をしている。玄関ホールには全クラスのクラスだよりを掲示して他のクラスの様子も知ってもらえるようにしている。保育参観・参加はコロナ禍のために実施を見合わせている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>商店街への買い物体験や高齢者入居施設へ子どもの作品を展示してもらうなどしている</p> <p>散歩に出掛けて地域の公園を利用している。節分の時には、最寄りの駅周辺商店街に買い物に出かけ、魚屋さんではいろいろな魚を見せてもらい、鰯を買って来てコンロで焼き、匂いを嗅いだり、豆を炒ったりしている。鰯の焼ける匂いを嗅ぐと、子どもたちは「臭いから鬼は嫌がるんだね」などと話していた。南伊豆町にある自治体間連携の高齢者入居施設に5歳児の作品を展示してもらった。これまでは、児童館に子どもたちが遊びに行ったり、児童館主催の地域ネットワーク事業、馬橋祭りに参加していたがコロナ禍のため、おこなわれていない。</p> <p>中学生の職場体験や実習生の受け入れをしている</p> <p>地域の中学校2校からの職場体験や保育実習生2名、子育て支援員研修生1名を受け入れている。コロナ禍前には読み聞かせのボランティア1名を受け入れていたが、現在は中止にしている。地域で子育てしている家庭向けの「遊ぼう会」で実施している身体測定や園庭開放などは中止している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが自分で遊びを選び、じっくり遊べる環境作りに取り組んでいる	
内容①	保育室は年齢発達や子どもの興味関心に合わせた玩具を用意し、遊び毎のコーナーを作っている。木製積み木を多めに整備して、大型作品を作って遊べるようにしている。園庭は移転前の園と比べて狭く2箇所に分かれている。より一層、魅力ある園庭にするように、マルチパーツや風呂マットなどの可動遊具、砂・水・泥などを使った遊びや虫探し、草花摘み、ままごと遊びなどができるように整備している。利用者調査の結果、園での活動は子どもの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、98%が「はい」と回答し、大変高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者同士や保育士も交えた懇談・交流の場として、クラスだよりを活用している	
内容②	コロナ禍のために前期保護者会が中止となり、懇談の代わりに子育ての悩みや他の人に聞きたいことなどをアンケートで取り、保護者同士あるいは担任も交えて語り合う場を、クラスだよりの紙面にして情報発信している。寄せられた質問は、0歳児ではミルクの止め方、夜の寝かしつけ方、夜泣きの対応など、1歳児ではイヤイヤした時の対応、寝る前の過ごし方、食事の工夫など、2歳児では夕食準備の良い方法、トイレトレーニングの進め方などであり、それらに対して保護者から寄せられた回答などを掲載して、参考にしたり交流してもらったりしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員が互いの保育を語り合える職場環境をつくり、スキル向上につなげている	
内容③	グループ討議を取り入れ、保育実践の振り返りをおこない、日々の保育に活かしている。バランスよく各年代層に配慮したり、逆に若手だけのグループにするなど、グループ分けも工夫している。職員からは、子どもの姿と保育者の関わりについて活発な意見交換がおこなわれている。保育実践の振り返りを通して、職員一人ひとりが発信する場面を多く作り、若手職員も意見を言いやすい雰囲気をつくっている。自分の考えを伝えること、互いの考えを認め合うことを通して、スキル向上を図るとともにより良い保育につなげている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	新しい建物で広く明るい室内、2箇所の特別室がある恵まれた保育環境である
	内容	平成30年度に新築移転した施設であり、園舎内は明るく、全園児が登降園する玄関ホールや廊下も広い。玄関の正面壁には貸出し絵本棚、掲示スペースがあり、園だよりやクラスだより、感染症情報など保護者への情報提供がしやすくなっている。子どもたちの下駄箱上の離乳食展示も見やすく用意している。2階の乳児室も広めで1・2歳児保育室は2グループに分かれたり、遊び別に使ったりすることができるようになっている。障害児指定園であり、各フロアーに1箇所ずつ特別室が整備され、認定児だけでなく、少人数保育などにも活用している。
2	タイトル	皆で意見を出し合い、設計図を描いて発表し、協力し合ってお神輿作りをしている
	内容	夏祭りに「お神輿を担ぐ」と張り切ってお神輿作りに取り組んだ5歳児。「お神輿ってなんだろう」と本を見て調べたり、どんな神輿にするかを皆で意見を出し合い、設計図を描いて発表している。話し合いの結果、虹色の屋根にし、自分たちぼぶら組を表す漢字を将棋の駒型の上に書いて屋根に貼り、屋根の上には金の鳥、周囲に取り付ける飾りはお神輿図鑑を見て考えて、十二面体のくす玉とくるくる棒にしている。三つ編みや折り紙、団扇作りなど一人ひとりの得意なことを集め協力し合って、びかびかの神輿を作り上げている。
3	タイトル	子ども達が自分の身体の健康や安全に関心をもち、身を守るように、計画的に健康教育に取り組んでいる
	内容	保健の年間計画やクラス毎の健康教育計画を作成して看護師を中心に、主に幼児クラスを対象に健康教育をしている。4・5月は手をきれいに洗おう、6月はプライベートゾーン、7月は虫歯予防などであり、11月にはうがいをして風邪に負けない話を計画している。手洗いは紙芝居を使って指と指の間から手首まで洗うことを知らせている。プライベートゾーンは、シャワーを始める前に体の大事な部分は他の人には見せないようにすることを説明している。虫歯予防は食後のぶくぶくがいの大切さを伝え、4・5歳児は歯科衛生士の歯磨き指導を受けている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、心が和み、居心地の良い保育環境になるよう整備を期待する
	内容	築3年目で保育室内の壁などもきれいである。各保育室や廊下には季節感ある子どもたちの作品が飾ってある。3歳児クラスではメダカとカプトムシの飼育をしている。遊戯室は昼寝用のゴザ入れの段ボール箱や遊具類が部屋の端に無造作に置いてあり、施設内には季節の花や観葉植物などは見当たらない。今後は、これまで以上に子どもたちの心が和み、居心地の良い保育環境になるよう、整備を期待したい。
2	タイトル	コロナ禍終息後には、これまで以上に地域のさまざまな方々との交流の機会を増やす取り組みを期待する
	内容	散歩に出掛けて地域の公園を利用している。最寄りの駅周辺商店街に買い物に出かけたり、自治体間連携の高齢者入居施設に5歳児の作品を展示してもらっている。これまでは、児童館に子どもたちが遊びに行ったりしていた。移転して来て3年目であり、コロナ禍にもなったことで、地域の人々との交流の機会は少ない。コロナ禍終息後には、地域の保育園としてさまざまな年齢の人々との交流の機会を構築し、子どもたちの経験の幅を広げる取り組みを期待する。
3	タイトル	会計年度任用職員(非常勤)との保育の情報共有に向けたより一層の取り組みを期待する
	内容	会計年度任用職員は区保育課主催の研修に参加する機会もあつたり、園長との個別面談もおこなっているが、職員会議(月1回)などには参加していない。そのため、幹部層は、さまざまな情報について、日々の中では伝えきれないと考え、土曜日などの時間を活用し伝えていく工夫が必要と考えている。会計年度任用職員といっても、正規職員と同じように子どもと関わるため、会計年度任用職員との保育の情報共有に向けたより一層の取り組みを期待する。

5. 久我山保育園



調査対象

調査時点の子ども96名80世帯を対象とした。

調査方法

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

96
80
80
64
80.0

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父7名(11%)、母48名(75%)、父母一緒に6名(9%)、無記入3名(5%)。年齢:「30歳代」40名(62%)、「40歳代」20名(31%)、「50歳以上」1名(2%)、無記入3名(5%)であった。
 ・総合的な感想は「大変満足」38名(59%)、「満足」24名(38%)、「どちらともいえない」2名(3%)であった。回答者の97%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・自由コメントでは、「新型コロナウイルス感染症対策で大変な中、子どもたちが安全に楽しく過ごし、季節のことや文化なども少しずつ学ぶことができるよう工夫をしてくれている」「保育士間で連絡や情報共有をよくされているように感じる」「ベテランの先生と若手の先生のバランスが良く、子どもたちにとって良い環境だと感じる」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	63	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「子ども一人ひとりの発達状況に合わせて丁寧に観察してくれている」「日々できることが増えたり言葉が出てきたりするようになってきた」「外遊びや集団生活のなかでとても学びが多いと思う」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	60	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「今日はこんなことをしたんだよ、と子どもが笑顔で教えてくれる」「色水や泥、スプリンクラーを使った遊びなど、限られた設備のなかで工夫している」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	58	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「アレルギー対応もしっかりしてくれているので安心している」「家では食べないものも、保育園では食べてくれているようなのでとても助かっている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	10	2	4
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、戸外遊びや行事などについて概ね満足を得ている。「園庭があり、近隣の公園にもよく連れていってくれている」「コロナ禍の影響で機会も限られるなか、できる限りの対応をしてくれていると思う」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	4	1	3
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「直前のスポット利用に対しても快く対応してくれるので助かっている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	52	7	5	0
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「普段の保育について、子どもをよく見てくれていると感じる」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	14	8	5
「はい」と返答した方々は回答者の58%、「どちらともいえない」21%、「いいえ」13%、「非該当」8%であった。「事前に日程を確認してくれるのでありがたい」「保護者は皆働いているため、どの日程にしても誰かしら参加できなくなる。そのときは、個別対応をしてくれたりする」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	58	5	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、家庭と保育所との信頼関係に関して非常に高い満足を得ている。「どの先生も話しかけやすい雰囲気があるので助かっている」「先生の皆さんがいつも子ども一人ひとりをよく見てくれている」「気軽に相談できる状況を常につくってくれる」「送迎時や面談時、連絡帳でも相談に乗ってくれる」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	60	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	60	2	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「子どもの好きなキャラクターの服や小物を身に付けていて、子どもたちも楽しい気持ちになっている」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	57	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「体温などで画一的に対応するのではなく、園内の感染症の様子や子どもの様子をよく見て判断しているように感じる」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	49	8	0	7
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「細かく状況を教えてくれる」「子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、子どもがわかるように話しているようだ」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	61	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子どもの性格をよく見て必要なサポートをいつもしてくれている」「いつも子どもの状況に合わせていろいろな工夫をしながら接してくれている」「子どもの性格を見極め、良いところを大切にしてくれている」「苦手なことがあっても励ましてくれているので安心している」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	52	6	1	5
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	57	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	45	8	1	10
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、利用者の不安や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「保護者会の開催時間では保護者の意見を受け入れてくれている」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	27	7	4	26
「はい」と返答した方々は回答者の42%、「どちらともいえない」11%、「いいえ」6%、「非該当」41%であった。「職員へ相談して解決することが多い」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	さまざまな機会を捉えて、園の目指す方向性を職員や保護者に周知している 園の事務室内に保育理念、園目標を大きく掲示し、目指すべく方向性を職員に示している。今年度、5月の職員打ち合わせでは、年間指導計画について検討するなかで、園で大切にすることについて理解浸透を図っている。園のしおりには、保育理念・保育目標・保育方針を明記し、保護者に配布している。また、園だよりや保護者会(年2回)、各クラスだよりなどを通して、保護者に園の取り組みを理解してもらうことで、保護者との共育を推進している。	
	園長、主査、保育向上リーダー2名が当園の4本柱となり、保育の質向上を図っている 各クラスの担任が目前の子どもから、こうなって欲しい姿を思い描き、毎日保育にあたっている。園長、主査、保育向上リーダー2名が当園の4本柱となり、現場職員の声をくみ取り、日頃の保育を振り返り、学び合うことで、保育の質向上につなげている。園長・主査の今年度の目標を年間指導計画としてまとめ、それを職員へ周知している。園長は、今年度の高井戸地域の中核園としての役割を浸透させるとともに、各園と顔の見える関係づくりを構築していくことや、保育士同士の交流を図っていくことなどを目標としている。	
	園の重要課題について検討・決定する場が明らかになっている 区保育課からの連絡事項・決定事項に基づき園運営をおこなっている。職員個々に周知すべき事項は、体制表(園日誌)に記載している。また、職員間の情報共有や、園の重要課題について検討・決定する場が明らかになっている。毎日の昼のミーティングではアレルギーの現状の確認、保育体制、当日の子どもの特変事項、保護者からの連絡事項などについて共有している。週1回の定例会議では園長会の報告、園内の連絡事項、検討事項などについて共有・協議している。月2回の職員会議では、カリキュラムの報告・検討をおこなっている。	

カテゴリ-2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者の要望には、解決できることはすぐに行動に移している</p> <p>連絡帳、保護者会、個別面談などを通して、保護者の意向を把握している。保護者は、運動会の実施後などに直接口頭で感想を伝えることもある。保護者の要望を受けて、今年度は自転車用ヘルメット置き場をクラスごとにすぐに設置するなど、解決できることはすぐに行動に移している。他方、各クラスの打ち合わせや、プロジェクト(運動会、夏祭り、卒園式)・係担当(畑、園庭、絵本、倉庫、写真、地域支援など)の打ち合わせなどでは、職員の意向・提案が挙げられ、運営に活かしている。</p> <p>当園は「中核園」に指定され、地域の保育施設の情報共有の促進に取り組んでいる</p> <p>杉並区では7つの地域に分け、各地域に「中核園」を指定している。中核園とは、地域の保育施設間の連携・情報共有の促進など、保育の質の向上に向けて取り組む園である。当園はその「中核園」であり、中核園だよりを発行するなどして地域の保育所間の連携や情報共有に取り組んでいる。また、地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが集まる地域子育てネットワークや、行政連絡会議に参画し、地域ニーズについて情報交換・情報収集している。新聞や会報誌、各種研修、保育課から園運営に関わる情報を収集し、定例会などで職員へ周知している。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、組織目標の達成に取り組んでいる</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。区保育課では、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、財政課の査定を受け予算編成をおこなっている。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1 (3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2 (3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3 (3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
<p>職員会議などで子どもや保護者への対応について振り返り、再確認している</p> <p>職員会議や園長との面談などで子どもや保護者への対応について振り返り、適切な対応ができていかどうか確認している。また、年間指導計画の作成時は、「新保育所保育指針」に立ち戻り、確認している。週1回以上、クラス打ち合わせの時間をもち、保育や子どもの姿、子どもへの理解について共有することで、自分の保育の振り返りを継続的におこない、より良い保育につなげている。また、他区の虐待事例を受け、自分たちの保育を振り返り、「不適切な保育を未然に防ぐ」ための話し合いもしている。</p> <p>入園説明会やポスター掲示などを通して、苦情・要望等の相談窓口について周知している</p> <p>入園説明会やポスター掲示などを通して、保護者に対して、苦情・要望等の相談窓口について周知している。園では父母会があるため、父母会が意見集約して園に保護者の意見を伝え、それに対して会議などで改善について検討し、父母会にフィードバックしている。入園説明会や保護者会で、心配なことや疑問を感じたときは、すぐに職員に伝えて欲しいことを説明しており、登降園時に保護者の意見などを聴取している。また、保護者の思いや苦情は定例会や職員会議などで共有し、対策について検討している。</p> <p>園長が児童館に出向いて保育園の話をするなど、園の持つ専門性を地域還元している</p> <p>地域子育てネットワークに参画しており、園長が児童館に出向いて、おもちゃや保育園などについて話し、園の持つ専門性を地域還元している。当園は、地域懇談会での中核園であるため、中核園としての計画表を作成し、年長担当の保育士同士の交流や園庭交流、看護師による嘔吐物の処理についての研修などを実施している。また、保育士資格取得のための大学生の実習生を受け入れている。例年、中学生の職場体験を受け入れているが、前年度は新型コロナ禍により中止、今年度は中学生3名がインタビューに来園した。</p>		
カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>他園の事故について職員へ周知し、類似事故がないよう注意喚起している</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策についての情報などを受け、看護師を中心に園の感染対策をおこなっている。園内の軽微なリスク(ヒヤリハット)についてすぐに「電話ノート」に記載したり、園長に報告している。園長は、「電話ノート」に記載された内容をノートに書き写し、ヒヤリハットの内容・その対策・その後の状況などについて職員へフィードバックし、再発防止に向けて注意喚起している。また、園長会で情報伝達された他園の事故について職員へ周知し、類似事故がないよう注意喚起している。</p> <p>月1回の消防訓練、年3回の防犯訓練を実施している</p> <p>「危機管理マニュアル」を用意しており、あらゆるリスクに対して迅速に対応できるようにしている。「自衛消防訓練実施計画」を作成し、毎月1回、消防訓練を実施している。訓練では、地震・火災を想定し、水遊び中・朝夕保育・延長保育などのさまざまな時間を想定し実施している。今年度は、消防署と連携し、当園の通報訓練などについてアドバイスをもらっている。年3回、防犯訓練を実施している。不審者が園内に侵入してきたという想定で訓練を実施し、ロールプレイング形式で実際のやり方を体験している。</p> <p>「情報セキュリティ実施手順」に則り、情報を管理・運用している</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針、および、杉並区情報セキュリティマネジメントシステム規定に基づき、区保育課が「情報セキュリティ実施手順」を作成しており、この手順に則り、情報を管理・運用している。データ管理はアクセス権限のあるサーバーに保管、紙媒体の個人情報は鍵付きロッカーにて保管している。「重要なお知らせ」に個人情報の取り扱いについて明記し、入園時に「保育中のビデオ撮影や写真撮影を実施する際は、保護者の同意を得るため事前に説明を行います」と説明している。</p>		
カテゴリー5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>職員個々の希望を尊重しながら、総合的に園長がクラス担当を決定している</p> <p>正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施し、能力開発の機会としている。クラス担任を決めるときは、園長が職員個々の希望や思いを聴き、本人の育成を見据え、保護者の思いもくみ取りながら、総合的に園長が判断・決定している。</p> <p>区保育課などからの研修に積極的に参加できるよう働きかけている</p> <p>杉並区人材育成計画に、区が目指す職員像・職場像、人材育成の基本方針、人材育成の取り組み内容を明記している。同計画に基づいて区人事課や保育課が研修を実施しており、その研修案内が園に届くと、主査等が職員に参加への声かけをしている。研修受講後は、報告が義務づけられ、さらに報告をすることで、確実に学んだことを習得できるようにしている。研修レポートは他職員も読めるよう掲示し、報告後に取り下げ、保管し、いつでも閲覧できるようにしている。また、研修受講後、本人がパソコン上の研修履歴カードに参加実績を入力している。</p> <p>仕事が一人に偏らないチームワークづくりをすすめている</p> <p>幹部層は、職員個々への声かけを重視しており、特に一人暮らしの職員へは毎日声をかけ、不安や心配などについて耳を傾けている。また、仕事が一人に偏らないチームワークづくりをすすめる、有給休暇の取得を推奨し、昼休憩が取れる場所を確保し、ワークライフバランスに配慮している。職員アンケートでも、「若年層とベテラン層のバランスが良く、職員の関係性が良い」「自分の担当するクラスや仕事だけでなく、他のところにも協力していこうという意識が高い」などのコメントが寄せられた。</p>		

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ-1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 「保育者の資質の向上」を重要課題とし、次の取り組みを実施した。まずはクラス集団をどう日々保育していくのか、クラス内できちんと情報共有する事が必須であり、その時間を捻出するため、乳児クラスは昼寝時間に昼寝に付く職員を配置し、クラス以外の子どもいない場所でクラス討議をする時間を設けた。クラスの保育だけでなく、研修報告もおこない、研修に参加できない職員へも研修内容を伝え、共有を図った。園長・主査・保育向上リーダー・クラスリーダーを中心に、各クラスや乳幼児打ち合わせ会議、各プロジェクト、職員会議などで活発により良い保育について討議した。次年度は、「保育の質の向上」に向けて、週1回以上、クラス打ち合わせの時間をもち、子どもの理解について共有することや、職員個々が保育の振り返りをおこなうこととしている。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 実体験に根差した保育を展開しようと、職員間の活発な意見交換をおこない、保育向上リーダーを中心に指導計画を検討してきた。職員アンケートでは、「保育の向上リーダーとともに会議の持ち方や検討の仕方などを相談し進めるようにした。これにより、より一層意見を活発に出せるようになったと思う。他クラスの保育を知ろうという意識が高まった」「保育を振り返るという時間を計画的につくるようになった」「職員同士で情報を共有し、一人ひとりが問題意識を持ち、課題に取り組もうとする姿勢がさらに強くなったと思う」「一人の課題として終わらせず、園全体のこととして皆で考えていこうとする姿勢がみられるようになった」などのコメントが寄せられた。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「中核園としての役割を認識する」を重要課題とし、次の取り組みを計画した。①中核園だよりを発行し、年度当初の地域懇談会を機に近隣園との職員の交流計画を実施する。②私立園との交流を図り、学び合う。③近隣園のノロウイルス感染症対策講習会をおこない、一緒に学ぶ。しかし、新型コロナ禍により、中核園の取り組みとしては、子どもの交流は実施できず、中核園だよりでの発信を今後も充実させていくこととした。地域懇談会は年間3回実施することができた。その結果、中核園の取り組みについて、職員に浸透してきている。次年度は、改めて「中核園とは？」について職員へ周知し、中核園の取り組みについて職員全員がその取り組みに関わっていくことなどを計画に入れている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

職員に対して中核園への意識づけを図り、職場全体への理解浸透を図り、公立園として地域全体の保育の質を上げていくことに取り組んでいる。職員アンケートでは、園としての良い点に「中核園としての地域との関わりや連携ができていく」が挙げられ、その活動の成果として「中核園としての役割を果たしていくことに力を入れている」「中核園として、地域の他園との交流や情報交換をする機会を増やした。その結果、近隣の他園の状況がわかり、自園の状況を他園にも伝えられることができた」などが挙げられた。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区のホームページや冊子、MAPなどで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供し、住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、保育園の特長、園舎の見取り図・写真を掲載している。区発行の冊子「保育施設のご案内」や「保育施設MAP」にも、掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見ることができる。最寄りの駅からの道路の角には、高齢者活動施設と保育園の入り口が分かるように、シンボルマークのひまわりを描き、園名と矢印を書いて案内している。コロナ禍前には園庭開放案内を門外掲示していた。</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課や関係機関と情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課には朝夕保育児童数や延長保育利用児数などさまざまな報告をしている。保育の質向上のための中核園事業が始まり、当園は中核園であることから地域の公私立保育施設との園長同士の情報交換や保育士同士の交流、研修会などを開催して、中核園だよりを発行している。園長は区主催の園長会、主査は主査会などに参加して、区からの情報を得たり、課題検討、意見交換をしている。隣接している高齢者活動施設と交流して子どもたちの歌やダンスを見てもらっていたが、現在は交流を中止している。</p> <p>見学希望は電話で受け、日程を伝えて都合がつかない場合は調整して受けている</p> <p>電話で申し込みされた方に見学日程を伝え、調整して受けている。1日3組まで、10時から30分程度の見学にしている。9月～10月中旬までに25組受け入れている。園長・主査が対応し、久我山保育園案内文書を配布して見てもらいながら園舎内を案内している。園の特長として、園庭があり身体を動かして遊び、地域の公園などへも散歩に出掛けている。子どもがのびのび活動できるように、少人数グループに分かれて、丁寧な保育をしていることなどを説明し、コロナウイルス感染症対策についても伝えている。質問にも応じている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会を実施して、重要事項や園生活の基本的なルールを説明している 4月入園内定者には、3月中旬ごろに入園説明会を開催しているが、コロナ禍のために保護者1名の参加にしている。「久我山保育園のしおり」と「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」を基に説明をしている。園長・主査が園概要や園目標、園利用の基本的なルール、防災・緊急事態発生、園からのお願いなどを伝え、看護師は健康管理の説明をしている。できるだけ短時間にするために、用意してもらう持ち物などは資料や実物を見ていただくなどしている。説明後には同意書を受け取っている。</p> <p>入園当初の慣れ保育は保護者の意向や子どもの状況により進めている 入園前の個人面談で入園当初の慣れ保育について説明し、保護者の就労状況や意向などを聴き取っている。保護者が就労中で、集団保育経験児の場合は早めに、育児休業中でゆっくり慣れるように希望される場合は時間をかけるなど、希望に沿った慣れ保育をしている。コロナ禍前は、0・1歳児では初めての給食は保護者に食事を食べさせてもらっている。朝の受け入れや食事、排泄などは可能な限り同じ職員が対応し、迎えの際には子どもの様子を詳細に伝えて安心してもらえるようにし、保護者の仕事復帰前に0歳児保護者会を開催し、園生活の話をしている。</p> <p>卒園や転園、退園の際には子どもや保護者の不安軽減に配慮している 卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継いでいる。保護者には保護者会で、小学校へ子どもの育ちがわかる資料を送ることを伝えている。区内の公立保育園へ転園する場合は保護者の了承のもと、引き継ぎをおこなっている。途中退園の場合はクラスでお別れ会をして、本人の作品が残っている場合にはそれらを綴じて渡している。保護者には新しい育児環境への不安はないか聴いたり、相談に応じたりしている。コロナ禍前は、卒園した小学1年生には夏祭りや運動会への招待状を出している。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌などに記載し把握している 入園時には園医による健康診断を実施して健康状態を把握し、面接時には提出してもらった児童票や児童健康調査表、入園までの生活状況などで、家族構成や出生・成育歴、予防接種歴、発育状況、食事、排せつ、睡眠、好きな遊びなど、保育に必要な子どもの心身や生活状況を把握し記録している。入園後は、0～2歳児は連絡帳で食事や睡眠、排せつ、体調、様子など伝えてもらい、3～5歳児は口頭で、必要に応じて連絡メモを使用して情報を把握し、参考にして保育をしている。保育中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌、児童票に記載している。 指導計画は担任同士が子どもの様子を振り返り、翌月・週の計画を作成している 全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、子どもの実態やクラスの状態を見据えて月間指導計画(月案)を作成している。月案と週案は担任同士でクラスの状況や子どもたちの様子を振り返り、翌月・週のねらいや活動内容を決めている。0～2歳児クラスでは毎月個別の計画も作成している。幼児クラスでも必要に応じて月別個別配慮を作成している。保護者には年間指導計画を保護者会で配付し、説明している。月案は掲示し、週の活動予定を誕生日会、運動会、食育活動、お弁当散歩など、カレンダーに書き入れて見せてもらっている。 子どもや園運営に関する各種会議を開催して、情報共有をしている 各クラスの指導計画は事前にプリントして配付し、カリキュラム検討会議で発表し意見交換をして職員間で共有している。各種会議を開催して情報共有をしている。職員会議は毎週水曜日の昼間に開催している。幼児打ち合わせは月2回、乳児打ち合わせは月1回開催し、アレルギーや行事のプロジェクト会議も実施している。日々昼礼を13時50分から実施して午前中の保育の報告や怪我などのアクシデント、子どもに関する情報、翌日の職員体制、アレルギーや行事・会議などを確認している。参加できない人には参加者が伝えたり園日誌を見てもらっている。		

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>個人情報保護を徹底し、子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園説明会において、「保育園のご利用に当たって【重要なお知らせ】」や「保育園におけるビデオ撮影および、画像データ提供についての考え方、取り扱いルール」の文書を基に個人情報について説明している。区報などに子どもの遊んでいる写真を掲載する際には、該当児の保護者に同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、シャワー時にはラップタオルを使用し目隠したシャワーの個室に入って脱いでいる。おもらしの着替えも衝立を使用し、プール遊びの前にはプライベートゾーンの話をしている。乳児の水遊びにも目隠しを設置している。</p> <p>子どもの気持ちを聴いて受け止め、一人ひとりを尊重している</p> <p>子どもの名前は、～さん～ちゃん～くんと正式名称で呼んでいる。子ども同士のトラブルが起きた時には、子どもの思いをよく聴いて、「～したかったんだね」と受け止め、「そうか、それはわかったよ。」「今度からはこうすればいいと思うよ。」などと助言したりしている。みんなで分担しているクラスの当番活動を、「やらない」という子どもには、なぜやりたくないのか本人の気持ちをよく聴き、自分の気持ちを発信することは大きなことであると認め、「他の人をお願いするのかな」、「誰かと一緒にやられるかな」など、子どもの思いを聴いている。</p> <p>日頃から子どもの傷や言動に気を配り、虐待の予防と早期発見に努めている</p> <p>子育て困難家庭や虐待関連の集合研修に参加を予定していたが、中止になった。職員は日頃から子どもの身体の傷や言動などに気を配っている。怪我や傷が多い子どもの場合は、特に気を付けて、原因を子どもや保護者に確認している。保育者として不適切な保育を未然に防ぐために、名前を呼び捨てにしない、否定的な言い方をしない、大人の声を大きくしない、差別をしないなどの13項目をあげて、保育を振り返り確認している。また、虐待防止ポスターを掲示し、児童相談所・一時保護所に関する説明会に参加して、児童相談所の役割を学んでいる。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立保育園共通や園独自のマニュアルを整備している</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」や「保育実践の手引き」、「危機管理マニュアル」、「保健マニュアル」などの区立保育園共通のマニュアルを整備して、事務室の棚に置いている。当園独自の、「食物アレルギーの対応と注意事項」、「当番の仕事の流れと仕事内容」、「散歩先ルート・散歩マップ」などの手順書やマニュアルなどを作成して、ファイルに入れ、各保育室に置き、職員は確認したい時にいつでも見ることができるようになっている。</p> <p>上半期、年度末、必要に応じて随時、見直しをしている</p> <p>上半期反省や年度末反省時には、子どもの保育に関する振り返りだけでなく、業務内容についても気が付いたことがあれば、点検し見直している。おしっこ対応についてなど、基準や取り扱い方法が変更になったような場合は、職員会議で伝え、周知して対応している。その他、当番の仕事の流れなども子どもの状況などにより、必要に応じて見直している。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討し、見直して改善している</p> <p>ヘルメット置き場が狭く10個くらいしか入らないので困ると保護者の会話を耳にした職員からの報告で、すぐに置き場を変更して多く置けるようにした。0歳児の汚れ物掛けのフックの高さが子どもに危険であるとの意見をもらい、フックを取り替えて対応した。園庭裏側にある三輪車置き場の柵の留め金が子どもでも開けられるものであったことから、職員が危険と判断して子どもには開けられないものに取り換えた。利用者の安全にかかわる意見や提案には、すぐに対応している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で遊びたい玩具で、落ち着いて遊べる保育室環境にしている</p> <p>乳児クラスでは身支度や着替え、食事などの生活と遊びの場所を低い玩具棚や仕切りなどで分け、遊びの場所は動的遊び、絵本、ままごと、手先遊びなどのコーナーに分け、子どもの年齢発達に合わせた興味関心のある玩具類を子どもの手の届く棚に並べ、自分で選んで落ち着いて遊べる環境にしている。そして、できるだけ少人数に分かれて遊んでいる。幼児クラスでも、木製積み木や絵本、ままごと、机上遊びのコーナーを設置して遊びの継続を保障し、廊下も床に広げて遊ぶ線路と汽車や木製遊具などで遊ぶ場所に利用している。</p> <p>散歩や園庭遊びなどで、自然な異年齢交流をしている</p> <p>これまでは、幼児クラスは縦割りグループに分かれて、散歩や庭遊び、積み木、ホールなどで遊ぶ日を設け、会食もしていたが、コロナ禍であり、異年齢児の混合や密になることを避けるために中止している。現在は、異年齢の少人数で散歩に出掛けたり、園庭遊びで自然な異年齢交流をしている。</p> <p>噛みつきやひっかきなどのトラブルには子ども双方の気持ちを尊重して対応している</p> <p>保護者会で年齢発達の子どもの姿を伝え、発達の過程として噛みつきやひっかきなどのトラブルがあることを説明している。トラブルが生じた時には、子どもの気持ちを「～したかったんだね」と受け止めながら代弁し、「噛まれたら痛いからやめようね。そんな時には～と言うんだよ」などと伝えている。少人数で落ち着いて遊んでいる場面ではトラブルはほとんど生じないが、繰り返しトラブルになるような時には、保育環境や保育者のつき方などを見直している。保護者にはトラブルの状況を説明し、園でのトラブルは園の責任であると謝罪している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>朝の受け入れ時には健康観察をし、保護者に子どもの様子を聴いている</p> <p>朝の登園時には挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察して、保護者に家庭での子どもの様子や健康状態を聴き、0～2歳児は連絡帳を、3～5歳児は体温と体調を記入した健康チェック表を手渡してもらい受け入れている。朝当番や担任など受けた職員は朝夕ノートに家庭からの伝言や子どもの健康状態などを記入し、引き継いでいる。朝夕ノートには前日の園での怪我や傷のことなど、保護者に様子を確認する必要がある内容を記入しておき、受け入れる職員はそれらの情報を基に保護者に聴き取りをしている。</p> <p>生活習慣が身に付くように、子どもの状況に合わせて個別に援助している</p> <p>前期の保護者会では年齢発達の子どもの姿を伝えて、食事や排せつなどが自分で行えるようになるよう、子どもの状況に合わせて個別に援助することを説明している。箸の導入は5歳児からにして、栄養士が箸の持ち方などを個別指導し、細かな物を箸でつまむ指先の動きができるようになってから使い始め、慣れるまでは箸とスプーンやフォークを併用している。トイレトレーニングは昼寝明けにおむつが濡れていない時にはトイレに座ってみるなどから始めて、排尿間隔が長くなり、トイレでできるようになると保護者と相談してパンツに切り替えている。</p> <p>迎えの保護者には連絡帳や貼りだし日誌、会話などで子どもの様子を伝えている</p> <p>日中の子どもの様子は、0～2歳児では複写式の連絡帳で、3～5歳児は掲示している貼りだし日誌でクラスの活動の様子などを読んでもらい伝えている。迎えの保護者には、担任がいる時には担任が、当番の時間帯には当番保育士が子どもの様子を伝え、園からの連絡事項は朝夕保育ノートと口頭で引き継ぎ、保護者に伝えている。子どもの状況を説明する必要がある場合には、説明できる保育担当者が保護者の迎えを待って伝えている。園から受診した場合など、必要に応じて、園長や主査、看護師なども保護者の迎えを待ち対応している。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自分で遊びたいもので、じっくり遊びこめる時間や場所を配慮している</p> <p>子どもの午前中の遊びを保障するために、9時頃には登園するようお願いしている。4・5歳児では朝の集まりの時間は子どもの遊びの状況を見て、遊びが盛り上がっている時には時間をずらすなどして柔軟に対応している。保育室内は子どもが自分で遊びを選んでじっくり遊べるようにままごとや木製積み木、絵本、机上遊びなどのコーナー設定にして、遊びの続きができる環境にしている。また、製作活動や描画などは、みんなで一斉に作ったり、描いたりせず、やりたい子どもからじっくり取り組めるように、数日かけて活動している。</p> <p>絵本を好きな子どもが多く、5歳児の当番活動では場に応じた話し方などを学んでいる</p> <p>絵本の読み聞かせなどが好きな子どもが多く、園の貸出絵本を借りる子どもも多い。地域の図書館には2か月毎、絵本の貸し出しの選本に行っているが、現在は密を避けて少人数で行くために、園児5名と保育士とで借りに行っている。また、5歳児は当番活動として、人数調べ当番をしており、当番1人で他の幼児クラスに、「人数調べに来ました」と言って人数を聴き、事務室と調理室に報告に行く役割にしている。そして、事務室では今日の日にちや天気とともに、クラス別の人数を報告している。当番活動を通して、場に応じた話し方を学ぶ機会になっている。</p> <p>散歩に出掛けて、身体を動かしたり、自然物に触れ変化に気づいたりして遊んでいる</p> <p>戸外遊びに適した季節には、週に1～2回散歩に出掛けている。広い区立公園に出かけて駆け回って遊んだり、芝生滑り、固定遊具遊び、虫探しなどを行っている。自然が豊かな地域であり、散歩先ではバツヤカマキリ、蛇などにも巡り合うことがあり、川沿いを散歩しながら水鳥を見たりしている。春は桜を見たり花びらを拾って遊び、秋にはどんぐりなどの木の葉を拾ったり紅葉に感動したりして身近な自然に触れて遊んでいる。保育士は季節の移り変わりに気づくように声掛けをし、自然物を製作活動に取り入れている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>夏祭りには子どもたちが意見を出し合って作り上げたお神輿を担いで楽しんでいる</p> <p>5歳児クラスでは、夏祭りには何をしたいか、意見を出し合うと、前年のことを思い出し、「私たちもお神輿を作りたい」との意見がたくさん出た。どんな神輿を作るのか、一人ひとりが意見を出して多かつた海をテーマに、水色の神輿作りをした。材料は何か、どんな飾りをつけるかなど、それぞれがイメージしていることを出し合いながら、段ボール箱に画用紙をちぎって貼るなどして、みんなで作り上げることができた。夏祭り当日はびっぴを着て、「ワッショイ、ワッショイ」と園庭や併設の高齢者活動施設までのスロープをお神輿を担いで練り歩き、楽しんだ。</p> <p>運動会では、みんなで力を合わせて、リレーやバルーンなどに取り組んでいる</p> <p>運動会は4・5歳児の取り組みとして実施している。5歳児はリレーと短縄跳びを見てもらい、リレーはチームに分かれて繰り返し楽しんでいるうちに、自分たちで走る順番を決めるようになった。勝つための作戦を練るなどして勝敗にこだわり、負けて泣いてしまう姿も見られるが、「今度また頑張ろう」と声掛けするようになり、チームで頑張ることの喜びを味わっている。4歳児は大縄とバルーンに取り組み、みんなで力を合わせて大波、小波、メリーゴーランドなどの新しい技に挑戦し、うまくできた時には大喜びし、保護者に観てもらった。</p> <p>行事に向けて取り組んでいる子どもたちの様子をクラスだよりなどで伝えている</p> <p>年間行事予定表を年度初めに配付している。日程の変更や中止になる場合に早めにクラスだよりや掲示、園だよりなどで知らせている。5歳児クラスでは、運動会には「皆でお揃いのTシャツを作って着たい」ということを保護者会で伝えて、白シャツを持参してもらい、子どもたちがびー玉やペットボトルキャップを使って絞り染めをして、運動会や遠足の時にみんなで着用している。保護者に参加してもらった保育行事は運動会であり、行事に向けて取り組んでいる子どもたちの様子はクラスだよりや貼りだし日誌、口頭などで伝えて楽しみにしてもらっている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもの人数の増減に合わせて、保育の形態を変えている</p> <p>朝保育では幼児クラスは8時まで一緒に過ごし、人数が増えてきたところで5歳児は5歳児室へ移動し、3・4歳児は8時30分まで一緒に遊んでいる。0～2歳児は、現在人数が多くないので、8時30分まで一緒に過ごしている。夕保育では、子どもの人数が多い間はクラス保育、少なくなったクラスは合同保育にしている。</p> <p>午後のおやつ後には気分転換をして、室内で好きな遊びをして過ごしている</p> <p>午後のおやつを食べた後、幼児クラスは園庭遊びや遊戯室で体を動かして遊び、乳児クラスは2階のテラスで遊んだりして、気分転換をした後、室内で好きな遊びをしている。夕保育には、乳児クラスでは遊びに使う布団や長いクッションなどを出して、腰を下ろしたり、時にはゴロゴロしたりしてゆったりと過ごせるようにしている。乳児クラスの夕保育当番は担任がしていることが多いので、保護者に子どもの日中の様子を直接伝えることができている。子どもが一人になりたいような時には、仕切りをして一人で過ごせるスペースを作っている。</p> <p>子どもたちが飽きずに楽しく遊べるように、時には保育士が提案した遊びをしている</p> <p>18時30分からの延長保育は3歳児室で過ごしている。現在の定期利用児は少人数で、スポット保育利用児がいる場合もある。延長保育当番保育士は日替わりで変わるが、パート職員はいつも同じ職員を配置しているので、よくわかり慣れている人と一緒に安心して過ごしている。子どもが好きな遊びをするだけでなく、飽きずに楽しく遊べるように、当番保育士が提案しておすすめの絵本を読んだり、机上遊び、風船遊びをしたりしている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせたテーブルや椅子に安定して座り、落ち着いて美味しく食べている</p> <p>子どもの体格に合わせたテーブルや椅子を使用して安定して座り、落ち着いて食事をしている。0歳児ではテーブル付きの椅子を使ったり、手作りの足台や背あて、脇あてなどを使って姿勢よく食べられるようにしている。コロナ禍のため、テーブルにつく子どもの人数を少なくし、2歳児からはテーブルに手作り透明衝立を使用して、感染防止に努めている。七夕や12月のお楽しみ会、ひな祭りなどには、ランチプレートに盛り付けて会食をして、心地よい音楽を流し、いつもと違う友だちと食べたりしているが、今年はクラスでの会食にしている。</p> <p>食物アレルギー児には除去食や代替え食を提供している</p> <p>食物アレルギーの子どもには除去食または代替え食を提供している。献立表ができた段階で該当児の保護者に除去品目のチェックをお願いして提出してもらい、栄養士が代替え食品を記入し、アレルギー会議で確認して、保護者に献立表を返却している。アレルギー食は除去食品を明示したプレートを使用して提供しており、受け取りは正規保育士がおこない、調理職と除去食品を確認し合ってから受け取り、保育室でも間違いがないように声出しをして確認し、該当児に提供している。</p> <p>園庭や区民農園などで野菜を育て、収穫して調理してもらい食べている</p> <p>園庭の畑にはとうもろこしやスイカを植え、土裏でさつまいもも栽培して、子どもたちが水やりをしながら野菜の生育を観察している。区民農園を借りて、5歳児がじゃがいもやさつまいもの植え付けや雑草取りなどをして、収穫体験もしている。収穫した野菜は厨房で調理してもらい給食時に味見をしている。調理体験として玉ねぎの皮むきやシメジを裂くなど、希望するクラスがしている。5歳児は焼いた魚の食べ方をやって見せている。園独自の食育だよりを毎月発行し、食中毒や水分補給、給食献立の作り方などを掲載し、保護者にも食の大事さを伝えている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づき対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>年間保健計画を作成して子どもたちの健康教育を実施している</p> <p>年間保健計画を作成して子どもたちが自分の身体に興味や関心をもち病気や怪我を予防できるように、健康教育を実施している。看護師が中心となり、手洗い、虫歯予防、うがい、鼻かみ、脳の話などを行っている。子どもたちにわかりやすいように、エプロンシアターや大型紙芝居などを使って指導している。公立保育園看護師の医療会が月1回開催されて、各園の取り組みを情報交換している。保育士は保育活動中に、危険な場所に行かないことや危険な遊び方をしないこと、散歩時には道路の歩き方などの交通安全などを知らせている。</p> <p>嘱託の園医など、医療機関と連携している</p> <p>医療的ケア児は在籍していない。子どもたちの健康状態を把握するために、嘱託医による定期健康診断を年2回、0歳児健診を月2回、歯科健診年1回、3～5歳児は耳鼻科・眼科健診をそれぞれ年1回受けている。嘱託の園医には園児の健康に関する相談を受けてもらっている。その他に、毎月の身体測定と週2回の爪チェックを実施して子どもの健康管理をしている。</p> <p>保健だよりを発行したり保健関係情報を掲示したりして情報提供している</p> <p>毎月15日には保健だよりを発行して、健康な体作りや爪チェック、生活リズム、園での蚊対策、歯磨き、夏の肌トラブルなど、季節ごとの子どもの健康管理情報を提供している。園で感染症が発生した時には事務室前の園庭側窓、2階廊下の掲示板に感染症のお知らせを掲示している。評価者の訪問時には溶連菌感染症発生のお知らせが掲示してあった。園での昼寝時には午睡チェックを実施しているが、子どもの顔色などが分かりやすいように部屋のカーテンは閉めてしまわないようにしている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>家庭や子育て、就労などの個別の事情は申し出てもらい、可能な限り配慮している</p> <p>保護者の家庭や子育てなどの個別の事情は相談してもらい、園で可能な限り配慮して支援している。毎年家庭連絡票を提出してもらっており、年度途中で職場や勤務状況、家庭状況などに変化がある場合には変更届を区役所に提出してもらい、必要に応じて保育時間を変更している。急な残業などで迎えが遅くなる場合には申し出てもらい受けているが、18時30分以降はスポット延長保育を利用してもらっている。送迎がいつもの人ではない場合も申し出てもらい、不慣れな人には手伝ったりしている。</p> <p>保護者会や個人面談、クラスだよりなどで、保護者と保育士の信頼関係を深めている</p> <p>保護者会を年2回、個人面談は基本年1回であるが必要に応じて随時実施している。前期保護者会は、それぞれのクラスが1年間の保育について説明し、子どもたちの様子を映像で見てもらっている。園だより月1回、クラスだより月2回発行して保育の状況を伝えている。また、コロナ禍のために保護者同士の交流の場は、持ちづらくなっているが、運動会には親子競技を実施している。これまでは保護者同士、保護者と職員が交流する機会として「ほっとほっとタイム」を設けていたが、現在は中止している。</p> <p>保育参観・参加、個人面談、クラスだよりなどで保護者と子どもの姿を共有している</p> <p>保育参加・参観には「個人面談の日に保育参観・参加をしませんか」とお誘いの声掛けをしている。今年は1歳児で数名の参加があった。個人面談には事前にアンケートを取り、例えば、2歳児では、休みの日の昼寝は12時頃から15時頃になっていますか。今どんな遊びにはまっていますかなど。回答してもらうことで、時間を有効に使えるようにしている。また、クラス便りは月2回発行して、具体的な子どもたちのやり取りの姿やクラスの様子がわかるように書き、保護者と子どもの育ちを共有できるようにしている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>区立公園や図書館を利用し、警察や消防の交通安全指導や防災指導を受けている</p> <p>区立公園に散歩に出掛けて身体を動かして遊んだり、自然の変化を感じたりしている。図書館には2か月に1回、絵本貸し出しの選本に行き、絵本を読み、大声を出さない、静かにするなどの公共施設利用のルールを学ぶ機会になっている。警察署には交通安全の指導をお願いしている。消防署には総合避難訓練時に訓練の様子を見てもらい、講評や指導、子どもたちへの話をしてもらっている。</p> <p>これまでは高齢者活動施設の利用者との交流や茶道の先生のお茶会を体験していた</p> <p>これまでは、併設の高齢者活動施設の利用者と年1回交流して、園児が夏祭りの踊りなどを披露し、ベーゴマやお手玉などで昔遊びを教えてもらったりしていた。現在は交流できないので、施設利用者の方から、手作りの雑巾や折り紙で作ったランドセルをいただいたりしている。ボランティアで茶道の先生に来てもらい、4・5歳児が挨拶の仕方やお茶のマナーなどを教えてもらっていたが、中止している。今年度は2名の保育実習生の受け入れをしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	乳児クラスでは、少人数グループによるきめ細やかな保育をしている	
内容①	0～2歳児の保育室は、食事と遊びの場所を低い玩具棚や仕切りで分け、遊ぶ場所もままごとや絵本、手先遊び、構成遊びなどのコーナーにして緩やかに仕切り、子どもが自分の好きな場所でおもちゃを選び、じっくり一人で遊んだり友だちと遊んだりできる環境にしている。生活や活動は可能な限り少人数グループに分かれてしている。少人数で過ごすことで、子どもは安心して自分を発揮することができ、保育士も子どもの言葉や表情、仕草などから一人ひとりの気持ちや要求などをくみ取り、応え、きめ細やかな保育に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	貼りだし日誌やクラスだよりを工夫し、保護者に子どもの様子をわかりやすく伝えている	
内容②	園での子どもの様子は0～2歳児は複写式連絡帳に記入し、3～5歳児はクラス活動の様子を貼りだし日誌を掲示して読んでもらっている。しかし、コロナ禍であり、送迎時の会話も短時間に済ますようにしており、前期保護者会も時間を短縮して開催している。子どもたちの様子を保護者と共有する手立てとして、貼りだし日誌に写真を貼付してわかりやすくしたり、クラスだよりを月2回程発行することにした。そして、子ども同士の会話のやり取りや担任の関わり・思いなどを掲載して、クラスの様子が具体的にわかるクラスだよりにするように努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	園内のあらゆるリスクに対して対策を検討・講じ、危機管理意識の向上に取り組んでいる	
内容③	職員皆で散歩ルートマップを活用しながら、散歩ルートの安全点検をおこなっている。また、散歩中での交通事故の想定や、不審者対応訓練についても検討している。連絡帳の渡し間違いがないよう、表紙にわかりやすく名前を表示し、連絡帳を保護者に渡すときは、声を出し、名前を確認し、再確認することの徹底に取り組んでいる。室内を離れる際、連絡帳や朝夕ノートを含む各記録類などの管理方法についても確認している。研修に参加した職員からは「メモも公文書になる」との話を聞き、慎重に扱うことを周知している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	積み木などの木製遊具を発達に応じて用意し、子どもが選んでじっくりと遊べるようにしている
	内容	保育室には、年齢に応じた玩具類を子どもが自分で選んで、じっくりと遊べるように、ままごとや構成遊び、手先遊び、絵本など、遊び毎のコーナーを設定している。中でも指先の力加減が必要な木製積み木遊びを大事にしている。0歳から5歳児まで、発達に応じた形状の積み木を用意している。幼児クラスでは継続して遊べる積み木のコーナーを設置し、子ども達が並べたり積んだり、作ったり壊したりして遊び、時には保育士と一緒に遊びながら楽しさを伝えている。4・5歳児では友達と一緒に建物や乗り物などのダイナミックなものを作って遊んでいる。
2	タイトル	子どもたちがゆっくりとじっくりと楽しめるような夏祭りウィークを実施している
	内容	コロナ禍前は、保護者参加の夏祭りを開催していたが、感染拡大防止の観点から保護者の参加を中止し、7月には、幼児クラスのお楽しみとして夏祭りウィークを実施している。夏祭りに向けて子どもたちはお神輿作りやお面作りなど、力を合わせて製作活動に取り組んだ。夏祭りウィークにははっぴ姿の5歳児が手作りのお神輿・まといで練歩いたり、園庭で盆踊り、保育士のシアター、ゲーム、ヨーヨー釣り、金魚すくい、的当てなどを日替わりでしたことで、ゆっくりじっくり楽しむことができる子どもたち向けの行事になった。
3	タイトル	区の中核園事業の地域中核園として、保育施設の連携、情報共有に取り組んでいる
	内容	区全体の保育の質向上を目指した中核園事業がはじまり、当園は地域41保育施設の中核園として取り組んでいる。中核園担当職員が2名配置され、地域の保育施設同士の連携や情報共有を促進する役割を担っている。7月に開催した保育士同士の交流会では子どもの課題として、話が聞けない、運動能力の低下などについて話し合い、施設長同士の地域懇談会も開催している。園庭の無い保育施設向けに、公立園の園庭を週1回開放する取り組みも始まり、発行している中核園だよりには、手作りおもちゃや夏の遊びなどを特集している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	より一層保護者との相互理解を図るための仕組みの構築を期待する
	内容	年2回の保護者会や個人面談などで、保育の意図を説明したり子どもの様子を共有したりし、保護者からの意見や要望などをもらっている。園への意見や相談はいつでも受けることを伝え、受けた場合には検討し、必要に応じて見直しなどの対応をしている。今後は、これまで以上に保護者との相互理解を図るため、意見箱や利用者アンケートなど意見や感想などを寄せてもらいやすい仕組みの構築を期待する。
2	タイトル	コロナ終息後には、これまで以上に、地域の幅広い世代の方々との交流を広げる取り組みを期待する
	内容	地域の図書館を2か月に1回利用し、絵本を読んだり、公共施設利用のマナーを学んだりしている。これまでは、ボランティアの茶道の先生に年1回、お辞儀の仕方やお茶の飲み方などを教えてもらい、併設の高齢者活動施設の利用者の方々との交流していたが、現在は中止している。コロナ終息後には、子どもたちの生活経験の幅を広げるために、地域の多世代の方々との交流をこれまで以上に広げる取り組みを期待する。
3	タイトル	ヒヤリハットを記録することを習慣化し、リスクを可視化し、事故予防へのさらなる取り組みを期待する
	内容	園内の軽微なリスク(ヒヤリハット)についてすぐに「電話ノート」に記載したり、園長に報告している。園長は、職員へフィードバックし、再発防止に向けて注意喚起している。今後は、軽微なリスクも、ヒヤリハット報告書に記録することが望まれる。その後、蓄積したヒヤリハットについて、発生した曜日や時間帯、場所、子どもの年齢や月齢、転落・転倒などの内容ごとに集計・分析し、リスクを可視化し、事故予防への対策を具体的に職員皆で検討していけることを期待する。

6. 浜田山保育園



調査対象

令和3年8月の調査時点の子ども99名・82世帯を対象とした。

調査方法

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

99
82
82
60
73.2

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父9名(15%)、母40名(67%)、父母一緒に5名(8%)、無記入6名(10%)。年齢:「20歳代」1名(2%)、「30歳代」32名(53%)、「40歳代」21名(35%)、「50歳以上」1名(2%)、無記入5名(8%)であった。
・総合的な感想は「大変満足」37名(62%)、「満足」20名(33%)、「どちらともいえない」2名(3%)、無記入1名(2%)であった。回答者の95%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
・自由コメントでは、「子どもらしく泥んこになりながらひたすら遊ぶことを追求できている」「先生をはじめ、用務のスタッフも含めて皆さん気さくで子どもたちを見守ってくれている」「子どもたちを大切に、毎日の園生活が充実するようにと、先生たちがとても工夫をしながら保育をしてくれている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
コメント				
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	59	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「家庭ではなかなか経験できない遊びや友だちとの関わりなどが、子どもの発達にとても役立っていると思う」「子どもは毎日、さまざまな刺激を受け、充実した生活過ごしている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	59	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「家庭ではなかなかできない絵の具や外での水あそびなどを、日常で経験できていてとてもありがたい」「毎週のように新しい遊びを考えてくれている。子どもは飽きることなく楽しんでいる」「絵本、沢山のオリジナルのおもちゃや手遊び、歌など親子だけでは絶対にできないであろう、子どもの興味の引き出しを多く作ってくれている。子どもはいろいろなことに興味を持てるようになっている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	60	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、食事に関して非常に高い満足を得ている。「誕生日プレートを用意してくれている」「沢山の工夫されたメニューがあるおかげで、食の幅が広がっている」「家庭で食べない食材や料理も、園に通ってからは少しずつ食べられる種類が増えてきている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	47	10	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、戸外遊びや行事などに関して非常に高い満足を得ている。「園庭は広く、周辺地域は自然が豊か、積極的に関わる機会を確保してくれていることはありがたい」「園庭でのダイナミックな遊びなど、集団で思いきりさせてくれているところが良い」「こまめに公園にも連れていってくれているのでありがたい」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	3	2	6
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「嫌な顔をせずにとっても柔軟に受け入れてくれた」「当日に変更のお願いをしたことはないが、事前に申し出た際は柔軟に対応してくれた」「預け時間が朝早くになってしまうときにも対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	52	7	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「非常に行き届いていると思う」「コロナ禍で保育参加の機会がなくなり、詳細まで確認することができない」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	30	23	2	5
「はい」と返答した方々は回答者の50%、「どちらともいえない」38%、「いいえ」3%、「非該当」・無記入9%であった。「個人面談の日程など、こちらの都合に考慮してくれるので助かっている」「個人面談などはこちらの候補日を確認してくれるなどの配慮がある」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	51	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「現在の担任の先生だけでなく、以前担当してくれた先生も会うと声をかけてくれる」「担任の先生に限らず、気さくに相談できる先生がいて、気になることを話すことができ、話を聞いてもらえることでほっとする」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	52	7	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「園舎は古いのが、保育室などはきれいにしていると思う」「よく消毒や清掃をしている」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	55	3	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	56	2	1	1
「はい」と回答した方々は回答者の93%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「病院に連れていってくれたり、経過を細かく教えてくれたりするので助かっている」「けがをした際に非常に丁寧に対応してくれた」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	44	10	0	6
「はい」と回答した方々は回答者の73%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「遠くで子ども同士のトラブルがあった場合、走って止めに行く。何かあった際には職員間で情報を共有している」「互いの気持ちをくんで対応している。親も勉強になる」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	56	4	0	0
「はい」と回答した方々は回答者の93%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「本当に細かいところまで見てくれている」「まず受け止めることを徹底している」「担任の先生が愛情をもって保育をしている」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	49	9	0	2
「はい」と回答した方々は回答者の82%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	56	4	0	0
「はい」と回答した方々は回答者の93%で、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「毎日の連絡帳やおたよりを通じて、きめ細かに共有してくれている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	48	4	0	8
「はい」と回答した方々は回答者の80%で、利用者の不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。「質問したことや疑問に思ったことに対して、きちんと話してくれる」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	18	10	5	27
「はい」と回答した方々は回答者の30%、「どちらともいえない」17%、「いいえ」8%、「非該当」45%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリ1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	○非該当	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
	○非該当	
	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
	○非該当	
	○非該当	
	○非該当	
カテゴリ1の講評		
園運営マニュアルの見直し時、園の保育で大切にすべきことなどを確認している 年度末に園運営マニュアルすべてを見直ししており、その際に園の保育で大切にすべきことなどを確認している。また、年度当初、全体の計画、それに基づき年間指導計画を職員皆で確認し合う中で、当園の保育目標にも立ち戻り、園の目指すべき方向性について共通認識を形成している。保護者に対しても入園説明会や保護者会などを通して、当園の保育で大切にすることを伝えている。前期保護者会は、前年度・今年度、新型コロナ禍により書面開催とし、書面により保護者に周知している。		
園長、主査、保育向上リーダーが中心になって、保育の質向上を図っている 園長、主査、保育向上リーダーが中心になって、保育の質向上を図っている。幹部層は、「子どもの、今、を大切に、園全体で子ども一人ひとりを保育していく組織でありたい」「保護者とのコミュニケーションを密にし、保護者に寄り添い共に子育てをしていくパートナーでありたい」と考え、日々の保育をおこなっている。その目標達成のため、新規職員の育成とミドルリーダーの育成に注力し、会計年度任用職員に対しても個別に園の方針を伝え、職員同士が充分なコミュニケーションを取り合い、チーム力・組織力の向上を図っている。		
園内の問題課題について情報共有、検討・決定する場を明らかにしている 園内の問題課題について情報共有、検討・決定する場を明らかにしている。毎日、昼ミーティングでは、当日の午後と翌日の職員体制と予定の確認、連絡事項の周知をおこなっている。週1回の定例打ち合わせでは、事前に提案者が「職員打ち合わせ議題」票に議題を記入し、現場の問題課題について効率よく会議を進められるよう事前議題を調整している。月1回の職員会議では、保育の振り返りなどを行っている。そのほか、乳児打ち合わせ、幼児打ち合わせ、行事プロジェクト、係打ち合わせなどの協議の場を設け、より良い園運営に向け協議している。		

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者の要望を行事に反映したり、職員の提案を夏の遊びに反映している</p> <p>保護者会や個人面談の開催前、園行事後にアンケートを実施し、保護者ニーズを把握している。運動会実施後に保護者の感想を募り、次年度に活かしている。職員に対しても、個人の「目標申告シート」の作成時に意向や希望、提案などを聴取している。職員のアイデアを受け、夏季にプール以外の遊びを年齢ごとに工夫して実施した。</p> <p>地域懇談会に参画し、各保育所のニーズを把握し、公立園としての役割を担っている</p> <p>杉並区内を7か所に分けた地域懇談会に参加し、地域の各保育所の課題(ニーズ)について情報交換している。その中、2歳児クラス担任の交流をしており、当園の2歳児保育室の環境を写真で見せて環境設定について話し合ったりしている。他の園がどうしているのか、自分たちの園で困っていることを他園でみることで気づきを得ている。また、地域子育てネットワークに参加したり、地元の町会長などと顔の見える関係を築き、地域ニーズを収集している。また、区立園長会に園長が参加し、区保育課からの情報を自園のより良い運営に活かしている。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、組織目標の達成に取り組んでいる</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。区保育課では、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、財政課の査定を受け予算編成をおこなっている。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>新任職員向けマニュアルを使って、保育士として遵守すべきことを説明している 前年度、新保育所保育指針や「杉並区立保育園保育実践方針」に基づき、全体の計画の見直しをおこなった。新任職員に対して、マニュアルを使って、保育士として遵守すべきことを説明している。同マニュアルには、子どもへの関わり方、保護者対応、苦情・要望についてなどが記載されている。また、区主催の新任研修では、公務員倫理や人権などについて学んでいる。会計年度任用職員も「会計年度任用職員研修」に参加し、公務員倫理および、人権、障害者理解、個人情報保護・情報セキュリティなどについて学んでいる。</p> <p>苦情対応については、具体的に新任職員向けマニュアルにも明記している 入園説明会時に「重要なお知らせ」を使って、苦情窓口について保護者に周知している。「保健福祉サービス苦情調整委員制度」のポスターを事務所前に掲示し、リーフレットも置き、不満や苦情などを苦情調整委員に申し立てることができることを周知している。新任職員向けマニュアルには、「苦情を受けた職員は、謝罪しすぐに園長に報告する、事実内容を確認する、全職員に周知し、改善策を検討する、同じ苦情がないよう努める、改善策について説明をおこなう、内容によっては、全保護者にも伝える」と明記しており、これに則り対応することとしている。</p> <p>保育実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している ボランティアや実習生の受け入れはマニュアルを用意している。訪問調査時点で、新型コロナ禍により、今年度のボランティアの受け入れはなかった。今年度、中学生の職業体験や、保育資格取得のための実習生を受け入れている。園庭開放は今年度中止とし、ふれあい保育は希望者がいない。見学者の受け入れや、地域懇談会での職員交流をおこない、地域貢献の一助としている。これまで、児童館まつりに参加してきたが、今年度は中止となっている。眼科・耳鼻科の健康診断に近隣保育所の子どもを受け入れている。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>軽微なリスクは園日誌に記載し、昼ミーティングで共有している</p> <p>区作成の「危機管理マニュアル」や園のマニュアルに事故や災害、感染症などのリスク対応への体制について記載されており、いつでも確認できるようにしている。軽微なリスクは園日誌に記載し、昼ミーティングで共有している。事故発生時は、その内容・状況などについて記録・分析し、その対応策を考え、職員全体に周知し、再発防止につなげている。環境係が定期的に園庭整備をおこなっている。クラス担当保育士が、各保育室を危険個所がないかどうか目視で確認し、リスクと思われる箇所について園長に報告し、修繕など必要な対策を講じている。</p> <p>防犯マニュアルを作成し、不審者対応訓練も実施している</p> <p>毎月、午睡時・朝夕保育などのさまざまな場面を想定した避難訓練を実施している。今年度、消防署が来所しての訓練も実施している。また、隣接のゆうゆう館と合同での総合訓練も年1回実施している。「朝夕保育・土曜日保育中に不審者が来た場合」「散歩中および散歩先に不審者と遭遇した場合」などさまざまな場面の防犯マニュアルを作成し、不審者対応訓練も実施している。マスク着用、毎日の検温、手指の消毒、換気などの感染対策の徹底に加え、区保育課からの新型コロナウイルス感染症対策に関する情報に基づき、園内の感染対策を講じている。</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針などに基づいて、情報の運用・管理をおこなっている</p> <p>杉並区個人情報保護条例や杉並区情報セキュリティ基本方針に基づいて、情報の運用・管理をおこなっている。個人情報は鍵付きの書庫で保管している。個人情報を保管場所から持ち出す際は、持ち出し管理簿に記録し、その紛失、漏洩のないようにしている。職員会議では、他園での個人情報の事故事例を挙げ、「自分が預かっている個人情報の書類を常に把握する」と注意喚起している。会計年度任用職員には採用面接時に守秘義務の遵守を伝えている。保護者にも個人情報の取り扱いについて「重要なお知らせ」を使って、入園説明時に説明している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p>アンケートによる職員の希望も考慮し、クラス担当を決めている</p> <p>正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施している。クラス担当を決める際は、アンケートを使って、希望のクラスや家庭事情などを記載し、それを踏まえ、園長・主査が保護者の希望なども考慮し、案をつくり、職員会議で報告し、職員からの意見も考慮し、最後は園長決裁としている。</p> <p>保育を楽しむことで保育の活性化を図りながら、保育スキルの向上につなげている</p> <p>区人事課・保育課主催の各研修、外部研修、OJT、自己啓発などを通して、職員個々の資質向上を図っている。研修受講後は、報告書を作成し、園長に提出している。新規採用職員には、育成担当を配置し、入職後2年目職員には主査が担当となって必要な知識・スキルの取得を支援している。若手職員が増えてきたため、保育の質向上を図るためには、保育を楽しむことを掲げ、「子どもも大人もワクワクできるような保育」とは何かを職員会議などで話し合い、保育の活性化を図りながら、保育スキルの向上につなげている。</p> <p>互いに異なる意見を尊重する組織づくりをおこない、やる気向上につなげている</p> <p>定期健康診断の受診の推進、有給休暇・夏季休暇・リフレッシュ休暇の取得奨励、妊婦への勤務軽減なども含めて、区福利厚生制度の活用を推進するとともに、昼休憩を確実に取れるよう職員間で協力している。職員アンケートには、「職員の年齢層や経験年数のバランスが良い」「職員皆で一人ひとりの良いところを書き出した。一人ひとりの良いところを見つけるきっかけにもなり、やる気につながった」「職員が互いを尊重し、異なる意見に対しても考える土壌がある」などのコメントが寄せられた。</p>		

7 カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
「全体的な計画の見直しを進め、保育に活かしていく」ことを重点課題とし、次の取り組みを実施した。①職員の経験年数のバランスに配慮し、3～4名のグループで養護と教育(5領域)を分担し、話し合った。グループの話し合いは、「やらされている」のではなく自分のこととして捉えるよう各グループに任せ、自主性を重んじた。中間報告をおこない、各グループがプレゼンする型で報告した。報告後、質問を集めグループ毎に再度話し合った。年度末までに質問に対する回答の報告と文書の文言を統一し、まとめる予定であったが、最終的なまとめまで進まなかった。グループ毎の自主的な話し合いを通して、職員間のコミュニケーションを活性化させることができた。今年度も、引き続きの課題とし、次年度に新しいメンバーと最終的な確認後、完成させることができた。現在、保育を進めていく基本的な計画として活用している。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
各グループ3、4回程度の打ち合わせを経て、話し合ったことをまとめ、12月に各グループで話し合ったことを全体へ伝え、意見交換することができた。職員アンケートでも、「園の全体的な計画の見直しをおこなったことで、職員一人ひとりへの理解が深まった。細かい領域に関しても議論しながら作成でき、考え方も統一することができた」「前年度に見直しした全体の計画を、今年度に最終確認し完成させることができた。前年度話し合ったことで、園全体が同じ方向を向いて保育をしているという雰囲気があり、何か課題があっても、共通の思いのなかで確認がしやすいと感じている」などのコメントが寄せられた。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「保育の質の向上を図る」を重要課題とし、次の取り組みを計画した。①園全体の様子を全職員が感じられるよう、乳児・幼児の打ち合わせの持ち方を工夫する、②自分のクラスだけでなく、他クラスにも目を向け、横のつながりを強化する、③日々の保育の振り返りや悩み、疑問等を互いに伝え合える環境(話しやすい雰囲気、場、時間)を作る、④園内研修の一環として、事例討議をし保育を振り返ることを通して、それぞれの思いや意見を肯定的に受け止め、保育に対する視点(視野)を広げていく、⑤新規職員や2年目職員には、育成担当者が付き、社会人として・保育士として必要なスキルを身に付けられるようねらいを持って育成する、⑥職員一人ひとりが、お互いを認め良い点を伸ばし、足りない点を補い、苦手なことを協力しながら努力する、職員集団を目指す。保育の向上を目指し、これらのさまざまな取り組みをおこなってきたことで、意識を持って取り組む職員が増えてきた。今後も、思考を止めず、さらなる工夫を考えていくことを継続していくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保育の振り返りの時間を持たせたクラスもあり、互いに疑問点、保育の方法について言い合える雰囲気づくりを醸成し、保育の質向上につながる取り組みをおこなうことができた。職員アンケートでは、「自分たちの保育のなかで何を大切にしているか、子どもたちに何を体験させてあげたいかを改めて考え見つけ直したことで、新たな視点で保育ができた。子どもたちには新たな楽しさを体験させることができた」などのコメントが寄せられた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや発行している冊子などで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供している。住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、地図、保育園の特色、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見るできるようになっている。地域で子育てしている家庭向けに身体測定や園庭開放の案内を掲示をしたり、「遊びに来ませんか」の三つ折りちらしを配っていたが、現在は中止している。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関と連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課には延長保育利用児数などさまざまな報告をしている。園長は月2回開催の区立保育園長会に参加して行政からの情報提供や意見交換、課題検討などを行っている。他の職員も主査会、医療会、栄養士会、保育向上リーダー会など区立園同士の情報交換の場に参加している。併設の高齢者活動施設とは、例年5歳児が敬老の日の頃に出し物を見てもらい、総合避難訓練と一緒に実施して、消防署の指導・講評を受けている。地域の図書館に2か月に1回貸出絵本の選定に行っていたが、現在は職員のみで行っている。</p> <p>見学日は月2日設定して、園舎内を案内して説明し、質問にも応じている</p> <p>見学日は月2日設定して、見学希望者の日程が合わない場合には調整して受けている。10時30分頃から30分程度、1回5組までに行っている。対応は園長または主査がして、園概要を配付して施設の案内をしている。園の特色として、園庭で泥んこ遊びが盛んであり、手作り玩具や木製の玩具などで年齢に合わせて遊んでいる。自然豊かな公園などへの散歩に出掛け、足腰を鍛えているなどを伝えている。保護者参加行事、持ち物、父母会のことなどの質問にも応じている。10月末までに40組以上の見学者を受け入れている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園説明会を実施して、重要事項や園生活のルールなどを説明している</p> <p>3月の土曜日に、入園説明会を0歳児と1歳児以上に分け二部形式で実施している。入園内定者には2月頃に園医による健康診断と園長や保育士などとの面接を実施している。入園説明会は、4月入園の場合には、3月中旬に実施して、「浜田山保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「入園のしおり」を基に、園概要、開所時間と保育時間、緊急時の対応、個人情報の取り扱い、苦情や要望の窓口、保育目標、登降園などの園からのお願い、写真やビデオと個人情報の取り扱い、健康管理などを説明して、説明を受けたとの書類を受け取っている。</p> <p>入園直後は保護者や子どもの状況に応じた慣れ保育を実施している</p> <p>入園当初は不安軽減のために1週間程度の慣れ保育を実施している。4月入園の場合、月初日には全員登園して親子で午前中過ごしてもらい、顔合わせや持ち物の説明などをして、給食は保護者に食べさせてもらっている。育休中でゆっくり進めたい希望の場合は、母子分離して預かる初日をずらしてもらい、ゆっくり個別対応ができるようにしている。就労中で集団保育経験児の場合や急ぐ事情がある場合には、早めに決めた保育時間になるようにして進めている。子どもが安心できるようにできるだけ同じ保育士が関わりをもつようにしている。</p> <p>退園や転園、卒園などには子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>区内の公立保育園への転園には園長を通して引き継ぎをおこなっている。退園や区外への引っ越しなどには、保護者に新しい育児環境に不安が無い話を聴いたりしている。途中退園する子どもにはクラスでお別れ会をして、本人の描画作品などがある場合には綴って渡している。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」を届けたり送付したりしている。これまでは園行事の夏祭りや運動会に一年生を招待していたが本年はコロナ禍のために招待できないので、「元気ですか」の葉書を出している。</p>		

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<p>子どもの心身や家庭状況は、児童票や保育日誌など所定の様式に記録して把握している</p> <p>入園時には、健康診断や児童健康調査表で健康状態を把握し、提出してもらった書類を基に、家族構成、入園までの生活状況等は保育士が、離乳食などの食事面は栄養士、健康面は看護師、家庭の事情は園長が面接して把握し、保育時間を決めている。入園後は0・1・2歳児は複写式連絡帳を使用して食事や排せつ、睡眠、体温、健康状態などを記入してもらい、3歳児からは登園時に口頭で聴き取り、毎日、健康チェック表に体温と体調を記入してもらっている。日中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌などに記載し保育経過を児童票に記録している。</p> <p>指導計画はクラスの担任同士で子どもの様子を振り返り、話し合っ作成している</p> <p>指導計画(月案・週案)は担任同士でクラスの状況や子どもたちの様子などを振り返り話し合っ、次の指導計画のわらいや活動内容を決めて作成している。乳児クラスでは毎月子どもの個別の計画を作成し、幼児クラスでは必要に応じて個別配慮を作成している。前期保護者会で年間指導計画を配付して説明をしているが、本年は保護者会が開催できなかったため、資料に年間指導計画を添付している。保育室前の廊下には各クラス今月の目標を書いたカレンダーを掲示し、週の主な活動も表示して見てもらっている。</p> <p>カリキュラム会議や昼ミーティングなどで子どもに関する情報を共有している</p> <p>指導計画(月案)は事前に配付し、目を通してカリキュラム会議を開催し、乳児と幼児に分けて2日間で発表・質疑応答をして、職員間で共有している。その他にも各種の会議を開催している。平日には昼ミーティングをして、各クラスから午前中の保育情報や怪我・アクシデントなどの報告、翌日の職員体制、行事、会議、アレルギー食確認、延長保育確認などを行っている。週1回は昼の職員会議を開催して、事務連絡や行事検討・反省、行事日程などを報告し合っている。月1回の夕方からの職員会議は年間指導計画や半期反省、園内研修の場になっている。</p>		

サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
サブカテゴリー5の講評	
<p>子どもの個人情報の保護を徹底している</p> <p>個人情報の取り扱いについて、入園説明会で説明している。「保育所児童保育要録」は5歳児の後期保護者会で説明し、保護者にも学校へ伝えてもらいたいことがあれば申し出てくださると伝えている。外部に個人情報を提供する必要がある場合には個別に了解を得てからすることになっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、夏季のシャワーはベランダで実施しているので、外部から見えないように目隠しを設置している。おむつ交換も見えない場所で、おもらしをして着替える際には、トイレに手作り衝立を用意して着替えている。</p> <p>子どもの人権に配慮し、保育者として子どもとの接し方のポイントも共有している</p> <p>皆と同じような行動をしないで自分のしたいことをする子どもには、強引に誘うのではなく、子どもの気持ちに沿いながら、誘うようにしている。集団活動に気持ちが乗らない、体調が今一つの時などには、他のクラスや事務室など園全体で、協力合って子どもを見ている。子どもの人権を守る対応について、園独自の「園運営マニュアル」に子どもに大きな声で怖がらせない、子どもの名前を呼び捨てにしない、否定的な言葉遣いはしないなど、保育者として子どもへの接し方の大事なポイントを示し共有している。</p> <p>虐待防止マニュアルを読み返して、子どもの虐待の予防や早期発見に努めている</p> <p>子ども家庭支援センター主催の虐待防止関係の研修に参加している。子ども家庭支援センターと連携している要配慮児が在園している場合は、職員会議で報告して共有している。職員の虐待防止に対する意識も高く、「児童虐待防止マニュアル」を読み返し、日常保育の着替えの際には身体の不審な傷に気を配り、理由を子どもに聴いたり保護者に確認したり、子どもの発言にも注意を払っている。少しでも不審に思う点があれば園長に報告している。</p>	

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立保育園共通や園独自のマニュアル類を整備し、見ることができるようにしている</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」や「保育実践の手引き」、「危機管理」「アレルギー」「給食衛生」などさまざまなマニュアルを整備している。園独自に「園運営マニュアル」を作成し、内容は園庭遊び、室内遊びの確認事項、散歩時の確認事項、当番の確認、保護者対応マニュアル、苦情対応、朝夕保育マニュアルなどである。「新任職員向けの保育マニュアル」も用意している。区立園共通マニュアルは事務室の棚に置き、園独自のマニュアル類は各クラスに1部ずつ置き、いつでも確認することができるようにしている。</p> <p>「園運営マニュアル」は基本的に年度末、必要に応じて随時に、見直している</p> <p>「園運営マニュアル」は年度末に見直している。提供している業務と違っていることに気が付いた時には随時、読み合わせをして違っている箇所を修正している。例えば、朝夕保育の子どもの人数や成長による遊びの変化、延長保育児の人数や年齢などにより、保育する場所を見直したり、パート職員の配置を見直したりすることがあり、その都度改定している。</p> <p>子どもや保護者の様子から判断して改善点に気づき、検討して見直している</p> <p>延長保育は2歳児室でおこなっていたが、定期利用児が幼児ばかりになったことから、幼児にふさわしい玩具がそろっている3歳児室に変更した。子どもたちの遊びの状況から判断して、園庭の可動遊具の置き場所を変更して、遊びやすいようにした。1歳児保育室の遊びのスペースを広げるために、保護者に使ってもらっている子どもの持ち物入れの棚を廊下に出したことで、保護者も保育室内の受け入れコーナーに入らず、密にならずに支度ができるようになり使いやすくなった。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で遊びを選び、落ち着いてじっくり遊べるような環境にしている</p> <p>保育室や園庭は子どもが自分で好きな遊びを選び遊べる環境にしている。室内はままごとや積み木・汽車と線路などの構成遊び、パズルや絵描きなどの机上遊び、絵本など遊びのコーナーに分けて子どもが落ち着いて遊べるようにしている。幼児クラスでは、木製の積み木は一年中出しているが、ゲームやパズルなどの玩具類は子どもの興味関心に合わせて入れ替えている。遊びの続きができるようにして1週間は置いておくようにし、金曜日には元に戻している。保育室内は広くはないので、廊下やテラスにゴザを引いて遊ぶなど場所を工夫している。</p> <p>全保育室が園庭に面しており、園庭やベランダ、窓越しで自然な異年齢交流をしている</p> <p>全クラスが園庭に出て遊び、自然な異年齢交流があった園である。コロナ禍の現在は、園庭での密状態を避けるために乳児クラスは10時30分まで使った後、室内遊びや散歩に移行している。幼児クラスは乳児が使わなくなってから園庭に出て遊んでいる。それでも、兄弟のいる子は小さい子どもと出会おうと、声を掛け手をつないだり靴を脱がせたりして面倒を見てくれる。当園は全保育室が庭に面した1階施設であり、窓やテラスから幼児が遊んでいる様子が見ることができて交流も盛んで、乳児が幼児の遊びの刺激を受け、真似て遊ぶ姿がよく見られる。</p> <p>発達過程で生じるトラブルには子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>1・2・3歳児の前期保護者会で、ひっかきや噛みつきなど園で起きた子ども同士のトラブルは園の責任であり、園の中で解決して、事実を双方の保護者に伝える旨を説明している。子どもへの対応は「～したかったんだね」と子どもの気持ちを尊重し、「噛むと痛いからやめようね」などと知らせている。トラブルを繰り返す場合には、保護者と面談したり、保育室のレイアウトや保育士の付き方を変えるなどして防いでいる。幼児のトラブルではお互いの気持ちを伝え合い、どうすればよかったのか考えさせて解決に導き、必要に応じて大人が介入している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>朝の受け入れ時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている</p> <p>朝は挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をし、保護者に家庭での様子を聴き、0～2歳児は連絡帳を手渡しで受け取っている。3～5歳児は口頭で子どもの様子を聴き取り、検温結果と体調を記入してもらった健康チェック表を受け取っている。保護者から聴き取った情報は朝夕ノートに記載して引き継ぎ、共有している。顔や手足など、すぐに見える箇所には傷がある場合は聴き取りをして、着替えの際に体の傷に気づいた時には保護者の迎えの際に確認している。</p> <p>食事や排せつなどは子どもの状態に応じて、身に付くように援助している</p> <p>食べ物の好き嫌いがある子どもも、園で収穫した野菜を食べることで、苦手の克服に役立っている。食事時の姿勢やスプーンの持ち方などは栄養士が巡回して指導している。箸への移行は、5歳児で箸の持ち方チェックをして指導を始めている。箸でつまむ練習を繰り返し、細かな物もつまめるようになった子どもから箸を使い始めるが、初めのうちはスプーンなども併用している。トイレトレーニングは昼寝明けにおむつが濡れていないときにはトイレに誘い、排尿ができ、排尿の間隔が長くなった子どもから、保護者と相談してパンツにしている。</p> <p>迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしている</p> <p>乳児クラスでは子どもの様子、食事や排泄、昼寝、遊びなどを連絡帳で伝えている。幼児クラスは活動の様子を貼りだし日誌を掲示して読んでもらっている。全園児、園からの連絡事項や保護者からの問い合わせへの回答は「ひつじメモ」も使用している。迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えているが、迎えが重なったり、保育を優先する場合には、十分できないこともある。園で怪我をして受診する際には保護者の了解を得ているが、詳細に状況を説明できる保育士や受診に付き添った看護師、園長が保護者の迎えを待って伝えたり謝罪したりしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの遊びが盛り上がっている時には、遊びの継続を優先し柔軟に対応している</p> <p>子どもの発想や意欲を大切に「やってみたい」「知りたい」気持ちを実現できるよう、柔軟な対応をしている。子どもの遊びが盛り上がっている時には可能な限り、活動を変えて、遊びを続けている。幼児クラスの朝の集まりは10時30分頃にして、日にちや天気、今日の活動などを伝え、午後のおやつ時の帰りの会で明日の予定を伝えているので、子どもたちは「今日は散歩に行くから、この遊びにしよう」と、遊びを選んでいく。積み木遊びなど継続して遊びたい物は名札を置き、とっておけるようにしている。</p> <p>集団活動は子ども自身がやる気持ちになって参加するように援助している</p> <p>子どもの年齢や発達に合わせた集団活動をしている。全クラスで取り入れているリズム遊びや運動会で披露する体操や遊戯など、気持ちが乗らない、体調がすっきりしない、休みがちのため自信がないなど、いろいろな理由で参加したくない子どももいる。無理に誘わず気持ちに寄り添い、「友だちがやっているのを見てみよう」などと子ども自身が参加する気持ちになるのを待ち、やる気になった時にはいつでも受け入れている。自信がない子どもには、遊びの中でさりげなく誘って一緒にやりながら自信をつけさせたりしている。</p> <p>園庭や散歩先の公園で、虫探しや草花摘みなど自然に触れて遊んでいる</p> <p>日当たりの良い園庭では、砂場遊び、泥んこ遊びなどで遊んでいる。地域にある自然豊かな区立公園などに虫取り網と籠をもって散歩に出掛け、虫取りや草花摘み、原っぱで走り回るなどで遊んでいる。捕まえてきたバッタや蝶々、カマキリなどを飼育して、昆虫の食べ物は何かなどを図鑑で調べている。カマキリは生きている虫を食べるからと捕まえた虫を虫籠に入れて、カマキリが食べる様子をみんなで観察している。飼育しているカマキリのために蝶を捕まえようと熱心になっている姿もある。その他にもメダカや金魚などを飼育している。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>やりたいねの意見から「お化け屋敷ごっこ」に取り組み、やり遂げた喜びを味わっている</p> <p>5歳児クラスで、子どもたちの中から「お化け屋敷やりたいね」という意見が出て、どんなお化けにしようかと絵本をみながら相談し、アイデアを出し合ってお化けを作り、お化け屋敷ごっこをしている。怖い雰囲気になるように部屋を暗くし、通路に手が出るお化け、つるした蜘蛛や怖い顔、保冷剤お化けがゆらゆらしたり、懐中電灯を顔に当てたりしている。お化け役と案内係を交代してクラスで楽しんだ後、他のクラスにもお客になってもらい、「怖かった、楽しかった」と言ってもらったことで、満足感ややり遂げた喜びを味わっている。</p> <p>夏祭りには、一人ひとりが意見を出し合い、協力して完成させたお花畑神輿を担いでいる</p> <p>夏祭りにお神輿作りをすることにして、どんなお神輿にするのか、5歳児一人ひとりが自分の意見を出し合った結果、「お花畑お神輿はどうか」という折り合いをつける意見が出てみんなで納得し、思い思いの花や紙粘土の虫作りをして取り付け、華やかな神輿を完成させている。何度も作り直した虫もあり、出来上がりに大満足し、祭りには皆でお神輿担ぎをして協力しながら完成させた喜びを味わっている。4歳児クラスは皆で、くじ引きの景品作り(折り紙の指人形やパッチンカエルなど)を担ってくれている。</p> <p>年間行事予定を発行し、変更などの通知も早めに出して、保護者に協力してもらっている</p> <p>年間行事予定を年度初めに配付している。保護者参加行事の日程の決定や変更、中止などは事務所だよりで早めに知らせている。前期保護者会、夏祭りの保護者参加は中止、3・4・5歳児の運動会はクラス毎の実施に変更して、当日雨天のために小学校の体育館を借りておこなった。保護者参加行事前には運動会だよりなどを発行して、日程と会場、基本的なルール、プログラム、見どころなどを伝えている。クラスだよりや貼りだし日誌で行事に向かって取り組んでいる子どもたちの様子を伝えて楽しみにしてもらい、協力してもらっている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

朝は子どもの人数により合同保育からクラス保育にし、夕保育はクラス保育にしている
朝保育は7時30分から8時までは、0歳児と他の子ども達に分かれて過ごしているが、子どもの人数が増えてくると、1・2歳児 3歳児、4・5歳児に分かれて過ごし、その後クラス保育にしている。夕保育はクラス保育にしている。18時30分から延長保育に入り、現在のところ、定期利用児は4名程でスポット延長保育も加えて10人程度の利用である。

動的遊びの後で室内遊びにするなど、気分転換をして落ち着いて好きな遊びをしている
午後のおやつ後、乳児クラスは遊戯室で体を動かして遊んだり、特別室でいつもとは違う玩具で遊んだりしている。幼児クラスは園庭に出て遊んだ後、室内遊びにしている。夕保育の当番はクラス担任が入っていることが多い。5歳児クラスは一人担任のため、0・1歳児の担任が入ることが多い。夕保育は、よく慣れた自分たちの部屋であり、落ち着いて好きな遊びをしているが、時にいつもと違う遊びを提案したり、いつもとは違う玩具を出して目先を変えて遊んだりしている。

当番保育士が遊びを提案するなど、少人数でも楽しく過ごせるように工夫している
延長保育には、日中使っている物とは違う玩具、少人数でも遊べるパズル、ゲーム、トランプ、絵本などの家庭的な物を用意している。現在は利用児のほとんどが幼児であることから、日々変わる当番保育士は、遊戯室で体を動かして遊んだり、作って遊んだりするなど、保育士が自分の得意なことを活かして、少人数でも楽しく過ごせるようにしている。2歳児がスポット延長で入る時には、幼児につられて遊んでいるので、危険がないよう配慮している。年上の子どもたちが年下の子をいたわる姿が見られて異年齢交流の機会になっている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

体格に合わせたテーブルや椅子に座り、友だちと一緒に落ち着いて食事をしている。
子どもの体格に合わせたテーブルと椅子に安定して座り、落ち着いて友だちと一緒に食事をしている。必要に応じて手作りの足台や背当て、脇当てなどを使用している。七夕や12月のお楽しみ会、ひな祭りには会食としてプレート皿で盛り付けを工夫して提供している。これまでは幼児が揃って会食していたが、コロナ禍のため現在はクラス会食にしている。誕生日を迎えた子どもには、お祝いとして、誕生日プレート(皆と同じ献立であるが、野菜の型抜きが入るなどしてかわいらしくプレート皿に盛り付けを工夫した物)を提供している。

食物アレルギー児には除去食や代替え食を提供し、誤食防止に努めている
食物アレルギー児は除去申請書で申請してもらい、除去食または代替え食で対応している。献立表ができた段階で該当児の保護者に除去品目のチェックをお願いして提出してもらい、栄養士が代替え食を記入し、アレルギー会議で確認して、保護者に献立表を返却している。アレルギー食を提供する際には、除去食品を明示したプレートを使用して、受け取りは正規職員がおこない、調理職と除去食品を確認し合っている。保育室でも、間違いがないように声出し確認して該当児に提供している。

園庭で野菜の栽培をして生育を観察し、収穫して調理してもらい食べている
園庭の花壇を畑にして、とうもろこしやかぼちゃなどを、プランターにはピーマンやパプリカ、トマトなどを栽培している。子ども達も土作りから開わり、植え付け、水やりをしながら野菜の生育を観察し、収穫した物を厨房で調理してもらい給食で味見をしている。初収穫の時には塩ゆで、何度も収穫すると味付けを子どもたちがリクエストしている。とうもろこしは5本収穫している。これまではクッキー作り、豆類のさやむき体験、ご飯炊きなど調理体験をしていたが、現在は中止し、そら豆のさやむきを子どもの目の前でやって見せ、むいたさやに触れている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の健康や安全に関心をもち、身を守れるように指導している</p> <p>年間保健計画を作成して、子どもが自分の身体や健康に関心をもてるように健康教育をしている。視力測定の前には幼児を対象に、目の働きについて話し、夏のシャワーの前にはプライベートゾーンを大切にすることを話している。今後、手洗いやうがい、咳エチケットなども予定している。指導は紙芝居など視覚的な教材を使い、年齢に応じた言葉で指導している。保育士は、保育活動の中で、危険な遊びをしないことや鉄棒で遊ぶ時はバスマットを下に置き大人がいる時にすることなどを伝え、散歩時には道路の歩き方などの交通ルールを知らせている。</p> <p>医療機関や療育機関などと連携して対応している</p> <p>子どもの健康状態を把握するために、嘱託の園医による定期健診を年2回、0歳児は月1回の0歳児健診を受け、障害認定児も月1回健診を受けている。3歳児からは年1回耳鼻科健診、眼科健診を受け、全園児が年1回歯科健診を受けている。区の療育機関とは、通所している園児の保護者の要請で、年2回専門職員が来園しているため、子どもへの対応についてアドバイスを受けている。摂食指導の際には同行させてもらっている。民間の療育機関からも保護者の要請があれば来園して園での子どもの様子を見て情報共有をしている。</p> <p>保健だよりを発行したり、感染症発生情報を掲示したりして情報提供している</p> <p>毎月保健だよりを発行して、保健行事の予定や生活リズムの大切さ、登園前の体調のチェック、園での擦り傷などの対応、虫刺され、熱中症予防などの季節に応じた子どもの健康管理についての情報を提供している。園で感染症が発生した時には、玄関横の医務室前に設置した保健掲示コーナーで注意を喚起している。園での昼寝の際には乳幼児突然死症候群の予防として、午睡チェックを実施している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや就労などの事情は申し出てもらい、可能な限り配慮して支援している</p> <p>年度初めには家庭連絡票を提出してもらっている。職場や勤務時間などが変更になった時には、変更届を提出してもらい、保育時間の見直しが必要である場合は変更している。急な残業などで迎えの時間が遅くなる時には連絡を受け、18時30分以降になる場合はスポット保育に入ってもらっている。土曜日が仕事になった場合も受けている。子育て事情などは話を聴いて園で可能な限り配慮している。保護者や家族の体調不良など、必要な場合は門で受け渡しをしたり、不慣れな人の迎えの連絡があれば、手助けしている。</p> <p>個人面談を実施し、保育参観・参加もコロナ終息後には再開する予定である</p> <p>個人面談は期間を決めて実施している。期間内に都合がつかない場合には、申し出てもらい別日に実施している。保育参観・参加はいつでも受けることにして、個人面談の時には午前中保育参観をしませんかと声掛けしていたが、コロナ禍になり現在は受けていないが、終息後には再開の予定である。保護者が保育の状況を目にする機会が減っていることから、幼児クラスの貼りだし日誌と活動の様子を写真で掲示するなど、できるだけわかりやすいように工夫している。</p> <p>夏祭りには迎えの時間に親子で祭りの雰囲気を楽しんでもらえるくじ引きを実施している</p> <p>例年、保護者に参加してもらっていた行事は夏祭りと運動会で、夏祭りには保護者に1店舗を出してもらっていた。前年からコロナ禍のために夏祭りの保護者参加を中止にしている。今年の夏祭りには迎え時間に親子でくじ引きに参加してもらい、雰囲気を楽しんでもらった。景品は4歳児が作成した折り紙のヒックリカエルやパクパクさんなどの遊べる物にしている。父母会活動がおこなわれており、バザーの開催には園舎を貸し出して協力しているが、中止している。例年、バザーの売り上げで子どもたちに人形劇などを見せてもらっていた。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の農家の方の畑を見せてもらったり、近隣の方と挨拶をしたりして交流している</p> <p>散歩に出掛けて、地域の方に挨拶をしたり、区立公園などを利用したりしている。地域の農家の方の畑でさつまいも掘り体験をし、野菜の植え付けを見せてもらっている。また、他の近隣の方の空き地では了解を得て草花摘みをして遊んでいる。七夕には散歩で利用している区立公園から笹竹をもらって七夕飾りを飾っている。これまでは、併設の高齢者活動施設との交流、清掃事務所のゴミ分別・リサイクルの話しを受けていたが、いずれも中止にしている。</p> <p>これまでは、ボランティアを受け入れ、園行事への地域の方の参加の呼び掛けをしていた</p> <p>コロナ禍前は、絵本の読み聞かせボランティア1名に定期的に来てもらっていた。夏祭りや運動会は地域の方にも参加を呼びかけて、園の門やフェンスにポスターを掲示し、児童館や小学校などにもポスターを届けていたが、現在はボランティアの受け入れや行事への参加の呼びかけはしていない。保育実習生や中学生の職場体験などを受け入れている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	施設環境を活かして園庭などで自然な異年齢交流し、お互いに育ち合っている	
内容①	2階建て施設の1階部分が保育園で、全保育室が園庭に面しているため、すぐに出て遊べる環境にある。コロナ禍前は全クラスが園庭に出て一緒に遊んでいたが、現在は密を避けるために、利用時間を乳児、幼児に分けている。ベランダは続いており、窓からお互いが見える利点もある。0歳児に窓越しに微笑みかけ、園庭で出会うと手を繋いだり頭をなでたり、靴を履かせるなどして面倒を見ようとする幼児の姿がある。幼児の遊びを真似て、砂場遊びやタイヤ遊び、鉄棒ブランコなどにも挑戦する乳児の姿があり、自然な異年齢交流をしながら育ち合っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者に保育をわかりやすく伝えるために、写真などを利用し工夫している	
内容②	コロナウイルス感染拡大防止の観点から前期保護者会は中止にして資料配布をしているので、保護者に子どもの様子を伝えるための個人面談を時期を早めて実施している。クラスだよりを発行して子どもたちの具体的な様子を伝え、よりわかるように写真も多めに使用している。クラスの保育室の見取り図を掲載し、吹き出し付きでおもちゃや子どもが遊んでいる様子なども紹介して、保護者にイメージしてもらいやすいように工夫している。幼児クラスの毎日の活動の様子を書いている貼りだし日誌にも、時には写真をつけるなどわかりやすいようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	新しい生活様式について園でできることを話し合い、遊びの充実につなげている	
内容③	新型コロナ禍の中、感染症予防・対策を十全におこない、子どもたちの健康を守りながら、安全で楽しく保育園で過ごせるよう工夫している。プール遊びはできなかったが、楽しめる夏の遊びを充実させた。職員皆で行事のやり方についてアイデアを出し合い、形を変えながら、子どもたちにとって何が良いのか、子どもたちに何を体験させたのかを繰り返し話し合い、遊びの充実を図っている。利用者調査でも、戸外遊びや行事に関して回答者の91%が満足で「コロナ禍のなかでも工夫をしながら開催してくれていて感謝している」との満足の声が寄せられた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの声に耳を傾け、子どもが思いっきりのびのびと遊べるよう、支える保育をしている
	内容	当園は砂場の横に水道の蛇口がある園で、普段の砂場遊びでも子どもたちは裸足になり砂を掘り、山を作り、川を作って水を流し、池になるとじゃぶじゃぶ入って遊んでいる。夏はコロナ禍のために区立保育園全体でプール遊びの中止が決まったので、子どもたちが思いっきり楽しめる夏の水遊びを提供しようと、アイデアを出して提供している。ペットボトルをつなげて穴をあけ、水を通して噴水にしたり、氷に触って遊ぶ氷遊び、紙パックの細切り色付けを魚にして魚釣り、雨どいで高低差のある水路を作って水を汲んで流すなどして楽しくのびのびと遊んでいる。
2	タイトル	旬の食材を使用し季節感のある料理にし、出来立ての温かい給食を提供している
	内容	給食は区立保育園共通の献立を使用して園で調理し、出来立ての温かい物を提供している。旬の食材を使用した料理で、和食の場合は昆布とかつお節、煮干で出汁をとり、塩分控えめで素材の味を活かした味付けにしている。午後のおやつも手作りしている。4月は筍ご飯、七夕には七夕そうめんなど季節感がある料理、プレート皿に盛り付けたお楽しみ会食、幼児の誕生日のお祝いには誕生日プレートなど、楽しみの持てる給食にしている。利用者調査の結果、園の給食は子どもの状態に配慮し工夫されているかの問いに、回答者全員が満足と返答している。
3	タイトル	指導計画をもとに子どもの様子やクラスの状態を共有し、テーマを決めて保育の課題を話し合っている
	内容	各クラスの毎月の指導計画は、事前に職員に配付し、カリキュラム検討会を月2回開催して話し合っている。これまでは、保育の振り返りや今月の保育活動について質疑応答をしていたが、指導計画の内容だけでなく、保育の課題を話す場にしたとの思いで、見直しをしている。職員のカリキュラム係が中心となり、月毎に水遊び、散歩、室内遊び、運動遊びなどの共通のテーマでクラスの取り組みを報告することにしたところ、課題が明確になり、職員間の共通理解や協働性が高まり、チーム力の向上につながっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の目標などを達成するために、全体的な計画に必要な項目を洗い出し、より総合的な計画への見直しを期待する。
	内容	全体的な計画は、園目標と配慮、保育目標、0～5歳児各年齢毎の保育目標、養護と教育の5領域、食育の項目で子どもの発達過程を詳細に記載して作成している。前年度職員間で話し合い、共通認識を図り作成したところであるが、園目標やその配慮等に掲げている内容を達成するために、園を取り巻く地域環境や保護者支援、地域交流など必要と思われる項目を洗い出し、より総合的な計画への見直しを期待する。
2	タイトル	子どもたちの経験の幅を広げるために、これまで以上に地域のさまざまな方々との交流の機会を増やす取り組みを期待する
	内容	これまで、年1・2回程の併設高齢者活動施設との交流や連携小学校との交流、地域の図書館の月2回の利用をしていたが、現在はしていない。絵本の読み聞かせボランティアとの交流も中止している。コロナ終息後には、これまで以上に、子どもたちの経験の幅を広げるために地域のさまざまな方々との交流の機会を増やす取り組みを期待する。
3	タイトル	ヒヤリハット用紙を活用し、リスクマネジメントへのより一層の取り組みを期待したい
	内容	軽微なリスクは園日誌に記載し、昼ミーティングで共有している。事故発生時は、その内容・状況などについて記録・分析し、その対応策を考え、職員全体に周知し、再発防止につなげている。軽微なリスクをヒヤリハット用紙に記載することを習慣化することで、職員個々のリスク感性を高め、子どもの動きからリスクの見立てを想定する力をつけていくことができると考える。今後は、ヒヤリハット用紙を活用し、リスクマネジメントへのより一層の取り組みを期待したい。

7. 今川保育園



調査対象

調査時点の子ども95名・80世帯を対象とした。

調査方法

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数	95
利用者家族総数(世帯)	80
共通評価項目による調査対象者数	80
共通評価項目による調査の有効回答者数	70
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	87.5

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父5名(7%)、母54名(78%)、父母一緒に8名(11%)、無記入3名(4%)。年齢:「20歳代」5名(7%)、「30歳代」45名(65%)、「40歳代」17名(24%)、無記入3名(4%)であった。
 ・総合的な感想は「大変満足」44名(63%)、「満足」25名(36%)、「不満」1名(1%)であった。回答者の99%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・自由コメントでは、「子どもの様子や細かい変化にもすぐに気づき、とてもよく見てくれている」「親子ともに毎日楽しく通えている。子どもが毎日のように保育園であったことを話してくれるので、親としては安心できる」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	70	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「靴を揃えることや友だちとの関わり方など、保育園で多くのことを学んできている」「周りのお友だちや先生との関わりで多くの刺激を受けている」「カプラ(積み木)を用いて大きなタワーをつくるなど、子どもはとても楽しんでいる」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	69	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の99%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「子どもの状況に合わせて、家庭だけでは難しいさまざまな活動をしてくれている」「野菜を育てたり、卵からかえる虫を観察したりと色々な経験をさせてくれており、本人もとても楽しそう」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	66	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「お誕生日プレートや行事食などの話を子どもがよくしてくれ、今日はこんなご飯(おやつ)だったよ、と子どもが話してくれる」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	62	8	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、戸外遊びや行事などに関して高い満足を得ている。「コロナ禍で行事なども制限される中、子どもが楽しめるよう、できる限りの配慮をしてくれている」「季節に応じた花や実、虫、落ち葉などに触れたり、散歩では交通ルールを学ぶなど社会的経験もしている」「園庭もあり、虫探しをしたり、子どもたちが花の水やりなどもしている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	2	0	12
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「仕事が遅くなったときは精神的にとっても焦るが、職員がいつも落ち着いて優しく対応してくれるので助かっている」「仕事が残業になったり、妊娠中で体調が悪くなった時、子どもを長く見てくれたのでとても助かった」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	61	7	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「すでにある対策だけではなく、その対策を適宜見直しをしている」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	19	3	11
「はい」と返答した方々は回答者の53%、「どちらともいえない」27%、「いいえ」4%、「非該当」16%であった。「運動会が土曜日に実施されるので助かる」「保護者会を夕方の時間帯に実施してくれているので助かっている」「親が参加する行事は少ないが、日程に関しては問題ないと思う」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	64	5	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、家庭と保育所との信頼関係に関して非常に高い満足を得ている。「連絡帳にふと書いた子育ての悩みについて、迎えに行った際に先生がアドバイスをしてくれた。とても励みになった」「イヤイヤ期で困っていたときには相談に乗ってくれた」「ちょっとした相談でも、こうしてみるとどうだろう、などと具体的なアドバイスをしてくれるのでいつもありがたい」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	62	8	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「園自体は古いが、先生が清潔にしてくれている」「急に風が強まり出入口に砂が多くなったとき、それに気づいて掃除をしている職員の姿を見たことがある」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	69	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の99%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	68	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「細かい擦り傷やけがも報告してくれている」「痛みがあるときには冷やすなどの処置をしてくれているので安心している」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	54	7	0	9
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「子ども同士で話し合い、納得のいく状況をつくってくれている」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	67	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「なぜそのような行動をしたのかと、子どもに話を聞いてくれている」「本人の気持ちを大切にしながら保育をしてくれている」「連絡帳を読むと、子どものこんなところまで見てくれているんだと嬉しくなることが多い」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	59	4	0	7
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	61	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「日々の小さな変化も報告してくれる」「親が気づいていなかった面も教えてくれるのはありがたい」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	49	4	2	15
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、利用者の不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「担任だけでなく主査の先生や園長など、職員皆で対応してくれていると感じる」「個人面談の日程などについて、こちらの要望に沿う形で対応してくれるのでありがたい」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	19	12	9	30
「はい」と返答した方々は回答者の27%、「どちらともいえない」17%、「いいえ」13%、「非該当」43%であった。「丁寧に説明してくれた」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	○非該当	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
	○非該当	
	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
	○非該当	
	○非該当	
	○非該当	
カテゴリー1の講評		
<p>年度初めの職員会議で、目指すべき基本方針への理解を深めている</p> <p>年度初めに職員会議で年間指導計画についての話し合いの時間を設けている。そのときは、園長・主査が園の目指すべき基本方針について職員に伝え、園の目標に沿った実践的な保育のなかみについての話し合いをしている。この話し合いのプロセスを通して、職員皆で共通理解を持ち、職員一丸となって園目標の具現化に取り組めるようにしている。会計年度任用職員とも定期的な話し合いの機会を設け、保育で大切にしたいことを伝え、同じ方向を向いて保育を進められるようにしている。</p> <p>園長、主査、保育向上リーダー2名が保育の質向上に積極的に取り組んでいる</p> <p>4月の職員会議で、園長、主査、各職種それぞれが立てた年間計画について職員に配布し、園の幹部層の役割・責任を伝えている。また、重要ポイントについて伝え、質疑応答の時間も設けている。当園は、園長、主査、保育向上リーダー2名が当園の4本柱となり、保育の質向上に積極的に取り組んでいる。園長・主査は日頃より子どもの姿を把握し、保護者や職員個々の意向を聴き取り、現場の問題課題を把握・整理分析しながら、園運営の改善に取り組んでいる。</p> <p>園の重要課題について話し合う場と情報共有および討議内容を明確にしている</p> <p>定例会議(週1回)は14時から開始し、各クラスの代表のほか、各職種(調理、用務、看護師)、園長、主査、サポートセンター職員も参加し、園長会の報告、月の予定、研修報告、行事の反省、避難訓練の反省などについて共有している。また、毎日のミーティング(13時45分～14時)では、各クラスからの報告、子どものけがなどのリスク、保護者からの伝言・要望、アレルギー確認、連絡事項などについて共有している。月1回の職員会議(17時15分～19時15分)で年間指導計画、園内研修など保育の向上について協議している。</p>		

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者の意向を受け、張り出し日誌を読みやすくするなど改善につなげた</p> <p>保護者会や行事に関するアンケート、園だよりでの意見聴取、登降園時の担任保育士などとの会話を通して、園では保護者の要望・希望の把握に努めている。保護者ニーズに応えるため、連絡帳や連絡メモ、口頭で伝えられた要望や意見に対して個別面談をおこない、その後、職員皆で課題解決に向けて検討している。保護者の意見を受け、園のしおりの中に保護者との情報共有のツールについて明記したり、張り出し日誌を読みやすくするなど改善できることはすぐに解決に向け取り組んでいる。</p> <p>園内の子育てサポートセンター事業などから、地域の子育てに関わる情報を収集している</p> <p>子育てに関わるミニ講座、あそぼう会、育児相談など、区直営の子育てサポートセンター事業を園内で実施しているため、地域の未就学児を抱える保護者のニーズを収集している。また、杉並区では7つの地域に分かれて地域懇談会を実施し、地域の保育所が集まり、保育の質向上に向けた話し合いをしている。その中で挙がってきた各園の課題について、公立園でできることについて検討している。さらに、地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが集まっての地域子育てネットワークに参画し、地域ニーズについて情報交換・情報収集している。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、組織目標の達成に取り組んでいる</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-3		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>「杉並区立保育園保育実践方針」を踏まえ、その実践について検討している</p> <p>年間指導計画の作成時は、「保育所保育指針」を読み、保育にあたって遵守すべき事項を確認している。「杉並区立保育園保育実践方針」を職員皆で読み合わせをし、その理解を深めている。「杉並区立保育園保育実践方針」には【実体験に根差した保育】【一人ひとりの成長発達に必要な援助的確な提供】【保護者と協力した「共育」の推進】などが記載され、これを踏まえ、当園の保育の中でどのように実践に生かしていくのか検討している。区からの個人情報の保護や公務員倫理などに関する通知文書を職員へ周知し、その遵守徹底を図っている。</p> <p>ポスター掲示などにより、区保健福祉サービス苦情調整委員について周知している</p> <p>苦情・要望等の相談窓口について「重要なお知らせ」に記載し、入園説明会で保護者に説明している。また、「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示板に掲示している。杉並区保健福祉サービス苦情調整委員の運用状況報告書をまとめ、保護者からの意見で検討が必要なものは定例会の議題として取り上げ、必要時、保育課へ保護者の苦情・意見を報告・相談している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、園庭開放・見学受け入れをおこなっている</p> <p>新型コロナウイルスにより体験学習や職場体験などの受け入れを中止している。ただし、要望により、近隣高校のインターシップの学生2名を受け入れている。見学希望には、感染状況を考慮し、1回2組までと人数制限をしながら希望に対応している。近隣保育園へ園庭開放しており、10月に近隣の私立園・園児が遊びに来ている。ただし、コロナ感染対策により園児同士の交流はしていない。これまで、近隣園に対してプールの開放もしてきたが、前年度・今年度は中止としている。一昨年度は週2回、近隣園・園児がプール遊びに来ていた。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>「防災訓練計画」に沿って実施し、予告なしの訓練も年5回実施している</p> <p>「危機管理マニュアル」を活用し、事故、感染症、防犯・災害などの発生時に迅速に対応できるようにしている。ミーティングや定例会議の中で、事故等の要因を分析し対応を検討し、再発防止に努めている。また、「防災訓練計画」を作成し、朝夕延長保育時・午睡中・散歩中などのさまざまな時間帯における地震・火災発生を想定した訓練をおこなっている。毎月、避難袋・懐中電灯などを各クラスが確認している。予告なしの訓練も年5回実施している。看護師の指導のもと救急法を学んでいる。会計年度任用職員の動きを確認する訓練も年2回実施している。</p> <p>保育活動の工夫など、新型コロナウイルス感染症対策をさまざま講じている</p> <p>区保育課作成の「新型コロナウイルス感染症予防のための保育の指針3(令和3年4月版)」などの情報を随時、職員に周知し、感染症予防策について検討・実施している。日々役割分担し、園内でする感染予防対策の徹底に取り組んでいる。たとえば、毎朝の検温、マスクの常時着用、机・棚・おもちゃなど子どもの手の触れる場所への消毒、うがい・手洗いの徹底、こまめな室内換気、保育活動の工夫(食事のときにはパーティションの設置やテーブル1台あたりの人数を減らすなど)、職員の休憩室のテーブルの配置変更や職員の休憩場所の複数化などである。</p> <p>区保育課作成の「情報セキュリティ実施手順」に則り、情報を管理・運用している</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針、および、杉並区情報セキュリティマネジメントシステム規定に基づき、区保育課が「情報セキュリティ実施手順」を作成しており、この手順に則り、情報を管理・運用している。個人情報を含む書類は書庫に分類し管理している。また、児童票・デジカメ・SDカードなどを使用する際は、「情報資産持ち出し管理簿」を使って、持ち出し日(承認印)、返却日(確認者)を記録し、厳正に個人情報を取り扱っている。「重要なお知らせ」に個人情報の取り扱いについて明記し、入園時に保護者に説明している。</p>		
カテゴリー5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **3/3**

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

職員の希望も把握し、園内のクラス担当の配置を決めている
 正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々の「目標申告シート」を使って、仕事目標を把握し、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で人事異動基準を定めており、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施し、能力開発の機会としている。園内においては、職員個々のクラス担任の希望を把握し、希望を尊重しながら、園児・保護者の状況や職員の経験年数なども考慮し、クラス担任を決定している。

園内研修を実施し、職員の学びの機会としている
 区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで、職員の資質向上を図っている。研修受講後はレポートの提出に加え、定例会議などで報告し、職員間で共有している。園内研修を年4回実施予定としており、職員からどういったことを学びたいか希望を取り、テーマを決めている。7月は障害児指定園として外部講師を招き、インクルーシブ保育について学んでいる。今年度、9月の園内研修では、「積み木と育む子どもの心とからだ」をテーマに積み木遊びの理念と子どもの発達について学び、日々の保育に活かすことができる学びになった。

幅広い年齢層による職員集団で、保育について自由に意見交換できる組織風土がある
 杉並区人事課が計画している福利厚生に関する冊子やお知らせを職員に配布し、必要に応じて職員個々が利用している。互いの考えを認め合い、声を上げやすい、風通しの良い職場づくりに取り組んでいる。また、会計年度任用職員にも保育で大切にしたいことを伝え、同じチームとしてサポートしている。職員アンケートでは、「幅広い職員の年齢層により、保育の経験から学びが生まれ、新しい発想が得られたりする」などのコメントが寄せられていた。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 「職員の資質向上」を前年度の重要課題とし、年5回の園内研修を企画した。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行のため、4月および5月が休園になり、実施できたのは2回のみとなった。そのテーマは、乳幼児のホールでの遊びや、リズム遊びの実践であった。大切にしたいポイントを話しながら、職員が実際に体を動かしながら学び合った。その結果、保育士それぞれがその後の保育活動に取り入れ、子どもたちの活動の広がりが見られている。また、外部講師による「噛む力を育む食事の援助について」のテーマでは、子どもの咀嚼の発達や、食事の援助方法について講義を受けた。研修後は、指導計画検討で実践の結果の話が聞かれ、保育に活かしている職員の姿が見られた。今年度も職員に必要な学びの内容を検討し、継続して取り組む予定である。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 前年度、外部講師による「食べる力、噛む力をはぐむための保育者の援助の方法」をテーマとした園内研修では、全員マスク着用、体温測定、座る場所の間隔を開ける、換気扇や窓を開け、喚起をおこなう、入室時は手洗いや手指消毒をおこなうなど、新型コロナ感染予防対策に留意しながら実施した。職員からは「噛むことが顎を育てることだけではなく、呼吸や免疫にもつながっていることを知ることができた」などの感想が寄せられた。園内研修に加え、保育の振り返りの機会を持ち、保育を語る力、質の向上を目指した。職員アンケートでは「保育の振り返りを各自が記録に残し、月1回提出するようになった。これにより、各自が自分の保育や子どもの成長を振り返る機会が確実につくれるようになった」などのコメントが寄せられた。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「保護者との共育」を前年度の重要課題とし、新型コロナ禍により、実施できなかった保護者会の内容を書面で伝えたり、保護者アンケートを通して、書面でのやり取りや情報共有をおこなった。年度末の保護者会は開催することができた。保護者会で映像を使って子どもの姿を伝え、保護者には好評だった。運動会は、雨天により保護者が参加ができなかったため、写真やクラスだより、貼り出し日誌で子どもの姿を伝えた。保護者の声を掲載したクラスだよりは子どもの姿を共有できる媒体となり、楽しい書面となった。次年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、保護者参加の行事が制限されるが、保護者会で伝えたい情報を共有したいことを紙面に写真も使用して丁寧に伝えることを継続していく意向である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度、保護者との信頼関係を大切に、それぞれの立場に寄り添い、柔軟な対応をしていくことや、保護者にとっても丁寧に安心できる保育園を目指した。新型コロナ禍の状況下、送迎時は短めの対応を心がけ、子どもの様子は日誌や連絡帳で丁寧に伝え、共有できるように努めた。保護者からの声を職員間で情報共有し、さまざまな考えがあることを理解し、寄り添うことを意識した。そのうえで、園としてどのような形なら保護者の要望に対応できるのかを職員皆で話し合い、保護者との共育に取り組んでいる。今年度の利用者調査の結果では、総合的な感想は回答者の99%が、「大変満足」「満足」と返答しており、保護者の満足度は非常に高かった。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや発行している冊子、MAPなどで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供している。住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、保育園の特長、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ぼよ)ナビ」でも、見ることができるようになっている。その他、地域で子育て中の人向けの園庭開放の案内を門外のフェンスに出していたが、現在は園庭開放を中止しているため掲示はしていない。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関などと情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課には延長保育利用児数報告などさまざまな報告をしている。月2回開催の区立保育園長会では、行政からの情報提供を受け、課題検討、情報交換などを行っている。地域内保育施設の園長同士の情報交換や保育士交流の機会があり、保育の質向上に取り組んでいる。小学校区域の小学校、児童館、保健センター、民生委員などの公的施設が集まる地域ネットワークも年1・2回開催されて情報交換している。併設の児童館とは総合避難訓練や水防訓練で協力し合っている。警察、消防署には防犯、火災訓練の指導・講評を受けている。</p> <p>見学は日程調整をして受け、希望する年齢のクラスを中心に説明している</p> <p>問い合わせや見学希望は電話で受け、日程調整をしている。コロナ禍であり1回2組までとして実施しているが、10月は希望者多数のため3組にする予定で、可能な限り一人参加をお願いしている。時間は10時または10時30分頃にして園長・主査が対応し、今川保育園案内文書を配付して施設内を案内し、入園年齢を中心に説明している。保育の特長として地域の自然環境に恵まれ、障害児指定園であることなどを伝えて、慣れ保育や延長保育などの質問にも応じている。問い合わせは春からあったが、7月7組、8月4組、9月中止、10月に再開している。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園説明会を実施して、重要事項や園生活のルールなどを説明している</p> <p>入園内定者には、園医による健康診断と園長や保育士などとの入園面接を実施している。入園説明会は、4月入園の場合には、3月中に実施して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「今川保育園のしおり」を基に、園概要、開所時間と保育時間、緊急時の対応、個人情報の取り扱い、苦情や要望の窓口、保育目標、児童定員、障害児保育について、健康管理、お願い事項、保護者との情報共有、持ち物などを説明している。説明後には、同意書をもっている。</p> <p>入園当初には保護者や子どもの状況に応じて慣れ保育を実施している</p> <p>入園時の個別面接の際に、入園当初の慣れ保育について、1週間程度を予定していることを伝え、家庭の事情や保護者の就労状況、意向などを聴き取っている。保護者が就労中で集団保育経験児の場合は、早めに保育時間通りに預かるようにし、育児休業中で職場復帰時期が遅い場合には、ゆっくり時間をかけて慣れるようにしたり、月初めからの一斉登園ではなく、初日をずらしてもらい進めるなど、個々の状況に応じて、子どもも保護者も不安なく新しい環境に慣れるようにしている。迎えの保護者には子どもの様子を詳細に伝えて、情報共有している。</p> <p>卒園や退園の際には子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継いでいる。保護者には保護者会で、小学校へ子どもの育ちがわかる資料を送ることを伝え、小学校や学童保育からの問い合わせに応じている。区内の公立保育園へ転園する場合は、必要な情報を園長を通して引き継いでいる。退園の場合には、転園先から子どもに関する情報照会があれば所管課の了解を得て、伝えている。引っ越しなどで退園する場合には、新しい育児環境に心配はないかと聴いたり、保護者の相談に応じたりして、保護者の不安軽減に配慮している。</p>		

サブカテゴリー3	
3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
サブカテゴリー3の講評	
<p>子どもの心身や生活状況を児童票や児童健康調査表、保育日誌などに記載している、 入園時には健康診断を実施して健康状態を把握し、個別面接時には提出してもらった児童健康調査表、入園までの生活状況などで、家族構成や出生・成育歴、予防接種歴、発育状況、食事、排せつ、睡眠、好きな遊びなど、保育に必要な子どもの心身や生活状況を把握し記録している。入園後は、毎日、0～2歳児は連絡帳と口頭で、食事や睡眠、排せつ、体調や様子などを、3～5歳児は口頭で、必要に応じて連絡メモを使用して子どもの情報を把握し、参考にして保育をしている。保育中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌、児童票に記載している。</p> <p>子どもの様子をクラス担任同士で振り返り、指導計画を作成している</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」に基づいた、全体的な計画とそれを踏まえた年間指導計画を作成し、指導計画(月案・週案)はクラス担任同士でクラス状況や子どもの様子を振り返り、次の月案のねらいや具体的な活動内容を決めて作成している。0～2歳児は毎月個別指導計画も作成し、3～5歳児は年4回、期の個別計画を作成している。年間指導計画は前期保護者会で配付して説明し、月案や週案は保育室前に掲示して見てもらっている。</p> <p>各クラスの指導計画(月案)は職員会議で発表・検討し、職員間で共有している</p> <p>各クラスの指導計画(月案)は事前に配付して職員会議で発表・検討し、職員間で共有している。また、子どもに関する情報共有のための職員会議を毎週1回屋間に、月1回の全体会は夕方から、その他にも乳児・幼児打ち合わせや職員との会議などを実施している。日々の子どもに関する申し送りや引き継ぎなどはミーティングを13時45分から実施して、各クラスからの報告、連絡事項、アレルギー食の確認などを行っている。参加できない職員向けにはミーティングで使用している園日誌の記録をコピーしてクラスに持ち帰り、報告している。</p>	

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報の管理や写真・ビデオの取り扱いのルールについて説明している</p> <p>入園説明会において、「今川保育園のご利用に当たって【重要なお知らせ】」文書で、収集した個人情報は厳重に管理する旨を伝え、「保育園におけるビデオ撮影および、画像データ提供についての考え方、取り扱いルール」も文書を基に説明している。保育園が園運営上ビデオや写真撮影をする場合には保護者の同意を得て実施している。また、子どもの羞恥心への配慮として、衣類を着替える時には窓のカーテンを閉めておこない、5歳児の身体測定は男女別を実施するなどしている。水遊びやプール遊び、シャワーをする際はすだれなどの目隠しを設置している。</p> <p>子どもの心や個性を大事にする保育を心掛けている</p> <p>保育理念には「一人ひとりの最善の利益を第一に考え、保育を通して福祉の増進に努めます」を掲げて、一人ひとりの子どもの発達過程や心、個性を大切に保育をしている。例えば、部屋遊びの後には園庭で遊ぼうねと声掛けされても、まだ、部屋で遊びたい子どもが抱える「なんでお外に出ないといけないの」という疑問がある場合には、「もっとお部屋で遊びたいのね」などと子どもの気持ちを受け止め、子ども自身が考えて行動できるように対応している。また、子どもの名前は正式名称で呼び、短くして呼んだり、愛称や呼び捨てはしていない。</p> <p>子どもの虐待や保護者支援に関する研修に参加して学んでいる</p> <p>子どもの虐待に関する研修に参加している。子ども家庭支援センター主催の児童虐待対応研修や児童虐待対応基礎研修に参加したり、区保育課の実務研修で保護者支援を学んだりして、職員会議で研修報告をして職員へ周知している。また、子どもの虐待に関するチラシや冊子などは職員に回覧している。子ども家庭支援センターと情報交換する事例も経験していることから、職員の意識も高く、平日頃から、子どもの身体の傷や服装、言動などに気を配り、少しでも気になることがあれば園長に報告することになっている。</p>			

サブカテゴリ-6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている ○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○非該当
サブカテゴリ-6の講評	
<p>区立園共通や園独自のマニュアルを整備し、いつでも見ることができるようにしている</p> <p>区立園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「保育実践の手引き」、「危機管理」、「アレルギー」、「離乳食」、「給食衛生」などのさまざまなマニュアルを整備している。園独自のマニュアルとして、「今川保育園マニュアル」を作成しており、内容には、連絡帳の書き方、子どもの名前の呼び方、園庭遊びの確認事項、散歩についての確認事項、ひっかけ嘔みつきなどの対応についてなどを盛り込んでいる。公立園共通のマニュアルは事務室に置き、いつでも見て確認することができるようにして、園独自のマニュアルは各自持ちにしている。</p> <p>主に年度末に、必要に応じて随時、話し合いをして見直している</p> <p>年度末には「今川保育園のしおり」や「今川保育園マニュアル」の見直しをしている。今年度に向けて見直したことは、爪切りについてである。確認することにしていても忘れてしまうこともあるので、曜日を決めておこなうルールに変更して保護者にも伝え、「毎週〇曜日には確認し、もしも、切り忘れていた場合には保護者が切る余裕がある場合には切ってもらい、時間的に無理の場合には、園側が切る旨を伝えて了解をもらうようにすること」にして、園側も保護者側も意識が高くなった。</p> <p>保護者や職員からの意見は検討して、改善が必要と判断すればすぐに対応している</p> <p>保護者との情報共有について、保護者から、「貼りだし日誌が読みにくい」、「園からのお知らせの掲示が分かりにくい」との意見が寄せられたので、保育園のしおりに情報共有についての欄を設け、貼りだし日誌はB4判だったのを大きくA3判にし、わかりやすく書くことに努めた。職員から、毎日昼のミーティングが長くなっているとの意見があり、時間短縮で情報が伝えられるように、園日誌の様式を見直したり、事前に記入できるものは記入して、伝えるのみにするなどの見直しを実施した。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
			35 / 35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>園庭は子どもが自分で遊びたい遊びができるような環境作りをしている</p> <p>園庭には、滑り台や鉄棒、ジャングルジムなどの固定遊具と砂場があり、子どもが組み立てて遊べるマルチパーツや板、ゴザなどを用意して自由に使えるようにしている。砂場にはシャベルや容器類、ホースなどを種類ごとの籠に入れ使いやすく用意している。畑やプランターで野菜を栽培している裏庭は大人と一緒に行く約束にして、雑草も生えているので虫探しなどをすることができる。また、異年齢交流はリズム遊びを一緒にしたり、遊ぼう会などで交流をしていたが、コロナ禍であり密を避けるため、園庭遊びなどの自然な交流のみに行っている状況である。</p> <p>一人ひとりの子どもの状況を把握し、手を出しすぎず必要に応じた援助を心掛けている</p> <p>障害児指定園であり、7名の認定児が在籍している。「一緒に生活していく中で仲間として認め合い、共に育ちあう」ことを目標にしている。一人ひとりの発達の過程や障害の状況・特性などを把握して、その子どもが安心して生活し、クラスの友だちと関わりながら遊び、共に成長できるように取り組んでいる。その子どもに応じて、できることは見守り、困っていることには手を貸し、理解していない時にはわかりやすく伝え、友だちとの関係も必要に応じて仲介して、子ども同士の関係ができるように援助している。</p> <p>子ども同士のトラブルは両方の子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>1・2歳児のひっかきや噛みつきなどのトラブルは、友だちとの関わりが増えて社会性が育つ大切な機会ととらえている。大人がすぐに仲介に入り引き分けにせず、子どもの気持ちや言いたいことを察してやりながら代弁し、「～したかったんだね」「痛いからやめようね」「貸してって言おう」など、どうすればよかったかや伝え方などを知らせている。園でのひっかきや噛みつきなどは園の責任であるとして保護者に報告し謝罪している。幼児のトラブルではお互いの気持ちの伝え合いを見守り解決に導くが、解決できないような時には保育者が仲介している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時は子どもの健康観察をして保護者に子どもの様子を聴いて受け入れている 朝は挨拶を交わし、子どもの顔色や機嫌、表情などの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子や体調の変化などを聴き取り、受け入れている。前日に休んでいたり、保育園で負傷したりした時には、特に詳しく体調や様子などを確認している。職員間では朝夕ノートに記録しておき、早番職員が受け入れる場合でもわかるようにしている。保護者から受けた伝言なども朝夕ノートに記録して担任に伝えるなどして、職員間で情報を共有している。</p> <p>個々の子どもの状況により保護者に協力依頼し、生活習慣が身に付くよう援助している 離乳食の段階を進める時は、子どもの喫食状況を伝え、新たな食材を家庭でも試してもらうなどの協力を依頼しながら進めている。食具は職員間で学び合い、グリップの太さや重さなど子どもに適した食具を使用している。障害児指定園であり、対象児が療育機関の摂食指導を受ける場合には同行させてもらい、保護者が訪問指導を希望される場合には園での食事の様子を見てもらい、助言を受けている。排せつでは、排尿間隔が空き、おしっこを知らせたり、トイレで座るなどの姿が見られるようになると、保護者と協力しながらトイレトレーニングを始めている。</p> <p>迎えの保護者には一人ひとり、子どもの様子を伝えることにしている 保育中の子どもの様子は、0～2歳児は連絡帳で伝え、3～5歳児はクラスの子どもの様子を貼りだし日誌に書き、掲示して読んでもらっている。迎えの保護者には、子どもの様子などを一人ひとりに伝えている。18時までの迎えはクラス担任が対応していることが多い。その後は当番職員が対応するが、クラスからの連絡事項の他、夕方保育の子どものエピソードなどを伝えている。園で怪我をした場合には、怪我の状況により事前に電話で保護者に伝えたり、担任が保護者の迎えを待って伝えたりしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが好きな遊びを選んで落ち着いて遊べるような保育室の環境作りをしている

保育室の環境は、食事や着替え・身支度などの生活と遊びのスペースとを、ロッカーや玩具棚、仕切りなどで分けている。遊びのスペースは年齢発達に合わせて、体を動かす遊び、ままごと、積み木などの構成遊び、パズルや絵描きなどの机上遊び、絵本などのコーナー作りをして、子どもが自分で選んだ好きなコーナーで落ち着いて遊べるようにしている。1歳児クラスでは、コーナーごとにレースのカーテンをつけて、子どもの気が散らないよう工夫している。積み木や製作遊びなどは、製作途中の物を置いておき、継続して遊べるようにしている。

集団活動では子どもが自分からやりたい気持ちを大事にしている

幼児クラスでは、ドッチボールや氷鬼、椅子取りゲームなど、さまざまな集団遊びやゲームをしており、みんなで遊ぶことの楽しさやルールを守らないと楽しくないことを学び、勝敗で悔しい思いを経験したりしている。リズム遊びは全クラスで取り組み、ピアノの曲に合わせてウサギや馬、トンボなどを表現しながらバランス感覚を育み、身体作りをしている。ピアノの曲が聴こえるとすぐに動き出す子どもたちだが、時には、やりたくない時もあるので、子どもの気持ちを受け止め、無理に誘わず、「友達の様子を見ていよう」と、「待つ」ようにしている。

園庭や地域のさまざまな公園を利用して体を動かしたり自然に触れたりして遊んでいる

気候が良い季節には週2回程度、公園などへ散歩に出掛けている。近くには区立の広い原っぱ公園があり、少し足を延ばすと自然豊かな区立公園があるなど、地域環境にも恵まれている。園庭に隣接した区立公園も遊びで使わせてもらったり、園舎の北側の庭は畑にしているので、ヤマモモの木などの樹木や雑草などが生えて、虫探しができる。園庭遊びもゴザやマルチパーツなどの可動遊具、さまざま砂場遊びの用具類も用意して、子どもが自由に駆け回ったり組み立てたりして遊べる環境にしている。メダカやカブトムシの飼育をしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	

◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

運動会は日頃から取り組んでいる運動遊びを保護者に観てもらおう機会にしている

10月の運動会は3・4・5歳児の取り組みで、日頃から取り組んでいる運動遊びやダンスなどを保護者に見てもらい子どもの成長した姿を共有する機会にしている。5歳児は得意な縄跳びの新しい技に挑戦し、大縄跳びの二人跳びやラインダンスも観てもらい、リレーでは走者順を自分たちで考え、勝敗にこだわりながらもあきらめずに走り、当日を楽しみにしている。4歳児は日頃から取り組んでいる鉄棒や大縄跳びの得意技を披露し、皆で力を合わせてパラバルーン演技を観てもらおうことにしている。3歳児もマットや一本橋などの運動遊びに取り組んでいる。

子どもたちがイメージし、アイデアを出し合って作り上げた夏祭りごっこで楽しんでいる

5歳児が朝顔の製作活動中に、「こうすると、かき氷みたい」と三角錐からイメージした声が聞かれて、かき氷作りが始まった。「夏祭りみたいにするのはどう？」の声が上がり「うん、いいね」「もっとたくさん作ろう」と、子どもたちの中でどんどん盛り上がり、お面、たこ焼き、指輪、生き物箱の虫など、イメージしたお祭りの品物作りが進んだ。次第に、関心がなかつた子どもたちも巻き込んで「看板も作ろう」、「お金も」、「財布も」などと、自分たちの夏祭りごっこを作り上げた。祭り当日は職員を招待して、張り切って店屋と客の二役をこなしていた。

行事予定や子どもたちの取り組みの様子を伝え、楽しみにしてもらっている

年間行事予定を年度初めに配付してお知らせしている。行事開催の日時の変更がある場合には早めに、園だよりや掲示などで知らせている。保護者に参加してもらおう保育行事は3～5歳児の運動会であり、その他に年2回の保護者会、保育参観・個人面談がある。子どもたちが運動会などの行事に向けて取り組んでいる様子は日々の活動の様子をお知らせしている貼りだし日誌や送迎時の会話、月1回以上発行しているクラスだよりなどで伝えて、保護者にも楽しみにしてもらっているようにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

夕方保育では、子どもの人数が多い間は、クラス保育にしている

朝保育の7時30分から8時には、0・1歳児は0歳児室で、2～5歳児は2歳児室でそれぞれ一緒に過ごしている。その後人数が増えてくるので、各クラスに分かれるが、4・5歳児は4歳児室で8時30分まで一緒に過ごした後クラス保育にしている。夕方保育では、子どもの人数が多い間はクラス保育にしている。

午後のおやつ後、園庭遊びや遊戯室などで体を動かして遊んだ後、室内遊びをしている

午後のおやつ後16時から17時は3・4・5歳児は子どもの様子に合わせて園庭で遊んだ後、室内遊びをしている。1・2歳児は遊戯室でボール遊びやリズム遊びなどをして体を動かして遊んでから、保育室で好きな遊びをしている。1歳児はポプラの部屋(特別室)が使える時には利用して、少人数に分かれてじっくり、ゆったりと遊んでいる。

延長保育用の玩具を用意するなどして、ゆったりと過ごせるようにしている

18時30分から19時30分の延長保育利用児は現在のところ10名前後である。延長保育用の少人数で遊べる家庭的なおもちゃを用意している。夕方保育の時間に遊んでいた遊びの続きをしたい場合には、持ち込んで遊んだりもしている。延長保育時間に勤務している職員は当番1名と非常勤2名の計3名である。夕方であり疲れてゴロゴロしたい希望にも添えるように、遊び用の布団も用意しているので、腰を下ろして座って絵本をみるなど、ゆったりと過ごしている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

安定した椅子とテーブルに座り、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら食事している

子どもの体格に合わせたテーブルとイスを使用して安定して座り、食事をしている。現在は、新型コロナウイルス感染症対策のために、0～2歳児はテーブルの数を増やして、少人数にして座り、3～5歳児は1テーブル4人掛けにして、一人ずつ半透明で透明窓付きの手作り仕切りをテーブルに置き、食べている。子どもたちが栽培し収穫した野菜は子どものリクエストに応じて調理職員が調理して提供してくれ、訪問時には4歳児の人参が提供されていた。子ども達にもわかりやすいようにひらがな献立表を作成して献立名を知らせている。

区立園共通献立を園で調理し、安全で季節感があり美味しい給食を提供している

区の栄養士が各園からの意見を取り入れながら作成した、栄養バランスの摂れた2週間サイクルの区立園共通献立を使用して、園の厨房で調理し、出来立ての温かな物を提供している。旬の食材を取り入れたり、行事食を盛り込んだりして季節感のある料理にし、昆布やかつお節、煮干で出しをとり、自然のおいしさを味わえるように、薄味の給食を提供している。午後のおやつも手作りしている。季節を感じられる献立や行事食として、4月には菜の花蒸し、筍ご飯、七夕には天の川そうめん、ひな祭りにはちらし寿司、ひな祭りゼリーなどを提供している。

園舎裏の畑やプランターで野菜を栽培し、収穫して調理してもらい食べている

園舎の裏庭には畑があり、プランターも利用して、さつまいもやピーマン、人参、きゅうり、オクラなどを栽培している。収穫したさつまいもは、焼き芋会に使用する予定である。これまでは地域の畑で大根やさつまいもの植え付けを見学したり、収穫体験をさせてもらっていたが、今年は園で収穫したさつまいもで焼き芋会を実施して、火や煙、匂い、温かさなどを体験する場にしようとしている。調理体験では、給食食材のとうもろこしの皮むきや空豆のさやむき、冬瓜に触れる経験、ラップお握りやクッキー作りをしていたが、コロナ禍のため中止している。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づき対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の健康や安全に関心を持てるように、健康教育を実施している</p> <p>年間保健計画を作成して、看護師を中心に、手洗い指導や鼻のかみ方、うがい、風邪の予防などを子どもたちにわかりやすいように絵本や紙芝居などを使ったり、実際に洗う場面で指導するなどしている。保育室やトイレの手洗い場には、手の洗い方のイラストが掲示してある。保育士は生活や遊びの場面に応じて、安全や危険について知らせたり考えさせたりしながら、楽しく遊べるようにしている。散歩に出掛けた時には、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルール、公園の固定遊具の使い方、知らない人にはついて行かないなどを知らせている。</p> <p>医療機関などの専門機関と連携して対応している</p> <p>子どもの健康状態を把握するために、囁託の園医による健康診断を年2回(0歳児は月1回の0歳児健診)、歯科健診を年1回受けている。3歳児からは耳鼻科健診・眼科健診を年1回、4・5歳児は視力検査を年1回受けている。毎月身体測定をしている。各種健診や測定の結果をけんこうカードに記入して保護者に知らせている。囁託の園医には園児の健康に関する相談に応じてもらっている。配慮の必要な子どもの援助について巡回相談員の助言を受けている。</p> <p>毎月保健だよりを発行して、子どもの感染症や健康維持に向けた情報を伝えている</p> <p>保健だよりを毎月発行して、保健行事や季節の感染症、健康維持のための情報など、例えば、4月は保育園で使用している薬について、6月は虫歯予防や衣服の調節、7・8月は感染症や熱中症、虫刺されなどをテーマに掲載し、注意を喚起している。保育園で感染症が発生した時には、どの年齢の親子も通る5歳児クラスの前の掲示板に、感染症ボードを用意して感染症の毎月の感染者数や発生した感染症の主な症状、感染経路、潜伏期、治療、気を付けることなどを掲示している。午睡時には乳幼児突然死症候群予防のために、午睡チェックを実施している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の子育てや家庭の事情など、相談してもらい、可能な限り配慮している</p> <p>子育てや家庭の事情は相談してもらい、個々の状況をよく聴いて、可能な限り配慮して支援している。急な残業は連絡をもらってスポット延長保育に入ってもらっている。家族の病気や受診など、子どもを連れて行けないような時には預かっている。個人面談は期日や期間などは決めず、いつでも受けており、保護者が困っているような様子が見られた時には、園側から声掛けをして、「何かお困りごとがありますか。私たちが良かったらいつでも話を聞きますよ」などと伝えている。</p> <p>保護者会の他、コミュニケーションノートなど保護者同士の交流の場を工夫している</p> <p>年2回の保護者会は懇談の時間を設けて、保護者同士が話をする場になっている。今年の前期の保護者会はコロナウイルス感染拡大防止のために中止にし、保護者会の資料を配付して読んでもらうことにした。各クラスが工夫して、保護者同士の情報交換の場になるように、コミュニケーションノートを作成したり、掲示して情報交換する場を設けるなどの工夫をしている。父母会活動が行なわれ、例年父母会主催の夏祭りを園舎内で開催して、以前は職員もフラダンスなどを披露する協力をしてきたが、中止している。父母会総会には園長が参加して挨拶をしている。</p> <p>保護者の都合の良いときに保育参観してもらい、個人面談も実施している</p> <p>コロナ禍前は保護者の都合が良いときに保育参加を受けており、午前中の保育参観後に個人面談をするケースが多かった。保育参観と個人面談は、別日でも良いことになっているので、保護者の都合に合わせて参加してもらっていた。参観の仕方は、保護者の希望で、隠れて親たり、保育に参加したりしてもらっているが、幼児クラスは保育に参加する人がほとんどであった。保育参観してもらうことで子どもの友だちとの関係や保育者のねらいなども知ってもらう機会になっていた。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の公園に散歩に出掛けたり地域の灯り祭りに灯籠づくりで参加したりしている</p> <p>園から100メートル以内にある区立原っぱ公園をはじめ、地域の公園に散歩に出掛けて自然を感じたり、身体を動かして遊んでいる。コロナ禍前には、地域の農園で大根掘りやさつまいも掘りをさせてもらったり、老人施設のいちご摘みに招待してもらったりしていたが、現在は参加していない。コロナ禍前は、町会主催の灯り祭りの灯籠制作に参加している。灯籠は和紙と割りばしで作るが、地域の方に教えてもらいながら作り上げ、祭りでは地域の歴史あるお寺に飾ってもらっている。</p> <p>ボランティアや実習生、職場体験などを受け入れている</p> <p>これまでは、絵本の読み聞かせのボランティア2組に来園してもらっていた。毎月第3火曜日に5～6名で来てくれるグループは3～5歳児を対象に絵本を読んでもらい、もう一つの素話のボランティア1名は毎月第3水曜日に5歳児を対象に聞かせてもらっていたが、現在は中止している。高校生のインターンシップ、保育学生の実習を受け入れている。中学生の職場体験は中止であり、地域の子育て家庭向けの園庭開放も中止している。</p> <p>子育てサポートセンターと園とで協力し合い、地域の子育て支援をしている</p> <p>園庭開放や育児相談、運動会への参加など、地域の子育て家庭向けの支援をしているが、現在は中止している。また職員を配置した子育てサポートセンターが併設されており一時保育、育児相談、緊急一時保育、児童館との交流などの地域支援をしている。一時保育は1日当たり1～2名で、同じ年齢の保育園児と一緒に散歩に出掛けたり、園庭で遊んだり、運動会などの園行事に参加する等しているが、現在は園児とのかかわりは中止している。職員は近隣の児童館の子育て支援事業のサポートをしたり、散歩時にサポートセンターのチラシを配布する等している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル①	毎月、保育の振り返り記録を作成し、職員間で議論・考察して保育力向上に努めている	
内容①	子ども主体の保育をすることを目指し、保育士各自が保育を客観視するための振り返り実践記録を毎月書き、クラス担任同士で検討した後、各クラス1記録を月間指導計画発表の会議に提出し、職員間で意見交換をしている。振り返り記録には、タイトル、場面や保育者・友達などの関わりをそのまま具体的に書き、保育者の想いや感想を書いて、職員間では実践を肯定的にとらえて議論している。毎月振り返り記録を書くことで、自分の保育を冷静に見直したり、職員間の議論や考察を通して自分とは違う視点に気づかされるなど、保育の質向上に役立っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	畑やプランターで野菜を栽培して食材への興味・関心を広げている	
内容②	幼児クラスでは園舎北側の庭の畑とプランターで、野菜栽培をしている。耕したり、プランターの土入れ、種まきや苗植え、草取り、水やり当番をしながら、芽が出てきた、花が咲いた、実がなったなどと野菜の生育を観察している。畑にはさつまいも、プランターには人参やオクラ、きゅうり、茄子、インゲン豆などの夏野菜を植え、秋冬野菜も計画している。収穫したさつまいもで焼き芋会を予定している。栽培を通して「人参の種って小さいね」など、さまざまな発見をし、野菜への興味関心を広げている。収穫野菜は調理してもらい、給食で食べている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	保育の振り返りをおこない、全体で共有し、保育の質向上につなげている	
内容③	保育の振り返りを通して、保育を語る力、質の向上を目指している。保育の振り返りを書くことで、一人ひとりの保育の向上に対する意識を高めている。また、それを全体で確認することで、互いの考え方を知り、子どもにとってより良い保育につなげている。職員アンケートでも、前年度の取り組みにより良くなった点として、「振り返りを書くことで、自分の保育を振り返り、新たな学びとなっている」などのコメントが寄せられた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に活動するような環境作りをし、一人ひとりに寄り添った保育をしている
	内容	子どもたちが意欲的に生活や遊びを楽しみ、主体的に活動することを目指して、室内や園庭などは自分で遊びを選んで遊べるような環境にしている。園庭では子どもの発想が広がるような廃材や可動遊具などを用意して、選んで使えるように設定している。障害児指定園でもあり、一人ひとりの子どもの発達や気持ちを大事にする保育を心掛け、子どもの声に耳を傾け、寄り添った保育をしている。利用者調査の結果、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、100%の肯定回答が寄せられ、大変高い評価を得ている。
2	タイトル	園の保育と教育を伝えるために作成した公開保育用の資料は、保育の振り返りや確認、職員間での共有に役立っている
	内容	就学前教育と小学校教育の円滑な接続のために、子どもたちが保育園の遊びの中で学んでいる姿を小学校の教諭に観てもらうことを目的に、幼児教育公開を予定していたが、コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴い中止になってしまった。公開保育に向けて、0～5歳児までの発達や特徴、遊びの中で学んでいる姿の実践記録を資料としてまとめる作業を通して、職員間で保育の振り返りや確認、共有をすることができた。資料は参加予定教諭に送付したが、保護者にも実践記録をクラスだよりに掲載して、園の保育と教育を伝えている。
3	タイトル	保育を伝えたり、保護者同士の交流を工夫するなど、保護者との共育に取り組んでいる
	内容	年2回の保護者会は、クラス毎の開催にして保護者同士の交流の機会にしている。今年は前期保護者会が中止になり、予定していたクラス保育目標や大切にしたいこと、年齢毎の子どもの姿などをクラスだよりに読みやすく掲載して伝えている。保護者同士の交流のために、他の人に聞いてみたいことなどを募集してクラスだよりに回答を掲載したり、コミュニケーションノートに質問や回答などを書いてもらったり、質問回答コーナーの掲示板を作るなどの工夫をしている。年長組は就学に向けてをテーマに、保護者から不安や質問、回答を募集し掲載している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に保護者との共育を進めるため、保護者ニーズを把握する手立ての工夫を期待する
	内容	連絡帳や送迎時の会話などで寄せられる保護者からの意見や要望、相談などには、丁寧に対応している。個人面談は申し出があれば、随時受けることにして、年1回は担任との面談を実施して園と家庭で子どもの様子を共有している。今後は、保護者との共育をより一層進めるため、アンケート調査の実施など、園に対する保護者ニーズを把握する手立ての工夫を期待する。
2	タイトル	これまで以上の良いサービスを目指し、業務手順書の整理・作成などを期待する
	内容	危機管理マニュアルなどの区立園共通のマニュアルの他に、園独自のマニュアルを作成して、連絡帳の書き方や取り扱い、子どもの名前呼び方、散歩や園庭遊びの確認事項などを掲載している。業務の手順などは必要に応じて職員会議などで話し合い、改善したり見直したりしている。これまで以上のより良いサービスを目指して、業務手順書の整理・作成・周知を期待する。
3	タイトル	職員個々がリフレッシュして保育ができるよう、業務の省力化へのより一層の取り組みを期待する
	内容	職員アンケートでは、特に改善したいと思う点として「有給休暇が取得しにくい」「休憩時間がきちんと取れない」などの意見が散見された。保育の安全を考慮しつつ、有給休暇のさらなる取得や、昼休憩の十分な確保が課題であると幹部層は認識している。昼休憩や有給休暇をしっかりと取り、職員個々がリフレッシュして保育ができるよう、事務作業や各会議の効率化など業務の省力化へのより一層の取り組みを期待する。

8. 四宮保育園



調査対象

調査時点(令和3年8月)の子ども75名・69世帯を対象とした。

調査方法

職員から保護者に調査票を渡していただいた。回収は、同封した返信用封筒を使って郵便ポストに投函するか、保育所内に設置した回収ボックスに投函していただくか選んでいただいた。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	75
利用者家族総数(世帯)	69
共通評価項目による調査対象者数	69
共通評価項目による調査の有効回答者数	60
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	87.0

利用者調査全体のコメント

回答者属性は、次の通りである。調査記入者は父4名(7%)、母48名(80%)、父母一緒に3名(5%)、無記入5名(8%)。年齢:「20歳代」1名(2%)、「30歳代」32名(53%)、「40歳代」21名(35%)、無記入6名(10%)であった。
・総合的な感想は「大変満足」30名(50%)、「満足」26名(43%)、「どちらともいえない」1名(2%)、「不満」1名(2%)、無記入2名(3%)であった。回答者の93%が、「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
・自由コメントでは、「子どもの主体性を大切にしながら、丁寧に関わってくれている」「お迎えに行ったときに先生が今日の様子や身体のことを詳しく話してくれる。大変安心して子どもを任せられることができる」「先生たちがいつも丁寧に対応してくれるので安心して預けることができる」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	59	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「子ども一人ひとりに寄り添い、気持ちを受け止めて対応してくれているのを感じる。子どもの発達にとても良い影響があると思う」「言葉や遊び、生活面など、さまざまなことが役立っているので大変ありがたい」「お友だちとの関わりを通して成長しているように思う。特に生活習慣に関しては、自宅よりも園で皆で行うことで楽しみながら身に付いてきている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	58	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、子どもの興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「園庭の遊び道具や制作など、子ども同士が遊びながら関わられるよう考えてくれている」「自然が一杯あり、自宅ではできない体験ができて、子どもは毎日わくわくしている」「成長に合わせて、運動面・食育面の興味を引き出してくれている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	54	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「栄養バランスがとれた献立なので助かっている」「野菜が嫌いだったが、園で提供されている食事のおかげで好き嫌いが減っている」「季節の行事なども取り入れているのでうれしい」「誕生日にお祝いプレートをしてくれる」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	44	10	5	1
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、自然や社会との関わりについて概ね満足を得ている。「色々な野菜を栽培したり、虫や花、植物など、季節に沿った関わりをしてくれている」「園庭での遊びを通して、自然や色々な遊具にも興味がわいてきている」「園庭遊びを工夫してくれているので、子どもは楽しそうに遊んでいる」「図書館に本を借りに行くことはとても良い経験となっている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	40	10	1	9
「はい」と返答した方々は回答者の66%、「どちらともいえない」17%、「いいえ」2%、「非該当」15%であった。「延長スポットの利用が柔軟なので、急に必要になる場合には助かる」「急な変更にも嫌な顔をせず、子どもには安心できるよう伝えてくれている」「心配せずに変更依頼をすることができる」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	48	8	2	2
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「施設などはしっかりとされている」「サポートの保育士も沢山いるので、とても安心して預けることができる」「パートの先生も含め、大人の見守る目が十分にある」「定期的に門の暗証番号を変更している。また、最近ではコロナ対応でアルコール消毒液を置いている」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	43	10	1	6
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、行事の日程に関して概ね満足を得ている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	51	7	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「子育てで悩んだとき、個別に時間をとり、相談に乗ってくれたのでとてもありがたかった」「様子をよく見てくれたり、こちらの話も聞いてくれたりするのでありがたい」「気軽に相談でき、丁寧に教えてくれる」「子どもの個性をわかったうえで、親の心の支えになるアドバイスを沢山してくれている」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	52	7	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「園の設備は新しいものではないが、清潔さを維持する努力をしている」「常に掃除している姿を見かける」「清潔には感じるが、建物の築年数が古いので気になる」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	51	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「職員の皆さんはアットホームな雰囲気があり、親しみやすいところが良い」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	55	3	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「様子を細かく見て伝えてくれる」「発熱をしたとき、すぐに連絡をしてくれた。また、子どもを別室に移動させて様子を見てくれていた」などのコメントが寄せられ。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	46	9	0	5
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「一方の意見だけでなく、双方や周りの子どもからよく話を聞くなど対応してくれている」「先生を信頼して任せるしかないと思っている。」「それぞれの子どもの気持ちを尊重してくれているので、安心感がある」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	53	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「担任以外の先生も子どもの名前を覚え、それぞれに適した対応してくれている」「園全体で子どもたちを見守り育てているという安心感がある」「子どもが自分の気持ちを表現することが増えた。園の環境が子どもの気持ちを大事にしてくれているのだと思う」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	47	6	0	7
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、子どもと保護者のプライバシー保護に関して概ね満足を得ている。「今までプライバシーに関わる場面は特になかった。先生が守秘義務を守ってくれていると思う」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	52	7	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「前年度はコロナ禍で保護者会がなく、今年初めて保護者会に参加した。保育内容の資料をもらい、なるほどと思いながら読んだ」「定期的にプリントなどでも発信してくれている」「連絡帳には子どもの様子が丁寧に書かれているのでわかりやすい」「貼り出し日誌にきちんと書いてくれている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	43	8	0	9
「はい」と返答した方々は回答者の72%で、利用者の不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	23	10	7	20
「はい」と返答した方々は回答者の38%、「どちらともいえない」17%、「いいえ」12%、「非該当」33%であった。「入園説明会のときに話があった」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	年度初めに職員や保護者に対して、保育理念・保育方針などについて説明している 年度初めに異動してきた職員および新任職員に対して、幹部層が全体的な計画などが綴じられた「四宮保育園マニュアル」を使って、当園の保育目標などについて説明している。「四宮保育園マニュアル」は、各クラスに置き、いつでも確認できるようにしている。また、年間指導計画について全職員で協議し、1年間の保育運営や目指す子どもたちの姿を職員間で共有している。保護者には、入園説明会や保護者会などで保育理念や保育目標などを伝え、「重要事項」を掲示し、保育理念・保育方針・保育目標などを周知している。	
	園長、主査2名、保育向上リーダー2名が5本柱となり、保育の質向上に取り組んでいる 園長、主査2名、保育向上リーダー2名が当園の5本柱となり、全職員の意見や要望をとりまとめ、保育の質向上に取り組んでいる。また、年間指導計画の検討会議で、園長・主査の役割と責任などを職員に説明し、該当年度の園運営や人材育成などに関する目標などについて職員へ伝えている。保育向上リーダーは、「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、参加者それぞれが園の課題や取り組みについて報告するとともに、グループ討議を通して、自園の取り組みの中で抑えておくべき重要ポイントを確認している。	
	園長と主査2名で十分に討議し、意思統一してから各会議などで方向性を示している 園内の情報共有と意思決定については、園長と主査2名で十分に討議し、意思統一してから各会議などで方向性を示している。そのため、今年度より、毎月、園長・主査による打ち合わせを定例化している。その後、定例会議(週1回)、ほぼ月1回の職員会議、毎日の昼ミーティングで情報共有や、重要案件の検討をおこなっている。さらに閲覧や掲示などで、全職員への周知徹底を図っている。今年度の職員会議の討議内容および進め方について書面にて明らかにしている。	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者会や園内研修においては、アンケートによりニーズを把握し、運営に活かしている</p> <p>保護者会の開催前にアンケートを実施し、保護者ニーズを把握し、有意義な保護者会となるようにしている。また、職員に対しても、今年度、4月に「今年の園内研修で話したいこと」のアンケートをとり、そこで挙げられた内容から、今年のテーマを「保育を語り合おう～保育を楽しむ為に～」に決定している。そのほか、当園は井草地域の保育施設が集まる地域懇談会で中核園となっている。そのため、地域の保育施設にアンケートをとり、意見を集約し、中核園の役割を果たすべく取り組んでいる。</p> <p>当園は地域懇談会の中核園と指定され、地域ニーズの把握に努めている</p> <p>杉並区では7つの地域に分け、各地域に「中核園」を指定している。「中核園」とは、地域における保育施設間の連携・情報共有等の促進等、保育内容の向上に向けて、取り組みをおこなう園である。「中核園」に指定されている当園は、井草地域の保育施設が「地域懇談会」において、顔の見える関係をつくるため、1歳児・2歳児クラスの担当者の話し合いの機会を設けるなど、地域ニーズを把握し、地域全体の保育の質向上を目指している。また、地域子育てネットワークにも参画し、地域の子育てに関するニーズを把握している。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、年度末に反省と成果を確認している</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省をしている。また、区保育課では、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、財政課の査定を受け予算編成をおこなっている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>各種研修の報告などを通して、保育士として遵守すべきことなどを周知している 園長会報告や、区主催の各種研修の報告などを通して、杉並区立園の保育士として遵守すべきことなどを周知している。区主催の新任研修では、公務員倫理、人権・障害者理解、接客ビジネスマナー、個人情報保護、情報セキュリティなどについて学んでいる。そのほか、「子どもの権利条約時代の保育」をテーマとした研修に職員を派遣し、保育の中で子どもの権利をどう守っていくのかについて研鑽を深めている。年度末および新年度に園運営マニュアルを使って、保育士として留意すべき事項などについて確認している。</p> <p>入園説明会で保護者に苦情・要望等の相談窓口について周知している 「重要なお知らせ」に苦情・要望等の相談窓口について明記し、保護者に周知している。入園説明会では、苦情調整制度の説明や掲示について説明し、さまざまな方法で園に対する苦情や要望を表明できることを伝えている。「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については区のホームページでも周知している。保護者からの情報や苦情は速やかに主査・園長へ報告し、職員間で共有し、解決に向けて迅速に対応することになっている。閑静な住宅街の中に在る園であるが、訪問調査時点で近隣住民からの苦情は寄せられていなかった。</p> <p>中間園だよりを作成・配布し、地域における保育所の連携に取り組んでいる 地域懇談会での中核園として、中核園だよりを使って、地域の各保育施設とのつながりを持ち、地域における保育所の連携・情報共有等の促進に取り組んでいる。運動会、焼き芋などを実施するときは、近隣住民宅に出向き、直接挨拶をしたり、地域の方々にポスティングにてその開催を知らせ、地域との良好な関係づくりに努めている。今年度は、新型コロナ禍により、ボランティア、職場体験の受け入れを中止としている。入園希望者の見学希望は受け入れているが、写真を使い、テラスから園内の様子を紹介している。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>環境チームで、月1回、園庭安全チェック表を使って、環境の安全に配慮している</p> <p>環境チームで、月1回、園庭安全チェック表を使って、危険箇所がないかどうか確認している。発見した危険箇所や、その修繕方法と修繕日も記録している。チェック表を活用・記録することで、職員間で気づきを共有し、環境の安全への意識を高めている。また、ヒヤリハット、事故報告の記入後の振り返り、改善する必要度の洗い出しをおこない、再発防止につなげている。ヒヤリハットは、内容および状況、原因・問題点、対応、報告周知、結果などについて簡潔に記録できる用紙を使い、記録することでリスク感性を高めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対応を職員間で共有し、その徹底に取り組んでいる</p> <p>「避難訓練・防犯訓練年間計画」を作成し、毎月、計画的に訓練をおこなっている。午睡中、朝夕保育、プール・水遊び中などさまざまな時間帯を想定した訓練や予告なしの訓練も年10回実施している。また、年3回、防犯訓練も実施している。そのうち2回は予告なしでおこなっており、防犯マニュアルを活用し、さすまた等の防犯グッズの使い方なども学んでいる。新型コロナウイルス感染症の対応を職員間で共有し、その徹底に取り組んでいる。感染防止に配慮した園独自の排尿時の処理マニュアルも作成し、嘔吐物処理の訓練も実施している。</p> <p>保護者にクラスでの写真掲示などについて書面を使って、同意の有無を確認している</p> <p>杉並区の個人情報保護条例、情報公開条例、情報セキュリティ基本方針、区保育課が作成した「情報セキュリティ実施手順」などに基づいて情報の運用・管理している。月1回、情報管理を適切におこなっているかどうかの点検もしている。「個人情報の管理マニュアル」「写真販売・データ管理マニュアル」などのマニュアルを園運営マニュアルの中に綴じ、いつでも確認できるようにしている。保護者には当園における個人情報の取り扱いについて書面を使って説明し、写真撮影やクラスでの写真掲示や氏名の掲載などについて同意の有無を確認している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3/3
----------------	-------------------	-----

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

会計年度任用職員にも園長が個別面談をおこない、仕事の状況などについて確認している

正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。採用後は1年目、2年目まで育成担当者を配置し、保育士としての知識の習得・習熟を支援し、気軽に相談できる体制を整えている。また、園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。会計年度任用職員にも園長が個別面談をおこない、仕事の状況などについて確認している。区全体で「異動希望調査」を使って、職員個々の希望を確認し、定期的な人事異動を実施している。

「学びの物語」というタイトルで、保育の振り返りをし、スキル向上につなげている

杉並区人材育成計画に、区が目指す職員像・職場像、人材育成の基本方針、人材育成の取り組み内容を明記している。同計画に基づいて区人事課および保育課が研修を実施しており、その研修案内を職員に周知し、希望や指名により研修派遣している。また、園内では「学びの物語」というタイトルで、月1回、保育士全員が自分の保育の振り返りを記載している。自分で書くことや、他の人の振り返りを読むことで、自身の保育を振り返るきっかけとなっている。また、グループ分けして、それを題材として保育を語る機会を設け、保育スキルの向上を図っている。

毎月、職員個々の有給休暇の取得状況を確認し、取得への声かけをしている

共有ボードを活用し、仕事の見える化を図り、仕事が偏らず、分担できるよう配慮している。また、仕事の効率化を図り、ワークライフバランスに配慮した働きやすい職場づくりを目指している。幹部層は、毎月、職員個々の有給休暇の取得状況を確認し、職員体制に配慮しながら、有給休暇取得への声かけをしている。園内にセクハラ・パワハラ担当者を配置し、当該担当者との懇談会も設け、気持ちよく働ける職場づくりに努め、職員の心身の健康管理に努めている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「家庭と連携して子育てをする」を前年度の重要課題とし、次の目標を掲げた。①情報をタイムリーに保護者に伝える、②貼り出し日誌や園だより、クラスだよりなどを通して、保育の共有を図る、③三密を避ける保護者会、個人面談、行事などを検討する、などである。前年度・前半は、保護者会は実施せず、後半は感染症対策をおこない保護者会を実施した。クラスだより、事務所だよりはすぐメールで保護者へ発信したが、十分ではなかったと反省している。また、貼り出し日誌の工夫も必要と反省した。保護者会の代替案も各クラスから出し合い、全体で検討し、実施した。次年度も継続して当該目標を重点課題としている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

今年度の第三者評価における利用者調査では、「保育内容の説明」に関して、回答者の86%が満足と返答している。「連絡帳だけでなく、お迎えに行ったときに先生が今日の様子や身体のことを詳しく話してくれる」「お迎えのとき、担任の先生が園でのエピソードなどを話してくれる」「普段から話を聞いてくれたり、保育園での様子を話してくれるのでありがたい」などのコメントも寄せられており、登降園時における会話などを通して、保護者に子どもの様子を伝え、保護者との「子育て」の積極的に取り組んでいることもうかがわれた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、「職員の危機管理意識を高め、一人ひとりが自覚を持つ、行動すること」を重要課題とし、次の目標を掲げた。①新型コロナウイルス感染症の対応による園運営のあり方を考える、②園全体の危険箇所チェックを点検用紙を作成し、定期的に点検をおこなう、③アレルギー確認を徹底し、エビペン研修を実施する、④園の危機管理マニュアルや医療マニュアルを見直す、⑤個人情報の受け渡しや管理方法を徹底する、などである。新型コロナウイルス感染対策により、衛生面や行事のあり方について話し合うことで、これまで実施してきた行事が本当に必要なものかどうかを考えるきっかけになり、保育を見直すことや子どもに経験してほしいことを考え直すことにつながった。また、園庭安全チェック表を作成し、次年度より活用することにした。園内の消毒、手洗いの徹底により、子どもたちへの感染予防への意識も高まった。次年度も当該目標を継続して掲げ、さらに充実していくことにしている。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

園庭の安全チェック表を作成したことで、全職員を複数のチームに分け、月1回、園内の安全点検を始めた。毎月チェックすることで、小さな変化や危険箇所を速やかに発見し、修繕・改善を迅速におこなうことができるようになった。また、園全体の安全への意識が高まり、園庭環境について考えるきっかけとなった。あわせて園庭の使い方や遊び方についての職員間の共有に向けた話し合いもおこない、保育の質の向上にも寄与している。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや発行している冊子、MAPなどで情報提供している</p> <p>区のホームページの施設案内で情報提供している。住所や電話番号、定員、保育時間、延長保育時間、保育目標、主な行事、地図、保育園の特色、園舎の見取り図と写真を掲載している。区発行の「保育施設利用のご案内」や「保育施設MAP」にも掲載されている。これらは区のホームページの保育に関する情報サイト「保幼(ほよ)ナビ」でも、見ることができるようになっている。その他、園庭開放などのご案内を門に掲示したり、散歩時に園庭開放の案内のチラシを地域で子育てしている方々に配っていたが、現在はコロナ禍のために中止している。</p> <p>区立直営園であり、行政や関係機関と情報交換し、連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区保育課にはさまざまな報告をし、連携している。本園は区の中核園事業を担う中核園であり、地域の保育施設21か所に中核園だよりを発行している。併設の高齢者活動施設と一緒に総合避難訓練をし、これまでは年2~3回交流していた。児童館のお祭りにも参加していた。運動会当日が雨天の場合は小学校の体育館を借りていた。区で管理している農園でさつま芋の植え付けや収穫体験をしたり、消防署には総合避難訓練の講評や消火訓練の指導をしてもらっている。地域の図書館には5歳児が貸し出し圖書の選定に向かっている。</p> <p>見学は日程調整して1日2回、1回に1組受け、園庭で説明している</p> <p>見学希望は電話で受けて、希望日を聴き日程調整している。コロナ禍であり、1日2回、1回に1組で、園の概要を配付し園庭から見てもらい説明している。受付実績は9月は6組、10月は16組である。園の特色として、庭が広く子どもがのびのび遊べる環境を用意している。園は建物の1階部分を使用しているため、園庭にすぐに出ることができ、異年齢交流も園庭でおこなわれている、リズム運動を1歳児から取り入れていることなどを伝えて、園庭の様子などを見てもらっている。ベビーカー置き場、手作りする持ち物があるかななどの質問にも答えている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園説明会を実施して、重要事項や基本的なルールなどを説明している 入園内定者には、園医による健康診断と園長や保育士などとの入園面接を実施している。入園説明会は、4月入園の場合には、3月中旬の土曜日に午前と午後の二部制にして実施し、「四宮保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「四宮保育園のしおり」を基に、パワーポイントで、園概要、開所時間と保育時間、緊急時の対応、個人情報の取り扱い、苦情や要望の窓口、保育目標、登降園について、家庭との連絡、健康についてなどを、園長や主査が説明している。説明後には、承諾を得ている。		
慣れ保育は保護者の意向や子どもの状況により徐々に保育時間を延ばしている 入園面接は保育士と園長、食事については栄養士が聴き取りをしている。面接時に入園直後の慣れ保育について1週間程度を予定していることを説明し、保護者の就労状況や意向も聴き、個別に対応している。登園初日、乳児クラスの場合は、親子で一緒に過ごして昼食は保護者に食べさせてもらっている。2日目からは母子分離で預かっている。子どもの様子を見ながら保育時間を徐々に延ばしている。保護者の気持ちに寄り添い、連絡を取り合いながら進めている。保護者や子どもとの信頼関係を早めに築くために、可能な限り同じ保育士が関わるようにしている。		
退園、転園、卒園などには子どもや保護者の不安軽減に配慮している 引っ越しなどで退園する場合は、保護者に、退園することを他の子どもにも伝えてよいかどうかを確認したうえで、クラスの中でお別れ会を開いている。卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継いでいる。保護者には保護者会で、小学校へ子どもの育ちがわかる資料を送ることを伝えている。区内の公立保育園へ転園する場合は、児童の発達を継続するために保護者の了解のもと、引き継ぎをおこなっている。退園、転園、卒園する場合には、保護者に心配はないかと聴いたり、相談に応じたりして不安軽減に配慮している。		

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー3の講評			
子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌など所定の様式に記録し把握している 入園健康診断を実施して健康状態を把握し、面接時には提出してもらった児童票や児童健康調査表、入園までの生活状況などで、家族構成や出生・成育歴、予防接種歴、発育状況、食事、排せつ、睡眠、好きな遊びなど、保育に必要な子どもの心身や生活状況を把握し記録している。入園後は、毎日、1・2歳児は連絡帳と口頭で、食事や睡眠、排せつ、体調や様子などを、3～5歳児は口頭で子どもの情報を把握し、参考にして保育をしている。保育中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌、児童票に記載している。			
指導計画はクラス担任同士で子どもの様子を振り返り、次の計画を作成している 全体的な計画をもとに年間指導計画を作成し、子どもの実態やクラスの状況を見据えて指導計画(月案)を担当同士で話し合い作成している。一人担任の場合には、フリー保育士が入って複数の保育士で保育を振り返り、次の計画を作成している。乳児クラスでは個別の指導計画も作成している。幼児クラスでは個別配慮が必要な子どもの個別計画も作成している。気になる子どもの姿は指導計画会議の中で名前を挙げて検討している。年間指導計画は前期保護者会の中で配付し説明している。幼児クラスでは週の主な活動を保育室の窓側に掲示している。			
指導計画会議や各種会議を開催して子どもに関する情報を共有している 指導計画会議を月2回開催して、他のクラスへの質問を出し合ったり、テーマを決めて各クラスの取り組みを報告したりして職員間で共有している。その他、各種会議を開催して子どもに関する情報を共有している。平日の昼にはミーティングを実施して、クラス代表者が参加し、午前中の子どもの様子や怪我・アクシデントの報告、翌日の職員体制、アレルギー食、行事・会議などの確認をしている。定例職員会議は週1回、研修報告や行事関係、各種会議報告、事務連絡などをし、事務所会議や乳児・幼児打ち合わせ、向上リーダー会議なども開催している。			

サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている ○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている ○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している ○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている ○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている ○非該当
サブカテゴリー5の講評	
<p>子どもの個人情報の保護や羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園説明会で「四宮保育園のご利用にあたって【重要ならせ】」「区立保育園におけるビデオ撮影等及び画像データ提供について」「四宮保育園個人情報の取り扱いについて」の文書を基に説明して、同意書を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、園庭でのシャワー利用時には目隠しを設置して外部から見えないようにし、子どもたちにはプライベートゾーンを大事にすることを指導している。おむつ替えや着替えも外から見えない場所で行っている。おもしろの着替えにはトイレに衝立を用意している。5歳児のロッカーは男女離れた場所に行っている。</p> <p>子ども一人ひとりを尊重している</p> <p>子どもが自分で遊びたい物を選んで遊べる環境にしている。職員には「保育の心構え」や「子どもとの接し方」の文書を見てもらい、子ども一人ひとりを尊重する接し方について知らせている。子どもの誕生日のお祝いはその子どもの誕生日当日にクラスでお祝いをしている。幼児クラスでは誕生日ワッペンをつけて、皆におめでとうのお祝いの言葉をかけてもらっている。昼食には誕生日にバースデープレートで盛り付けしたお祝いの給食を提供している。</p> <p>日頃から子どもの身体の傷や言動などに気を配り、虐待の予防と早期発見に努めている</p> <p>「子どもの権利条約時代の保育」「保育現場での子どもの人権」をテーマにした研修を受講し、職員会議で報告し共有している。子どもの虐待については、子ども家庭支援センターとつながっているケースを経験していることで、職員の意識は高く、着替えの時などには子どもたちの身体の原因不明の傷跡に気を配り、不審な言動などにも耳を傾け、少しでも気になることがあれば、園長に報告するなど、虐待の予防と早期発見に努めている。</p>	

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立園共通や園独自のマニュアルを整備し、いつでも見ることができるようにしている</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「保育実践の手引き」「危機管理」、「アレルギー」「離乳食」「給食衛生」などのさまざまなマニュアルを整備している。園独自の「四宮保育園マニュアル」を作成して各クラス1部ずつ置き、必要な時にいつでも確認することができるようにしている。内容は、園運営、個人情報の取り扱い、保健・衛生・健康、給食アレルギー関係、朝夕保育・延長スポット保育、土曜日保育、散歩・園外保育、会計年度職員(パート職員)の仕事内容などのマニュアルや手順書を盛り込んでいる。</p> <p>年度末や実際の状況と違っていることに気づいた時には随時、見直している</p> <p>園独自の「四宮保育園のしおり」や「四宮保育園マニュアル」は年度末に見直しをしている。特に、「四宮保育園マニュアル」は職員の誰かが気づいた時など、必要に応じて随時、見直しをして差し替えている。園庭の使用の仕方については園庭遊具の置き場所の変更や入れ替えなど、子どもの遊びの状況により変更することがあるので、その都度見直している。</p> <p>保護者や職員から寄せられる意見は検討して、必要な場合は早急に見直している</p> <p>土曜日にシーツの掛け替えをする場合のルールについて、コロナ禍であり園舎内の立ち入りは一人にして、子どもは連れてこないことにしていたが、保護者一人で子どもをみていてシーツを掛けに行けないとの意見を受けて検討し、決めた時間内であれば子どもを連れてきても良いことに見直した。手指消毒液を門やテラスにも置いて欲しいとの要望にはすぐに対応した。月曜日の朝のシーツ掛け場所は遊戯室にしているため、保護者が通り易いように、遊戯室に続く5歳児室の柵などを利用して通り道を作り、遊んでいる子ども達との接触がないようにした。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>乳児クラスでは個々の遊びを保障するため、少人数で遊べるコーナーを設定している</p> <p>1・2歳児クラスでは子ども一人ひとりの遊びを保障するために、可能な限り少人数グループに分かれて遊んでいる。保育室は身支度、食事、遊びの場所を低い玩具棚や柵などで仕切り、遊びの場所はままごとや積み木・汽車とルールなどの構成遊び、絵本など緩やかなコーナーにして、子どもが自分で好きなものを選んで落ち着いて遊べるように設定している。1歳児室には畳のスペースがあり、動的な遊びができ、手作りの紙製積み木を置いて何にでも見て立てて遊んでいる。2歳児室前の廊下も少人数で遊ぶ場所として使用しサーキット遊びなどを行っている。</p> <p>日常的に園庭遊びなど戸外での自然な異年齢交流が盛んで、刺激し合って遊んでいる</p> <p>緊急事態宣言発出前までは、3～5歳児では縦割りの3グループで分かれて活動する「わくわくの日」を年間計画を立てて、月1回程実施していた。全クラスで取り組んでいるリズム運動も、異年齢で一緒にしたりしていた。秋になり、戸外活動の異年齢交流を再開し始めている。当園は全クラスが1階で、保育室は園庭に面しており、すぐに庭に出られ、窓越しやテラスからも異年齢の子どもたちの遊びの様子を見ることが出できる環境であることから、自然な異年齢交流が盛んであり、刺激を受けて年下の子どもが年上の子どもの遊びを真似て遊んでいる。</p> <p>発達の過程でおきるトラブルには双方の子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>前期保護者会で、各クラスが年齢発達の子どもの姿を説明し、言葉で自分の気持ちを十分相手に伝えることができない乳幼児期のひっかかりや噛みつきなどのトラブルについても伝えている。発達過程の子どものトラブルの対応についてマニュアルを作成して、双方の子どもの気持ちを「～したかっただね」と受け止め、言葉にして「～するのは痛いからやめようね」と伝えている。繰り返すような場合には、保育を見直し、昼のミーティングで報告し、職員間で情報共有している。双方の保護者に名前を伝えて状況を説明し、防げなかったことを謝罪している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>朝は子どもの健康観察をし、家庭での子どもの様子を聴き取り受け入れている</p> <p>朝の受け入れ時は、挨拶を交わし子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、連絡帳や体温表を手渡しで受け取りながら、家庭での子どもの様子や体調の変化などを口頭で聴き取りしている。前日体調を崩して休んでいたり、園で怪我をした時には、様子を詳しく聴いて、保護者から聴き取ったことはクラスの受け入れ簿に記入して引き継いでいる。1・2歳児は複写式連絡帳を使用して、家庭から、食事や排せつ、睡眠、子どもの様子、体温などを記入してもらい、幼児クラスは口頭で子どもの体調などを聴き取り、これらの情報を参考にして保育をしている。</p> <p>休息(昼寝を含む)の時間や時間帯は子どもの状況に配慮している</p> <p>昼食後におむつ替えをしたり、トイレを済ませて、布団に入り昼寝をしている。1・2歳児では朝早めに起きて眠いような場合には午前睡をしたり、早めに布団に入るように配慮するなど、子どもの状況により、個別に対応している。1・2歳児の早めに目覚めた子どもは起こして別の部屋で遊んでいる。5歳児になり体力がついて、眠らない子どもも少なくなってきた。休息する時間を設け、その後は別室で起きて静かに遊んでいる。</p> <p>迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子を一言でも伝えるようにしている</p> <p>保育中の子どもの様子は1・2歳児は連絡帳で、3～5歳児は活動の様子を貼りだし日誌を掲示して伝えている。夕保育の当番保育士は担任から連絡事項を記入したクラス受け入れ簿と口頭で引き継ぎをしている。迎えの保護者には一人ひとりに子どもの様子を一言でも伝えるように心がけているが、ベランダでの受け渡しをしていることもあり、室内の保育の安全を優先するため、十分伝えることができないこともある。園で怪我をしたり、受診した時には、状況を説明できる保育士と園長、主査が保護者の迎えを待つて、説明や謝罪をしている。</p>		

3 評価項目3
 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが主体的に生活したり遊んだりできる環境作りに努めている

子どもたちが主体的に生活し活動できるように、4・5歳児では今日の主な活動を、午後のおやつのはじめには明日の活動予定を伝えている。園庭は砂場や鉄棒などの固定遊具の他、マルチパーツやコンテナ、タイヤなどさまざまな可動遊具を用意して子どもが自分で選んだ遊具で遊べるようにしている。室内の環境では、遊戯室が5歳児室と兼用であり、昼食や昼寝場所の確保の関係から積み木遊びや汽車とレールなど床に広げて遊ぶ物は、積み木遊びの日などを決め、翌日も続けて遊べるようにするなどの工夫をしている。

描いたり作ったりして遊ぶ表現活動が盛んである

コロナ禍で、皆で大きな声で歌を歌うことは控えている。絵を描いたり何かを作ったり遊ぶことは盛んである。評価員が訪問した際、幼児保育室には遠足やお弁当の絵などが掲示してあった。子どもたちが自由に使えるように、紙やクレヨン、糊、はさみ、セロテープ、カラーテープなどの素材や用具を年齢に応じて用意している。できあがった作品は持ち帰ったり飾ったりしているが、3歳児クラスでは家庭に持ち帰っていない物を大事に飾り、壁に掲示し、4歳児クラスは、子どもの届く場所に個別のクリアファイルを用意して作品を入れて飾るようにしている。

散歩先や園庭で草花などで遊んだり、虫探しをしたり、自然に触れて遊んでいる

日当たりの良い園庭に、園芸係が朝顔や風船カズラ、おしろい花などの草花を植えているので、子どもたちはままごとや色水遊びなどに使って遊んでいる。草花にはダンゴムシやバッタ、カマキリ、トンボなどの昆虫なども来るので、虫探しをしたり捕まえたりしている。虫取り網や飼育籠、虫図鑑なども用意して、散歩先や園庭で使っている。捕まえたカマキリを飼育しているので、餌には生きている虫を食べることを知り、餌にするために蝶などを捕まえて与え、食べる様子を観察している。地域には広い公園も多く、散歩に出かけて駆け回って遊んでいる。

4 評価項目4
 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

伝統の行事や季節の行事に取り組み、日本の文化に触れる機会にしている

伝統的な行事として7月の七夕、2月の節分、3月のひな祭りを保育行事に取り入れている。七夕には七夕飾り作りや願い事を書いた短冊を笹飾りにつけて飾っている。節分には5歳児が鬼になりクラスを回り、他の子どもたちが豆まきをしている。ひな祭りには雛飾りを飾っている。年齢に応じて行事の意味などを分かりやすく伝えて、日本の文化に触れる機会にしている。5月の鯉のぼり作りでは、5歳児は、「前年の年長組が作ったアマビエのような大きい鯉のぼりを作りたい」と皆で話し合い、力を合わせて大きな鯉のぼりを染紙などを使って作り上げている。

運動会では憧れのあらうまに挑戦して、皆でリズムに乗って踊り、達成感を味わっている

前年の年長組が踊った荒馬に憧れていた5歳児が、継続して取り組んでいるリズム運動で荒馬の動きの基礎、二つ跳びや四つ跳びを身に付けて、運動会で荒馬を披露している。担任の提案に、「やる」と張り切る子どもや「やりたくない」という声、「みんなでやろうよ」と誘いの声も上がり、取り組むことになった。やってみて少し見通しが持てると、次第にやる気になって繰り返し踊り、できなかったことができるようになる嬉しくなり、自信をもって張り切って踊れるようになった。皆で気持ちを合わせてリズムに乗って踊る喜びや達成感を味わっている。

年間行事予定や行事に向けて取り組む子どもの様子を伝えて、協力してもらっている

年間行事予定表を年度初めに配付している。保護者に参加してもらった保育行事は運動会のみである。運動会は3・4・5歳児の取り組みとして実施しているが、運動会だよりは全クラスに配付して取り組みの状況を伝えている。運動会だよりは3号発行し、日程と場所、取り組みの様子、見どころなどを伝えている。これまでは雨天の場合は小学校の体育館を借用していたが、コロナ禍で借用ができないために、園庭で開催し、雨天の場合は平日に延期して実施することにした。保護者には子どもの取り組みの様子を伝え、楽しみにしながら協力してもらっている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は4・5歳児は合同保育、他はほとんどクラス毎の保育にしている</p> <p>朝保育は1・2歳児が8時まで一緒に過ごし、8時以降はクラス保育にしている。3歳児は朝からクラスで保育、4・5歳児は8時30分まで合同保育をしている。夕保育は4・5歳児のみ合同保育にして、他は18時30分までクラス毎で保育している。延長保育は2歳児室で異年齢合同保育にしている。</p> <p>夕保育では、マットや畳などで座り込んだり横になったりもできるようにしている</p> <p>夕保育の当番保育士は自分の担任クラスに入ることを基本にしているが、担任以外の職員が当番になることもある。会計年度任用職員はいつも同じ職員を配置して、子どもが安心できるようにしている。夕方は疲れてくるので、マットや畳などを用意して、座り込んだり、横になったりゴロゴロしたりもしている。時には廊下にある図書コーナーなども利用している。それぞれ自分たちの慣れ親しんだ保育室にいますので、落ち着いて好きな遊びをしている。</p> <p>補食を摂り、大人と一緒に好きな遊びをしてゆったりと過ごしている</p> <p>現在の延長保育利用状況は、月ぎめ利用児とスポット保育利用児合わせても3～5名で少人数である。18時30分から補食を摂り、しばらく遊んでいるとお迎えの状況である。年齢に合わせた延長保育用の玩具を出したり、2歳児室の玩具を使ったりして、大人と一緒にゆったりと過ごしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせた椅子・テーブルに安定して座り、友だちと一緒に食事をしている</p> <p>子どもの体格に合った椅子とテーブルを使い安定して座り、落ち着いて食事をしている。必要な場合には手作りの脇当てや足台なども用意している。コロナ禍であり、乳児クラスではテーブルを増やして、向かい合って座らないようにしている。幼児クラスではテーブルに透明の十字のパーテーションを置き、向かい合って座り食べている。七夕や12月のお楽しみ会、ひな祭りには特別メニューで会食にしているが、現在はクラス会食にして、ランチプレートに盛り付けてもらい、テーブルには花や製作物などを置き、雰囲気を変えて楽しく食事をしている。</p> <p>区立園共通献立で季節感のある給食を園で手作りし、出来立ての温かな物を提供している</p> <p>区の栄養士が各園からの意見を取り入れながら作成した、栄養バランスの摂れた2週間サイクルの区立園共通献立を使用して、園の厨房で調理し、出来立ての温かな給食を提供している。旬の食材を取り入れ、行事食を盛り込み、季節感のある料理にして、昆布やかつお節、煮干で出汁をとり、自然のおいしさを味わえるように、薄味の料理にしている。午後のおやつも手作りしている。季節や行事の献立として、4月には菜の花蒸し、筍ご飯、七夕には天の川そうめん、9月はおはぎ、さんまの塩焼き、ひな祭りにはちらし寿司、ひな祭りゼリーなどを提供している。</p> <p>園庭の畑やプランターで野菜栽培をして、生育観察や収穫体験をしている</p> <p>園庭の畑では5歳児がさつま芋やとうもろこし、オクラを、3・4歳児はプランターできゅうりや人参、茄子、パプリカなどを栽培している。土作りや苗植え、水やりなども子どもたちと一緒に取り組んでいるので、野菜の生育を観察し、花が咲いた実がなったと喜び、収穫して厨房で調理してもらい、給食時に味見をしている。コロナ禍のため、これまでのような調理体験はできないがそら豆のさやむきを体験している。11月の焼き芋には園で栽培したさつま芋と4・5歳児が掘ってきた区民農園のさつま芋を使い、日に干し、洗い、ホイルなどで包み焼いている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心をもち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが健康や安全に関心をもち、怪我や病気から身を守れるよう健康教育をしている</p> <p>健康診断や健康教育には連携園の看護師が来園している。年間保健計画を作成して、健康教育を実施し、水遊びの時期にはプライベートゾーン、9月には我慢ができる人間の脳の話、初冬には鼻のかみ方やうがい、手洗いなどの指導をしている。子どもの年齢に合わせて、絵や紙芝居などの視覚的な教材を使い、わかりやすい言葉で説明している。保育士は保育活動の中で、危険な遊び方や場所などを知らせ、散歩に出掛けると、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルールを、公園では友だちや先生がいるところで遊ぶことなどを知らせている。</p> <p>園医などの医療機関や療育機関と連携している</p> <p>子どもの健康管理のために、囑託の園医による定期健康診断を年2回、歯科健診を年1回、3～5歳児は耳鼻科・眼科健診をそれぞれ年1回実施している。囑託の園医には園児の健康に関する相談に応じてもらっている。園児が指導を受けている療育機関とは、保護者の了解を得たうえで連携し、食事の形態などの相談をしてアドバイスしてもらっている。園での薬の預かりは原則としてしていないが、慢性疾患で薬の使用なしでは健康的な生活ができない場合に限り手続きを踏んで預かっている。現在はアナフィラキシーや痙攣に関する薬を預かっている。</p> <p>保健だよりや掲示で、感染症など子どもの健康に関する情報を提供している</p> <p>定期健康診断などの健診結果や毎月の身体測定結果は健康カードで保護者に伝えている。毎月保健だよりを発行して、保健行事や子どもたちの体調、4月には登園前の健康観察、生活リズムの大切さ、5月爪の管理、6月食中毒、正しい歯磨きの仕方、7月夏の感染症、熱中症予防など子どもの健康維持に関する情報を掲載している。園で感染症が発生した時にはクラスのテラス側や園庭の貼りだし日誌掲示板、門の付近の掲示板に掲示して注意喚起をしている。保育園での昼寝時には午睡チェックを実施している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや就労などの事情は申し出てもらい、可能な限り配慮している</p> <p>保護者の子育てや就労状況に関する事情などは相談してもらい、園で可能な限り配慮して支援している。連絡帳や送迎時の会話・様子などから、困っていたり悩んでいたりする様子が感じられた時には、声掛けして話を聴いている。急な残業などによりお迎えが遅くなる場合で18時30分以降になる場合は、延長スポット保育を利用してもらっている。土曜日保育の利用も申し出てもらって受けている。その他、送り迎えに代理の人が来る場合は知らせてもらい、不慣れな人の場合には手伝ったりしている。</p> <p>保護者会の懇談や保護者参加の運動会は保護者同士の交流の機会になっている</p> <p>年2回の保護者会は保護者同士の交流の機会にして、自己紹介やゲームをして顔見知りになってもらえるようにしている。懇談の時間を多くもつようにしているが、コロナ禍のために本年は1歳児の保護者会は中止にして資料配付にした。他のクラスは併設の高齢者活動施設の部屋を借りて換気をしながら短時間で開催し、園から一年間で大切にしたいことや子どもたちの様子を説明したり、パワーポイントで見てもらい、懇談時間は設けない方法で実施した。コロナ禍前の10月実施の3・4・5歳児の運動会では親子競技を取り入れ、保護者交流の機会にしている。</p> <p>個人面談を実施して、子どもの育ちを保護者と共有している</p> <p>園での子どもの様子は乳児クラスは連絡帳で、幼児クラスはクラスの様子を貼りだし日誌を掲示して知らせ、クラスだより発行や写真の掲示もしている。園と保護者とで子どもの育ちを共有するために、各クラスで個人面談を実施している。コロナ禍前は保育参観・参加も実施して、いつでも受けることにしていたので、個人面談の際には、参観や参加を呼び掛けて同日に参観・参加してもらったりしていた。乳児は隠れて見てもらう参観の希望が多く、幼児の場合は、保育に参加して子どもと一緒に遊んでもらっていた。コロナ終息後には再開したいと考えている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>図書館に出かけたり地域の農園でのさつまいもの植え付け体験などを行っている</p> <p>地域の公園に散歩に出掛けて遊んでいる。図書館には2か月に1回、貸出絵本の選定に5歳児が出向き、絵本を読んだり見たりして、大声を出さない、騒がないなどの公共施設利用のルールを学んでいる。地域の花屋さんにチューリップの球根を買いに出掛け、農園ではさつまいもの植え付け体験やさつまいも掘りをさせてもらっている。コロナ禍前には、近隣の保育施設と一緒に「皆で遊ぼう会」を実施したり、公立園3園のドッチボール大会を開催していた。併設の高齢者活動施設の利用者との交流もしていたが、交流はいずれも中止している。</p> <p>コロナ禍のため、園行事への参加やボランティアの受け入れは中止している</p> <p>中学生の職場体験、高校生のボランティア、保育実習、子育て支援員の実習の受け入れをしている。これまでは、運動会には地域の子ども達にも参加してもらい競技を実施したり、ボランティアによるお話し会、手品の会、4・5歳児対象のお茶の先生によるお茶会もおこなっていたが、コロナウイルス感染症対策のため、地域の人などに来てもらうことは中止している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	園庭には自然に触れて、五感を使った遊びができるよう、草花や土なども用意している	
内容①	保育方針に「保育園ならではの広い園庭を利用し、五感を使った経験を取り入れます」掲げて、体を使う遊びの他、自然に触れる遊びも大事にしている。5歳児が野菜を栽培している2畳ほどの花壇や子どもが探検遊びができる植え込み、門の近くにはオシロイバナなどの遊べる草花を植えた花壇、メダカやエビがいるビオトープ、園舎側面には泥団子作りができる築山がある。子どもたちは泥遊びや草花を摘んで遊び、ダンゴムシや蟻、蝶などの昆虫探しなどを行っている。金魚やカブトムシ、カマキリ、カタツムリなどの生き物の飼育もしている	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	恵まれた園庭環境の維持と安全点検に仕組み、子どもが安心して遊べるようにしている	
内容②	広く自然も豊かで、子どもが主体的に遊べる園庭環境が整っており、子どもたちが自由にのびのびと遊んでいる。恵まれた園庭環境の維持と安全点検に取り組んでいる。区立保育園では人事異動があることから、職員間で園庭遊具の使い方や遊び方について共通認識を図る必要が生じたため、遊具の安全な使い方や遊び方の話し合いをしている。そして、職員プロジェクト「環境チーム」を中心に、園庭遊具の安全チェック表を作成して、職員がグループに分かれて毎月、違う箇所を安全点検し、子どもたちが好きな遊びを十分できる環境作りをしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	「学びの物語」をテーマとし、保育の振り返りを毎月記載し、職員間でも共有している	
内容③	「学びの物語」をテーマとし、保育の振り返りを毎月記載し、他職員とも共有し、職員の保育理解を一層深めていくことに取り組んでいる。この振り返りを通して、子どもの言葉(つぶやき)や表情、行動を見逃さないようにすることや、次にどのような環境を用意するか、どのような職員の声かけや援助が必要かなど、具体的な話し合いができるようになった。職員アンケートでも、「振り返りを書くのは大変だが、子どもたちの様々な姿が記録されるので良い」などのコメントが寄せられた。	

No. 特に良いと思う点		
1	タイトル	園庭は子どもが自分で選び、運んで創り上げたり、身体を巧みに使って遊べる保育環境にしている
	内容	南向きで日当たりの良い園庭は広めで、鉄棒や太鼓橋、砂場などの固定遊具の他、木の小屋、ドラム缶などがあり、固定遊具や樹木にはスーパーネットやハンモック、縄ブランコを取り付けている。子どもが自分で選び、組み立てて遊ぶ可動遊具はL字板のマルチパーツ、板、タイヤ、コンテナ、半丸太、バスマット、ベンチなども用意している。子どもたちは自由に選んで遊び、イメージする家や船などを作り、自分の居場所にしたたり、仲間同士の遊びの基地にしている。年下の子どもは年上の子どもの遊びに入れてもらったり、真似て遊んだりしている。
2	タイトル	子どもにとって、過ごしやすい保育室環境になるように、園全体で協力し合い工夫している
	内容	室内保育環境は5歳児室が遊戯室と兼用で、1歳児室以外の保育室も広くはなく、遊びのコーナー設定は厳しいため、積み木遊びをする時には遊戯室と5歳児室を利用して、積み木遊びの日を決めて、特別に継続して遊べる場所を確保している。日常の生活も、子どもたちにとって過ごしやすい保育環境になるよう園全体で工夫して、2歳児室は遊びのコーナー設定をしているため、昼寝は1歳児室の畳のコーナーでし、1・2歳児で早めに目覚めた子どもは2歳児室で遊び、遊戯室は幼児の昼寝の布団を敷いているため、5歳児は4歳児室で昼食を食べている。
3	タイトル	区全体の保育の質向上のための中核園事業に、地域の中核園としての役割を担い、連携・協力、情報発信などを行っている
	内容	区全体の保育の質向上を目指す中核園事業で、井草地域21保育施設の中核園になっている。担当職員が配置され、地域懇談会や子どもの交流、保育士の交流、研修会を計画して実施する役割を担っている。中核園だよりを発行して、保育ですぐに使える手遊びや我が園の散歩先紹介、地域懇談会や保育士交流会などの報告などを掲載している。取り組み2年目でコロナ禍も相まって、子ども同士の交流は難しいが、できることに取り組みもうと感染症対策を取り、保育士同士の交流や保育園見学会、ノロウィルスの対応などの研修会を実施している。
No. さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	保育の様子だけでなく、保育の計画やねらいなども伝えて、これまで以上に保護者との共通認識を図る取り組みを期待する
	内容	各クラスの年間指導計画は、春の前期保護者会で配付して年齢発達の子どもの姿やクラス目標、大切にしていきたいことなどを伝え、説明している。3・4・5歳児クラスの週案はクラスで掲示している。保育活動の様子は、乳児クラスは連絡帳、幼児クラスは貼りだし日誌、全クラスがクラスだよりを発行して伝えている。今後は、保護者に保育の様子を伝えるだけでなく、保育の計画やねらいなども伝えて、これまで以上に保護者との共通認識を図る取り組みを期待する。
2	タイトル	保護者参加の行事の在り方を検討するなどして、保護者との共育での再構築を期待する
	内容	保護者参加行事は、3・4・5歳児の取り組みの運動会と年2回の保護者会、基本年1回の個人面談、保育参観・参加であるが保育参観は現在中止している。利用者調査の結果、「行事の日程は参加しやすいように配慮されているか」の問いに、71%が「はい」、17%が「どちらともいえない」、2%が「いいえ」、他は非該当と回答している。コメントには「保護者会や個人面談が平日の昼間が多い」「行事が少なく残念」「参加する行事がない」などが寄せられている。今後は、保護者参加行事の在り方を検討して、保護者との共育での再構築を期待する。
3	タイトル	チーム力の強化に向けたさらなる取り組みを期待する
	内容	職員アンケートには、職員個々の園運営に向けたさまざまな意見が寄せられていた。その中、「子どもにとってどのような保育が良いのか、を考え、認め合い、保育をすすめていきたい」「チームワークの大切さを再度確認していきたい」などのコメントが寄せられた。職員の間関係は子どもにとって重要な人的環境である。協働的な雰囲気職場は、子どもも安心感が持てる場所となり、職員の働きやすさにつながっていく。引き続き、チーム力の強化に向けたさらなる取り組みを期待する。

巻末 付属資料

付属資料1：利用者調査 調査票

付属資料2：事業プロフィール

付属資料3：経営層合議用シート（組織マネジメント・サービス分析）

付属資料4：職員用シート（組織マネジメント・サービス分析）



2021年度(令和3年度) 認可保育所

調査のお願い

このたび、〇〇〇保育園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、利用者調査を実施することになりました。

この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構が実施いたします。

利用者調査にあたって、〇〇〇保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、〇〇〇保育園のサービスの調査をするために使用いたします。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、利用者調査の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

※ 第三者評価結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」で公表しています。

■ 記入に当たって

- ・ この調査は、〇〇〇保育園を利用されている保護者の方がご回答ください。
- ・ あてはまる番号に○をつけてください(調査票は両面で5ページあります)。
- ・ 質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、「4 非該当」に○をつけてご回答ください。
- ・ 質問ごとにご意見などがある場合は、(自由意見)欄にご記入ください。
- ・ この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、**8月20日(金)**までに、荻窪南保育園にあります回収箱或いは、郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。なお、切手を貼る必要はありません。この調査に関してのお問い合わせは、下記にお願いします。

問合せ先

特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構

第三者評価担当者

〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-35-15-1104

☎ 03-5347-0616

現在ご利用の〇〇〇保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、○印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

《毎日の保育サービスについてお聞きします》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問6. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問7. 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている と思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問8. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話した り相談することができるような信頼関係があると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《安心・快適性》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問9. 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問10. あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思 いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問11. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対 応は信頼できますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問12. 子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対 応は信頼できますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《利用者個人の尊重》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問14. あなたやお子さんのプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問15. お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《不満・要望への対応》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問16. あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問17. あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	1	2	3	4
(自由意見)				

《総合的な感想についてお聞きします》

〇〇〇保育園

[1]現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。
(1つに〇)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

[2]日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書き
ください。

[3]今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

F1. 調査票記入者 (1つに〇)

1. 父 2. 母 3. 父母一緒に 4. その他()

F2. 調査票記入者の年齢(主に中心になって回答した方) (1つに〇)

1. 20歳未満 2. 20～25歳未満 3. 25～30歳未満 4. 30～35歳未満
5. 35～40歳未満 6. 40～50歳未満 7. 50歳以上

F3. 保護者の勤務形態 (〇は各1つ)

- ①父
1. 常勤(フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他()
- ②母
1. 常勤(フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他()
- ③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方)
1. 常勤(フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他()

F4. お子さんが通うクラス(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に〇を付けてください)

1. 0歳児クラス 2. 1歳児クラス 3. 2歳児クラス 4. 3歳児クラス
5. 4歳児クラス 6. 5歳児クラス

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、別添の封筒(料金受取人払郵便)をご利用の上、〇月〇日(金)までに、園にあります回収箱或いは郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。なお、切手を貼る必要はありません。

事業プロフィール (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所 版

7 定員及び現在の利用者 (年 月 現在)
 ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者児 (人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員 (人)	利用者児 (人)	料金 (円)	備考
産休明け保育				
延長保育事業				() 時間延長
病児・病後児保育事業				
休日保育				
一時預かり事業				
障害児保育事業				
分園設置				
アレルギー児対応				
夜間保育				
育児困難家庭への支援				
外国人児童受入れ				
年末年始保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他()				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

事業プロフィール

1 事業所名（サービス種別）： ()

2 (1) 運営主体（法人名等）：

(2) 設 置 主 体：

3 事業所所在地：

4 事業所の長の氏名（施設長等）：

5 連 絡 先

Tel		Fax	
Eメール		ホームページ	

6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例. 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

7 定員および現在の利用者
※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常 勤 職 員 数			
非 常 勤 職 員 数			
計			

(常勤換算 _____ 人)

(計算式: 非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数 ÷ 当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			

(5) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳

(6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年（現在の事業所での在職年数とする）

(7) 直接支援に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 _____ 人
(計算式: 定員 ÷ 直接支援に携わっている職員数)

9 実習生の受け入れ状況

前年度の実習生受け入れ人数

人

【内訳】

実習の種類	受け入れ人数

10 ボランティアの受け入れ状況

前年度のボランティア受け入れ人数

人

【内訳】

ボランティアの内容	受け入れ人数

11 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィールⅡ

1 理念・ビジョン、基本方針など (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン、基本方針など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

1)

2)

3)

4)

5)

※ 理念・ビジョン、基本方針などがわかるものを添付して下さい。

2 サービス提供の考え方について記述 (関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取り組み、利用者や家族との関係、地域との関係を含む

3 期待する職員像 (関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)

(1) 職員に求めている人材像や役割

※ 事業所のキャリアパス(事業所が求める職責または職務内容に応じた人材像)があれば添付して下さい。

(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

(以下のどれかに○をつける)

1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる

2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)

3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい

4) その他()

5 3年後の見通し(関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、一つに○をつける)

〔契約による利用〕

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ()

〔措置など契約以外による利用〕

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ()

6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述 (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

〈人的サービス面〉

- 1)
- 2)
- 3)

〈設備・環境面〉

- 1)
- 2)
- 3)

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷 (制度改正に基づくもの含む)

1) 開始時期 年 月

2) 重要な変遷

8 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述 (制度改正を含む) (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

〔令和3年度〕

組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者		(役職名)	(氏名)	

カテゴリ
1. リーダーシップと意思決定
2. 事業所を取り巻く環境の把握、活用及び計画の策定と実行
3. 経営における社会的責任
4. リスクマネジメント
5. 職員と組織の能力向上
6. サービス提供のプロセス
7. 事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

【カテゴリ1～5】

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリ」及び「サブカテゴリ」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 事業者が当該事項を実施していること
 - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- ひとつのカテゴリ内のすべての標準項目について確認した後に、「カテゴリ」全体を通じて「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
⇒ 「良いと思う点」
 - ・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - ・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒ 「改善する必要がある点」
 - ・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - ・改善に取り組んでいること など

【カテゴリ7】

前年度に行った、事業所の重要課題（サービス提供のプロセスに関するものも含む）に対する組織的な活動を記載します。
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題についての、前年度の目標設定、目標に対する取り組み、取り組みの結果を踏まえた今年度の事業活動への反映事項を記入します。
そして、前年度に事業所の重要課題に対する活動がPDCAサイクルに基づいて行われたかどうか、評価機関が客観的に判断し、①目標の設定と取り組み、②取り組みの検証、③検証結果の反映を評語を用いて評価します。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

- [ねらい]・理念・ビジョン、基本方針を達成するためにそれを職員や利用者等の関係者がわかるように周知しているか
 ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 1-1-2

経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

- [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか
 ・経営層は、理念等を実現するために、方向性を示しリーダーシップを発揮しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 1-1-3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

- [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか
 ・職員や利用者等に意思決定過程の透明性を図っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="checkbox"/>		
2	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="checkbox"/>		
3	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー1 について リーダーシップと意思決定

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目 2-1-1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

[ねらい]・利用者や職員の意向、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向、事業所の経営状況などを、様々な機会をとらえて積極的に把握・検討し、対応すべき課題を抽出しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
3	地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
4	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
5	事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
6	把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目 2-2-1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
 [ねらい]・事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた事業計画や予算が策定されているか
 ・その計画や予算は現場や利用者の意向、地域福祉のニーズや事業所の課題等を踏まえたものとなっているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
2 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 2-2-2
着実な計画の実行に取り組んでいる
 [ねらい]・策定した計画に基づいて、進捗状況に応じ見直しを行いながら、目標達成に向けて取り組んでいるか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="checkbox"/>		
2 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー2 について 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 3-1-1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

[ねらい]・事業所が社会的な役割を果たすために、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを、職員に対して周知・徹底しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目 3-2-1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

[ねらい]・事業所内外の苦情解決制度や相談窓口を機能させるとともに、様々な機会をとらえて利用者の意向を把握し、組織全体で迅速に対応する体制を整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-2-2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

[ねらい]・虐待の防止と早期発見、早期対応を行う体制を、組織として整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="checkbox"/>		
2	虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 3-3-1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

[ねらい]・地域社会への情報開示などにより透明性を高め、地域社会に開かれた組織となって、地域との関係づくりに取り組んでいるか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2 ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-3-2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

[ねらい]・事業所が有している機能や福祉の専門性を活かしながら、関係機関と連携して地域の一員としての役割を果たすための取り組みを行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="checkbox"/>		
3 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー3 について 経営における社会的責任

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目 4-1-1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

[ねらい]・事業所が目指していることの実現を阻害するリスクを洗い出し、必要なリスクマネジメントの対策をとっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="checkbox"/>		
2	優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
3	災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="checkbox"/>		
4	リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
5	事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目 4-2-1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

[ねらい]・事業所に必要な情報を適切に収集、整理した上で、組織的に管理・保護し、活用を図っているか
・事業所で扱っている個人情報の取り扱いについて、規程・体制を整備し、必要な対策を講じているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2	収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="checkbox"/>		
3	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
4	事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ4 について リスクマネジメント

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目 5-1-1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている [ねらい]・理念・ビジョン、基本方針の実現に必要な人材確保や配置を行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
評価項目 5-1-2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している [ねらい]・事業所として求める人材像を具体的に定め、それに基づくキャリアパスを職員へ周知しているか ・事業所のキャリアパスと事業所の人材育成計画が整合しており、職員のキャリアアップを支援しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
評価項目 5-1-3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる [ねらい]・事業所が目指していることの実現に適した人材の育成に向けて、個人の意向、理解度、到達状況、就業状況に合わせ、きめ細かい指導を行っているか ・指導者の支援に取り組んでいるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="checkbox"/>		
2 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="checkbox"/>		
4 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

[ねらい]・職員の定着により組織力を発揮するために、事業所として職員の意識を把握して、意欲向上に向けた働きかけを行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="checkbox"/>		
2 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
4 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目 5-2-1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

[ねらい]・組織力の向上に向け、職員一人ひとりの学びや気づきの共有化を図るなど、チーム力を発揮できるようどのように取り組んでいるか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="checkbox"/>		
2 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="checkbox"/>		
3 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー5 について 職員と組織の能力向上

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

--

評価項目 2

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

〔令和3年度〕

認可保育所

サービス分析シート
(6. サービス提供のプロセス)
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリ
1.リーダーシップと意思決定
2.事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3.経営における社会的責任
4.リスクマネジメント
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。
「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリ」及び「サブカテゴリ」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 事業者が当該事項を実施していること
 - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- 標準項目について確認した後、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
 - サブカテゴリ1～3及び5、6は、サブカテゴリごとに記述します。
 - サブカテゴリ4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。⇒ 「良いと思う点」
 - 力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - 自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒ 「改善する必要がある点」
 - 改善の必要があると認識していること ・改善計画中的なこと
 - 改善に取り組んでいること など

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している				
[ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない				
	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="checkbox"/>		
2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="checkbox"/>		
3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="checkbox"/>		
4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="checkbox"/>		
2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="checkbox"/>		
評価項目 6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="checkbox"/>		
2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="checkbox"/>		
3 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目 6-3-1

子どもの状況に手順に基づいた適切な情報収集、分析のめい課題設定を行い、子どもの課題を個別のケースへ対応
 プレ-照会-アセス

- [ねらい] ・保育をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか
- ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や見直しの基準が確立しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="checkbox"/>		
2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="checkbox"/>		
3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

- [ねらい] ・全体的な計画や子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ、指導計画を作成しているか
- ・個別的な計画を作成するしくみがあり、子どもの状況に応じて作成、見直しをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="checkbox"/>		
2	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
4	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="checkbox"/>		
5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

- [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか
- ・具体的な保育内容や子どもの変化等が適切に記録されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="checkbox"/>		
2	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方で共有化しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="checkbox"/>		
2 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-3 個別状況の記録と計画策定 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ-4 サービスの実施

評価項目 6-4-1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている [ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="checkbox"/>		
3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="checkbox"/>		
6 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-1 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか
 ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="checkbox"/>		
2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-2 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。
 ※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

- [ねらい] ・子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう、環境や取り組みにどのような工夫をしているか
 ・教育の5領域に即した取り組みを、子どもの年齢や発達の状況に応じて行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="checkbox"/>		
5	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="checkbox"/>		
6	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-3 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。
 ※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

- [ねらい] ・子どもが興味を持ち、協力して進められる行事をどのように実施しているか
 ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>		
3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-4 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

- [ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか
 ・保育時間が長くなることにより保育形態や担当職員が変わっても、子どもが楽しく過ごせるようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-5 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

[ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか
 ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="checkbox"/>		
2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="checkbox"/>		
3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="checkbox"/>		
4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-6 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

[ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか
 ・専門機関や保護者との連携をどのように行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="checkbox"/>		
2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="checkbox"/>		
3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-7 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

- [ねらい] ・保護者の個々の事情に応じた子育て支援を行っているか
 ・園で実施する保育活動に対し、保護者の理解や参加を促しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
2	保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="checkbox"/>		
3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-8 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の幅を広げる視点から、地域とのかかわりをどのように考えているか
 ・子どもが地域とかがわる機会をどのように設けているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="checkbox"/>		
2	園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-9 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している [ねらい] ・サービス提供の中で、子どもの権利を擁護し、意思を尊重しているか ・子どもと保護者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、その内容に沿ったサービスを実施しているか
 ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-6-2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか
 ・よりよいサービスをめざし、職員や保護者等の意見を反映して見直しを行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しに当たり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

〔令和3年度〕

職員用組織マネジメント分析シート

記入の手引き

■組織マネジメント分析シートの構成

この組織マネジメント分析シートは、6つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。そして、それぞれのカテゴリーは、さらにサブカテゴリー、評価項目、標準項目（カテゴリー7を除く）と分かれ、より具体的な内容が記述されています。カテゴリー「6. サービス提供のプロセス」は、別紙「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価するため、このシートは使用しません。

■評価の進め方

【カテゴリー1～5】

- (1) カテゴリー1～5は、それぞれの標準項目について実施されているかどうか職員自己評価項目により評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「そう思う」「そう思わない」「わからない」のうち、あてはまると思うところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「そう思う」・「そう思わない」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「わからない」の欄に○をつけてください。
- (3) 「事業所（で）は…」という質問は、事業所の取り組みについて、あてはまるところに○をつけてください。
「私は…」という質問は、回答者自身があてはまるところに○をつけてください。

【前年度の取り組みにより、良くなったと思う点（カテゴリー7）】

- (1) 回答シートには、事業所全体として前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入する欄があります。
これは、評価機関がカテゴリー7の評価を行う際の参考にします。
カテゴリー7においては、事業所の重要課題に対する前年度の目標設定・取り組み・取り組みの結果を踏まえた振り返り、そして、振り返りの内容を今年度以降の目標設定や取り組みにどう活かしているのかを確認します。
なお、この評価については、評価機関が評語を用いた評価を行います。

【特に良いと思う点、特に改善したいと思う点】

- (1) 回答シートには事業所全体として①特に良いと思う点、②特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。
この欄は、「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

■回答シート

- (1) カテゴリー1～5については、この「組織マネジメント分析シート」で、職員自己評価項目の評価を行ったうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを評価するために使用します。
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	1 ① 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	1 ① 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層の役割と責任を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	1 事業所では、重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知らされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	1 事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している			
		2 事業所は、事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している			
		3 事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している			
		4 事業所は、福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している			
		5 事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している			
		6 事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している			

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	1 事業所は、課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している			
		2 事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している			
		3 事業所は、策定している計画に合わせた予算編成を行っている			
2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している			
		2 事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる			

カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	1	① 事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	① 事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私は、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-2-1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	1 事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者伝えてしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所には、利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	1 事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	1 事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	1 事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1 リスクマネジメント に計画的に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 ① 事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じて対応できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-2-1	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	1 ① 事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

カテゴリ5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	1 事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	1 ① 事業所では、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ② 私は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	1 ① 事業所は、勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ② 私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ② 私の育成(研修)計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 ① 事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ② 私の育成(研修)計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
			そう思う	そう思わない	わからない	
5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	1 事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所は、就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		3	① 事業所は、職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	① 事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私の職場では、良好な人間関係が構築されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
			そう思う	そう思わない	わからない	
5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	1	① 事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	① 事業所は、職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私の日頃の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**事業所が行った前年度の取り組みにより良くなったと思う点
(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)**

○カテゴリー7は、カテゴリー1～6と評価方法が異なり、前年度の事業所による組織的な活動を評価します。
このカテゴリーでの評価は、事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入して頂き、それに基づいて評価機関が評価を行います。

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

○上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

職員用：回答シート

○ 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1～5) (あてはまるもの一つに"○"をつけてください)

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-3	1			
	2-①			
	2-②			
	3			
2-1-1	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
2-2-1	1			
	2			
	3			
2-2-2	1			
	2			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
3-2-1	1			
	2			
3-2-2	1			
	2			
3-3-1	1			
	2			
3-3-2	1			
	2			
	3			
4-1-1	1			
	2			
	3			
	4-①			
	4-②			
4-2-1	1-①			
	1-②			
	2			
	3			
	4			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	1			
	2			
5-1-2	1-①			
	1-②			
5-1-3	2			
	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
5-1-4	3-①			
	3-②			
	4-①			
	4-②			
5-2-1	1			
	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
5-2-1	3			
	3			

○ 事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点をご記入ください。

(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)

--

○ 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体についてご記入下さい。)

特に良いと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)	特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)

〔令和3年度〕

認可保育所

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、
カテゴリー6「サービス提供のプロセス」を評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに
分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と分かれており、よりサービスの具体的
な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) それぞれの標準項目について、実施されているかどうか職員自己評価項目により
評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはま
るところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・
「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、
回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに
活用していただければ幸いです。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを
評価するために使用します。
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるような支援を行っている	1	サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している	1	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	1	指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	1 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 休息(屋寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	1 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和3年度 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している	1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している			
		2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している			
		3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている			
6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている	1	保育時間の長い子どもが安心して、くつろげる環境になるよう配慮をしている			
		2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている			
6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している			
		2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている			
		3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している			
		4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている			
6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している	1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している			
		2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている			
		3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている			
6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている			
		2	保護者同士が交流できる機会を設けている			
		3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている			
		4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている			
		5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している			

6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
		そう思う	そう思わない	わからない	
6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している	1	子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
		そう思う	そう思わない	わからない	
6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	1	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和3年度
保育園サービス第三者評価事業
報告書

登録印刷物番号

03-0070

令和4年3月発行

編集・発行

杉並区こども家庭部保育課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 (03) 3312-2111 (代表)

調査・評価機関

特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号: 02-030)

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南三丁目35番15号-1104

電話 03-5347-0616

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>

